

令和元年度

みどりの市民意識調査  
報告書

仙台市 建設局 百年の杜推進部 百年の杜推進課



# 目 次

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| <b>第1章 調査の概要</b> .....          | 1  |
| 1. 調査目的.....                    | 1  |
| 2. 調査項目.....                    | 1  |
| 3. 調査仕様.....                    | 2  |
| 4. 調査期間.....                    | 2  |
| 5. 回収率.....                     | 3  |
| (1) 全体の回収率.....                 | 3  |
| (2) 属性別の回収率.....                | 3  |
| 6. 報告書の見方.....                  | 4  |
| <b>第2章 回答者の属性</b> .....         | 5  |
| (1) 年齢.....                     | 5  |
| (2) 職業等.....                    | 5  |
| (3) 居住地区.....                   | 5  |
| (4) 現在の住まい.....                 | 6  |
| (5) 居住年数.....                   | 6  |
| (6) 家族構成.....                   | 6  |
| (7) 小学生以下の子どもの有無.....           | 7  |
| <b>第3章 調査結果の総括</b> .....        | 8  |
| 1. 身近なみどりについて.....              | 8  |
| 2. 「杜の都」という言葉について.....          | 8  |
| 3. これから先の仙台市のみどりのまちづくりについて..... | 8  |
| (1) 樹林地などの身近なみどりの保全について.....    | 8  |
| (2) 市街地の緑化について.....             | 9  |
| (3) 公園について.....                 | 9  |
| (4) 「都心部」と「住宅地」の街路樹について.....    | 9  |
| (5) 定禅寺通・青葉通のケヤキ（街路樹）について.....  | 10 |
| (6) 河川について.....                 | 10 |
| 4. みどり豊かなまちづくりへの参加について.....     | 10 |
| 5. 「グリーンインフラ」について.....          | 10 |
| <b>第4章 調査結果の分析</b> .....        | 11 |
| 1. 身近なみどりについて.....              | 11 |
| (1) 身近なみどり.....                 | 11 |

|                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| (2) 身近なみどりの満足度                    | 17  |
| (3) 欲しいと思う身近なみどり                  | 24  |
| (4) 身近なみどりに期待する機能                 | 28  |
| <b>2. 「杜の都」という言葉について</b>          | 32  |
| (1) 「杜の都」を代表するみどり                 | 32  |
| (2) 「杜の都」という言葉から思い描くみどり           | 39  |
| (3) 「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度         | 42  |
| <b>3. これから先の仙台市のみどりのまちづくりについて</b> | 47  |
| (1) 樹林地などの身近なみどりの保全について           | 47  |
| (2) 市街地の緑化について                    | 55  |
| (3) 公園について                        | 64  |
| (4) 「都心部」と「住宅地」の街路樹について           | 89  |
| (5) 定禅寺通・青葉通のケヤキ（街路樹）について         | 109 |
| (6) 河川について                        | 112 |
| <b>4. みどり豊かなまちづくりへの参加について</b>     | 120 |
| (1) みどり豊かなまちづくりのために実践している活動       | 120 |
| (2) みどり豊かなまちづくりのために実践したい活動        | 126 |
| (3) みどり豊かなまちづくりの活動に参加するための条件      | 133 |
| (4) みどり豊かなまちづくりに最も必要なこと           | 135 |
| <b>5. 「グリーンインフラ」について</b>          | 137 |
| <b>6. 「みどり」に関する意見・要望</b>          | 141 |
| <b>資料</b>                         | 142 |
| <b>1. 調査票</b>                     | 142 |

# 第1章 調査の概要

## 1. 調査目的

本調査は、市民のみどりに関する満足度やみどりの施策に対する評価等に関する意見などを把握するとともに、その結果を施策の進捗管理や計画の策定・見直しに反映させることを目的とする。

## 2. 調査項目

| 調査項目                              | 前回調査（H24）との比較が可能 |
|-----------------------------------|------------------|
| <b>1. 身近なみどりについて</b>              |                  |
| (1) 身近なみどり                        | ○                |
| (2) 身近なみどりの満足度                    | ○                |
| (3) 欲しいと思う身近なみどり                  | ○                |
| (4) 身近なみどりに期待する機能                 | ○                |
| <b>2. 「杜の都」という言葉について</b>          |                  |
| (1) 「杜の都」を代表するみどり                 | ○                |
| (2) 「杜の都」という言葉から思い描くみどり           | ○                |
| (3) 「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度         | ○                |
| <b>3. これから先の仙台市のみどりのまちづくりについて</b> |                  |
| (1) 樹林地などの身近なみどりの保全について           |                  |
| ①自然のみどりの保全と都市開発との調和の方向性           | ○                |
| ②私有地のみどりの保全方法                     | ○                |
| ③屋敷林（居久根）や社寺林の保全の方向性              | ○                |
| ④屋敷林（居久根）や社寺林の活用の方向性              | -                |
| (2) 市街地の緑化について                    |                  |
| ①重点を置くべき緑化箇所                      | ○                |
| ②みどりの増加に必要な行政の取り組み                | ○                |
| ③緑化活動に必要な行政の支援                    | ○                |
| (3) 公園について                        |                  |
| ①住まいの近くの公園の利用頻度                   | ○                |
| ②住まいの近くの公園の役割                     | ○                |
| ③住まいの近くの公園の満足度                    | ○                |
| ④仙台市内で増やして欲しい公園                   | ○                |
| (4) 「都心部」と「住宅地」の街路樹について           |                  |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| ①街路樹の満足度                      | ○ |
| ②街路樹に期待する機能                   | ○ |
| ③高木の街路樹の管理                    | - |
| (5) 定禅寺通・青葉通のケヤキ（街路樹）について     |   |
| ①街路樹の方向性                      | - |
| (6) 河川について                    |   |
| ①河川の身近さ                       | ○ |
| ②水辺空間の利用に特に必要なもの              | ○ |
| <b>4. みどり豊かなまちづくりへの参加について</b> |   |
| (1) みどり豊かなまちづくりのために実践している活動   | ○ |
| (2) みどり豊かなまちづくりのために実践したい活動    | ○ |
| (3) みどり豊かなまちづくりの活動に参加するための条件  | ○ |
| (4) みどり豊かなまちづくりに最も必要なこと       | ○ |
| <b>5. グリーンインフラについて</b>        |   |
| ①グリーンインフラという言葉の認知度            | - |
| ②グリーンインフラの考えを取り入れたまちづくり       | - |

### 3. 調査仕様

調査地域 仙台市全域

調査対象 満18歳以上の仙台市民

調査対象数 5,000人

抽出方法 令和元年8月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出

調査方法 無記名の質問紙調査（郵送による配布・回収）

### 4. 調査期間

| 調査票発送    | 回収締切      | 集計対象       |
|----------|-----------|------------|
| 令和元年9月5日 | 令和元年9月27日 | 令和元年10月11日 |

## 5. 回収率

### (1) 全体の回収率

| 対象者数    | 有効回収数   | 有効回収率 |
|---------|---------|-------|
| 5,000 人 | 1,916 票 | 38.3% |

### (2) 属性別の回収率

#### ① 年代別回収率

|    | 対象者数  | 有効回収数   | 有効回収率   |       |
|----|-------|---------|---------|-------|
| 全体 | 全体    | 5,000 人 | 1,916 票 | 38.3% |
|    | 10代   | 121 人   | 22 票    | 18.2% |
|    | 20代   | 621 人   | 107 票   | 17.2% |
|    | 30代   | 775 人   | 239 票   | 30.8% |
|    | 40代   | 900 人   | 288 票   | 32.0% |
|    | 50代   | 801 人   | 318 票   | 39.7% |
|    | 60代   | 750 人   | 384 票   | 51.2% |
|    | 70代   | 596 人   | 356 票   | 59.7% |
|    | 80代以上 | 436 人   | 181 票   | 41.5% |
|    | 無回答   | -       | 21 票    | -     |

#### ② 地区別回収率

|      | 対象者数    | 有効回収数   | 有効回収率 |
|------|---------|---------|-------|
| 全体   | 5,000 人 | 1,916 票 | 38.3% |
| 青葉区  | 1,363 人 | 548 票   | 40.2% |
| 宮城野区 | 897 人   | 324 票   | 36.1% |
| 若林区  | 643 人   | 222 票   | 34.5% |
| 太白区  | 1,087 人 | 402 票   | 37.0% |
| 泉区   | 1,010 人 | 400 票   | 39.6% |
| 無回答  | -       | 20 票    | -     |

## 6. 報告書の見方

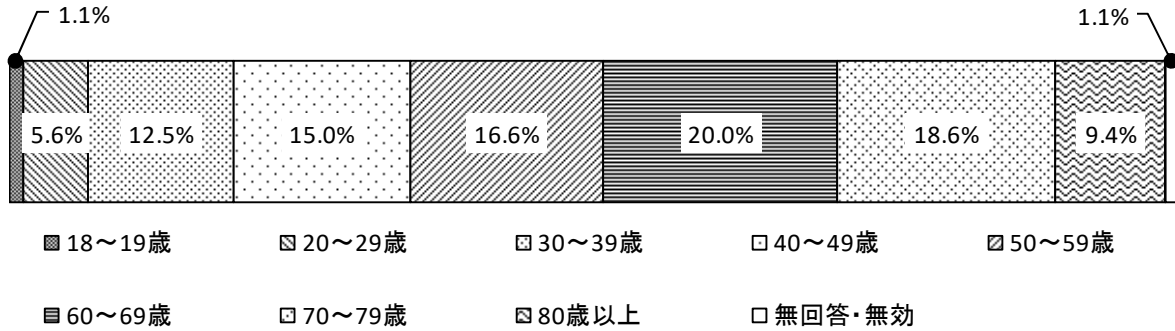
---

- ・調査数 (n=Number of cases) とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答等の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。そのため、構成比の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多岐選択式の質問においては、すべての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・「無効・無回答」は、当該設問への回答がないもの及び当該設問における回答制限数（あてはまる番号1つに○、あてはまる番号3つに○等）よりも多くの回答があったものをあらかわす。
- ・属性別に分析を行う際の分析軸「現在の住まい」については、「問4 現在の住まい」をもとにしている。「一戸建て」は「持ち家（一戸建て）」(1,063件)と「賃貸住宅（一戸建て）」(56件)を合算したものである。「集合住宅」は「持ち家（集合住宅）」(307件)と「賃貸住宅（集合住宅）」(388件)を合算したものである。それ以外の「社宅、官舎、寮」(39件)、「その他」(41件)については件数が少ないため、割愛する。
- ・属性別に分析を行う際の分析軸「居住年数」については、「問5 居住年数」をもとにしている。「5年未満」は「1年未満」(39件)と「1年以上5年未満」(136件)を合算したものである。



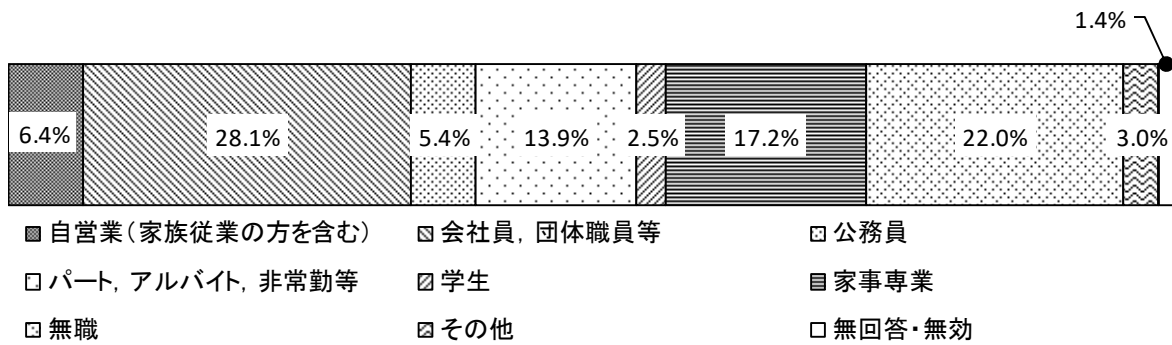
## 第2章 回答者の属性

### (1)年齢



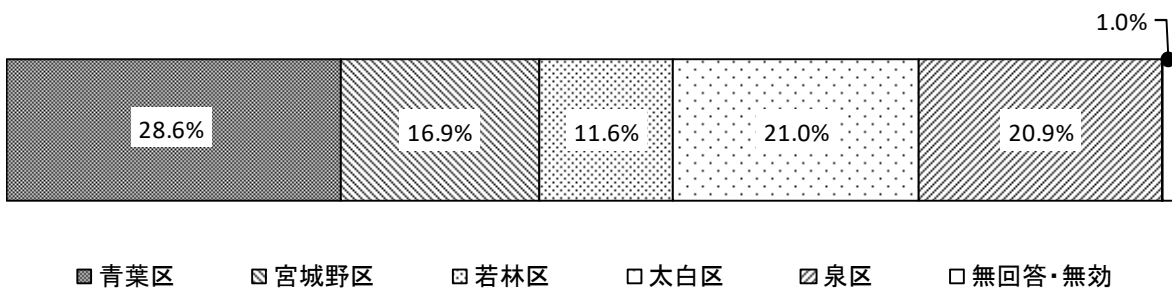
N=1916

### (2)職業等



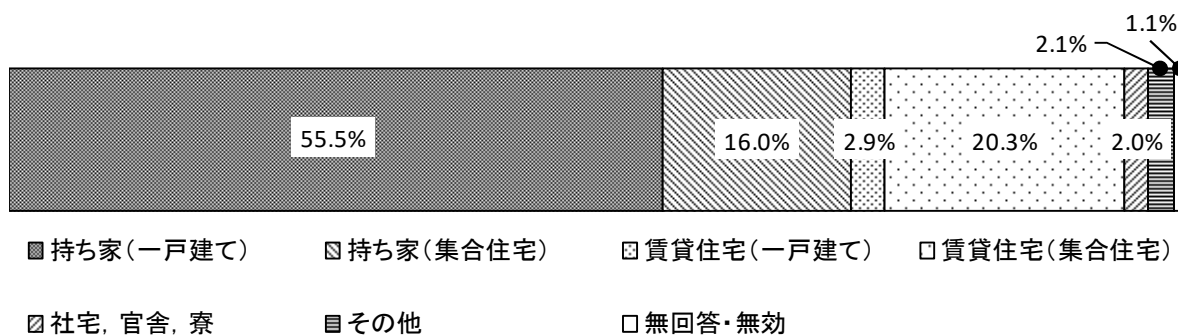
N=1916

### (3)居住地区



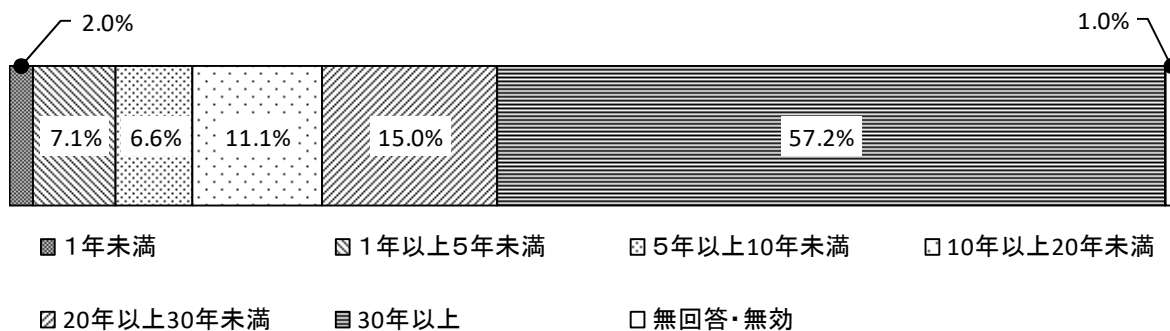
N=1916

#### (4)現在の住まい



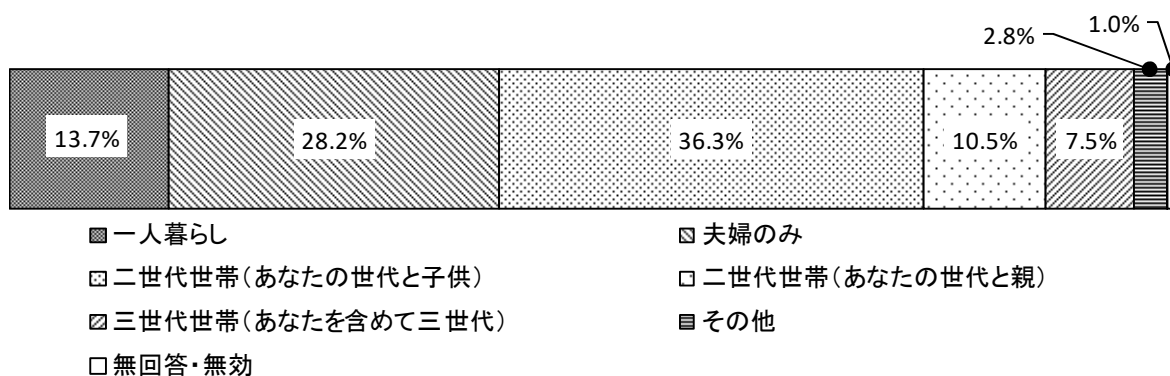
N=1916

#### (5)居住年数



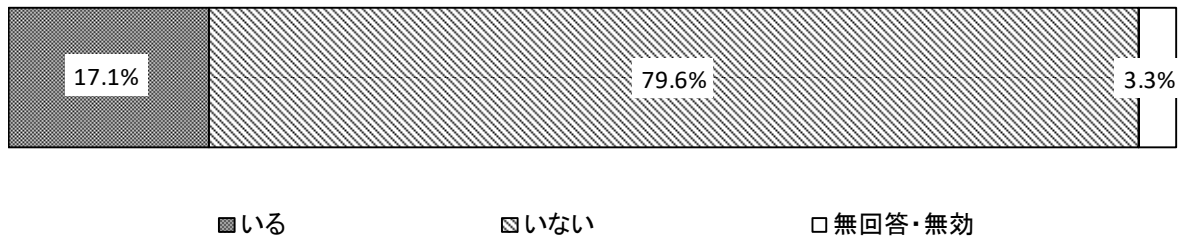
N=1916

#### (6)家族構成



N=1916

(7)小学生以下の子どもの有無



N=1916

## 第3章 調査結果の総括

### 1. 身近なみどりについて

身近なみどりとして、約8割の人が公園・緑地や街路樹などのみどりを選んでいる(11ページ、問8)。特に公園・緑地や街路樹は、もっと欲しいと思う身近なみどりでも上位に選ばれており、さらなる整備や管理の充実が求められていると考えられる(24ページ、問10)。

身近なみどりに関する満足度は、量・質ともに十分であると感じる人が約3割となっており、前回調査(平成24(2012)年度)と比較し、大きく変化していない。量と質の満足度は、量が十分であると感じる人が約6割であるのに対して、質が十分であると感じる人は約5割となっており、量に対しての満足度が比較的高い(17ページ、問9及び23ページ、2012年アンケートとの比較)。

身近なみどりに期待する機能では、都市の気温上昇をやわらげる機能、生活にうるおいを与え、心をなごませる機能が注目されており、日常の生活環境の改善に関わる機能を持つような身近なみどりの創出が必要とされている(28ページ、問11)。

### 2. 「杜の都」という言葉について

杜の都を代表するみどりとして、6割以上の人が定禅寺通を選んでいる(32ページ、問12)。

杜の都という言葉から思い描くみどりとしては、街路樹などの道路のみどりが約8割、公園・緑地が約6割である一方、屋敷林(居久根)の印象は非常に小さいものとなっている(39ページ、問13)。

また、身近なみどりについての設問と比較すると、街路樹は身近なみどりとしても、杜の都を表現するみどりとしても高く認識されており、都心部、住宅地の両地区において街路樹が充実していることがうかがえる(40ページ、身近なみどりと杜の都のみどりの比較)。

満足度については、量・質ともに十分である、量・質ともに不十分であると感じる人がともに約3割となっているが、前回調査と比較し、特に量に関する満足度が高まり、量・質ともに不十分であるという回答の割合が減少している(42ページ、問14及び46ページ、2012年アンケートとの比較)。

### 3. これから先の仙台市のみどりのまちづくりについて

#### (1) 樹林地などの身近なみどりの保全について

市街地にある樹林地などの自然のみどりの保全と都市開発との調和については、前回調査と同様に、みどりを残すべき又は回復させるべきだという回答が合わせて9割を超えており、大部分を占めている(47ページ、問15及び48ページ、2012年アンケートとの比較)。

また、個人などの土地のみどりの取り扱いについては、保全すべきだと考えている人は7割を超えており、前回調査からあまり変化はみられない。一方で、新たに選択肢に追加した町内会等が保全活動に参加するが2割を超えているが、法律などによる土地利用の規制や、市民や企業等からの募金は減少している(49ページ、問16及び51ページ、2012年アンケートとの比較)。

屋敷林（居久根）や社寺林の保全の方向性については、残すべき又は回復させるべきだという回答が合わせて約9割となっており、大部分を占めている（52 ページ、問 17）。

屋敷林（居久根）や社寺林の活用の方向性については、公開し見学できるようにすることや屋敷林（居久根）等を拠点とした情報発信施設の整備がそれぞれ約3割となっている（54 ページ、問 18）。

## **(2)市街地の緑化について**

市街地で重点を置くべき緑化箇所は公園・緑地や道路（街路樹など）が最も多く選ばれ、日常生活に身近な場所の緑化が求められていると考えられる（55 ページ、問 19）。

また、みどりの増加に必要な行政の取り組みについては、緑化義務や開発規制についての法律・条例の強化及び補助金支給や苗木配布などの助成制度が合わせて約6割の人に選ばれているが、前回調査から法律・条例の強化の割合が約1割減少している（59 ページ、問 20 及び 61 ページ、2012 年アンケートとの比較）。

緑化活動に必要な行政の支援については、緑化技術・緑化制度などの情報提供や緑化イベントの開催が2割を超えている（62 ページ、問 21）。

## **(3)公園について**

住まいの近くの公園について、利用頻度は、定期的に利用する人の割合が4割弱であり、ほとんど利用しない人の約5割を下回っている。また、近くに公園がないという回答も約1割あり、住まいの近くの公園の整備や利用促進を図る必要がある（64 ページ、問 22）。

住まいの近くの公園の役割については、子どもが遊べる、運動ができるなど、日常的な利用や機能を求める回答が多く、また、前回調査と比較して災害時の避難場所としての機能も高まっており、近年頻発する自然災害の影響によるものと考えられる（68 ページ、問 23 及び 75 ページ、2012 年アンケートとの比較）。

また、満足度については、量・質ともに十分であるや量は十分だが、質はよくない、量・質ともに不十分であると感じる人がそれぞれ3割程度となっている（76 ページ、問 24）。

仙台市内で増やしてほしい公園について、日常的な憩いの場となる公園や防災機能が充実した公園が多く選ばれ、常時と災害時の両面で利用できる公園の整備が必要であると考えられる（83 ページ、問 25）。

## **(4)「都心部」と「住宅地」の街路樹について**

全体として、都心部の街路樹より住宅地の街路樹の方が量・質ともに不十分であると感じている人が多いが、前回調査と比較すると、住宅地は量・質ともに十分であると感じる人の割合が増加し、量・質ともに不十分であると感じている人の割合が減少しているなど満足度が高まっている（89 ページ、問 26 及び 95 ページ、2012 年アンケートとの比較）。

街路樹に期待されている機能は都心部と住宅地で異なり、都心部では気候緩和など都市環境を改善するような機能が重視される一方、住宅地では紅葉などにより季節感を与えるが最も選ばれるなど自然を感じさせる機能が重視されている（98 ページ、問 27）。

高木の街路樹の管理方法としては、数年に1回程度の強い剪定で現在の樹木を活かすという回答が最も多く、前回調査と同様の結果であるが、割合としては、回答に新たな選択肢が

追加されたことを受けて、すべての選択肢で割合が減少している（105 ページ、問 28 及び 108 ページ、2012 年アンケートとの比較）。

#### **(5)定禅寺通・青葉通のケヤキ(街路樹)について**

定禅寺通・青葉通のケヤキについては、状態の悪いケヤキを順に植え替えると若々しく現在の並木を保つために計画的に植え替えるが合わせて 6 割を超えており、今の景観を維持する管理方法が求められていると考えられる（109 ページ、問 29）。

年代別にみると、20 代、60 代は約 4 割が状態の悪いケヤキを順に植え替えることを望んでおり、各年代に比べると高い。居住地区別では、定禅寺通・青葉通が位置する青葉区とその他の区では大きな違いはみられない（110～111 ページ、年代別、居住地区別）。

#### **(6)河川について**

仙台市の河川への親しみについては、全体では非常に身近に感じると身近に感じるの合計よりもあまり身近に感じないと身近に感じないの合計の割合の方が多くなっている（112 ページ、問 30）。

水辺の空間を利用するために必要なものについては、前回調査と同様に、駐車場やトイレ・手洗い場などの便益施設、散策路やあずまやなど日常的に利用する施設整備が求められている一方、自然環境の配慮についても求められている（116 ページ、問 31 及び 119 ページ、2012 年アンケートとの比較）。

### **4. みどり豊かなまちづくりへの参加について**

みどり豊かなまちづくりのために実践している活動は、自宅のベランダ等を花で飾るや家庭菜園づくりが多く、次いで、自宅の塀の生垣化や庭木の増加が多くなっている（120 ページ、問 32）。これから実践したい活動も同様に自宅のベランダ等を花で飾る等に加えて、身近な公園等の清掃やみどりに関する基金への協力なども挙げられている（126 ページ、問 33）。

緑化活動に参加するための条件については、活動のための時間などを自由に選べることや同じ目的を持った仲間がいることなどが求められている（133 ページ、問 34）。

みどり豊かなまちづくりのために最も必要なことについては、緑化に取り組みやすくなるような政策づくり（体制の整備）や市民・市民活動団体・事業者・行政の協働などが挙げられている（135 ページ、問 35）。

### **5. 「グリーンインフラ」について**

グリーンインフラという言葉について、約 8 割がいいえ（知らない）と回答しているが、多くの人がグリーンインフラを取り入れたまちづくりを推進すべきであると考えている（137 ページ、問 36 及び 139 ページ、問 37）。

年代別にみると、50 代以上はグリーンインフラの認知度が比較的高く、70 代では約 3 割がグリーンインフラという言葉を知っている（138 ページ、年代別）。

グリーンインフラを取り入れたまちづくりについては、推進すべきである、どちらかといえば推進すべきであるの合計が、各年代で 7 割以上となっている（140 ページ、年代別）。

## 第4章 調査結果の分析

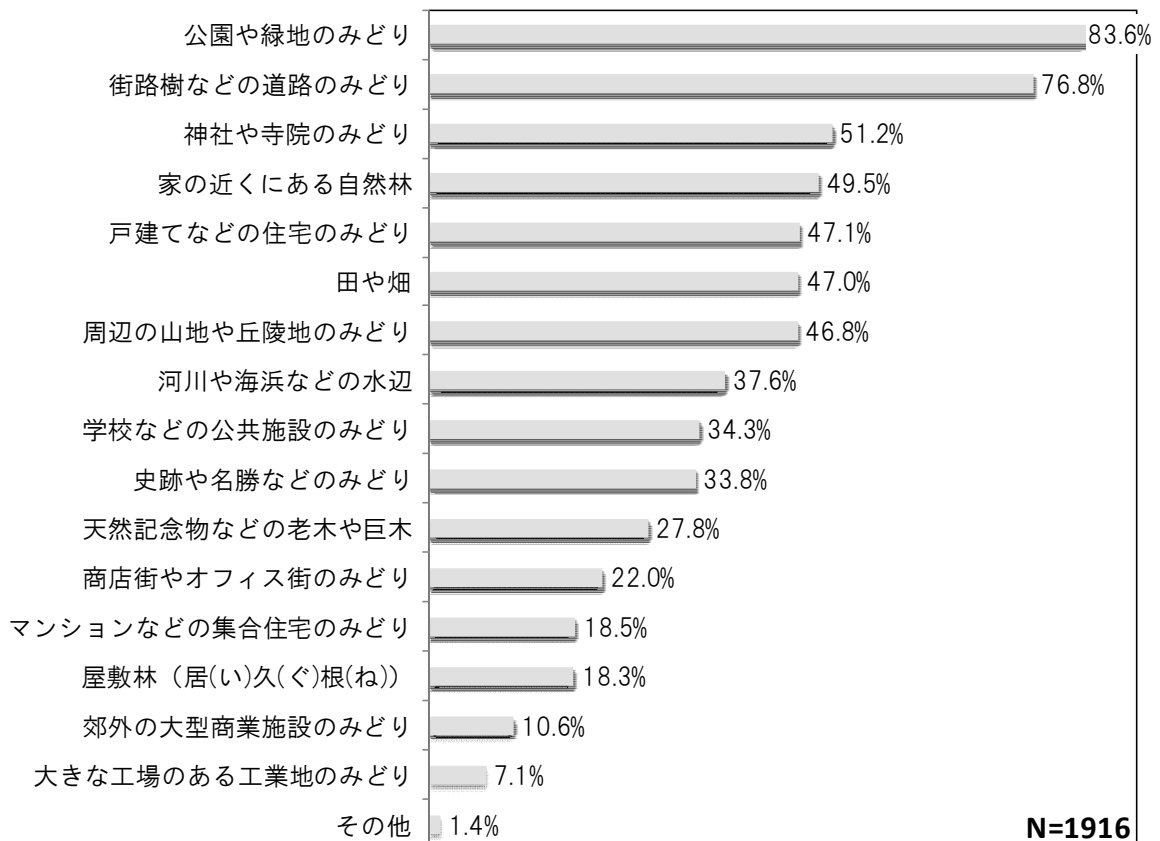
### 1. 身近なみどりについて

#### (1) 身近なみどり

身近なみどりについては、「公園や緑地のみどり」(83.6%)が最も多く、次いで「街路樹などの道路のみどり」(76.8%)、「神社や寺院のみどり」(51.2%)、「家の近くにある自然林」(49.5%)、「戸建てなどの住宅のみどり」(47.1%)となっている。

問8 あなたにとっての身近なみどりとは何ですか。

「身近なみどり」とは、あなたのお住まいの近くにあるみどりだけではなく、あなた自身が身近だと感じているみどりも含めます。(あてはまる番号すべてに○)

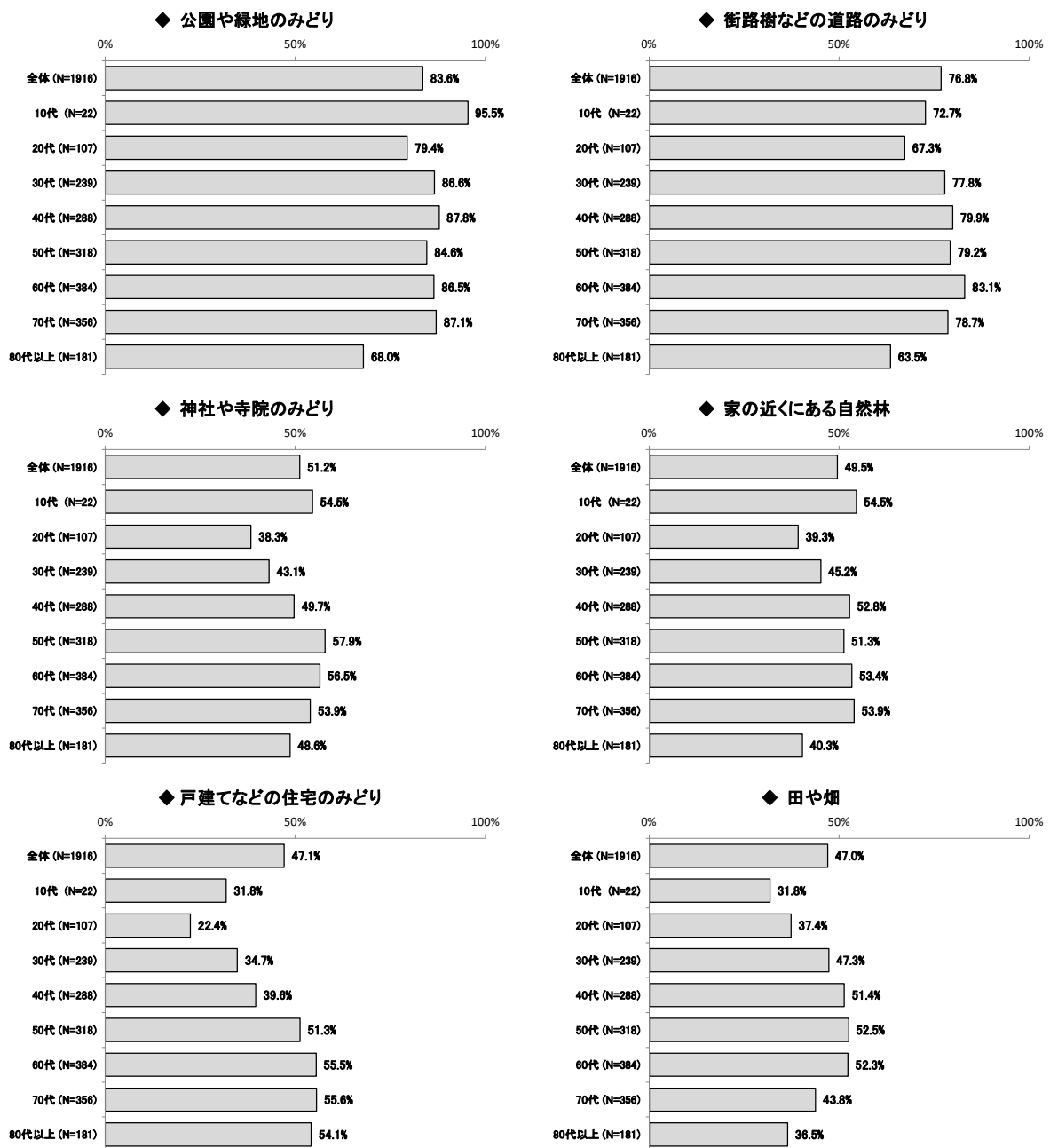


## ● 年代別 ●

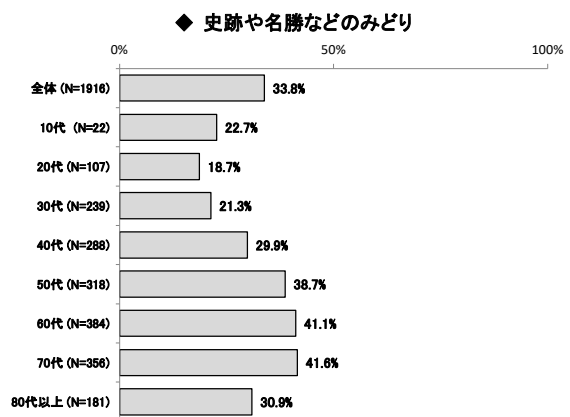
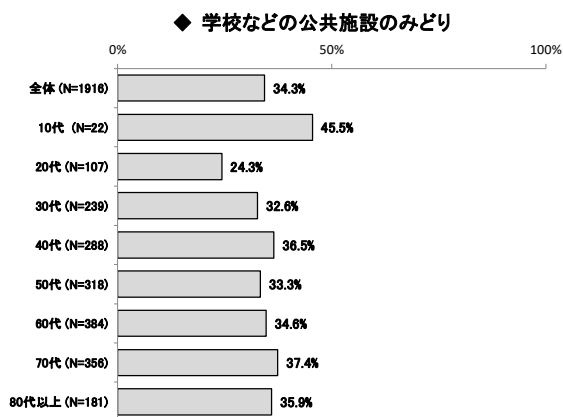
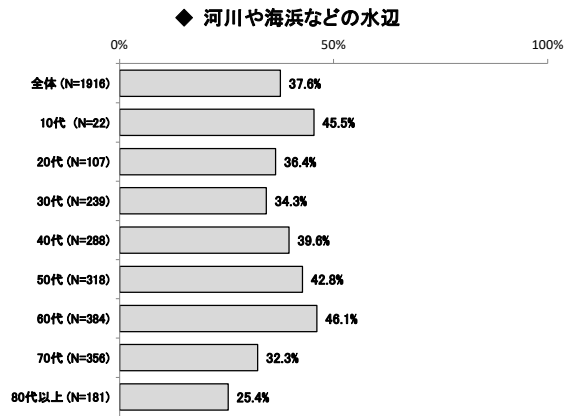
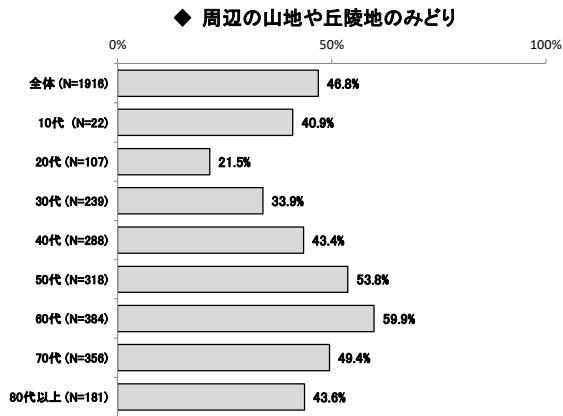
年代別にみると「公園や緑地のみどり」は、【20代】及び【80代以上】以外では、全体の割合を越えている。

また、「街路樹などの道路のみどり」も同様に、【20代】及び【80代以上】以外では、7割を越えており、特に【80代以上】に関しては、上位項目の中でも割合が少ないものが見受けられる。

※上位10項目のみ抜粋





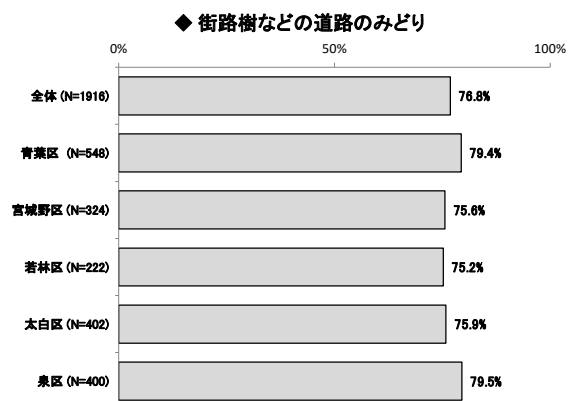
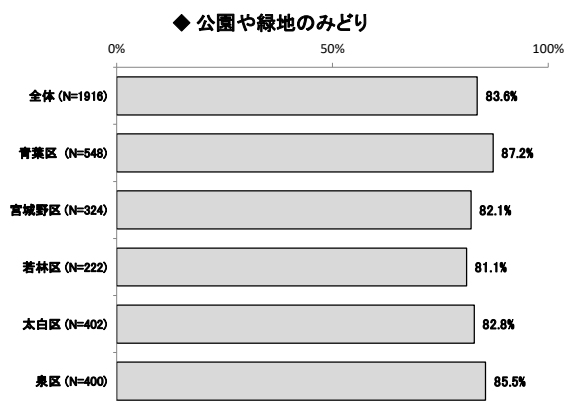


## ● 居住地区別 ●

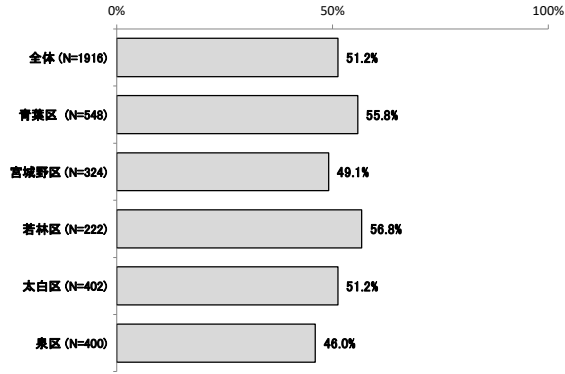
居住地区別にみると【泉区】が多くの項目において上位を占めている。

【宮城野区】や【若林区】は他の区に比べて、「家の近くにある自然林」や「周辺の山地や丘陵地のみどり」が少なくなっている。

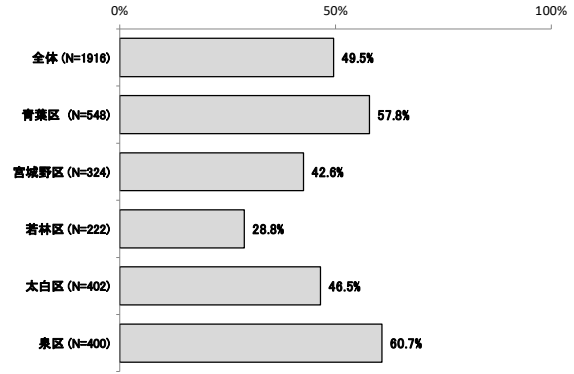
※上位 10 項目のみ抜粋



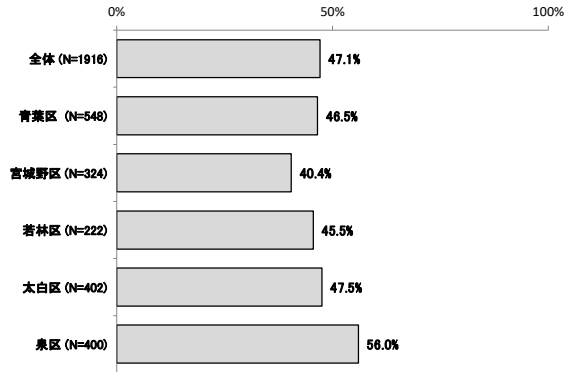
◆ 神社や寺院のみどり



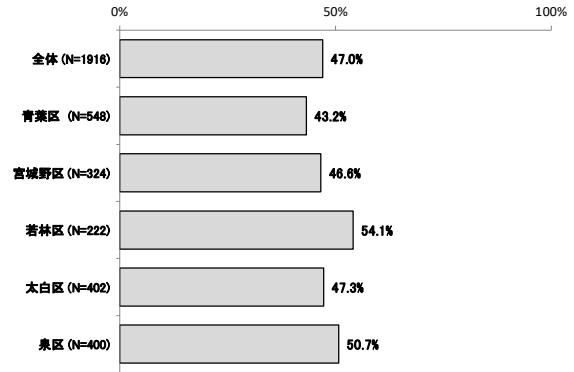
◆ 家の近くにある自然林



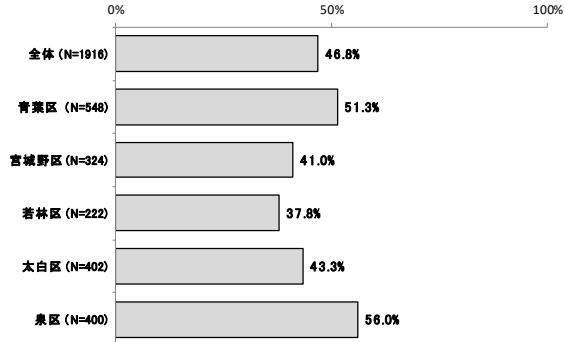
◆ 戸建てなどの住宅のみどり



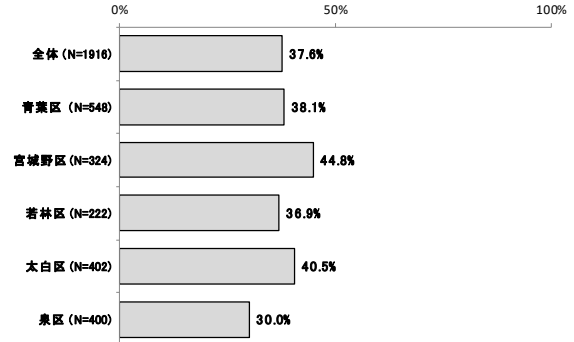
◆ 田や畑



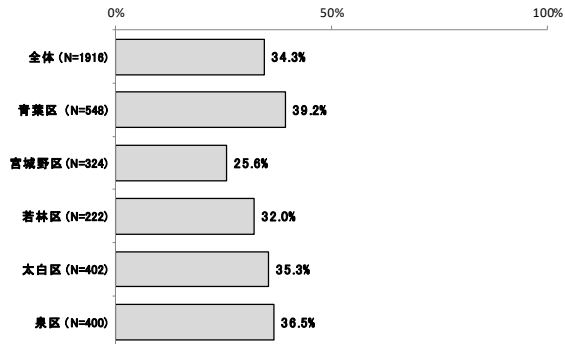
◆ 周辺の山地や丘陵地のみどり



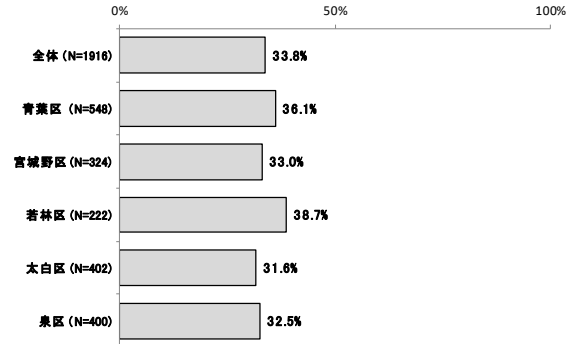
◆ 河川や海浜などの水辺



◆ 学校などの公共施設のみどり

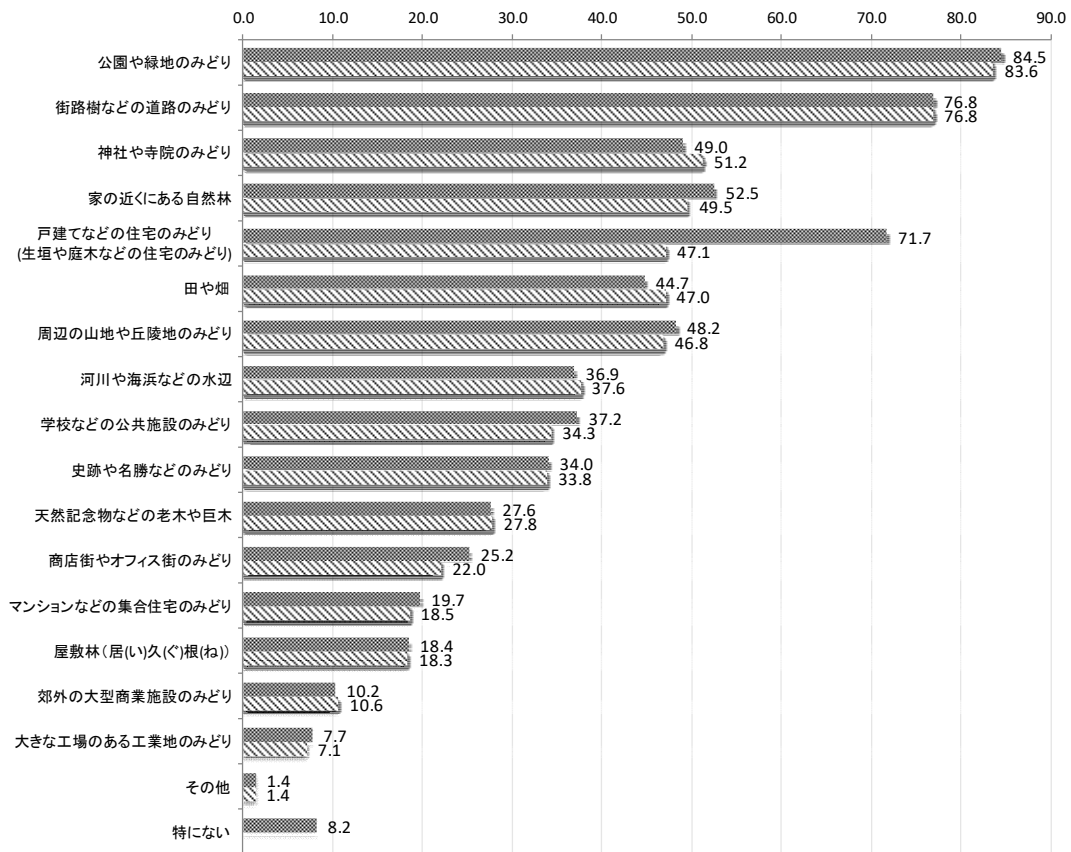


◆ 史跡や名勝などのみどり



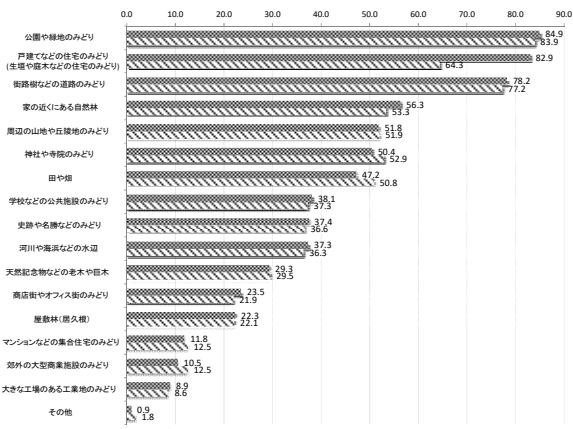
## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年実施のみどりの市民意識調査の結果と比較すると、「戸建てなどの住宅のみどり」(2012年時「生垣や庭木などの住宅のみどり」)が約7割から約5割と減少している。現在の住まい別で比較しても「戸建てなどの住宅のみどり」は住まいの形態に関係なく減少しているが、特に集合住宅で大きく減少している。



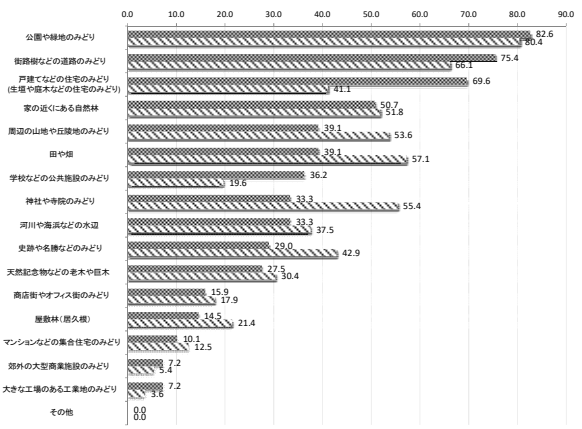
■ 2012    ▨ 2019

◆持ち家(一戸建て)



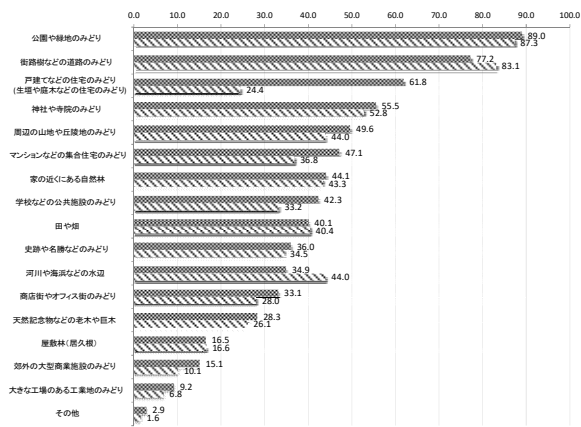
※2012、2019

◆賃貸住宅(一戸建て)



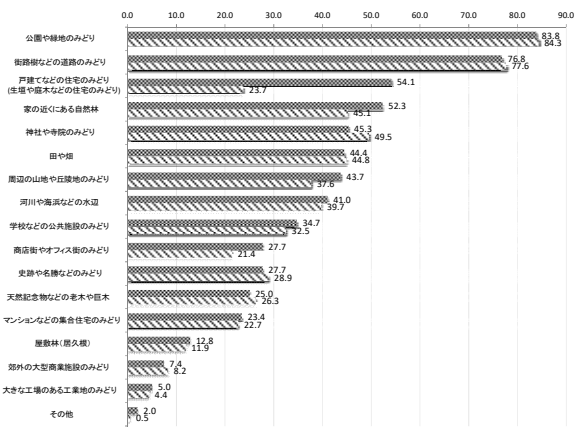
※2012、2019

◆持ち家(集合住宅)



※2012、2019

◆賃貸住宅(集合住宅)



※2012、2019

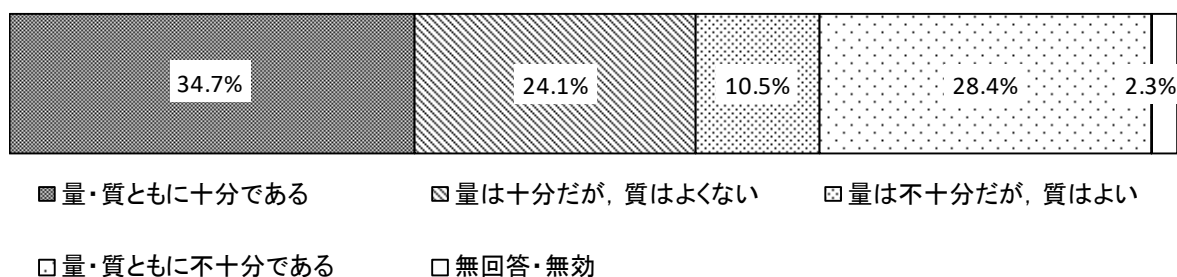
## (2)身近なみどりの満足度

身近なみどりの満足度については、「量・質ともに十分である」(34.7%)が最も多く、次いで「量・質ともに不十分である」(28.4%)、「量は十分だが、質はよくない」(24.1%)、「量は不十分だが、質はよい」(10.5%)となっている。

問9 現在の身近なみどりの量や質についてどのような印象を持っていますか。

※「質」とは、みどりが持っている機能のことで、具体的には、生活環境を良くする、生物を保全する、景観を美しくする、癒し(いやし)になるなどの機能のことです。

(あてはまる番号1つに○)

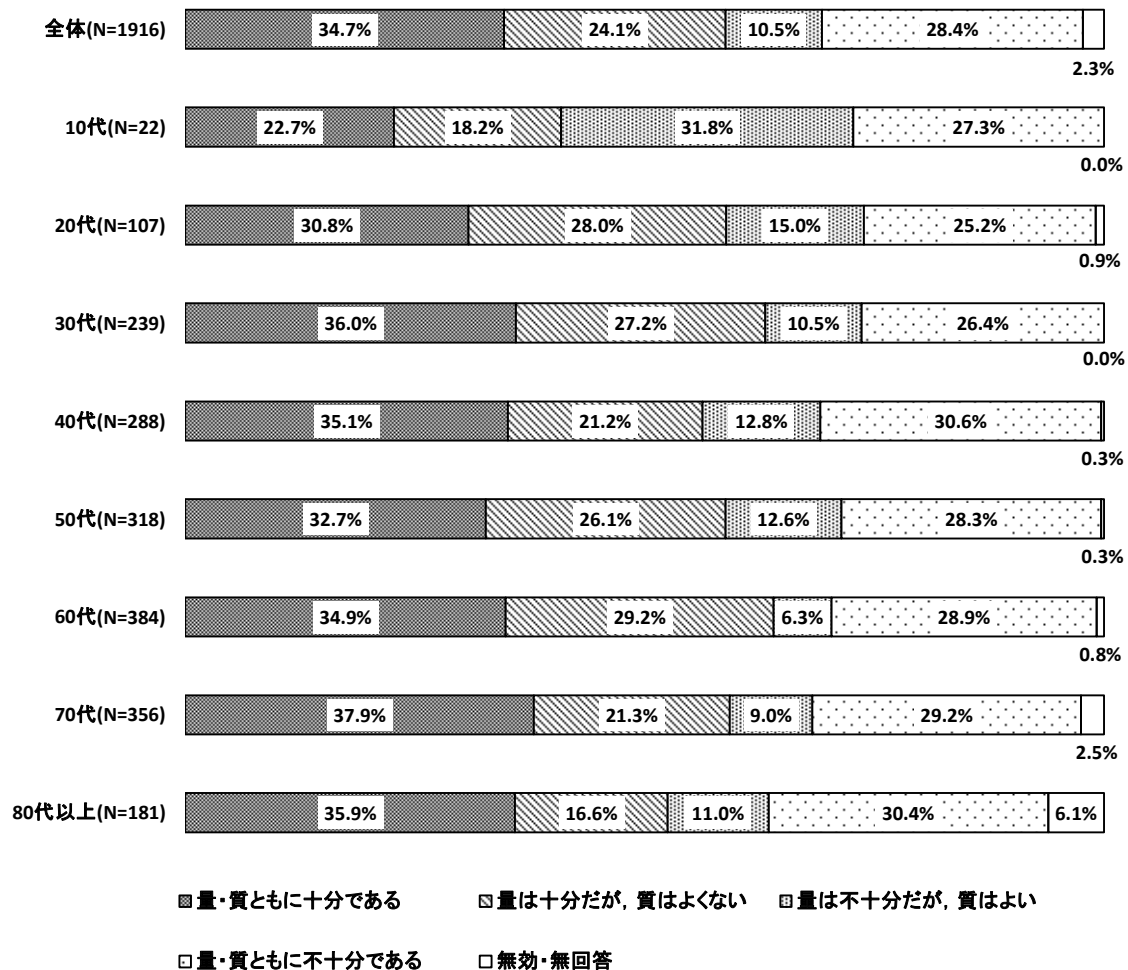


N=1916

## ● 年代別 ●

年代別にみると、「量・質ともに十分である」は、【70代】(37.9%)が最も多く、【10代】を除く各年代で3割を超えている。

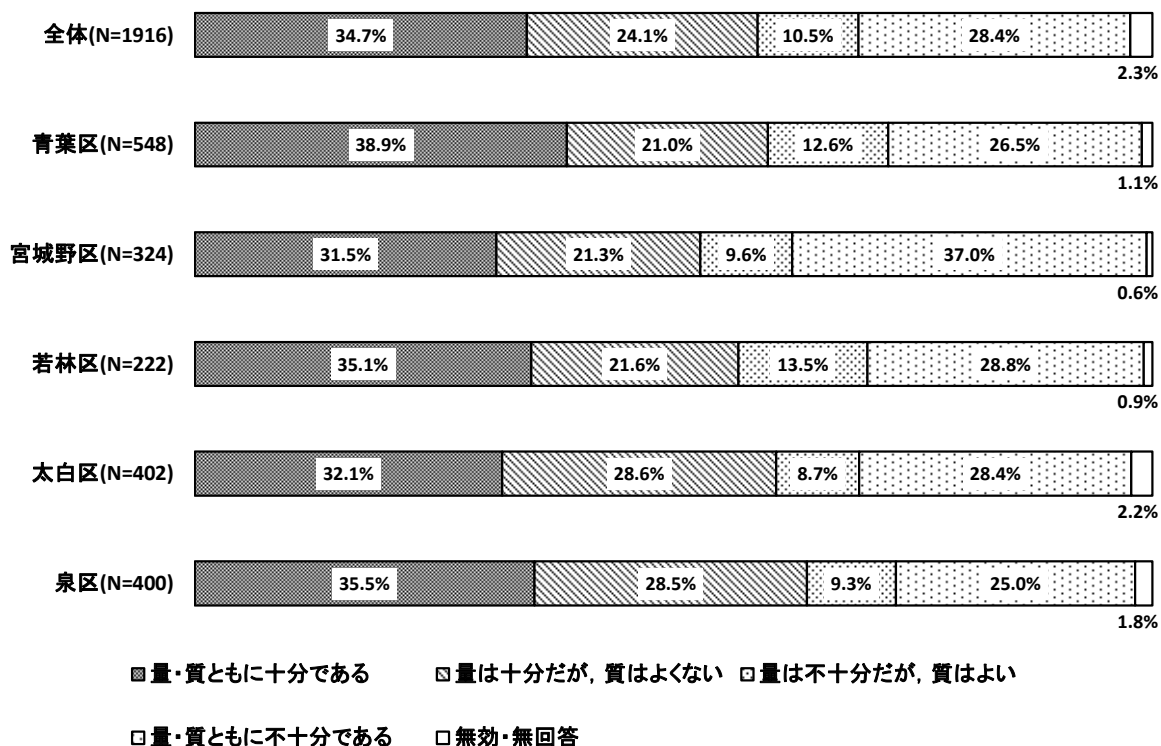
一方、「量・質ともに不十分である」は、【40代】(30.6%)、【80代以上】(30.4%)のみ3割を超えている。



## ● 居住地区別 ●

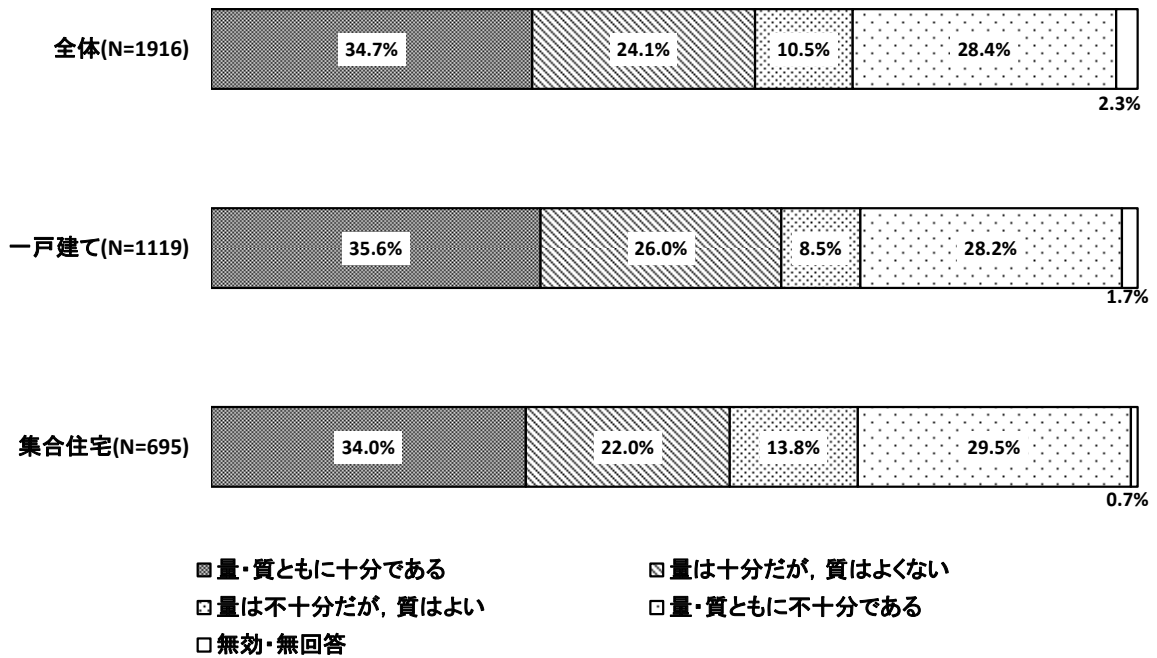
居住地区別にみると、「量・質ともに十分である」は、【青葉区】で38.9%、【泉区】で35.5%と、他の区に比べて多くなっている。

一方、「量・質ともに不十分である」は、【宮城野区】で37.0%と、他の区に比べて多くなっている。



## ● 現在の住まい別 ●

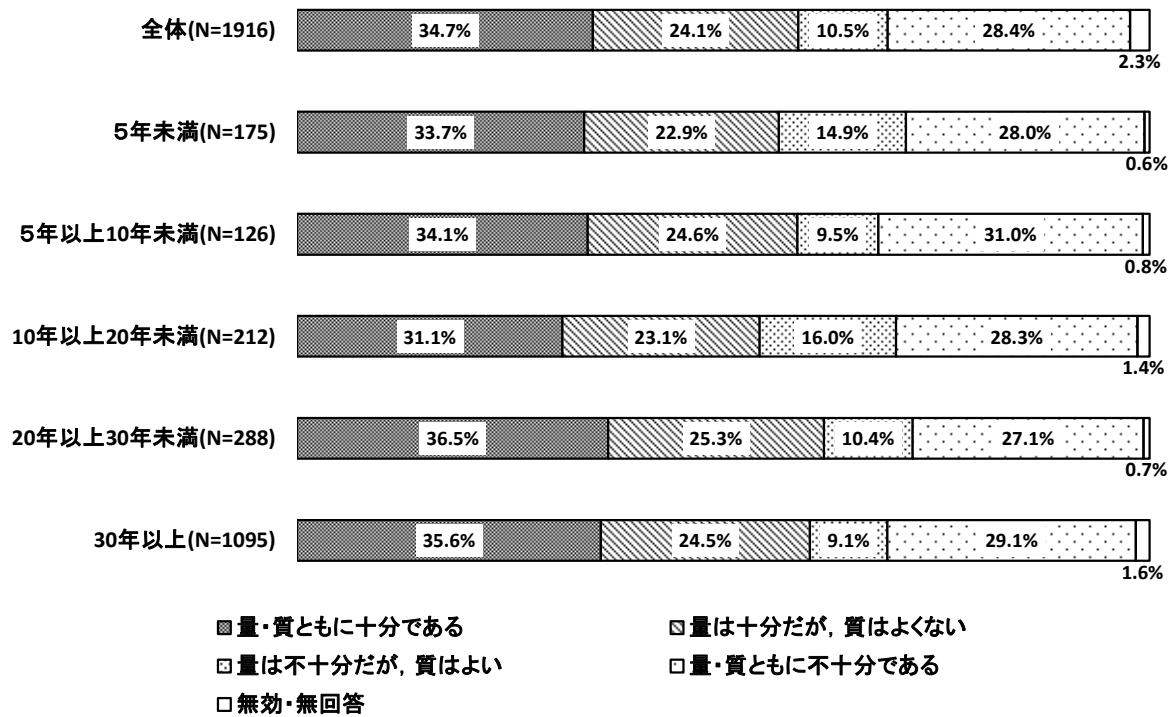
現在の住まい別にみると、【一戸建て】、【集合住宅】共に「量・質ともに十分である」が「量・質ともに不十分である」を上回っている。





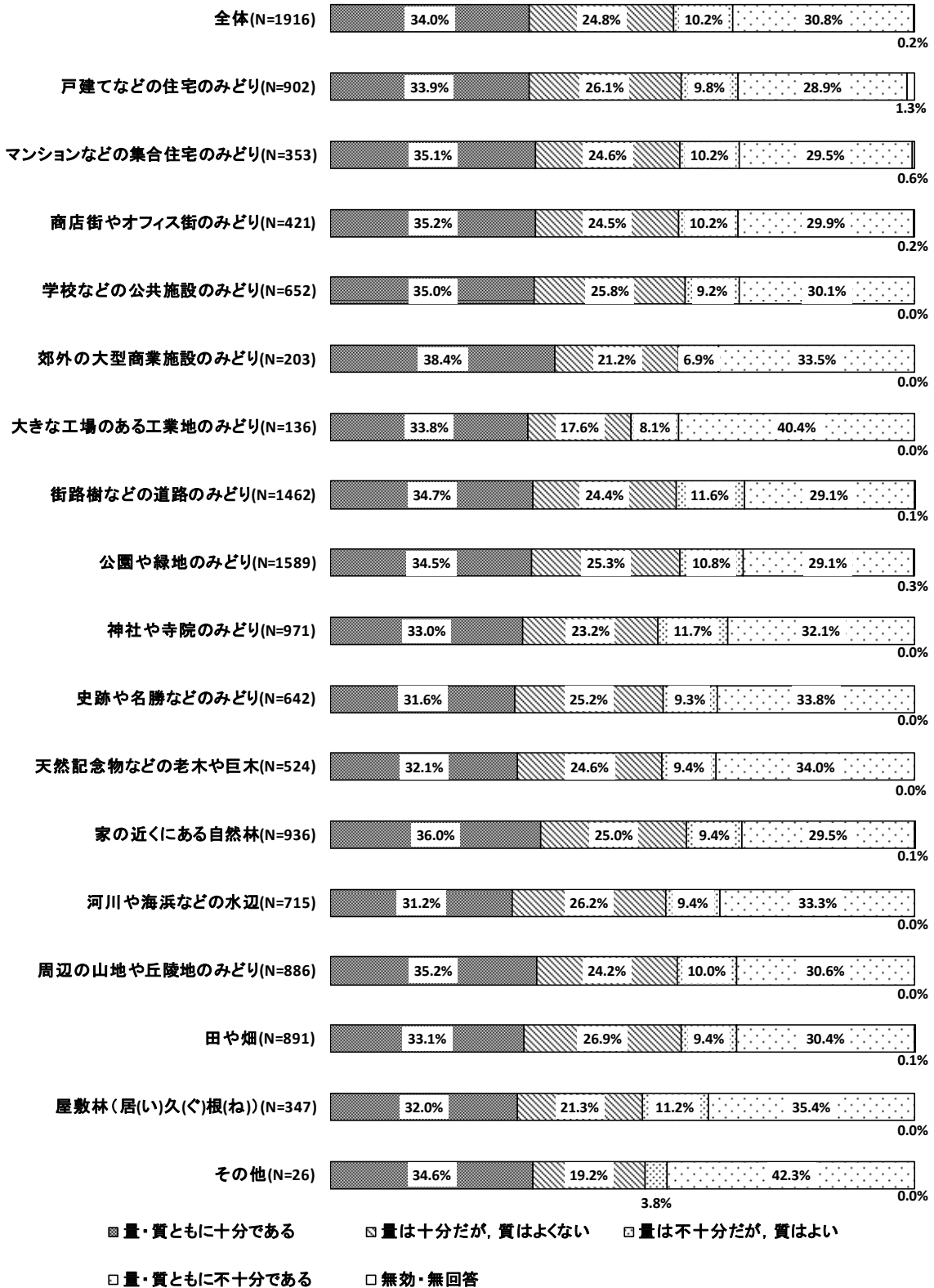
## ● 居住年数別 ●

居住年数別にみると、「量・質ともに十分である」は、【20年以上30年未満】で36.5%と、最も多くなっている。



## ● 身近なみどり(問9)別 ●

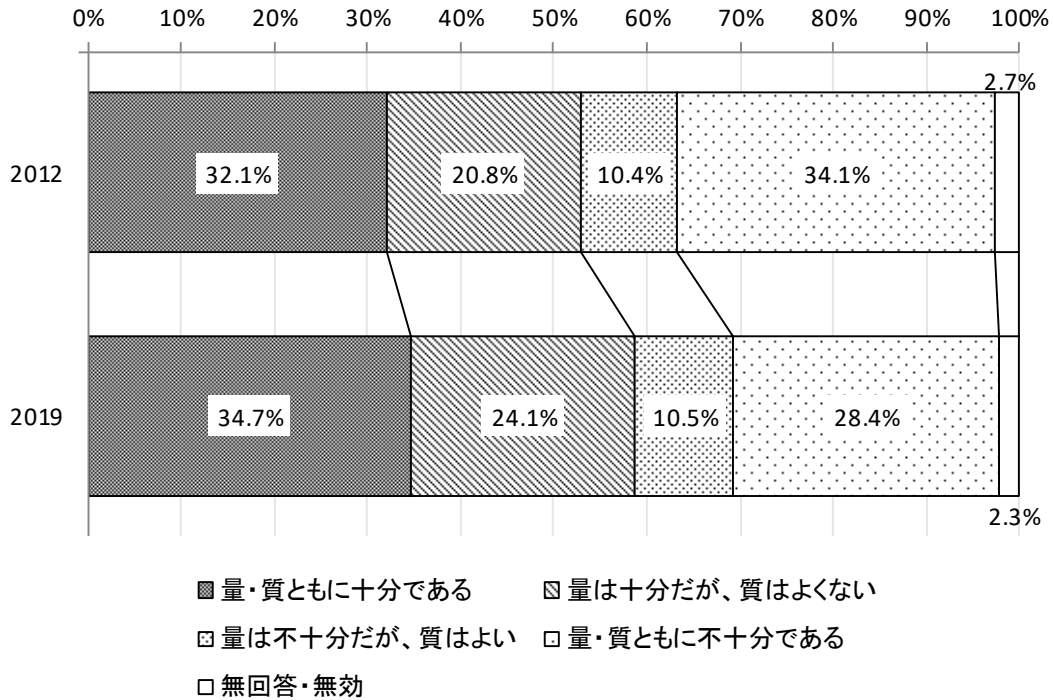
身近なみどり別にみると、「量・質ともに十分である」は、全項目で3割を越えており、「量・質ともに不十分である」は、【大きな工場のある工業地のみどり】(40.4%)のみ4割を超えている。



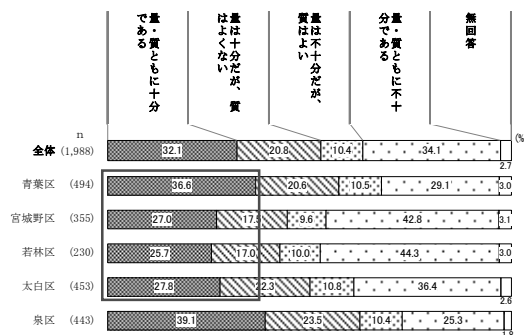
## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年と比較すると、「量・質ともに十分である」が増加し、「量・質ともに不十分」の割合が減少している。

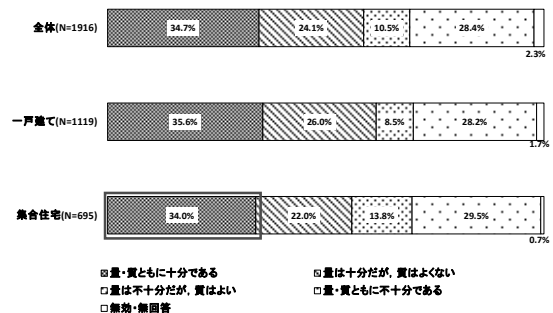
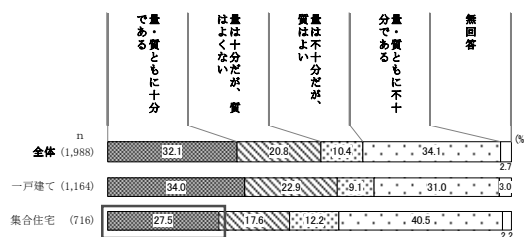
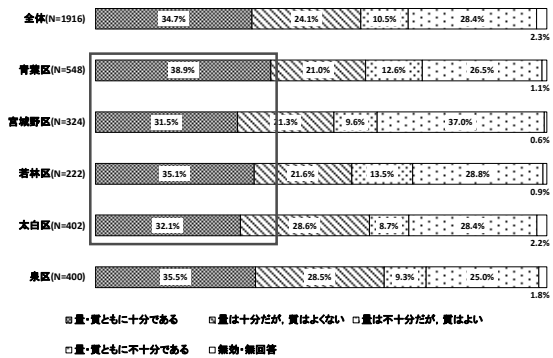
また、居住地区別の【泉区】を除く各区は「量・質ともに十分である」が増加し、現在の住まい別の【集合住宅】は「量・質ともに十分である」が大きく増加している。



「2012年調査」



「2019年調査」

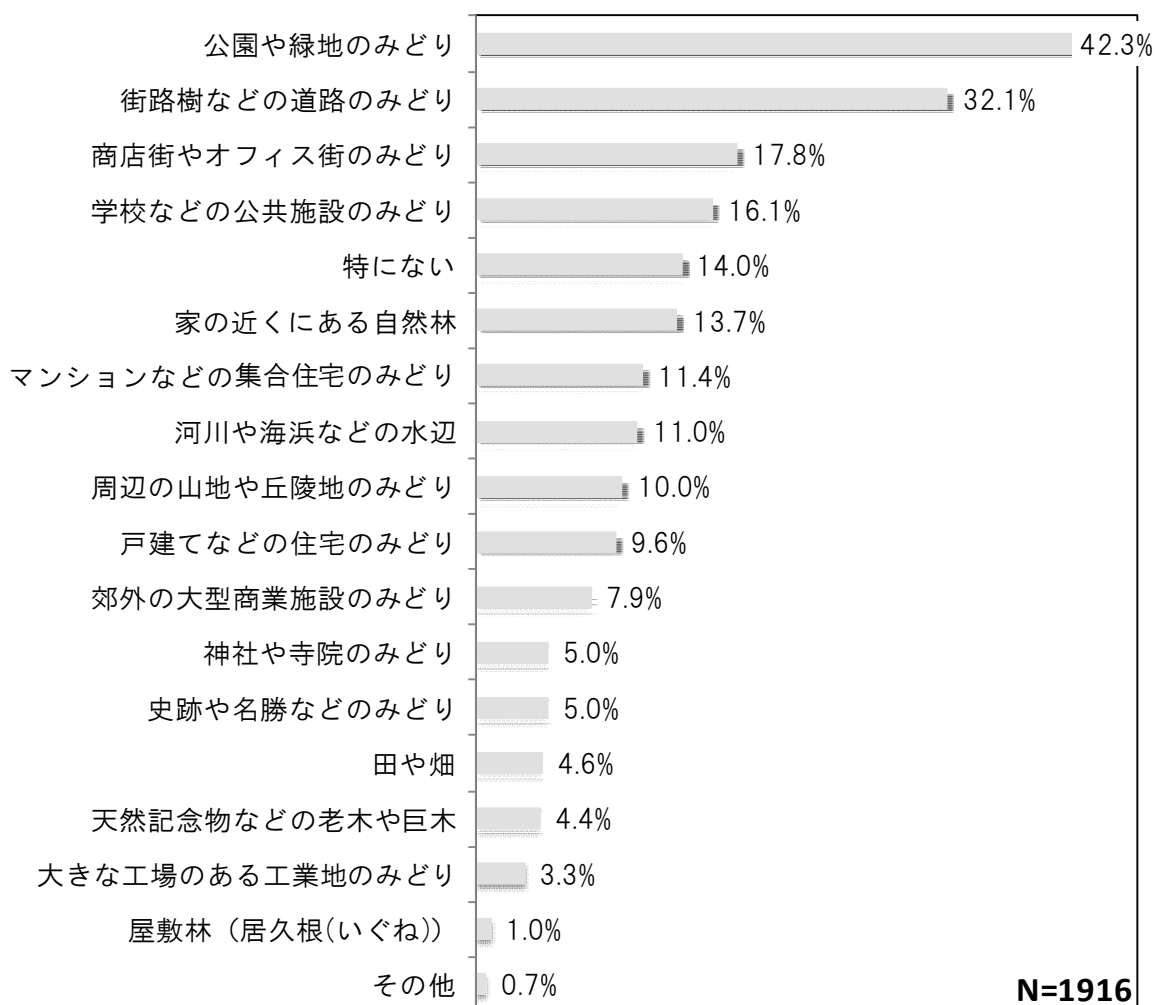


### (3)欲しいと思う身近なみどり

欲しいと思う身近なみどりについては、「公園や緑地のみどり」(42.3%)が最も多く、次いで「街路樹などの道路のみどり」(32.1%)、「商店街やオフィス街のみどり」(17.8%)、「学校などの公共施設のみどり」(16.1%)となっている。

問 10 あなたがもっと欲しいと思う、身近なみどりは何ですか。

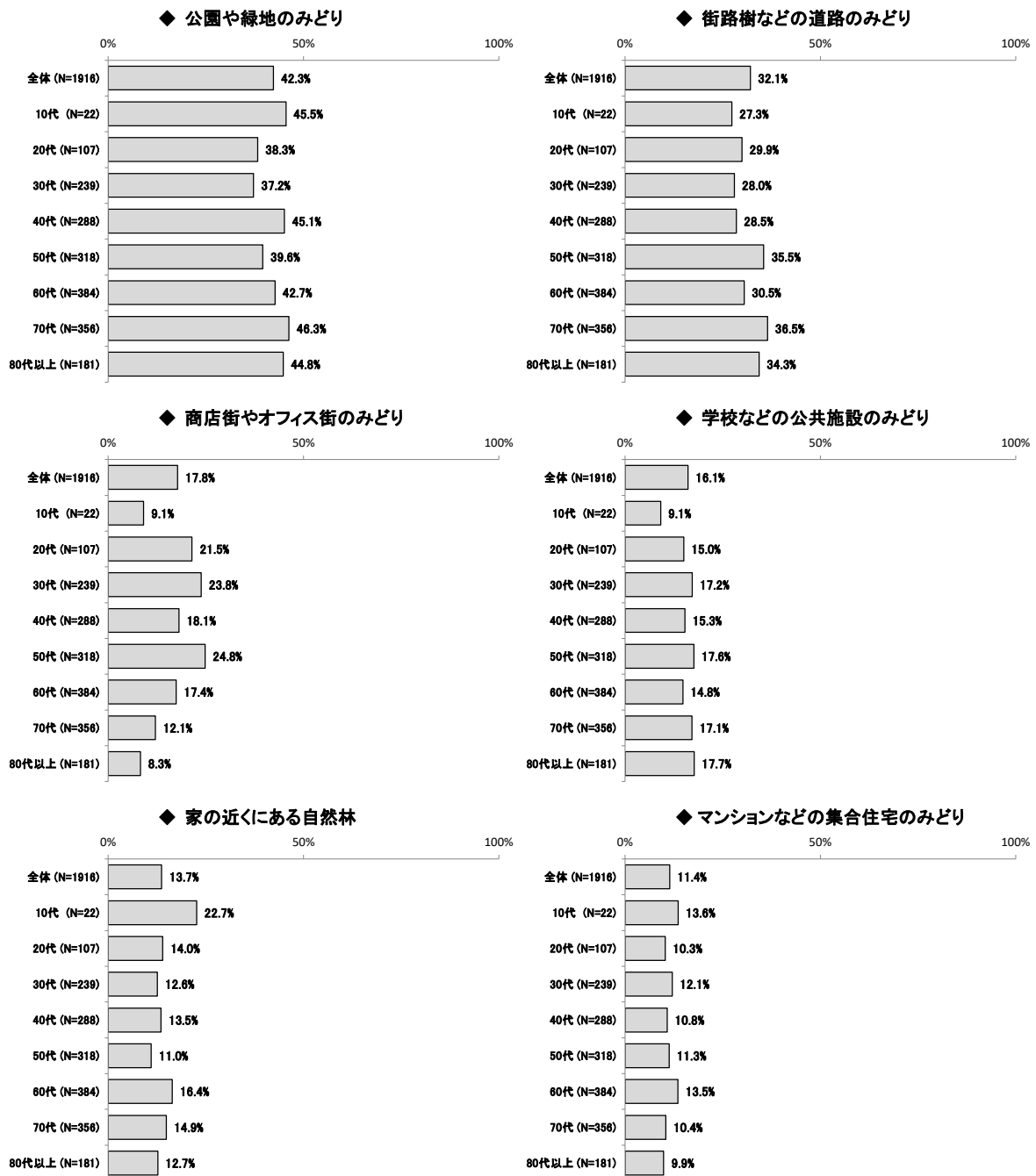
(主にあてはまる番号3つまでに○)



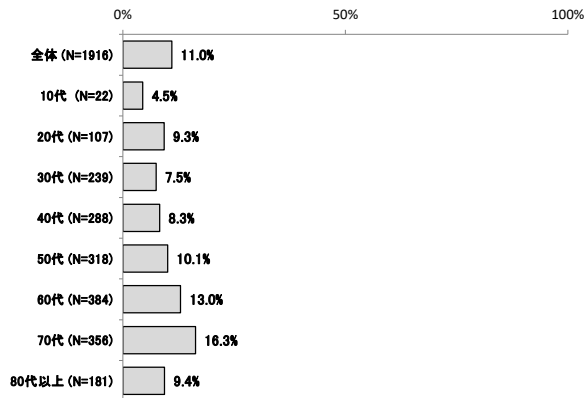
## ● 年代別 ●

年代別にみると、「商店街やオフィス街のみどり」は、【50代】以降の年代では減少している。

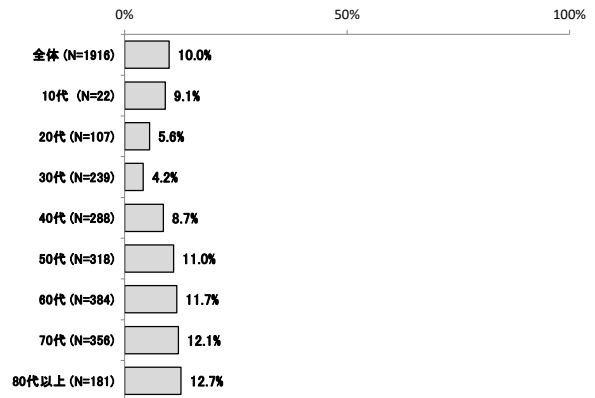
※上位10項目のみ抜粋



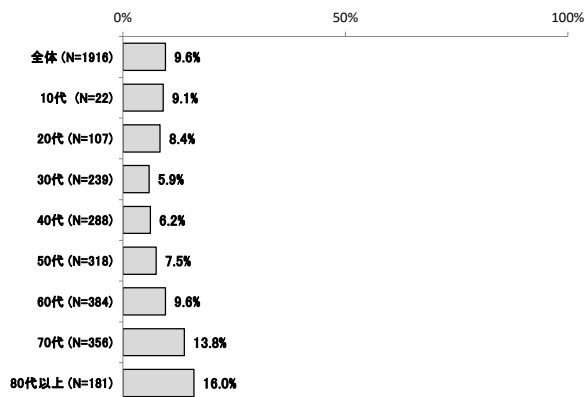
◆ 河川や海浜などの水辺



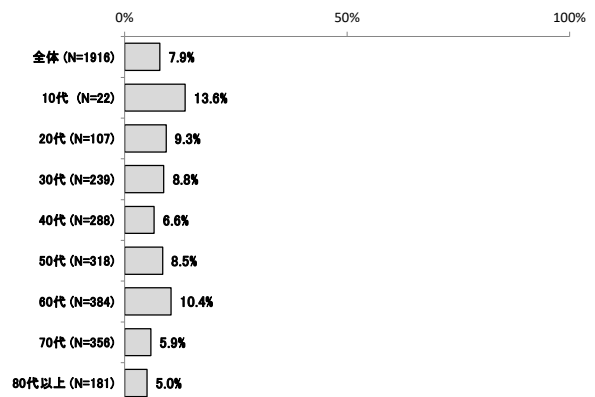
◆ 周辺の山地や丘陵地のみどり



◆ 戸建てなどの住宅のみどり

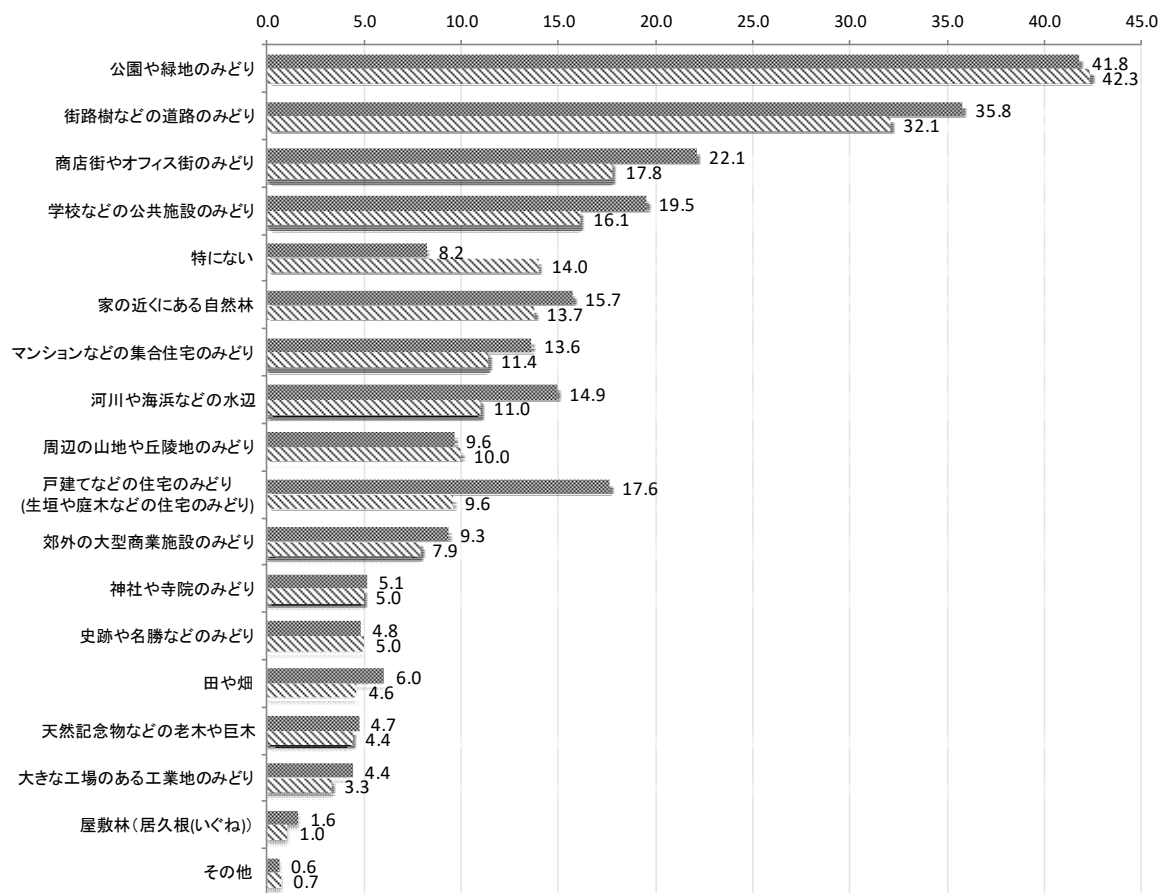


◆ 郊外の大型商業施設のみどり



## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年と比較すると、身近なみどりの満足度が上昇傾向にあり、全体的に大きな変化はみられないが、「戸建てなどの住宅のみどり」のみ大きく減少している。



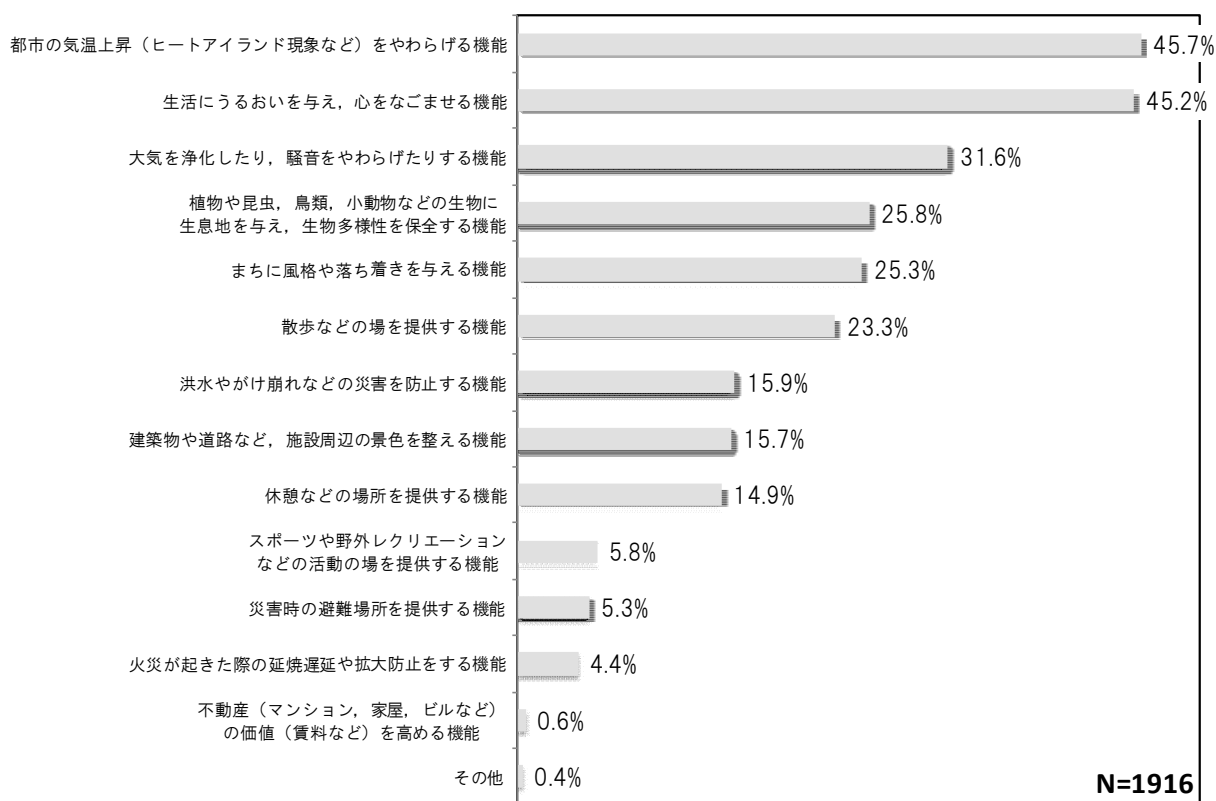
■ 2012年 □ 2019年

#### (4)身近なみどりに期待する機能

身近なみどりに期待する機能については、「都市の気温上昇（ヒートアイランド現象など）をやわらげる機能」（45.7%）が最も多く、次いで「生活にうるおいを与え、心をなごませる機能」（45.2%）、「大気を浄化したり、騒音をやわらげたりする」（31.6%）、「植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する機能」（25.8%）、「まちに風格や落ち着きを与える機能」（25.3%）となっている。

問 11 身近なみどりは皆さんの生活の質を高めるための様々な機能を持っています。身近なみどりの機能の中で、特にあなたが期待するものは何ですか。

（主にあてはまる番号3つまでに○）



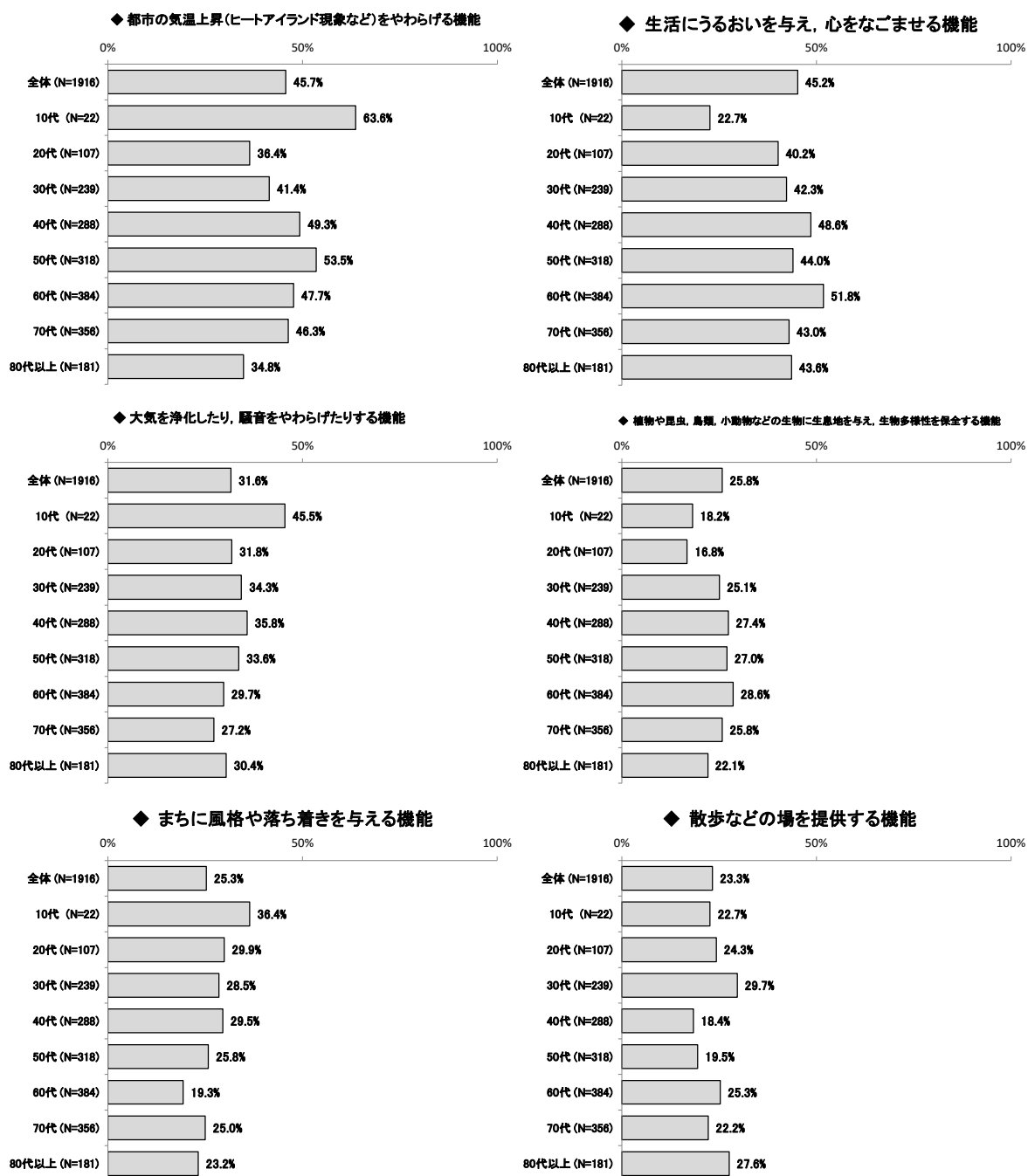


## ● 年代別 ●

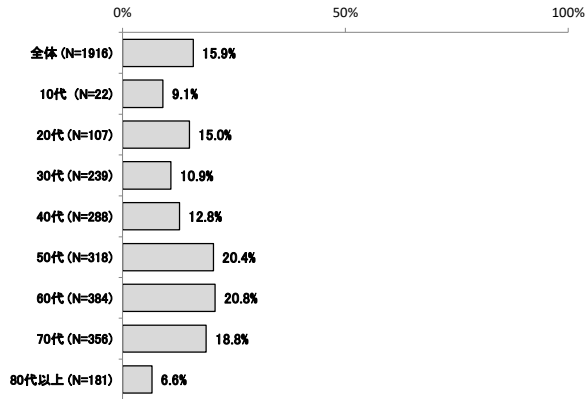
年代別にみると、「生活にうるおいを与え、心をなごませる機能」は、【10代】(22.7%)を除く各年代で4割以上と多くなっている。

また、「建築物や道路など、施設周辺の景色を整える機能」は、【10代】から【30代】は、全体より多くなっている。

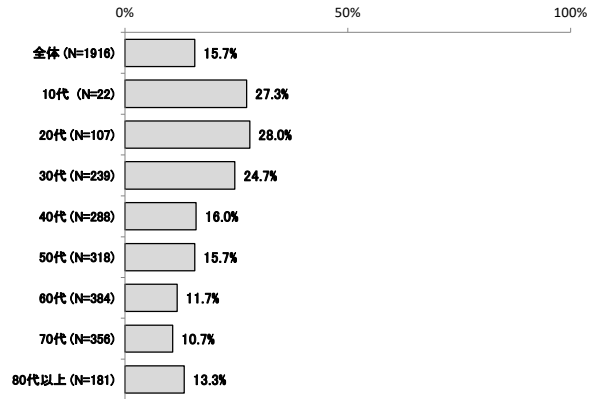
※上位10項目のみ抜粋



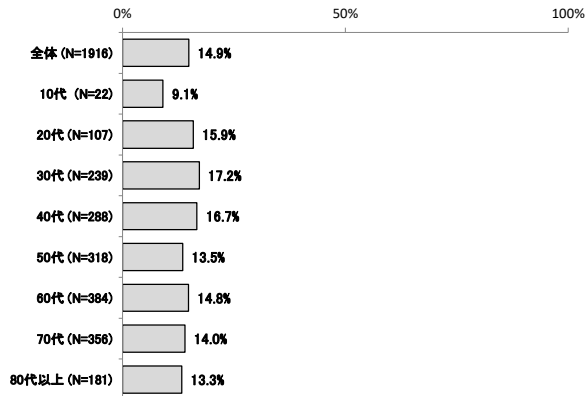
◆ 洪水やがけ崩れなどの災害を防止する機能



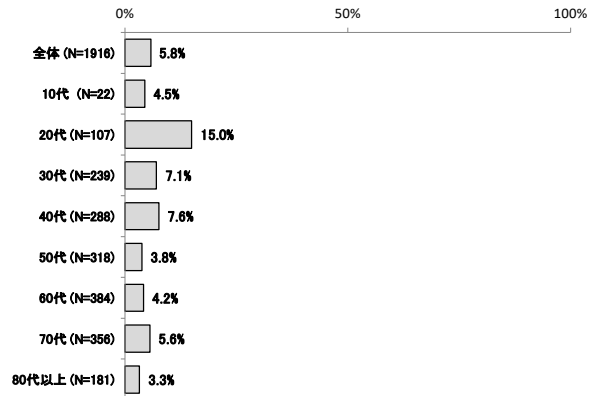
◆ 建築物や道路など、施設周辺の景色を整える機能



◆ 休憩などの場所を提供する機能

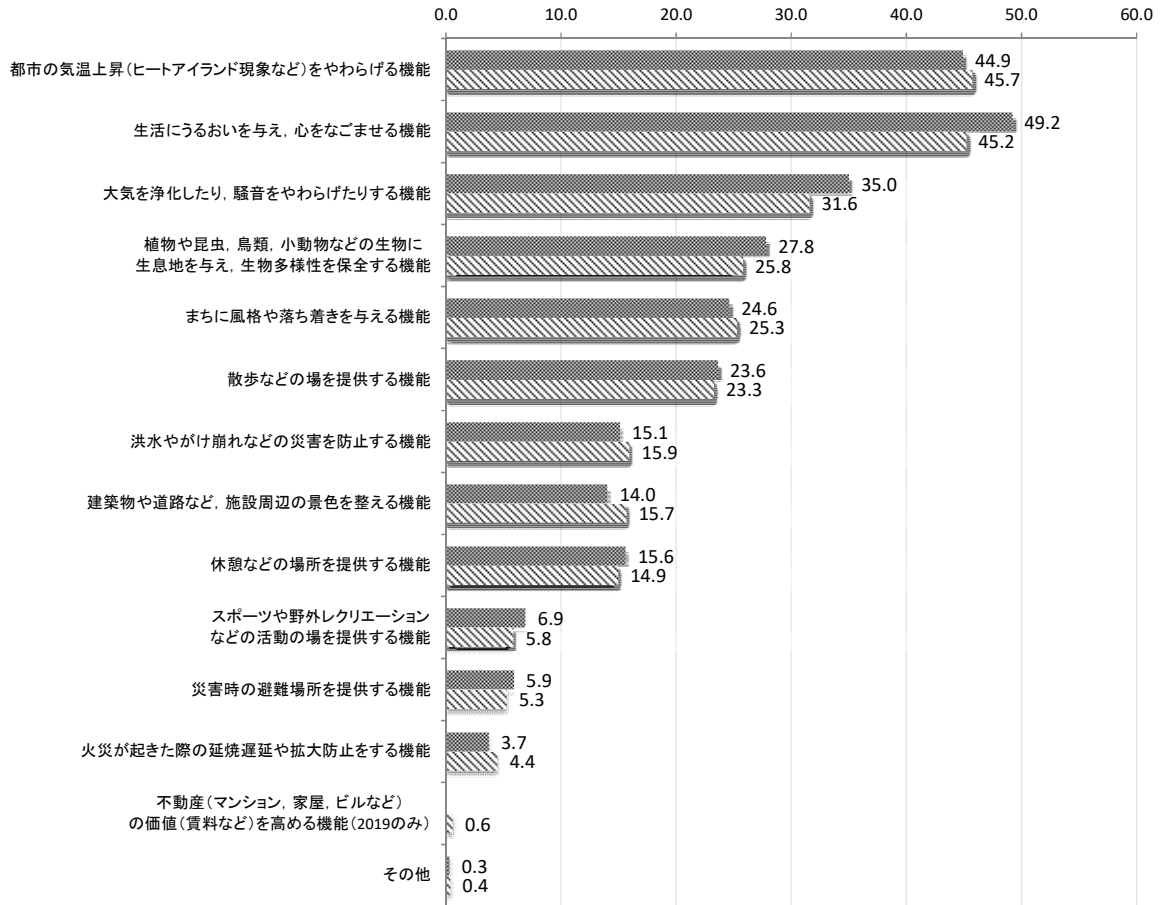


◆ スポーツや野外レクリエーションなどの活動の場を提供する機能



## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年と比較すると、全体的に大きな変化はみられず、気温上昇の軽減やリラックス効果など生活環境を改善する機能への期待が高い。



■ 2012    ▨ 2019

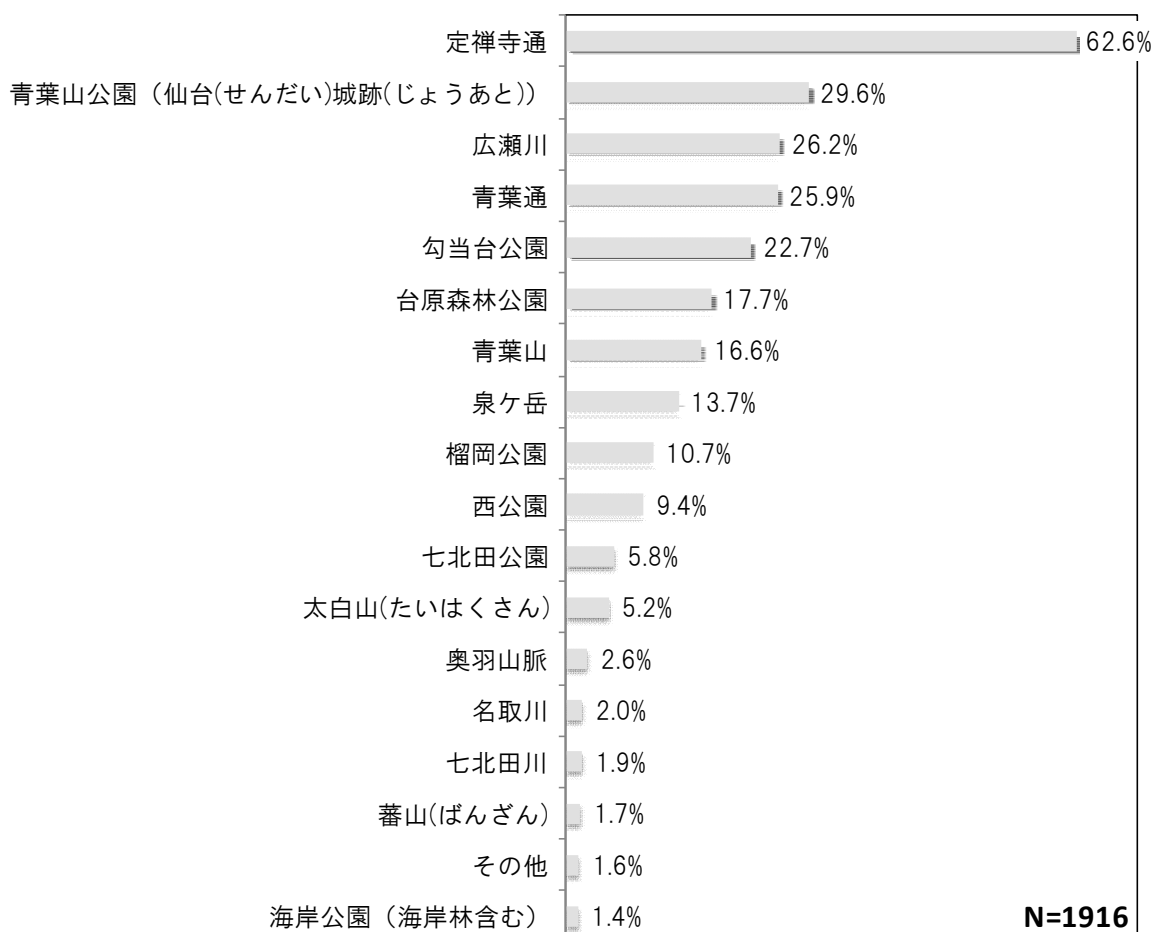
## 2. 「杜の都」という言葉について

### (1)「杜の都」を代表するみどり

「杜の都」を代表するみどりについては、「定禅寺通」(62.6%)が最も多く、次いで「青葉山公園(仙台(せんだい)城跡(じょうあと))」(29.6%)、「広瀬川」(26.2%)、「青葉通」(25.9%)、「勾当台公園」(22.7%)となっている。

問 12 あなたが思う「杜の都」を代表するみどりとは何ですか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)

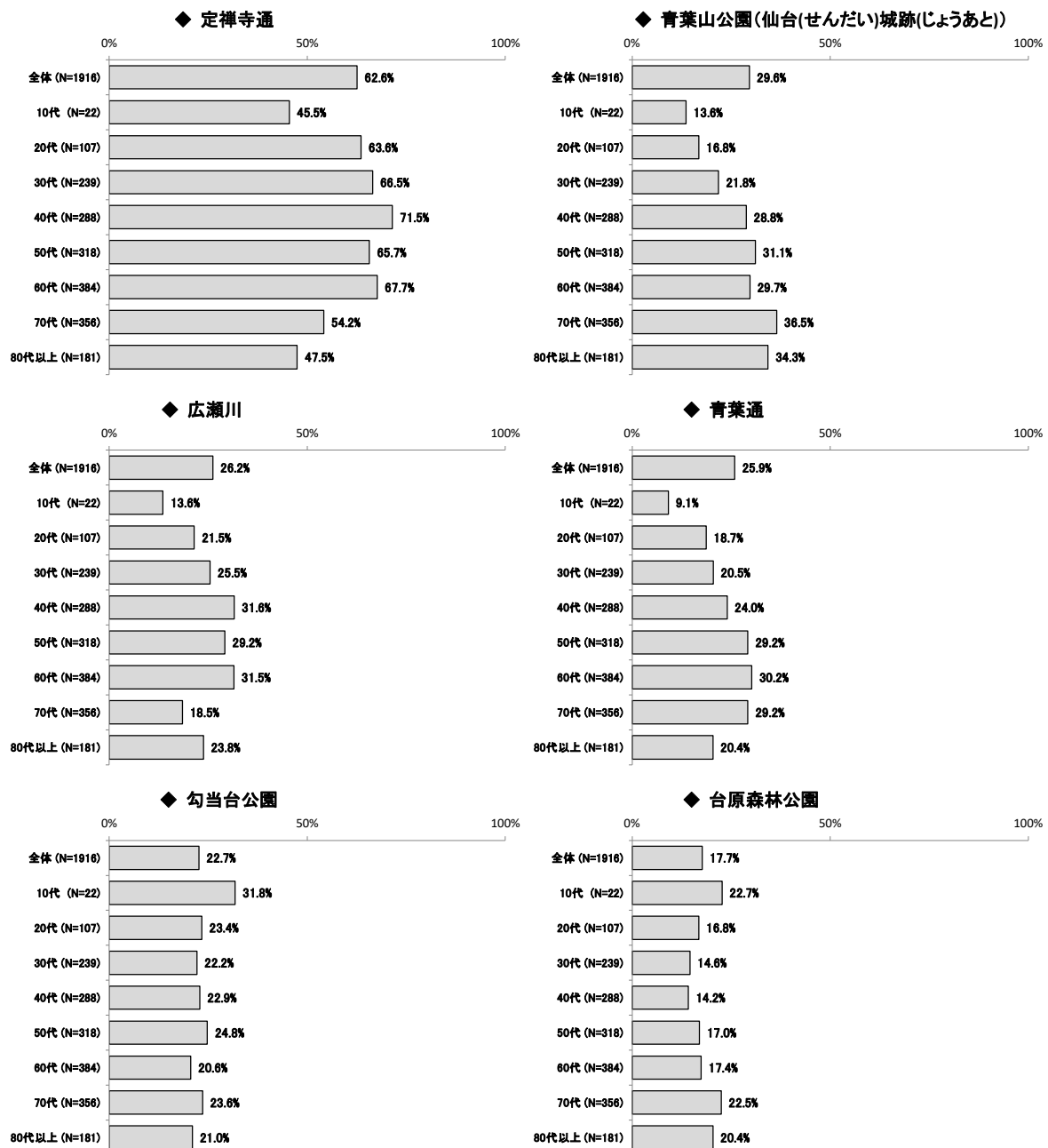


## ● 年代別 ●

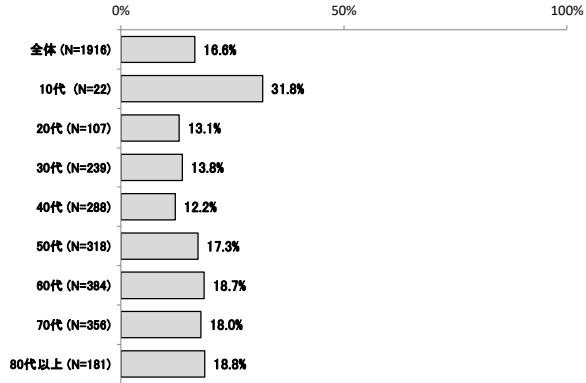
年代別にみると、「定禅寺通」は【40代】(71.5%)をピークに、以降の年代では減少している。

「青葉山公園(仙台(せんだい)城跡(じょうあと))」、「青葉通」は、【80代以上】を除き、【10代】以降は概ね年代が上がるごとに割合が高くなっている。

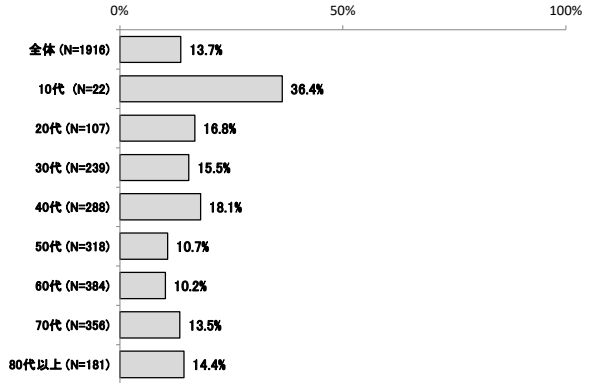
※上位10項目のみ抜粋



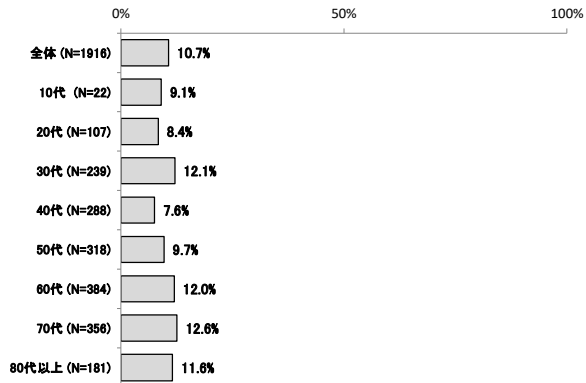
◆ 青葉山



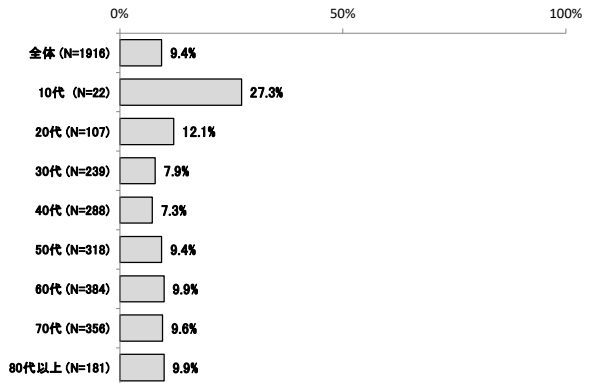
◆ 泉ヶ岳



◆ 榴岡公園



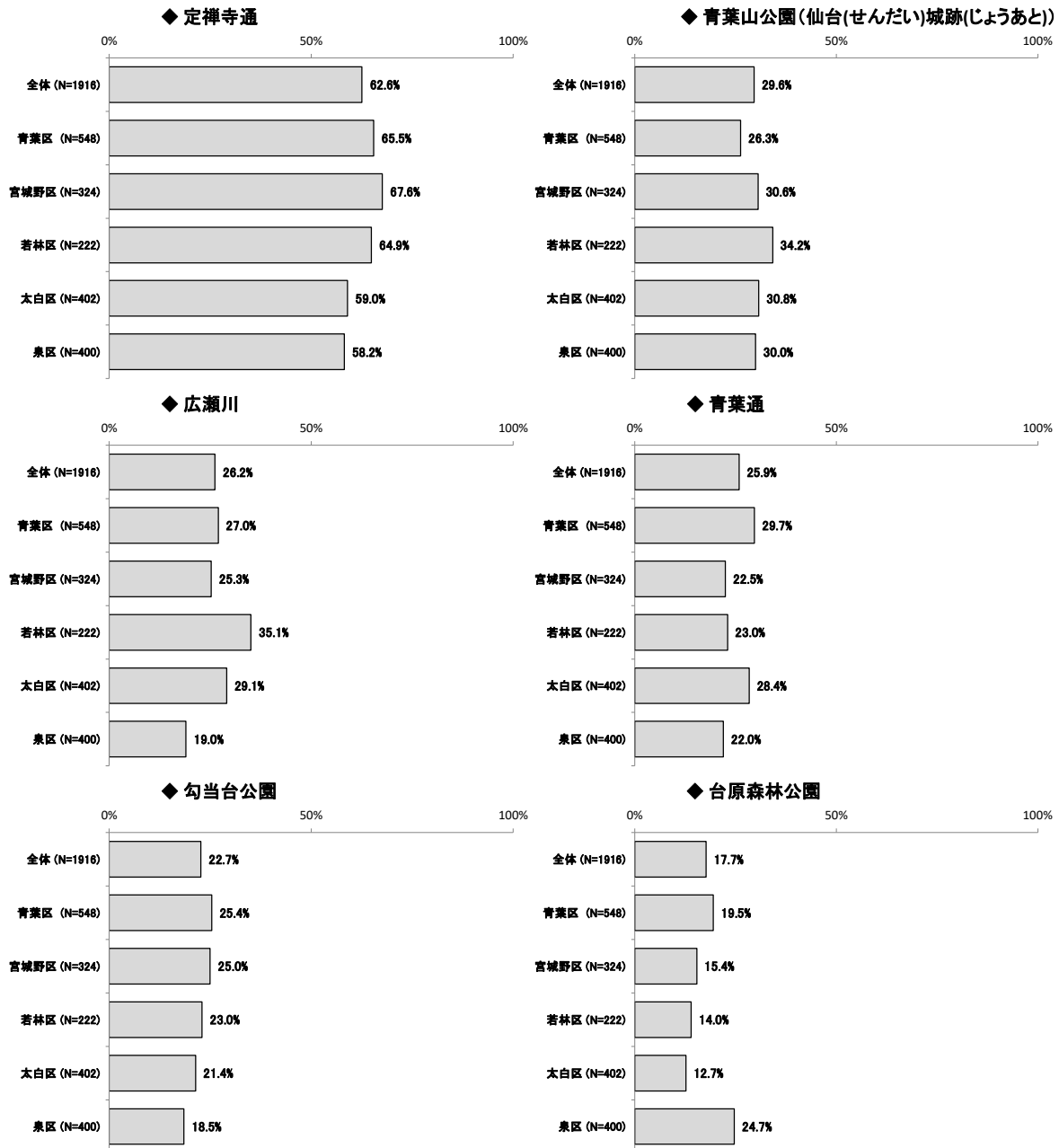
◆ 西公園

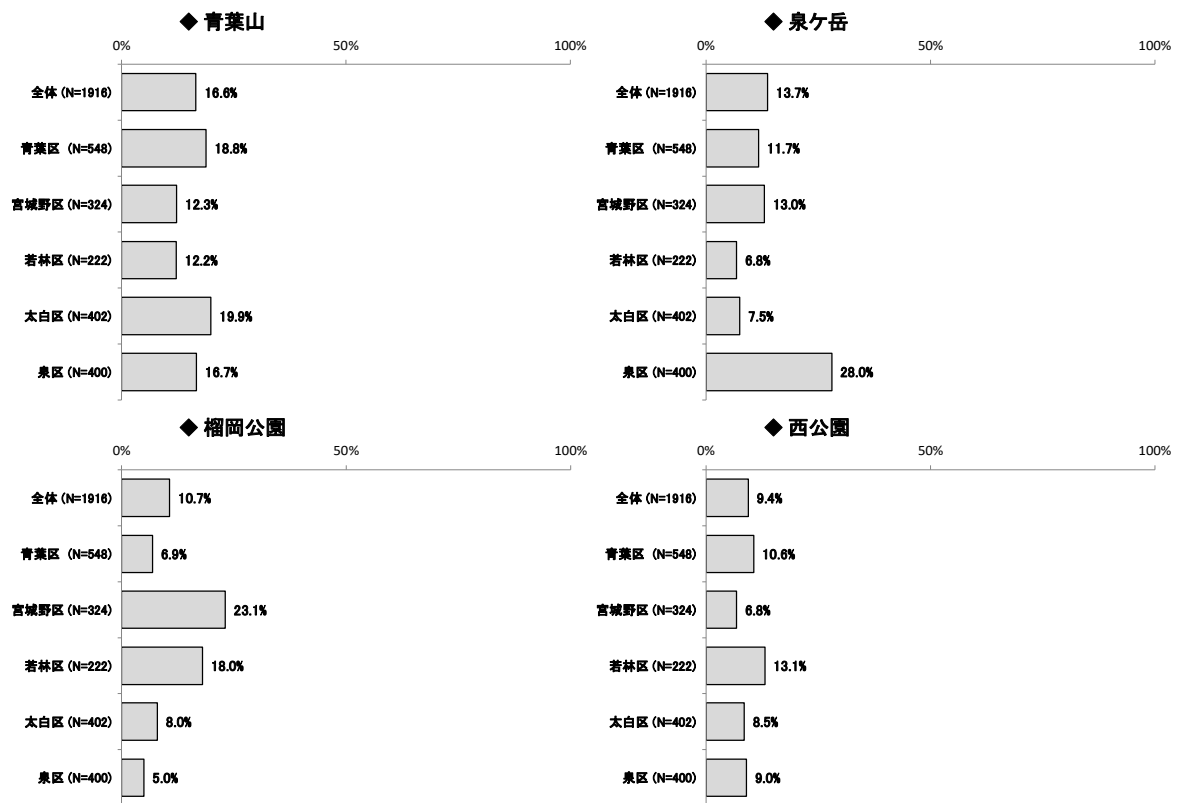


## ● 居住地区別 ●

居住地区別にみると、「広瀬川」は【若林区】(35.1%)、「台原森林公園」は【泉区】(24.7%)、「泉ヶ岳」は【泉区】(28.0%)、「榴岡公園」は【宮城野区】(23.1%)で、それぞれ他の区に比べて多くなっている。

※上位 10 項目のみ抜粋



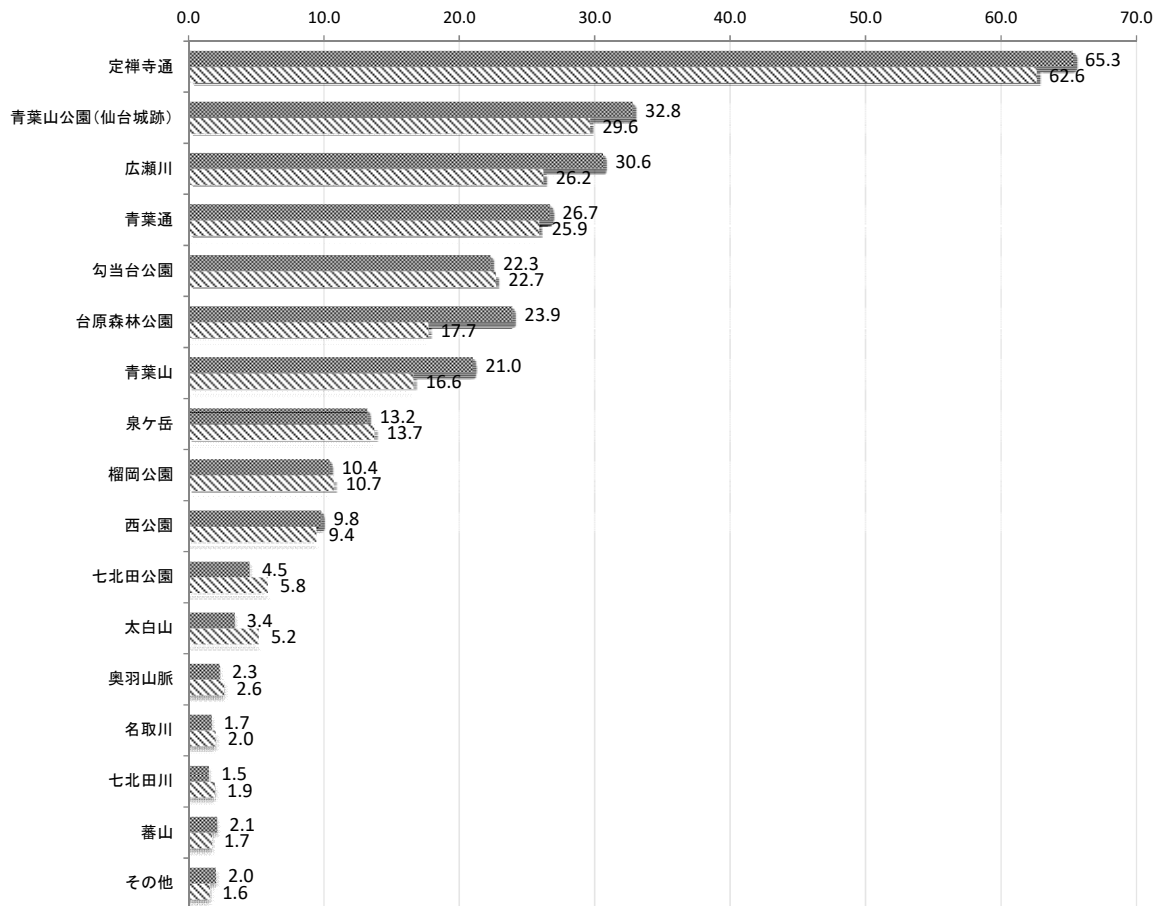




## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年と比較すると、「定禅寺通」や「青葉山公園（仙台城跡）」などがこれまでと同様に代表的なみどりとして認識されている一方で、「泉ヶ岳」や「榴岡公園」、「七北田公園」、「太白山」などの身近なみどりも杜の都のみどりとしての認識が高まっている。

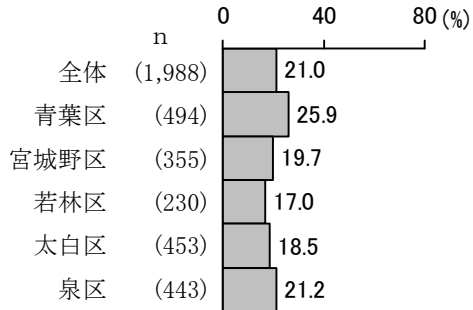
また、「青葉山」や「台原森林公園」はほとんどの区において減少している。



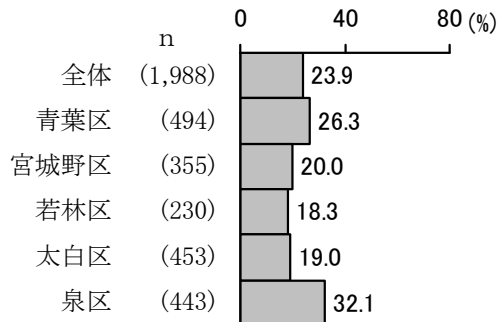
■ 2012 ■ 2019

「2012年調査」

□ 青葉山

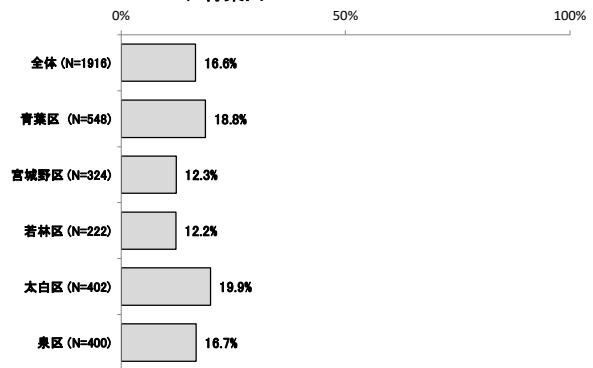


□ 台原森林公園

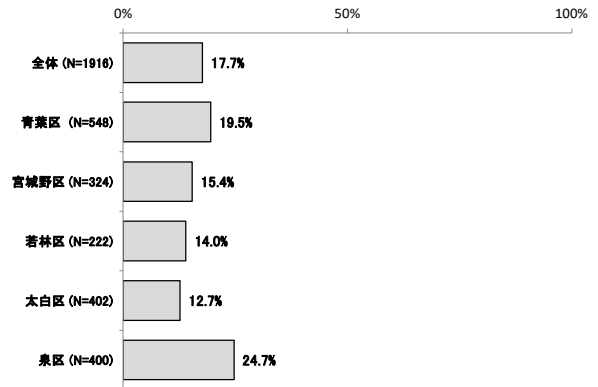


「2019年調査」

◆ 青葉山



◆ 台原森林公園

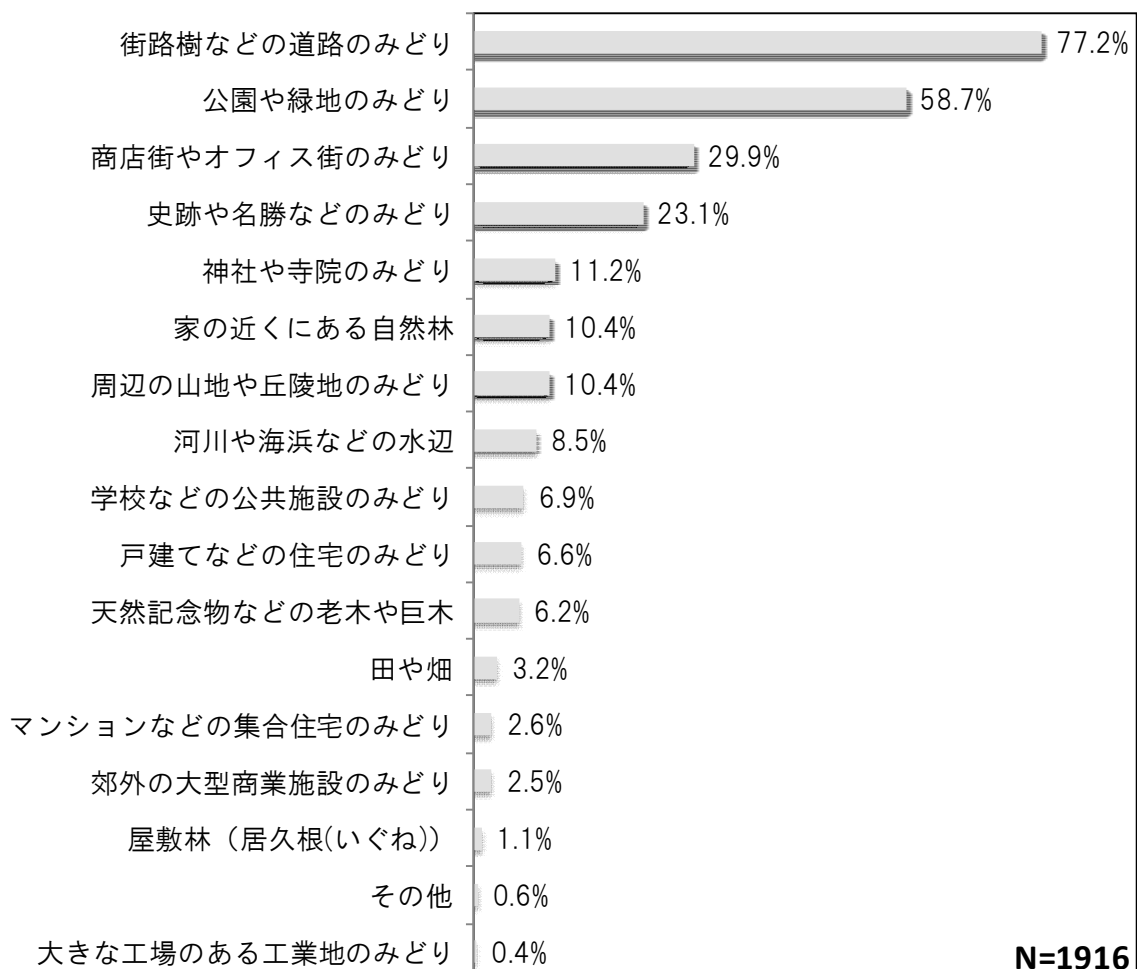


## (2)「杜の都」という言葉から思い描くみどり

「杜の都」という言葉から思い描くみどりについては、「街路樹などの道路のみどり」(77.2%)が最も多く、次いで「公園や緑地のみどり」(58.7%)、「商店街やオフィス街のみどり」(29.9%)、「史跡や名勝などのみどり」(23.1%)、「神社や寺院のみどり」(11.2%)となっている。

問 13 「杜の都」という言葉からどのようなみどりが沢山ある街を思い描きますか。

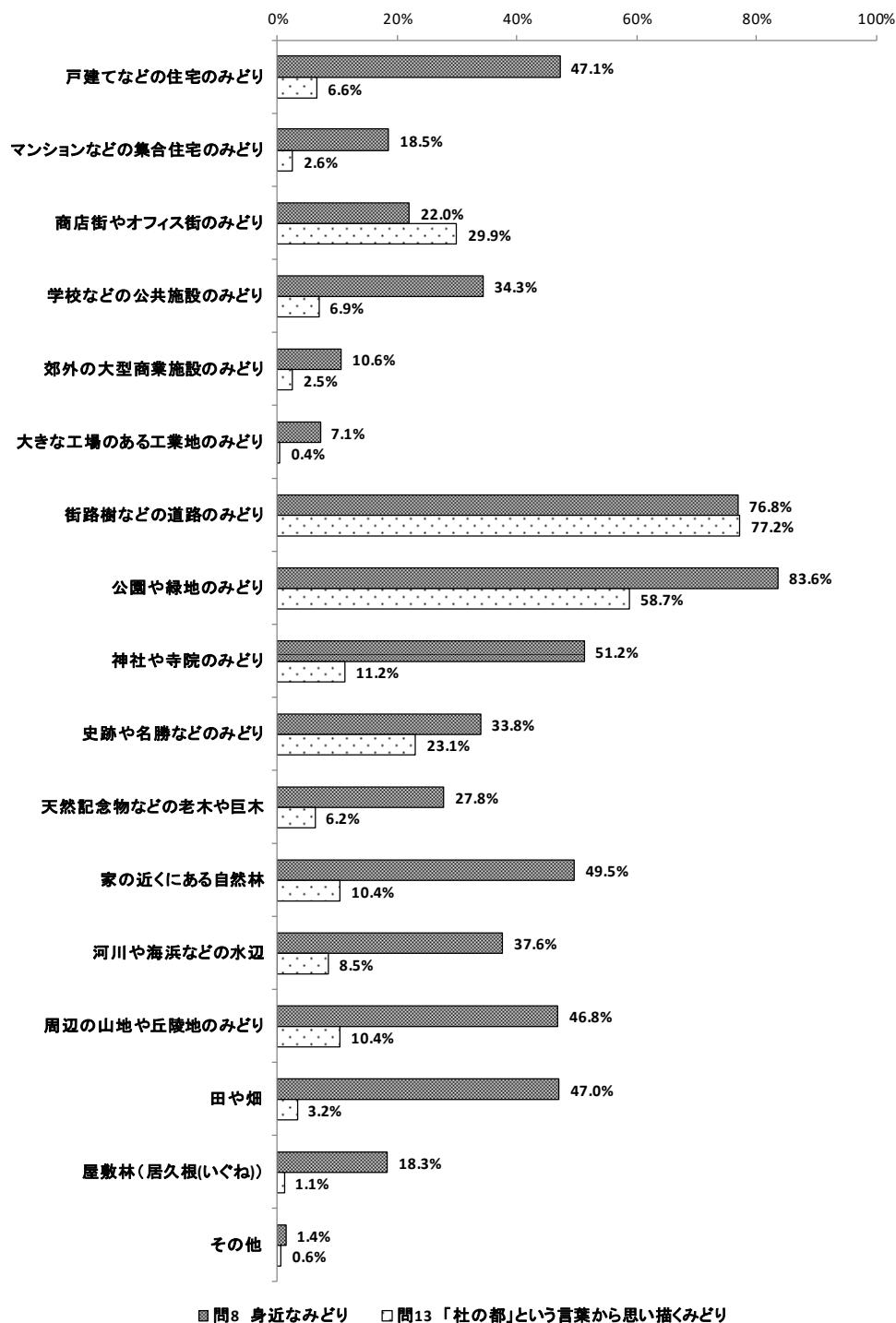
(主にあてはまる番号3つまでに○)



## ● 身近なみどりと杜の都のみどりの比較 ●

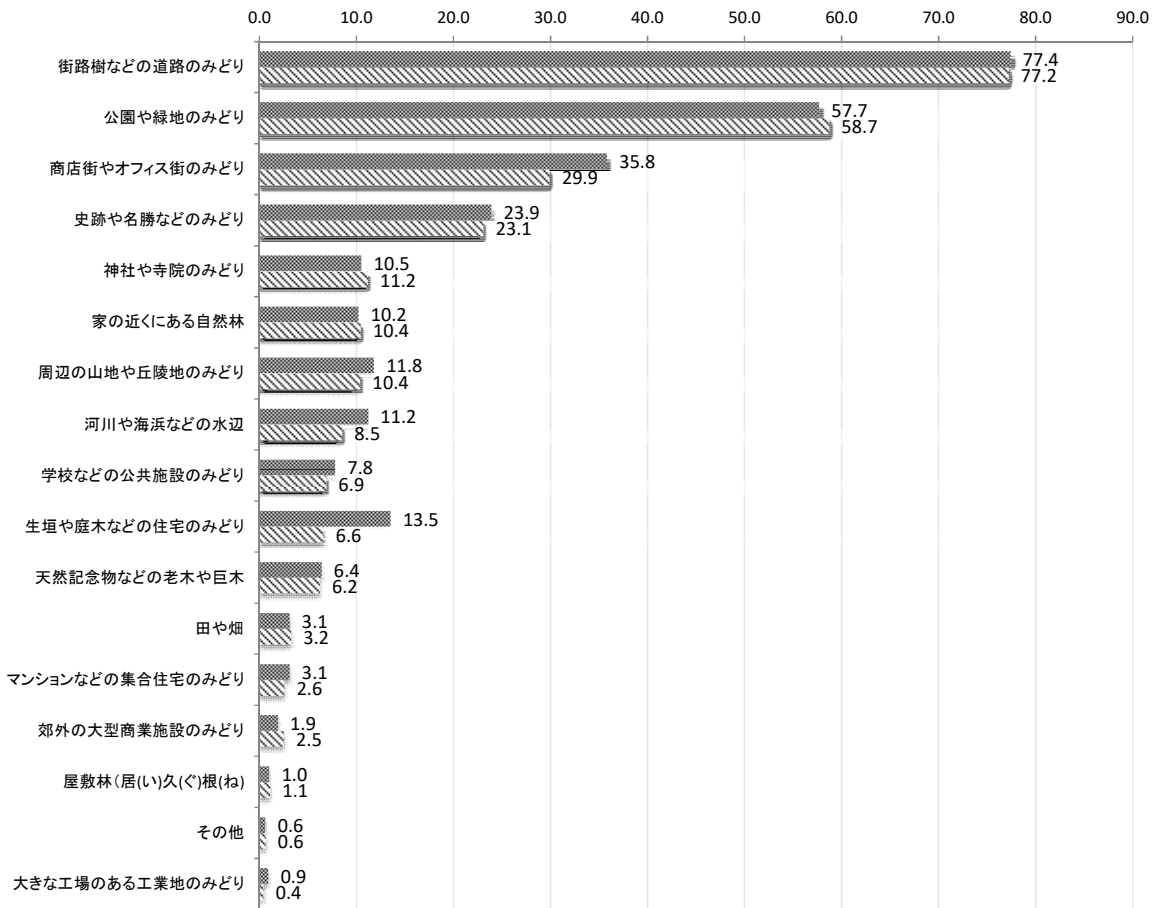
『問8 身近なみどり』と、『問13 「杜の都」という言葉から思い描くみどり』を比較すると、「街路樹などの道路のみどり」、「公園や緑地のみどり」は、両設問に共通して多い。

また、「戸建てなどの住宅のみどり」は、身近なみどりでは47.1%と多いが、「杜の都」という言葉から思い描くみどりでは6.6%と少なくなっている。一方、「商店街やオフィス街のみどり」は、身近なみどりでは22.0%となっているが、「杜の都」という言葉から思い描くみどりでは、29.9%と多くなっている。



## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年と比較すると、「街路樹などの道路のみどり」や「公園や緑地のみどり」の上位に変動はない。「商店街やオフィス街のみどり」、「生垣や庭木などの住宅のみどり」の回答割合が減少しているが、それ以外の選択肢に大きな変化はみられない。



■ 2012    ▨ 2019

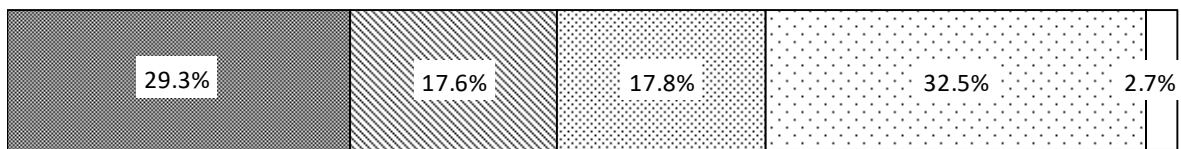
### (3)「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度

「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度については、「量・質ともに不十分である」(32.5%)が最も多く、次いで「量・質ともに十分である」(29.3%)、「量は不十分だが、質はよい」(17.8%)、「量は十分だが、質はよくない」(17.6%)となっている。

問 14 「杜の都」という言葉から現在の仙台をみたときに、あなたはみどりの量や質についてどのような印象を持っていますか。

※「質」とは、みどりが持っている機能のことで、具体的には、生活環境を良くする、生物を保全する、景観を良くする、癒し(いやし)になるなどの機能のことです。

(あてはまる番号1つに○)



■ 量・質ともに十分である

▨ 量は十分だが、質はよくない

▩ 量は不十分だが、質はよい

□ 量・質ともに不十分である

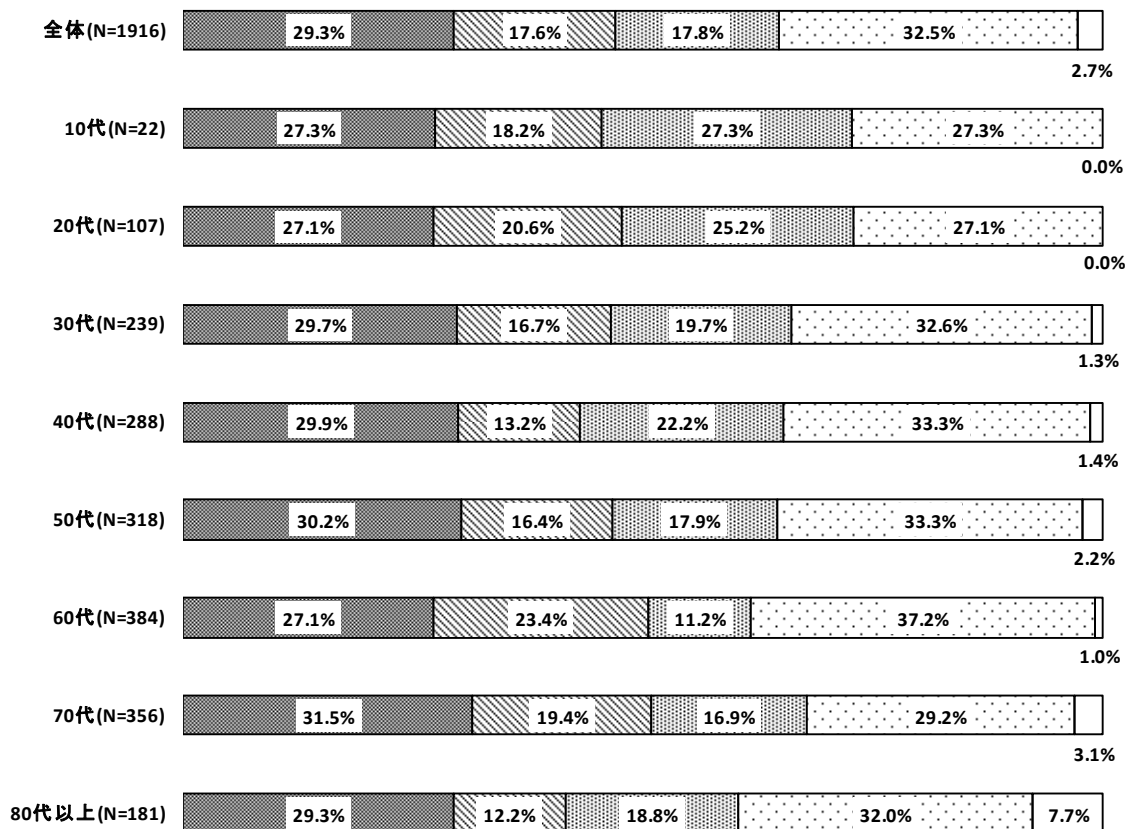
□ 無回答・無効

N=1916

## ● 年代別 ●

年代別にみると、【20代】から【60代】にかけて、「量・質ともに不十分である」が、年代が上がるに従って多くなる傾向にある。

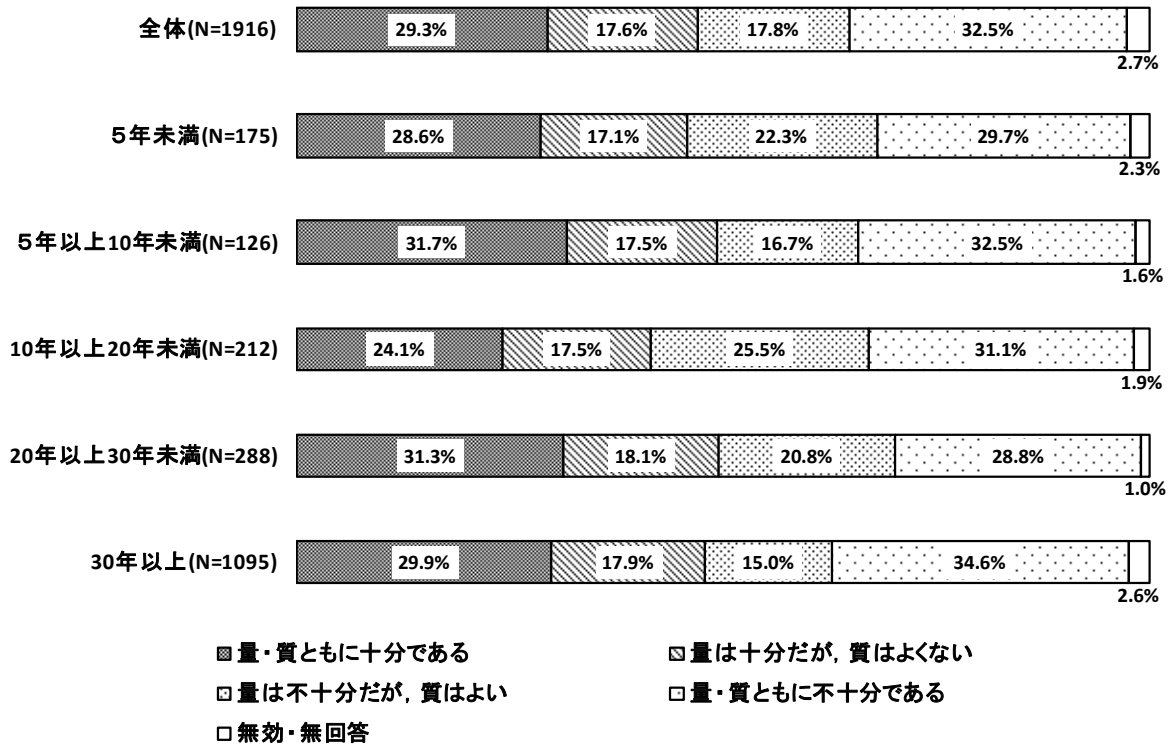
一方、【20代】から【50代】にかけて、「量・質ともに十分である」が、年代が上がるに従って多くなる傾向にある。



量・質ともに十分である     
 量は十分だが、質はよくない     
 量は不十分だが、質はよい  
 量・質ともに不十分である     
 無効・無回答

## ● 居住年数別 ●

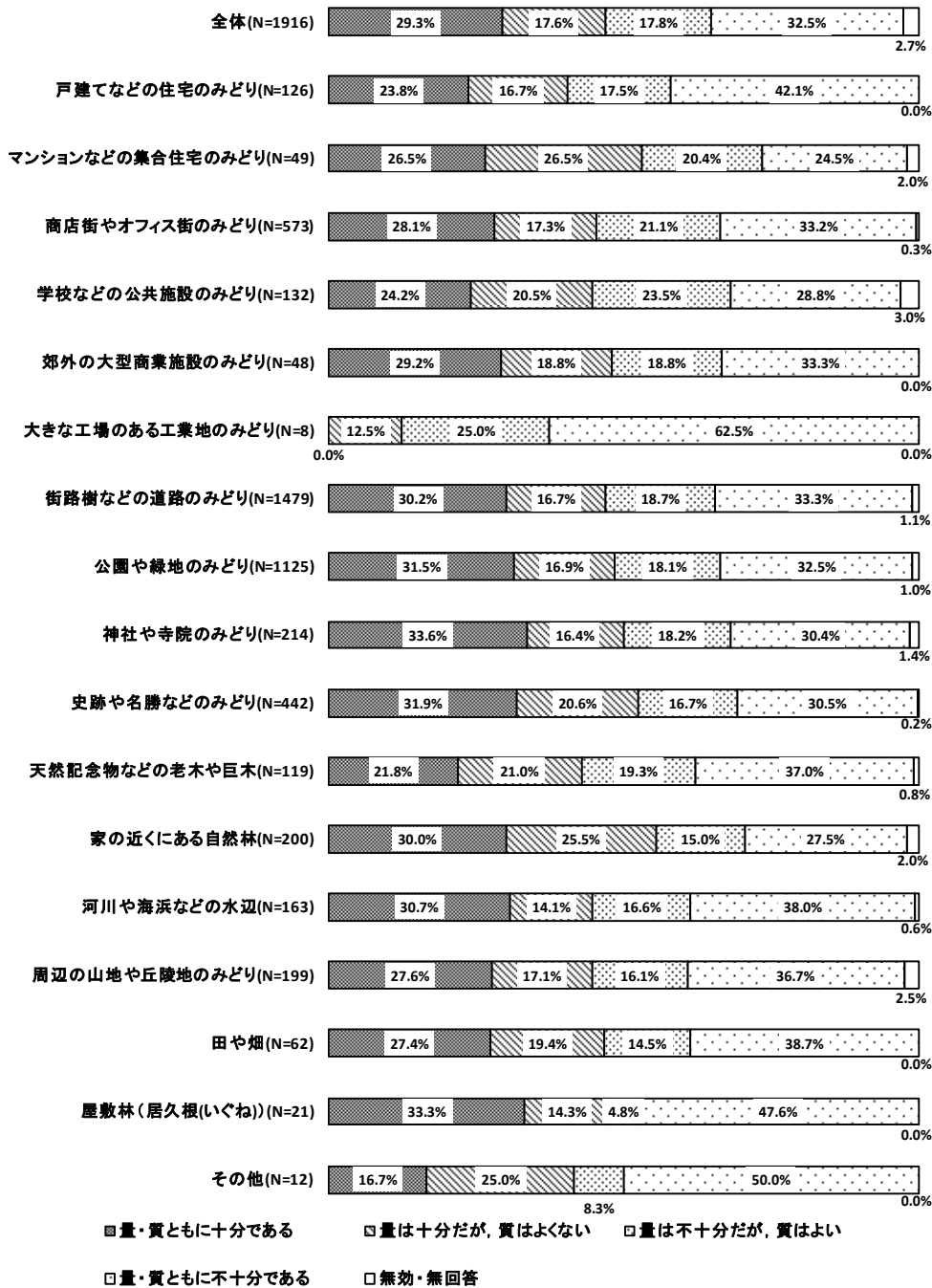
居住年数別にみると、「量・質ともに十分である」は、【5年以上10年未満】(31.7%)、【20年以上30年未満】(31.3%)で3割を超えており、他の居住年数に比べて多くなっている。





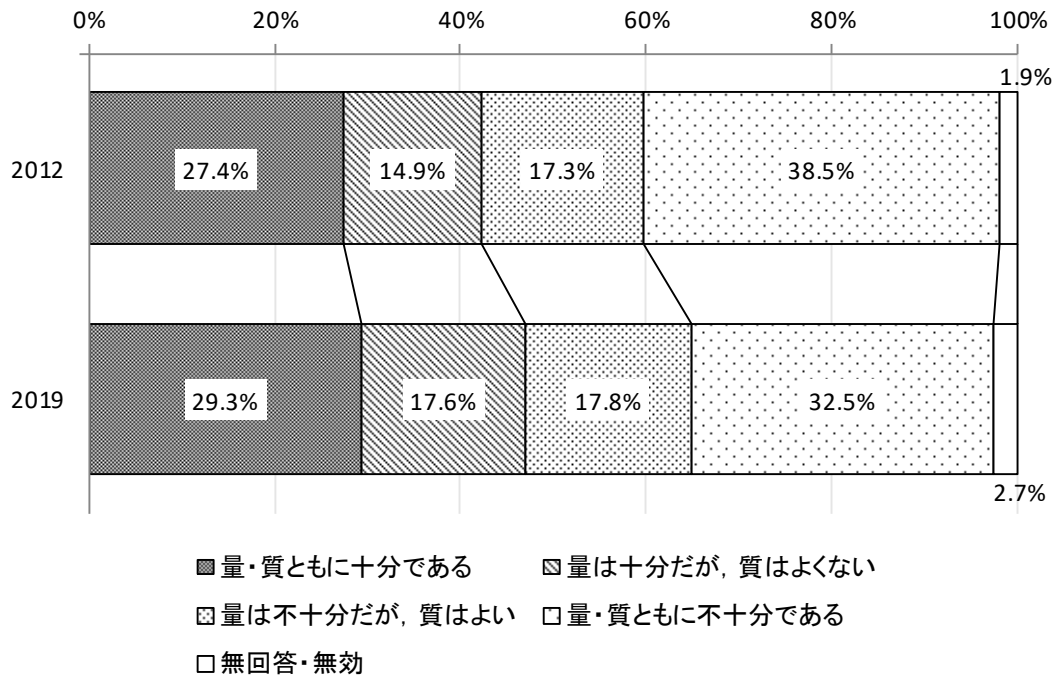
● 「杜の都」という言葉から思い描くみどり(問13)別 ●

「杜の都」という言葉から思い描くみどり別にみると、「量・質ともに十分である」は、【神社や寺院のみどり】(33.6%)、【屋敷林(居久根(いぐね))】(33.3%)、【史跡や名勝などのみどり】(31.9%)、【公園や緑地のみどり】(31.5%)などが3割を超え、多くなっている。一方、「量・質ともに不十分である」は、【大きな工場のある工業地のみどり】(62.5%)、【屋敷林(居久根(いぐね))】(47.6%)、【戸建てなどの住宅のみどり】(42.1%)で4割を超え、多くなっている。



## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年と比較すると、「量・質ともに十分である」、「量は十分だが、質はよくない」が増加し、量に関する満足度は高まっている。



### 3. これから先の仙台市のみどりのまちづくりについて

#### (1) 樹林地などの身近なみどりの保全について

##### ① 自然のみどりの保全と都市開発との調和の方向性

自然のみどりの保全と都市開発との調和の方向性については、「必要な開発はやむを得ないが、できるだけみどりを残し、新たなみどりをつくる努力をする」(67.3%)が最も多く、次いで「これ以上の開発は不必要であり、現状維持にとどまらず環境を回復させる」(24.2%)、「特に保全する必要はなく、自然の成り行きに任せるのがよい」(2.6%)となっている。

問 15 市街地にある樹林地などの自然のみどりの保全と、都市開発との調和について、どのようにしていくべきだと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

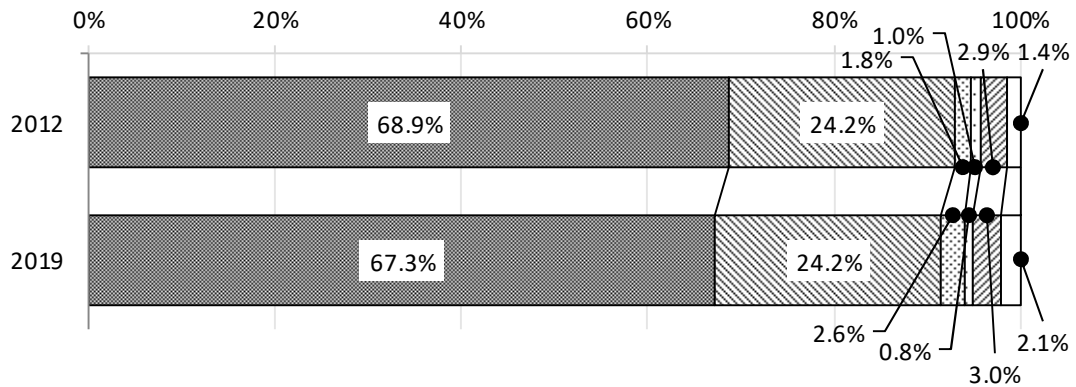


- 必要な開発はやむを得ないが、できるだけみどりを残し、新たなみどりをつくる努力をする
- これ以上の開発は不必要であり、現状維持にとどまらず環境を回復させる
- 特に保全する必要はなく、自然の成り行きに任せるのがよい
- その他
- わからない
- 無回答・無効

N=1916

## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年と比較すると、自然のみどりの保全と都市開発との調和の方向性に、大きな変化はみられない。



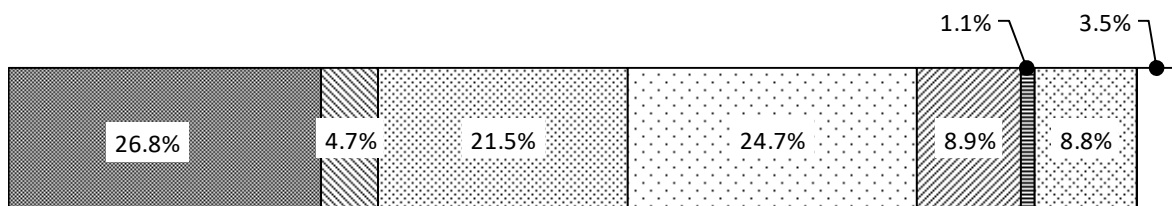
- 必要開発はやむを得ないが、できるだけみどりを残し、新たなみどりをつくる努力
- これ以上の開発は不必要であり、現状維持にとどまらず環境を回復
- 特に保全する必要はなく、自然の成り行きに任せる
- その他
- わからない
- 無回答・無効

## ②私有地のみどりの保全方法

私有地のみどりの保全方法については、「個人の土地であっても法律などで土地利用を規制し、開発行為を制限する」(26.8%)が最も多く、次いで「所有者の意向を踏まえながら、町内会や市民活動団体などが保全活動に参加する」(24.7%)、「市民・企業・行政が一体となって保全のための基金などをつくり、募金をつのる」(21.5%)となっている。

問 16 市街地にある樹林地などの自然のみどりの多くは、個人や企業の土地となっています。これらを保全する方法として、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。

(あてはまる番号1つに○)



- 個人の土地であっても法律などで土地利用を規制し、開発行為を制限する
- 他の行政サービスが減ったり、市民の負担が増えたりしても、行政(税金)で土地を買い取って保全する
- 市民・企業・行政が一体となって保全のための基金などをつくり、募金をつのる
- 所有者の意向を踏まえながら、町内会や市民活動団体などが保全活動に参加する
- 個人の土地なので、保全するのも開発するのも個人の意志に任せる
- その他
- わからない
- 無回答・無効

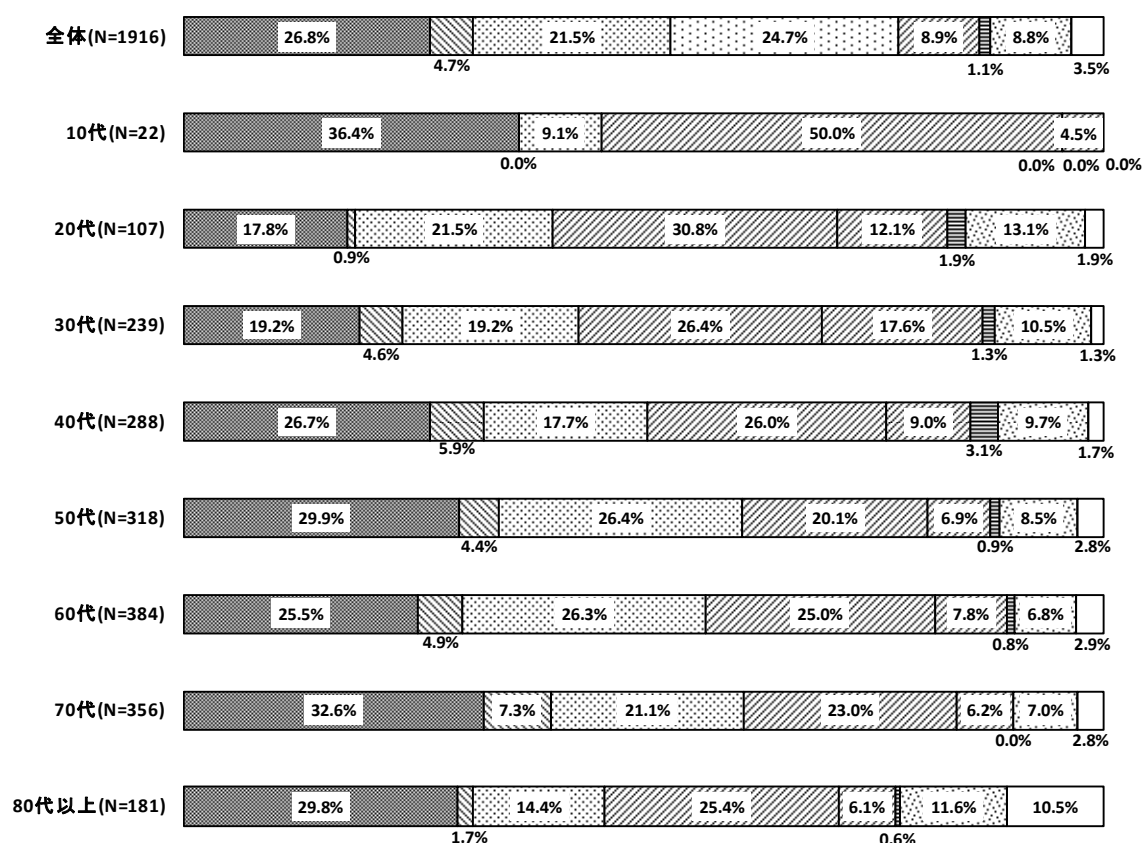
N=1916

## ● 年代別 ●

年代別にみると、【40代】、【50代】及び【70代】以降では、「個人の土地であっても法律などで土地利用を規制し、開発行為を制限する」が最も多くなっている。

【60代】では、「市民・企業・行政が一体となって保全のための基金などをつくり、募金をつのる」が最も多くなっている。

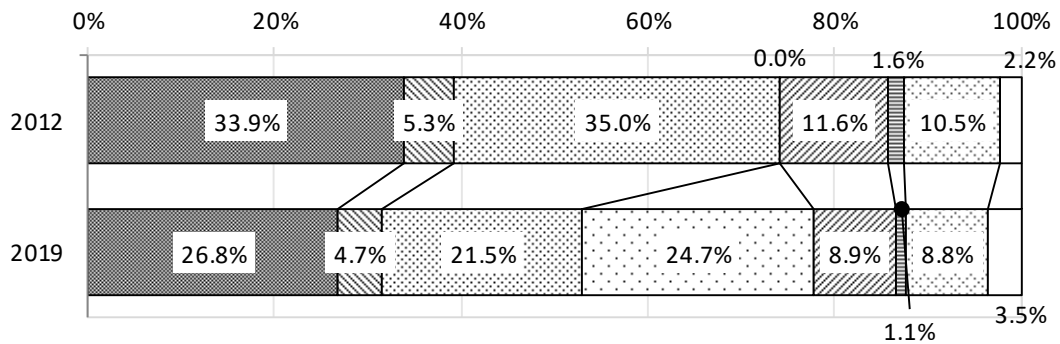
【10代】から【30代】では、「所有者の意向を踏まえながら、町内会や市民活動団体などが保全活動に参加する」が最も多くなっている。



- 個人の土地であっても法律などで土地利用を規制し、開発行為を制限する
- 他の行政サービスが減ったり、市民の負担が増えたりしても、行政(税金)で土地を買い取って保全する
- 市民・企業・行政が一体となって保全のための基金などをつくり、募金をつのる
- 所有者の意向を踏まえながら、町内会や市民活動団体などが保全活動に参加する
- 個人の土地なので、保全するのも開発するのも個人の意志に任せる
- その他
- わからない
- 無効・無回答

## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年と比較すると、最も多かった「市民・企業・行政が一体となって保全のための基金などをつくり、募金をつのる」を始めとする回答割合が減少し、新たに追加した選択肢「所有者の意向を踏まえながら、町内会や市民活動団体などが保全活動に参加する」が、「個人の土地であっても法律などで土地利用を規制し、開発行為を制限」に次いで多くなっている。

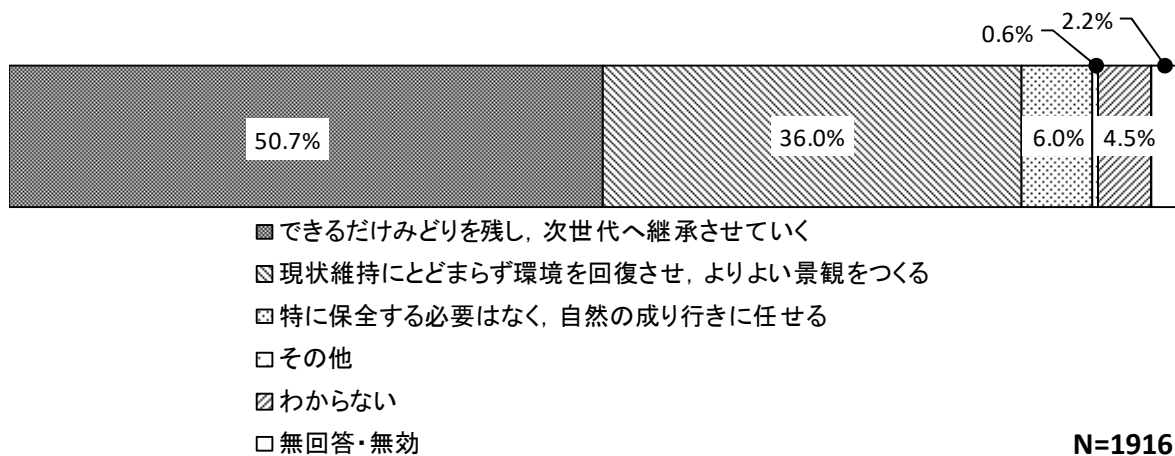


- 個人の土地であっても法律などで土地利用を規制し、開発行為を制限
- ▣ 他の行政サービスが減り、市民の負担が増えても、行政で土地を買い取り保全
- ▨ 市民・企業・行政が一体となって保全のための基金などをつくり、募金をつのる
- 所有者の意向を踏まえながら、町内会や市民活動団体などが保全活動に参加
- ▤ 個人の土地なので、保全・開発は個人の意志にまかせる
- 目 その他
- わからない
- 無回答・無効

### ③屋敷林(居久根)や社寺林の保全の方向性

屋敷林（居久根）や社寺林の保全の方向性については、「できるだけみどりを残し、次世代へ継承させていく」（50.7%）が最も多く、次いで「現状維持にとどまらず環境を回復させ、よりよい景観をつくる」（36.0%）、「特に保全する必要はなく、自然の成り行きに任せる」（6.0%）となっている。

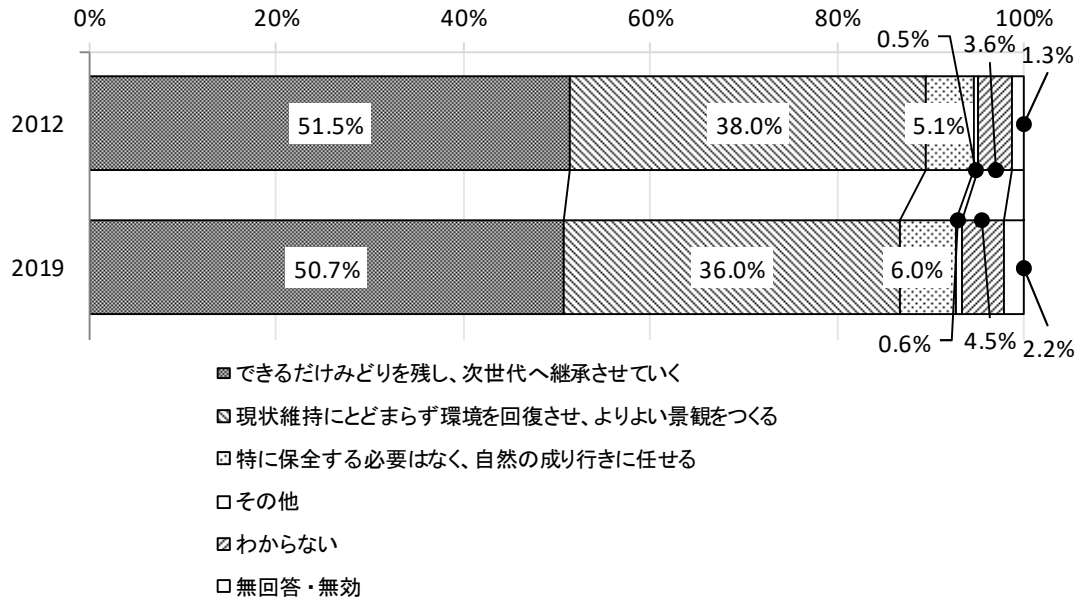
問 17 市街地や田園地帯に点在する屋敷林（居久根）や社寺林の保全について、どのようにしていきべきだと思いますか。（あてはまる番号1つに○）





## ● 2012年アンケートとの比較 ●

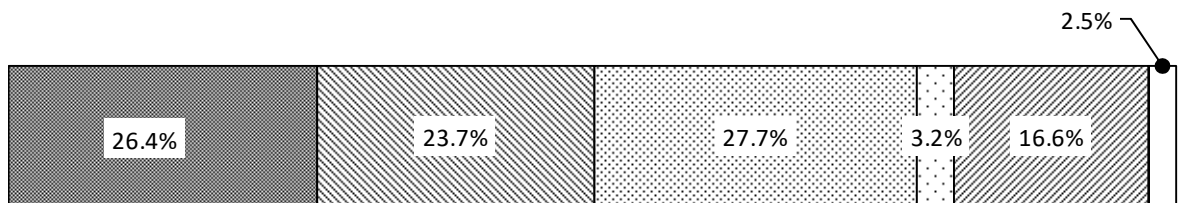
2012年と比較すると、屋敷林（居久根）や社寺林の保全の方向性に、大きな変化はみられない。



#### ④屋敷林(居久根)や社寺林の活用の方向性

屋敷林（居久根）や社寺林の活用の方向性については、「屋敷林（居(い)久(ぐ)根(ね)）や社寺林を拠点とした情報発信施設などを整備する」（27.7%）が最も多く、次いで「あずまややベンチを設置し、見学できるようにする。」（26.4%）、「青葉山公園などの歴史的資源を有する公園と連携した観光ツアーを企画・開催する」（23.7%）となっている。

問 18 仙台市では所有者の移行を踏まえながら、屋敷林（居久根）や社寺林について、歴史・文化的に貴重なみどりとして、保全を図るとともに広くPRし、活用していきたいと考えております。屋敷林（居久根）や社寺林の活用について、どのようにしていくべきだと思いますか。（あてはまる番号1つに○）



- あずまややベンチを設置し、見学できるようにする。
- 青葉山公園などの歴史的資源を有する公園と連携した観光ツアーを企画・開催する
- 屋敷林(居(い)久(ぐ)根(ね))や社寺林を拠点とした情報発信施設などを整備する
- その他
- わからない
- 無回答・無効

N=1916

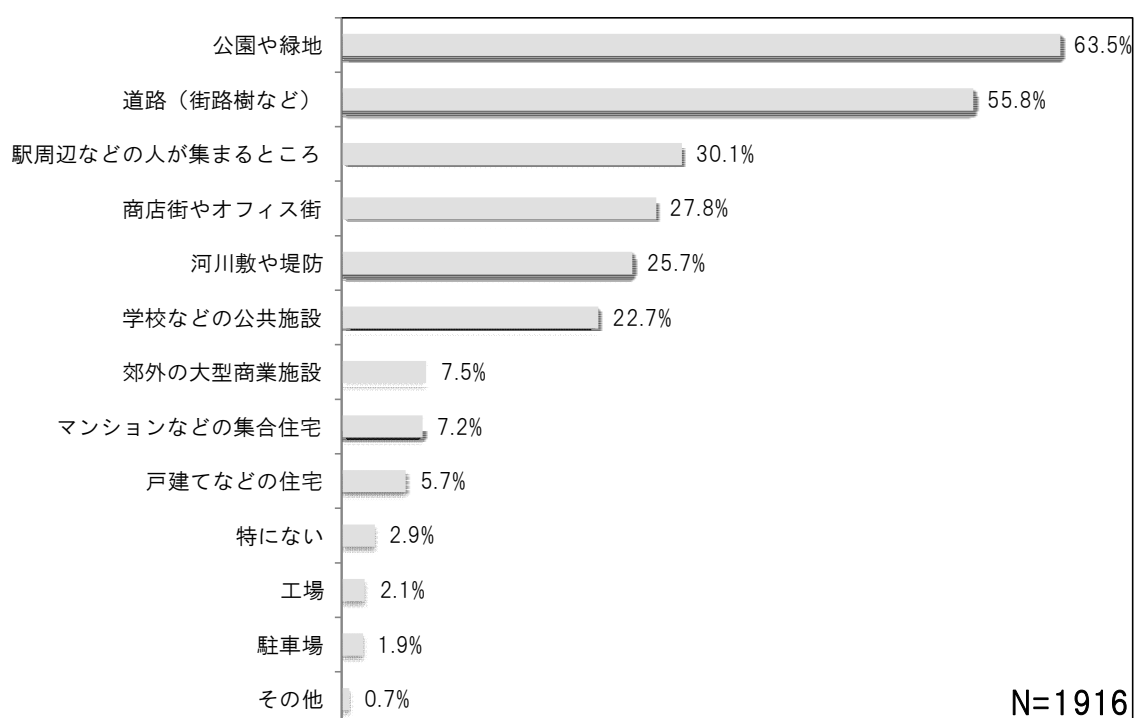
## (2)市街地の緑化について

### ①重点を置くべき緑化箇所

重点を置くべき緑化箇所については、「公園や緑地」(63.5%)が最も多く、次いで「道路(街路樹など)」(55.8%)、「駅周辺などの人が集まる場所」(30.1%)、「商店街やオフィス街」(27.8%)、「河川敷や堤防」(25.7%)となっている。

問 19 市街地の緑化を進めるにあたり、どこの緑化に重点を置くべきだと思いますか。

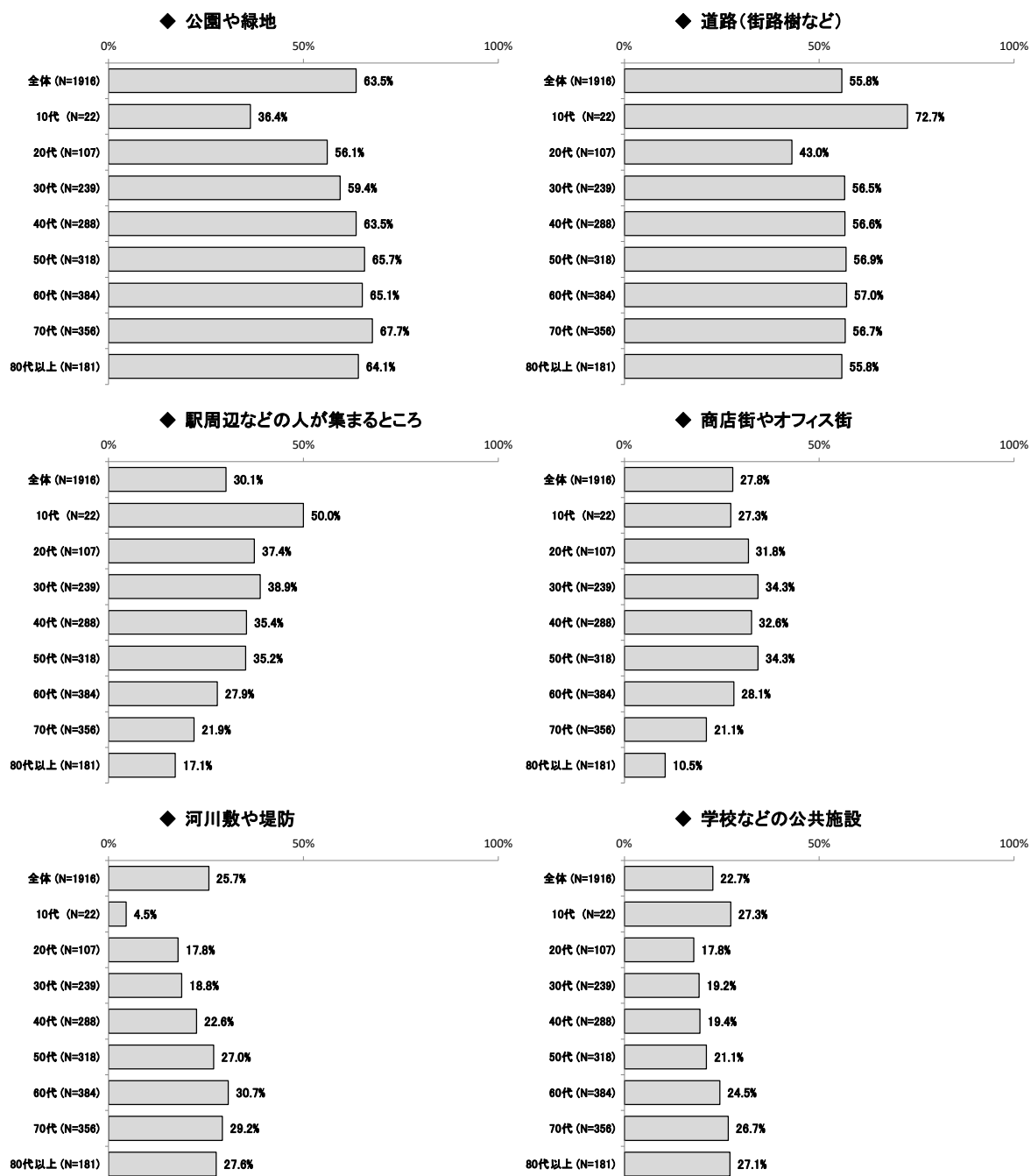
(主にあてはまる番号3つまでに○)



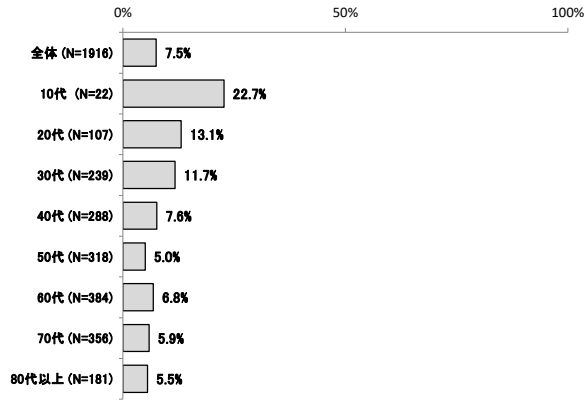
## ● 年代別 ●

年代別にみると、「駅周辺などの人が集まる場所」は【10代】から【50代】まで3割を超えており、「河川敷や堤防」は【50代】以降の年代で高くなっている。

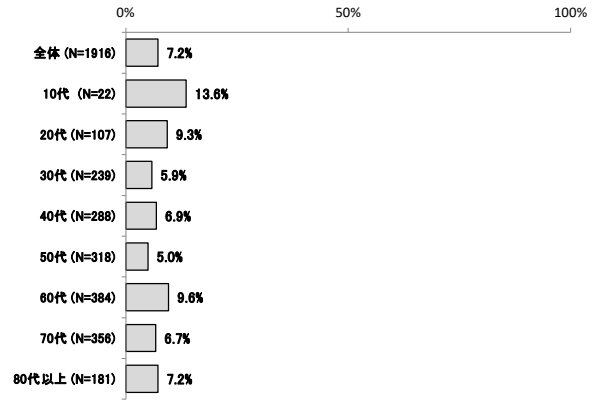
※上位10項目のみ抜粋



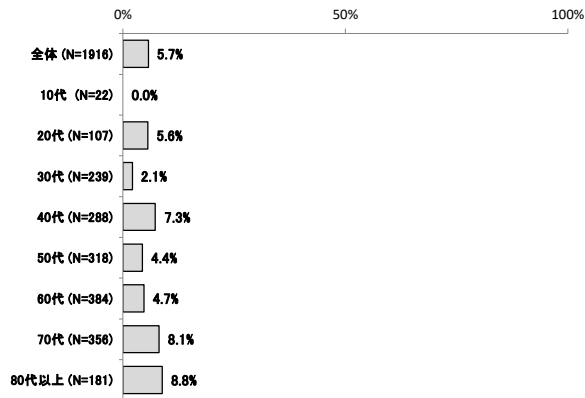
◆ 郊外の大型商業施設



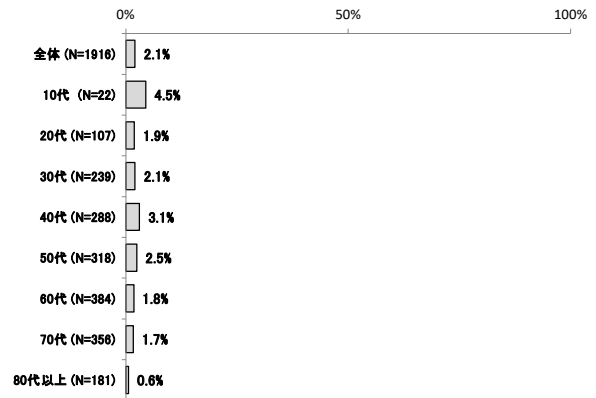
◆ マンションなどの集合住宅



◆ 戸建てなどの住宅

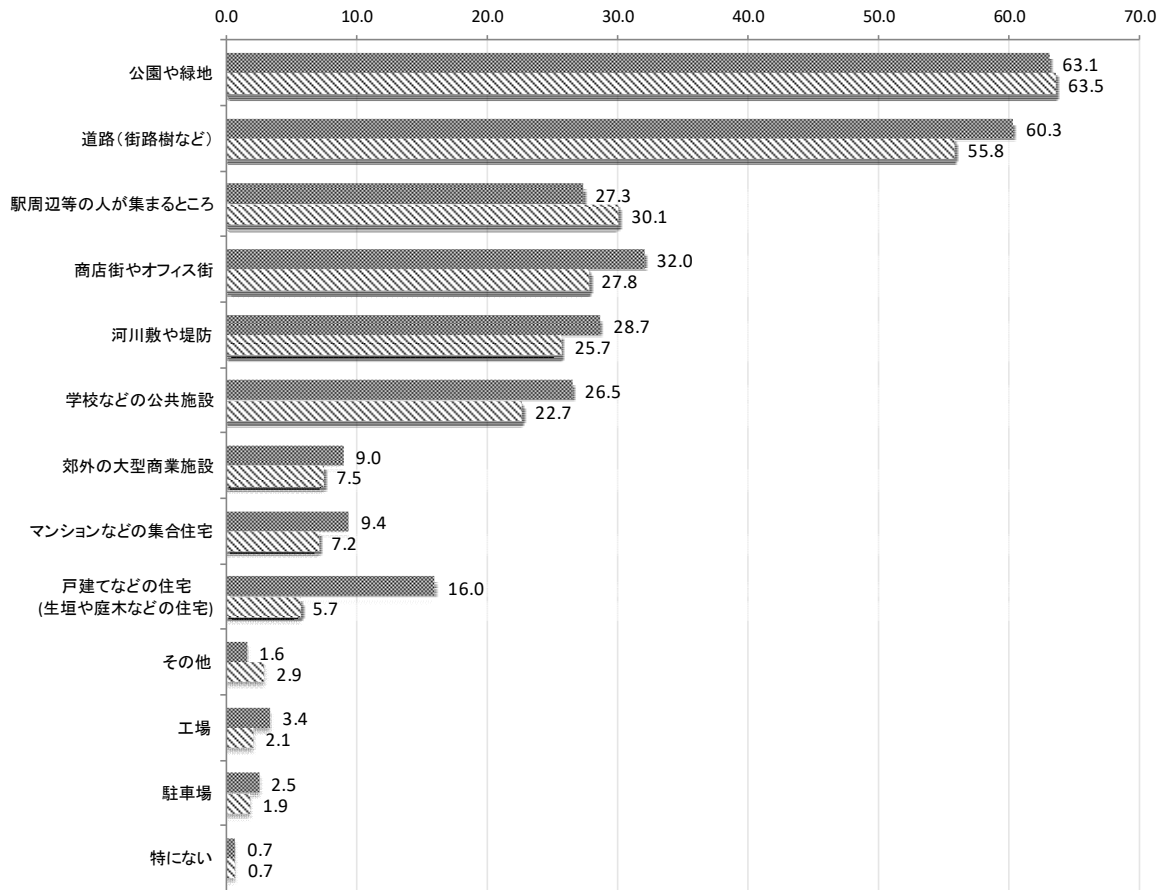


◆ 工場



## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年と比較すると、最も多い「公園や緑地」の割合に大きな変化はなく、「戸建てなどの住宅（生垣や庭木などの住宅）」の割合が大きく減少している。

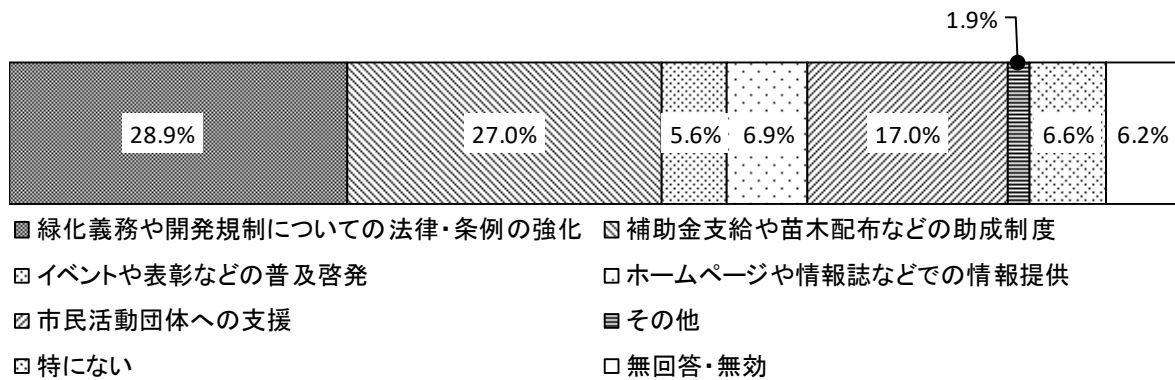


■ 2012    ▨ 2019

## ②みどりの増加に必要な行政の取り組み

みどりの増加に必要な行政の取り組みについては、「緑化義務や開発規制についての法律・条例の強化」(28.9%)が最も多く、次いで「補助金支給や苗木配布などの助成制度」(27.0%)、「市民活動団体への支援」(17.0%)となっている。

問 20 公園や街路樹等の整備の他に、都市の緑化を進めるにあたり、行政の取り組みで、特に必要なものは何ですか。  
(あてはまる番号1つに○)

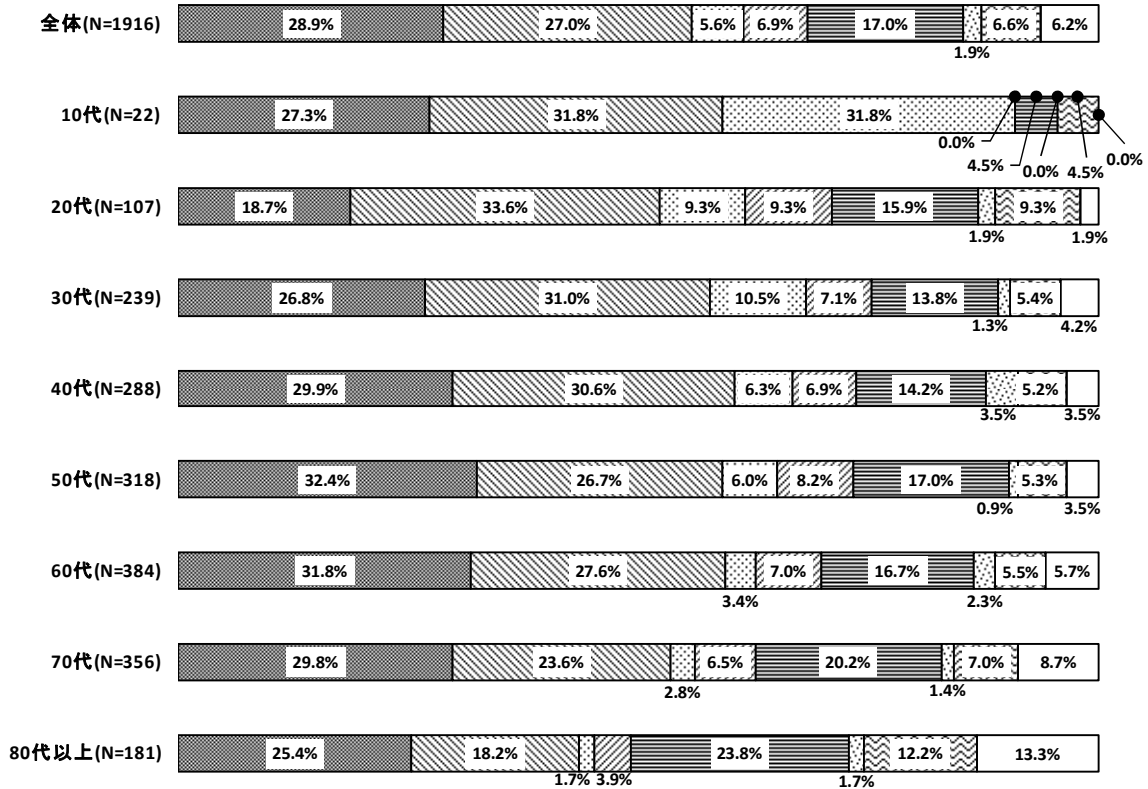


N=1916

## ● 年代別 ●

年代別にみると、「緑化義務や開発規制についての法律・条例の強化」は、【20代】のみが他の世代と比較し少なくなっている。

また、【10代】から【40代】では、「補助金支給や苗木配布などの助成制度」が3割を超え最も多くなっている。

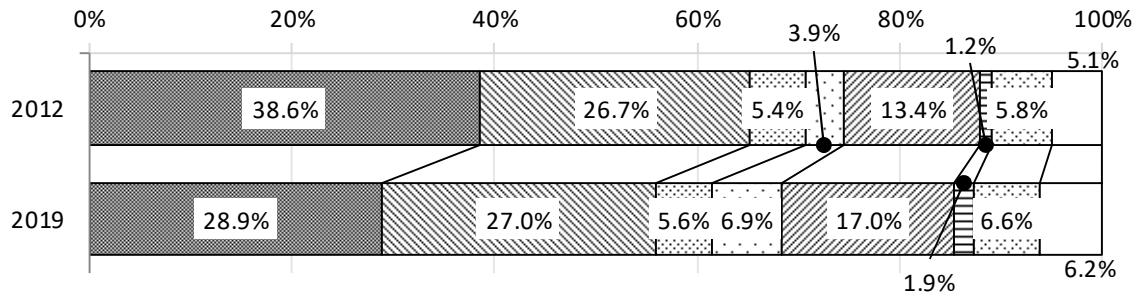


- 緑化義務や開発規制についての法律・条例の強化
- 補助金支給や苗木配布などの助成制度
- イベントや表彰などの普及啓発
- ホームページや情報誌などでの情報提供
- 市民活動団体への支援
- その他
- 特にない
- 無効・無回答



## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年と比較すると、「緑化義務や開発規制についての法律・条例の強化」のみが減少し、それ以外の選択肢の割合が増加している。



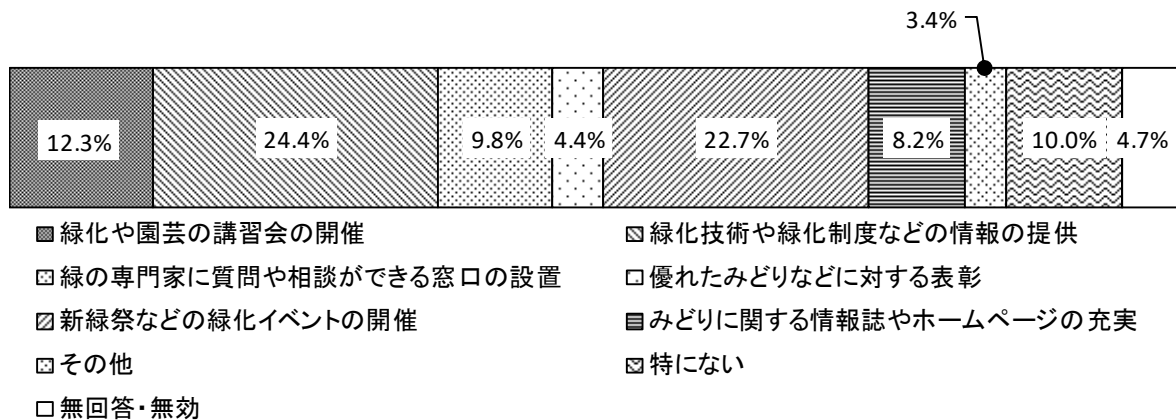
- 緑化義務や開発規制についての法律・条例の強化
- ▨ 補助金支給や苗木配布などの助成制度
- ▨ イベントや表彰などの普及啓発
- ホームページや情報誌などでの情報提供
- ▨ 市民活動団体への支援
- その他
- ▨ 特にない
- 無回答・無効

### ③緑化活動に必要な行政の支援

緑化活動に必要な行政の支援については、「緑化技術や緑化制度などの情報の提供」(24.4%)が最も多く、次いで「新緑祭などの緑化イベントの開催」(22.7%)、「緑化や園芸の講習会の開催」(12.3%)となっている。

問 21 あなたが緑化活動を行う場合に、行政の支援の中で、特に必要なものは何ですか。

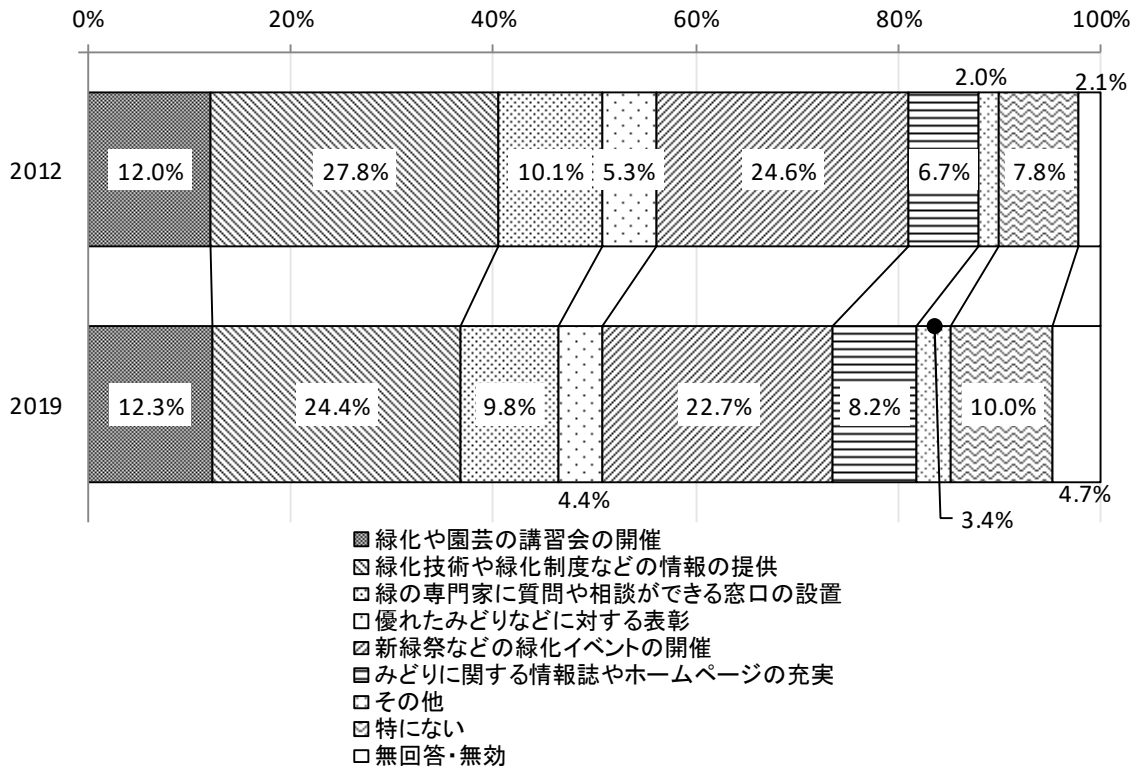
(あてはまる番号1つに○)



N=1916

## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年と比較すると、「緑化技術や緑化制度などの情報の提供」などの割合が減少し、「緑化や園芸の講習会の開催」などの割合が増加している。



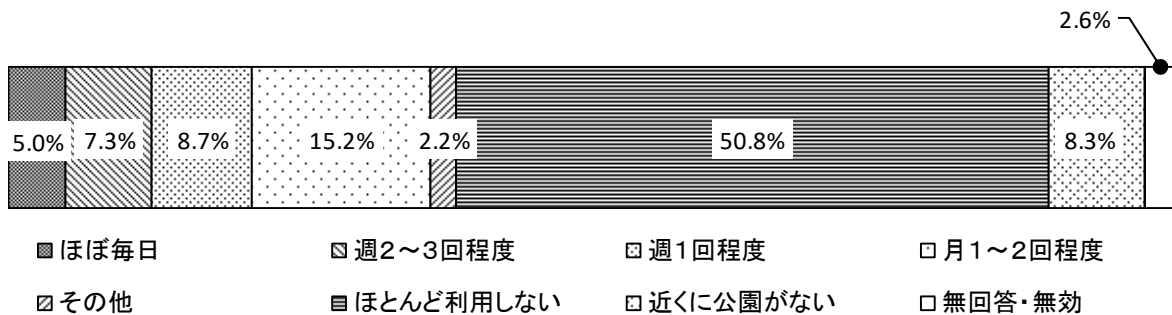
### (3)公園について

#### ①住まいの近くの公園の利用頻度

住まいの近くの公園の利用頻度については、「ほとんど利用しない」(50.8%)が最も多く、次いで「月1～2回程度」(15.2%)、「週1回程度」(8.7%)、「近くに公園がない」(8.3%)、「週2～3回程度」(7.3%)となっている。

問 22 あなたはお住まいの近くにある公園をどれくらい利用しますか。

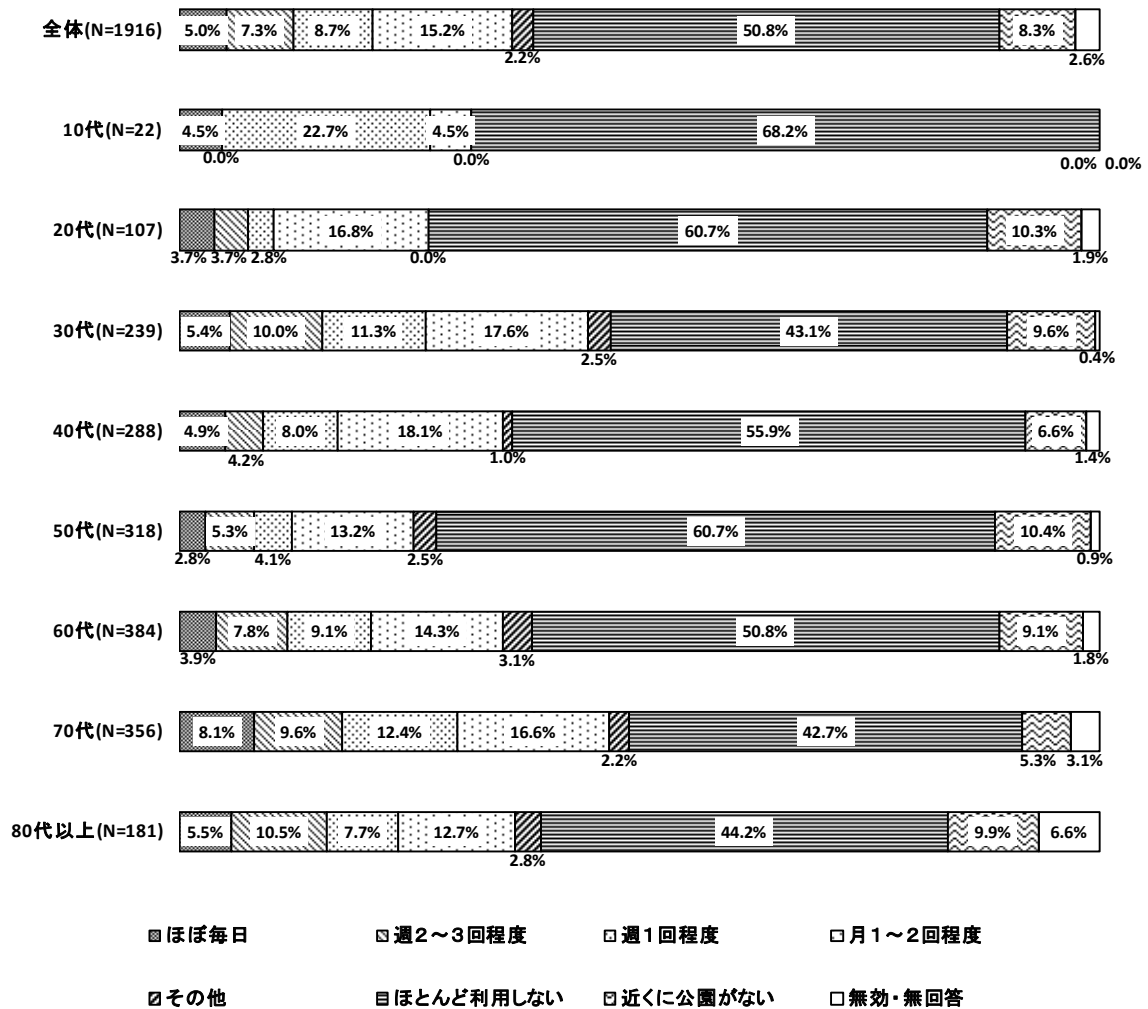
※「お住まいの近くにある公園」とは、目安として、歩いて10分以内の場所にある公園のことです。  
(あてはまる番号1つに○)



N=1916

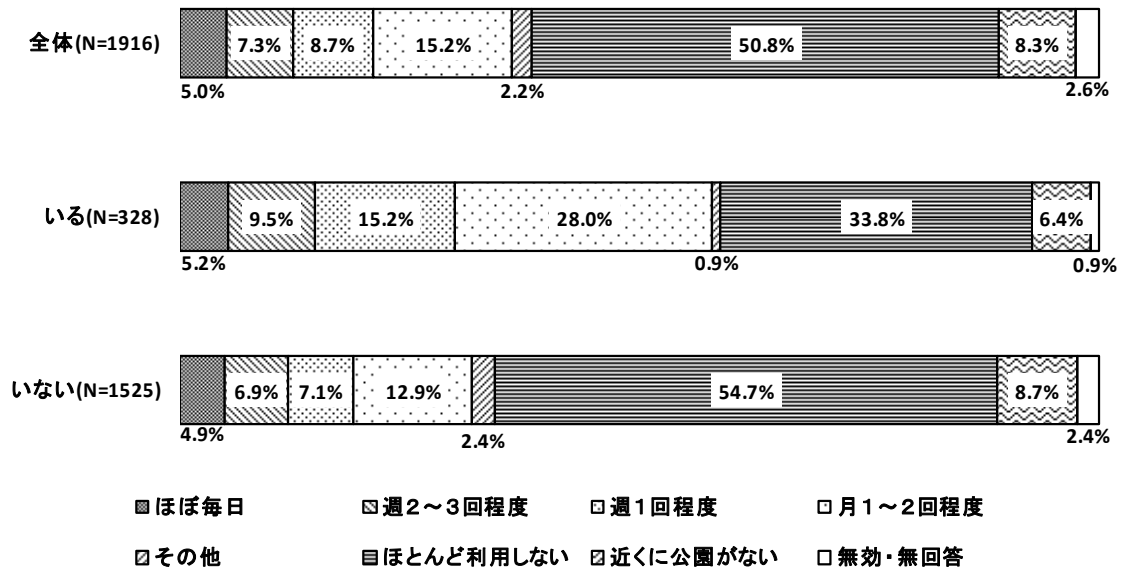
## ● 年代別 ●

年代別にみると【30代】(44.3%)及び【70代】(46.7%)が、他の年代に比べて《利用している》(「ほぼ毎日」、「週2~3回程度」、「週1回程度」、「月1~2回程度」の合計)の割合が多くなっている。



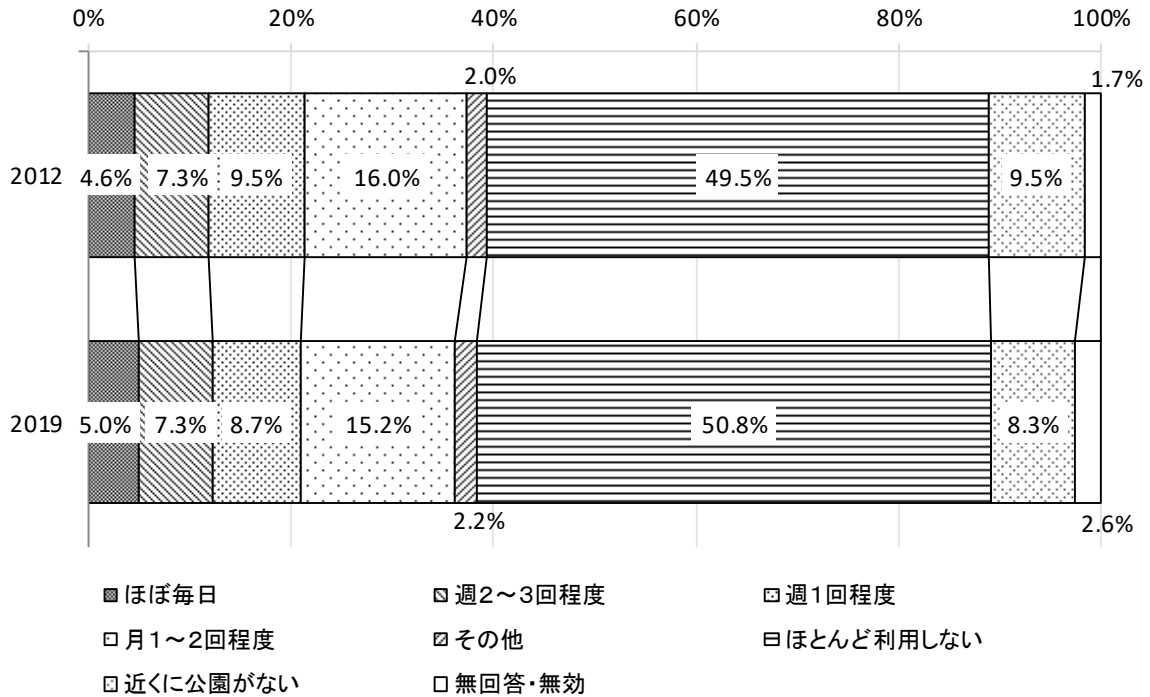
## ● 小学校以下の子どもの有無別 ●

小学生以下の子どもの有無別にみると、《利用している》（「ほぼ毎日」、「週 2～3 回程度」、「週 1 回程度」、「月 1～2 回程度」の合計）は、【子どもがいる】と答えた人が 57.9%、【子どもがいない】と答えた人が 31.8%となっている。



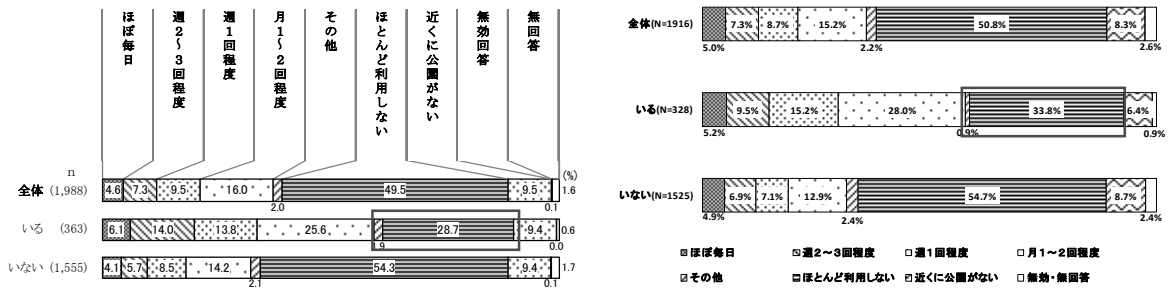
## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年と比較すると、住まいの近くの公園の利用頻度に、大きな変化はみられない。  
また、小学生以下の子どもがいると答えた人の「ほとんど利用しない」の割合が増加している。



「2012年調査」

「2019年調査」

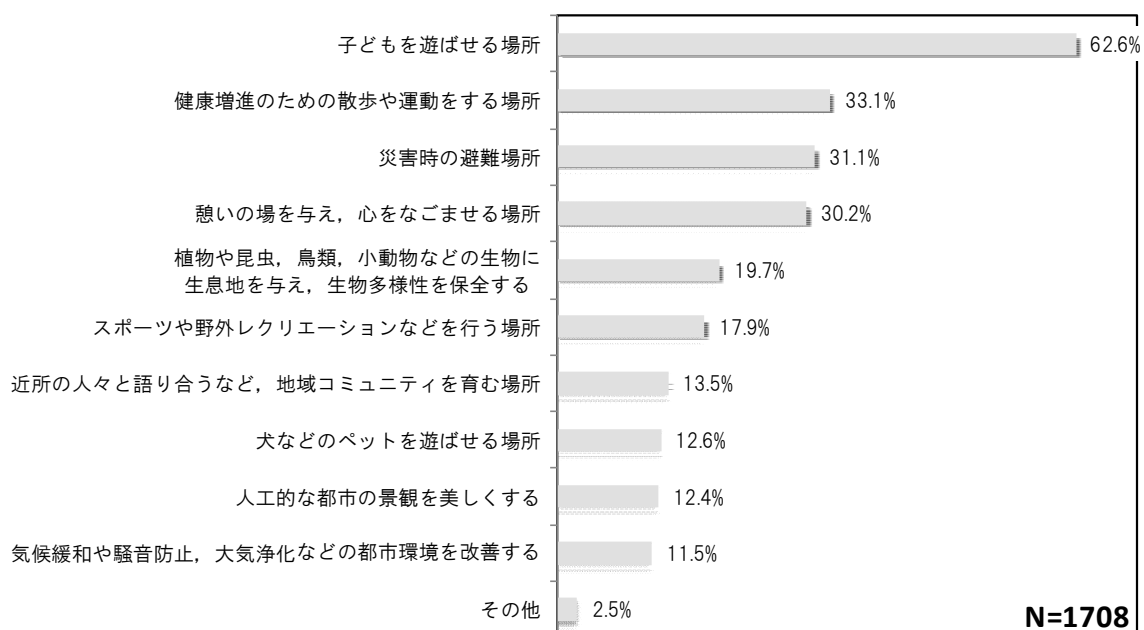


## ②住まいの近くの公園の役割

住まいの近くの公園の役割については、「子どもを遊ばせる場所」(62.6%)が最も多く、次いで「健康増進のための散歩や運動をする場所」(33.1%)、「災害時の避難場所」(31.1%)、「憩いの場を与え、心をなごませる場所」(30.2%)、「植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する」(19.7%)となっている。

問 23 あなたのお住まいの近くにある公園は、どのような役割を持っていますか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)





## ● 年代別 ●

年代別にみると「子どもを遊ばせる場所」は、【20代】から【40代】で7割を越えて多くなっている。

「健康増進のための散歩や運動をする場所」は、【70代】で4割を超えている。

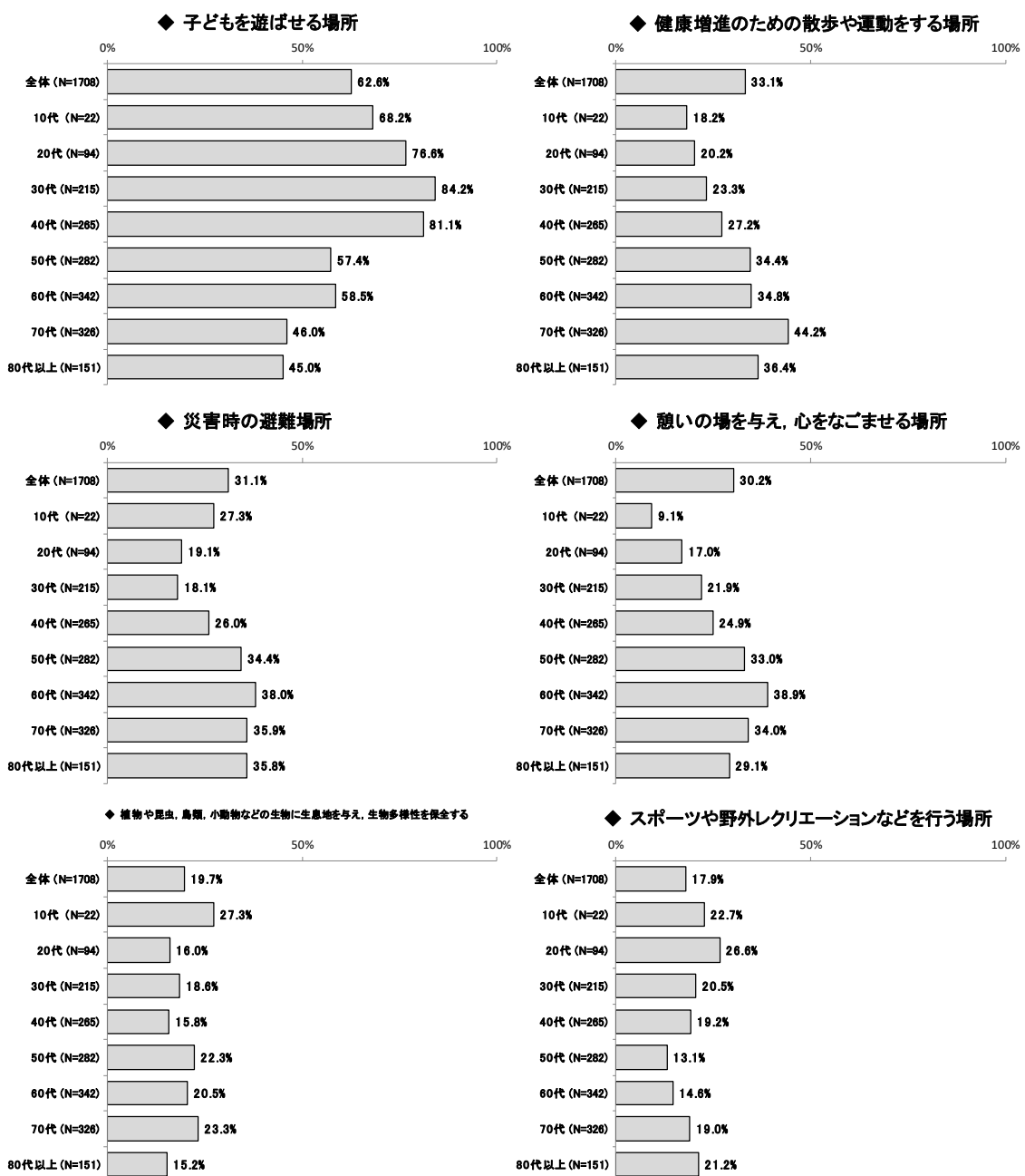
「災害時の避難場所」は、【50代】以降の年代で多くなっている。

「スポーツや野外レクリエーションなどの活動を行う場所」は、【50代】、【60代】を除く各年代で全体の割合より多くなっている。

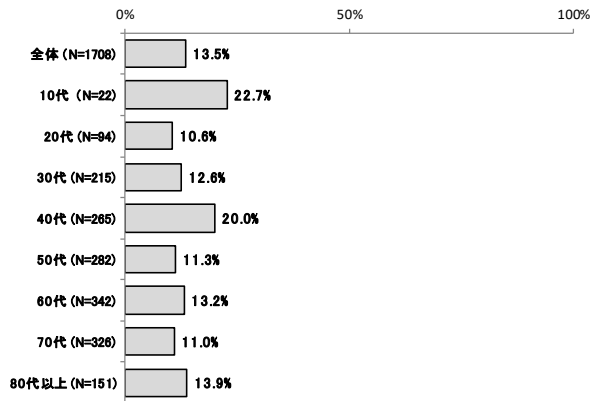
「近所の人々と語り合うなど、地域コミュニティを育む場所」は、【10代】、【40代】で2割を越えて多くなっている。

「犬などのペットを遊ばせる場所」は【10代】で3割を超え、多くなっている。

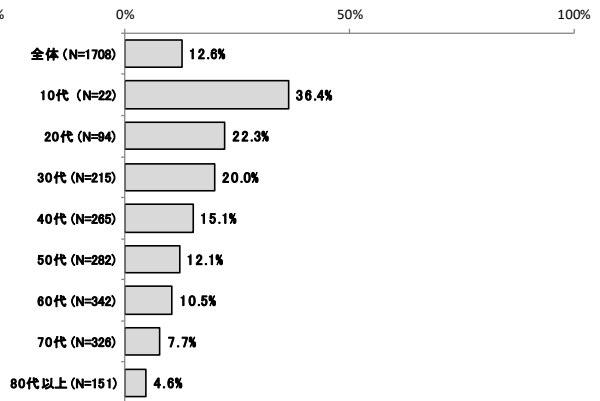
※上位10項目のみ抜粋



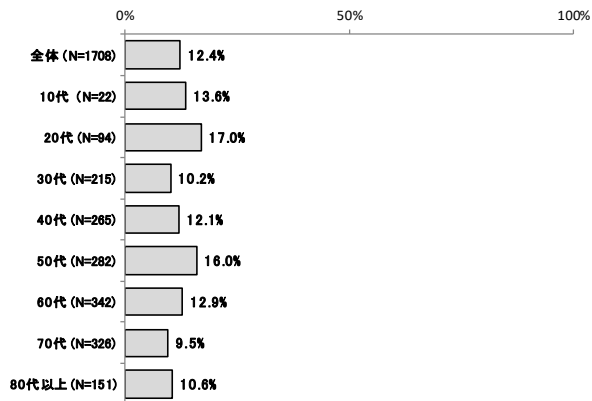
◆ 近所の人々と語り合うなど、地域コミュニティを育む場所



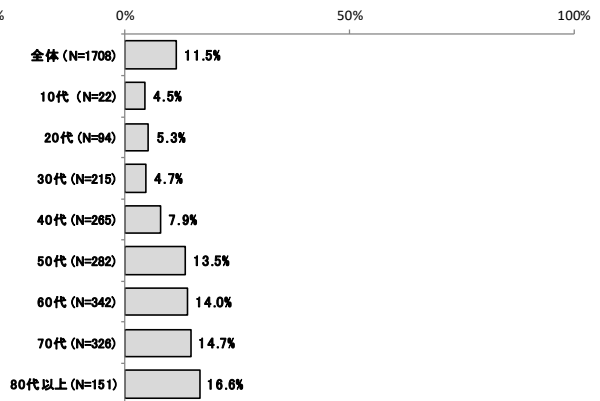
◆ 犬などのペットを遊ばせる場所



◆ 人工的な都市の景観を美しくする



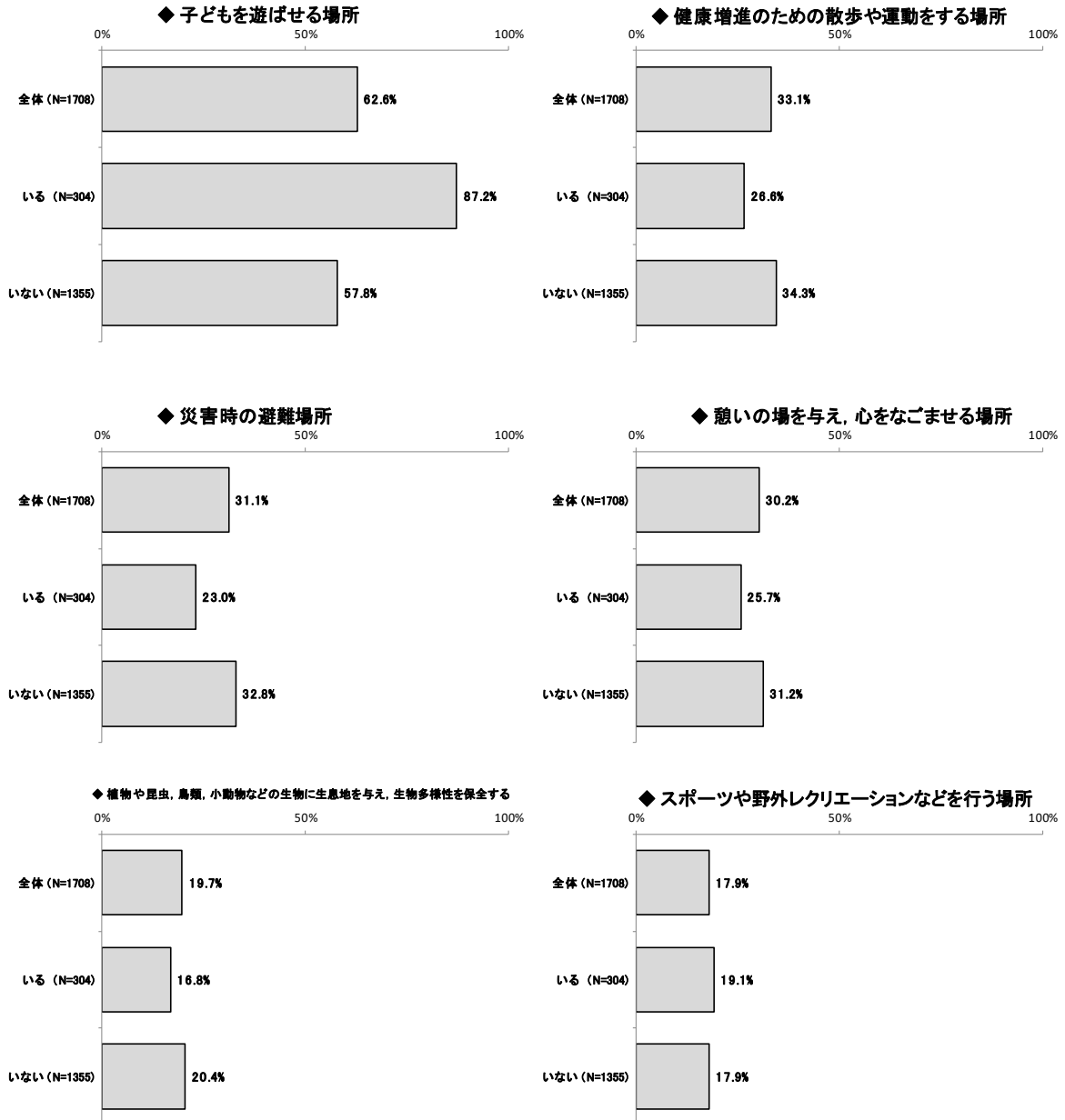
◆ 気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する

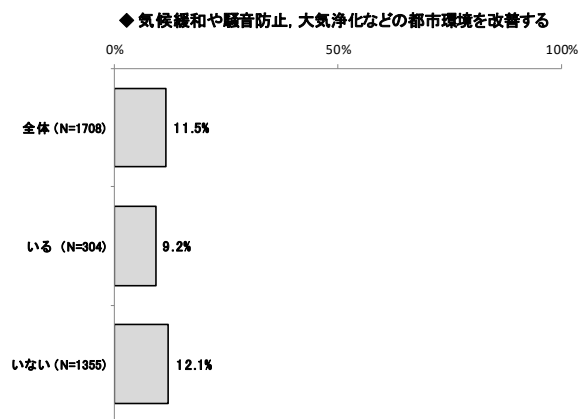
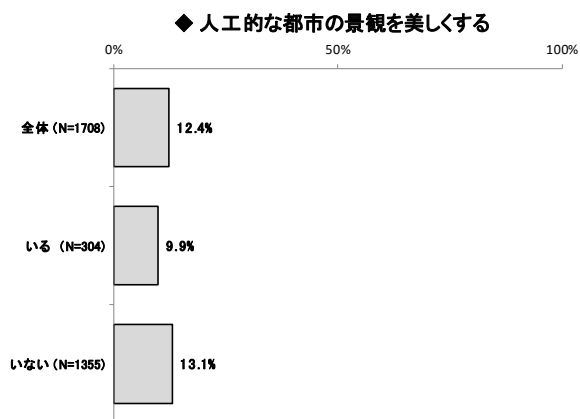
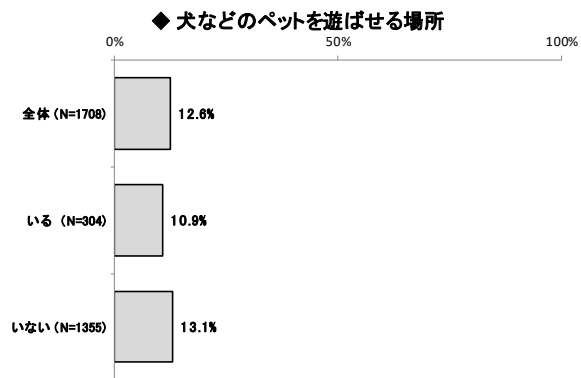
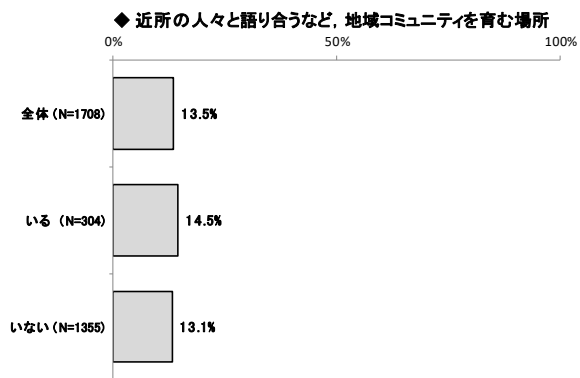


## ● 小学校以下の子どもの有無別 ●

小学生以下の子どもの有無別にみると、「子どもを遊ばせる場所」、「スポーツや野外レクリエーションなどを行う場所」、「近所の人々と語り合うなど、地域コミュニティを育む場所」は、【子どもがいる】人が【子どもがいない】人よりも多くなっている。

※上位 10 項目のみ抜粋



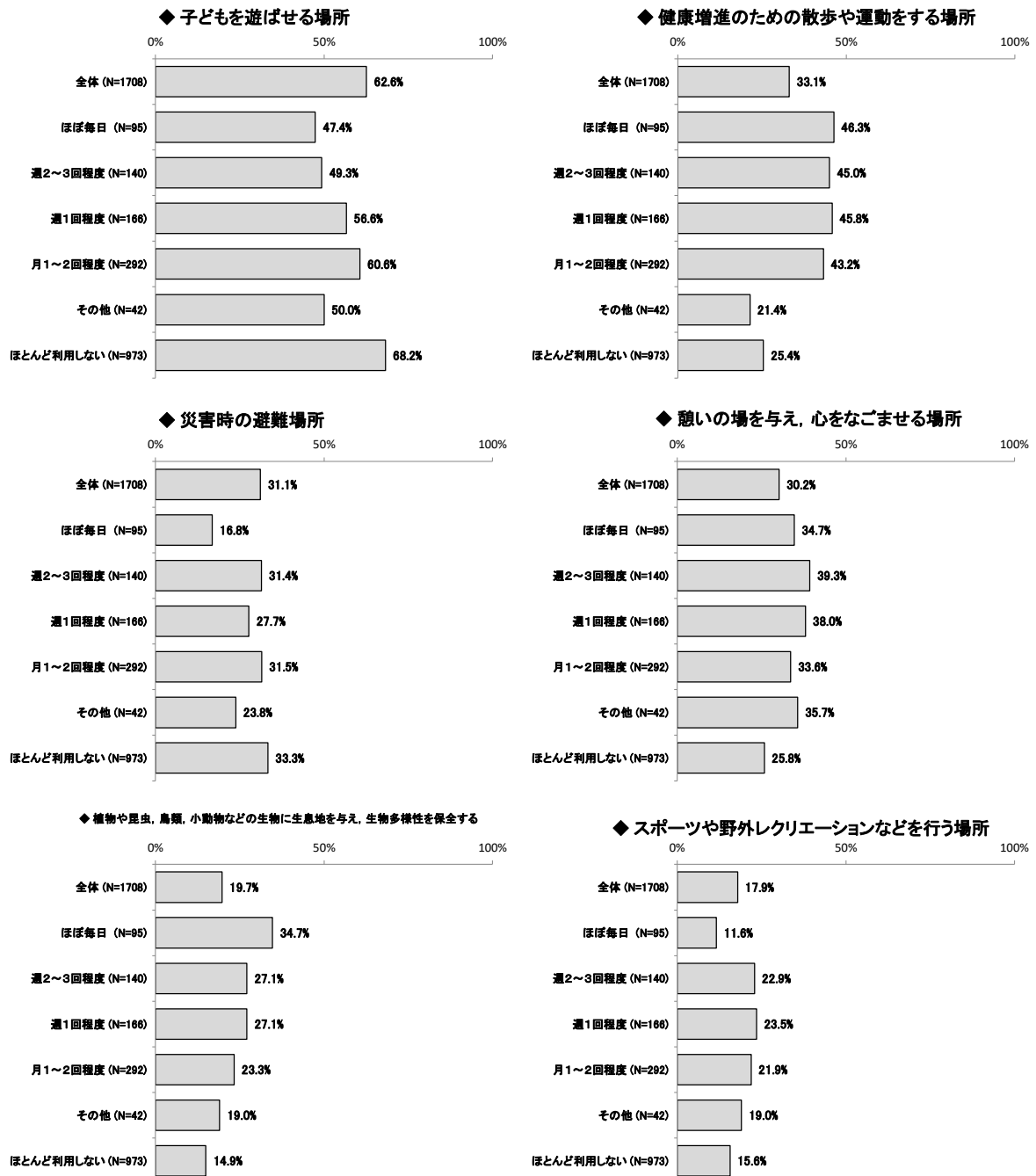


## ● 住まいの近くの公園の利用頻度(問23)別 ●

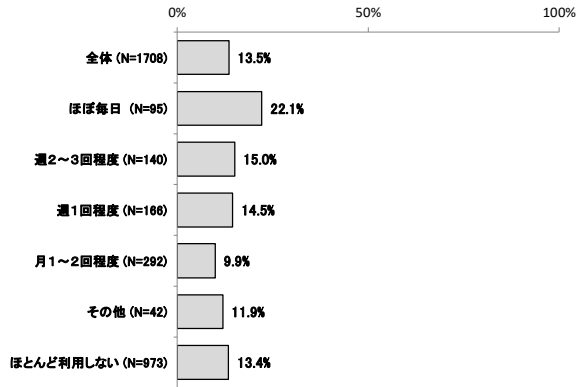
住まいの近くの公園の利用頻度別にみると、「子どもを遊ばせる場所」では、利用頻度が低いほど割合が多くなっている。

また、「健康増進のための散歩や運動をする場所」では、月 1～2 回程度以上利用していると回答している人では、4 割を越えて多くなっている。

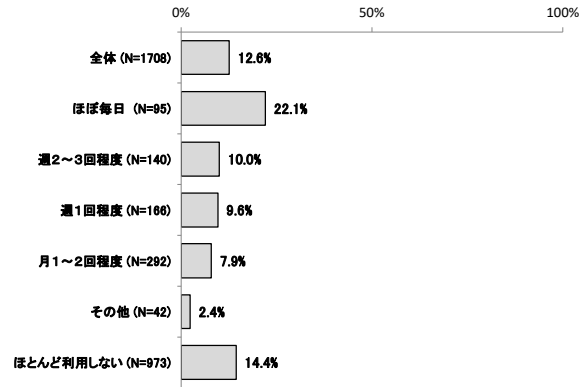
※上位 10 項目のみ抜粋



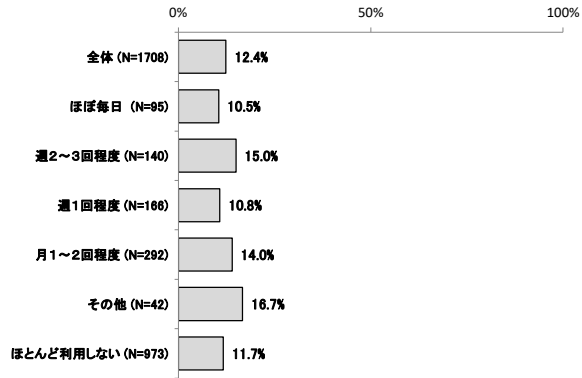
◆ 近所の人々と語り合うなど、地域コミュニティを育む場所



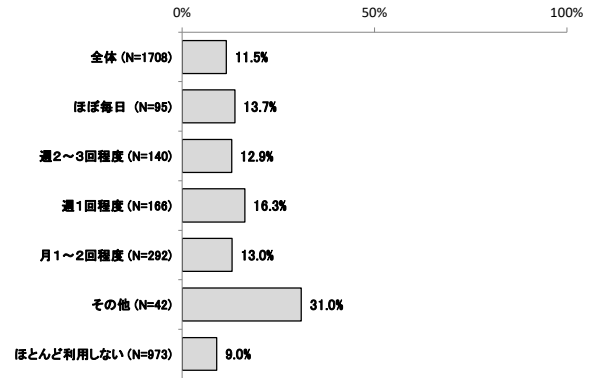
◆ 犬などのペットを遊ばせる場所



◆ 人工的な都市の景観を美しくする

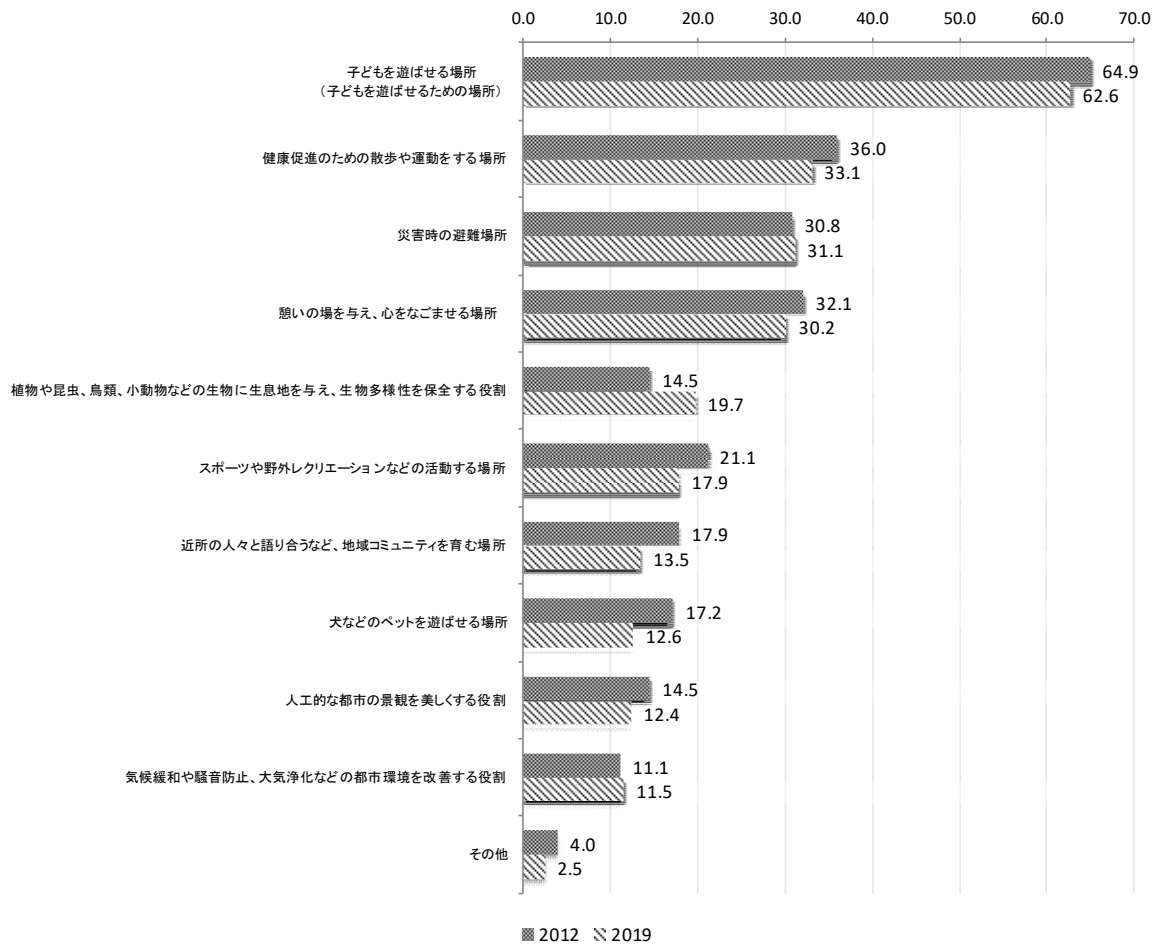


◆ 気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する



## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年と比較すると、大きな変化はみられないが、「災害時の避難場所」や「植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する役割」、「気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する役割」の割合が増加している。

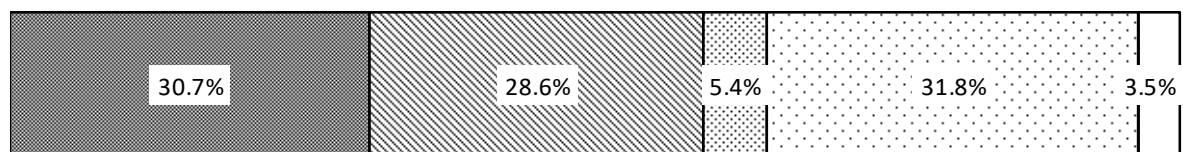


### ③住まいの近くの公園の満足度

住まいの近くの公園の満足度については、「量・質ともに不十分である」(31.8%)が最も多く、次いで「量・質ともに十分である」(30.7%)、「量は十分だが、質はよくない」(28.6%)、「量は不十分だが、質はよい」(5.4%)となっている。

問 24 現在のあなたのお住まいの近くにある公園の量や質について、どのような印象を持っていますか。

※公園の「量」とは広さや数のことで、「質」とは施設の整備や管理の状況のことです。  
(あてはまる番号1つに○)



■ 量・質ともに十分である

▣ 量は十分だが、質はよくない

▤ 量は不十分だが、質はよい

□ 量・質ともに不十分である

□ 無回答・無効

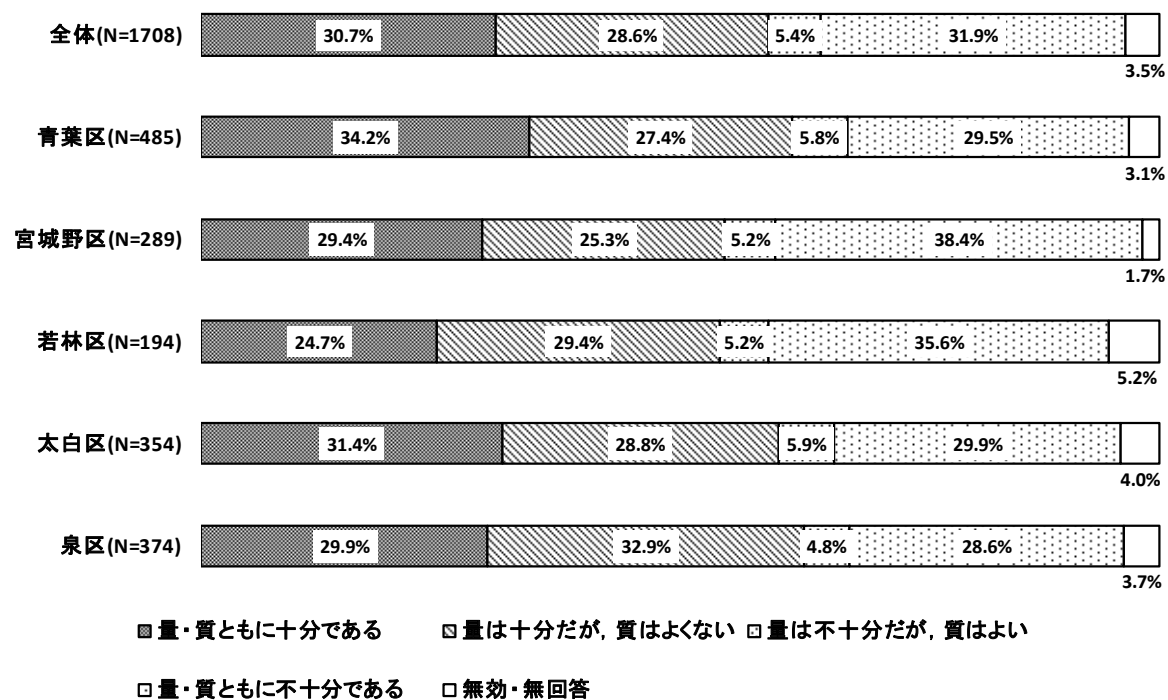
N=1708



## ● 居住地区別 ●

居住地区別にみると、「量・質ともに不十分である」は、【宮城野区】（38.4%）及び【若林区】（35.6%）で3割を超え、他の区に比べて多くなっている。

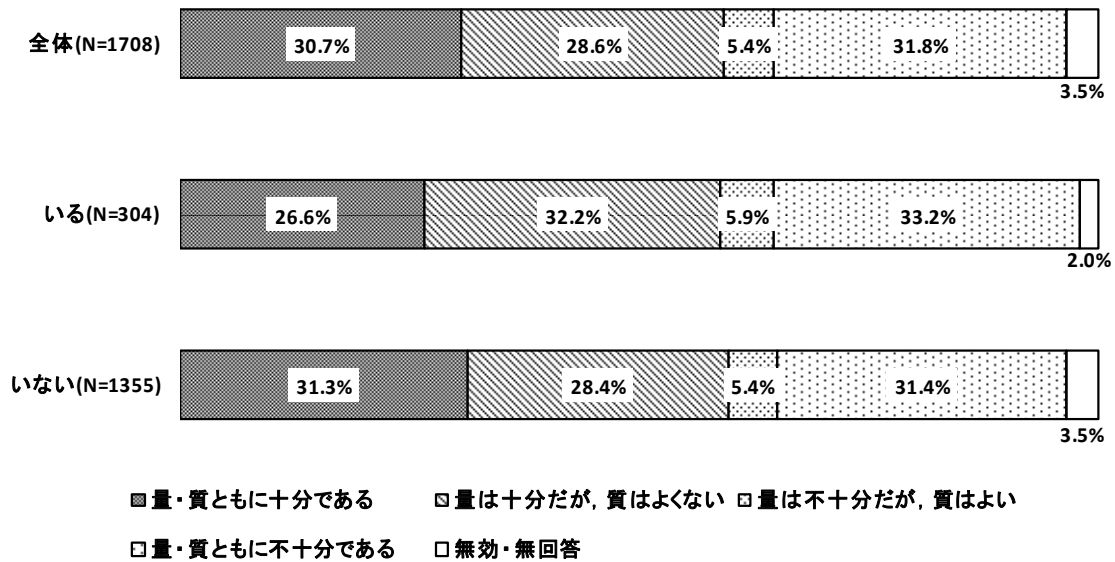
【青葉区】では、「量・質ともに十分である」が34.2%、「量は十分だが、質はよくない」が27.4%、【泉区】では、「量・質ともに十分である」が29.9%、また、「量は十分だが、質はよくない」が32.9%と、他の区と比べて多くなっている。



## ● 小学校以下の子どもの有無別 ●

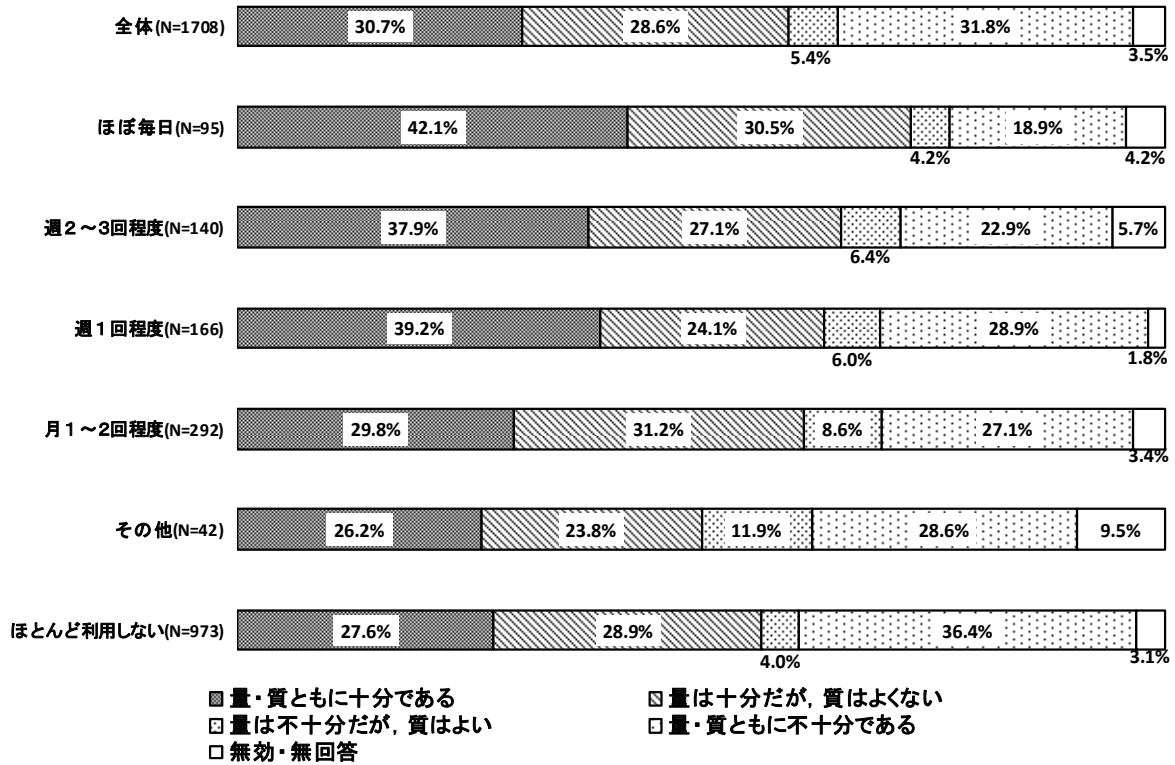
小学生以下の子どもの有無別にみると、「量・質ともに十分である」は、【子どもがいない】人（31.3%）が【子どもがいる】人（26.6%）を上回っている。

また、「量・質ともに不十分である」では、【子どもがいる】人（33.2%）が【子どもがいない】人（31.4%）を上回っている。



## ● 住まいの近くの公園の利用頻度(問24)別 ●

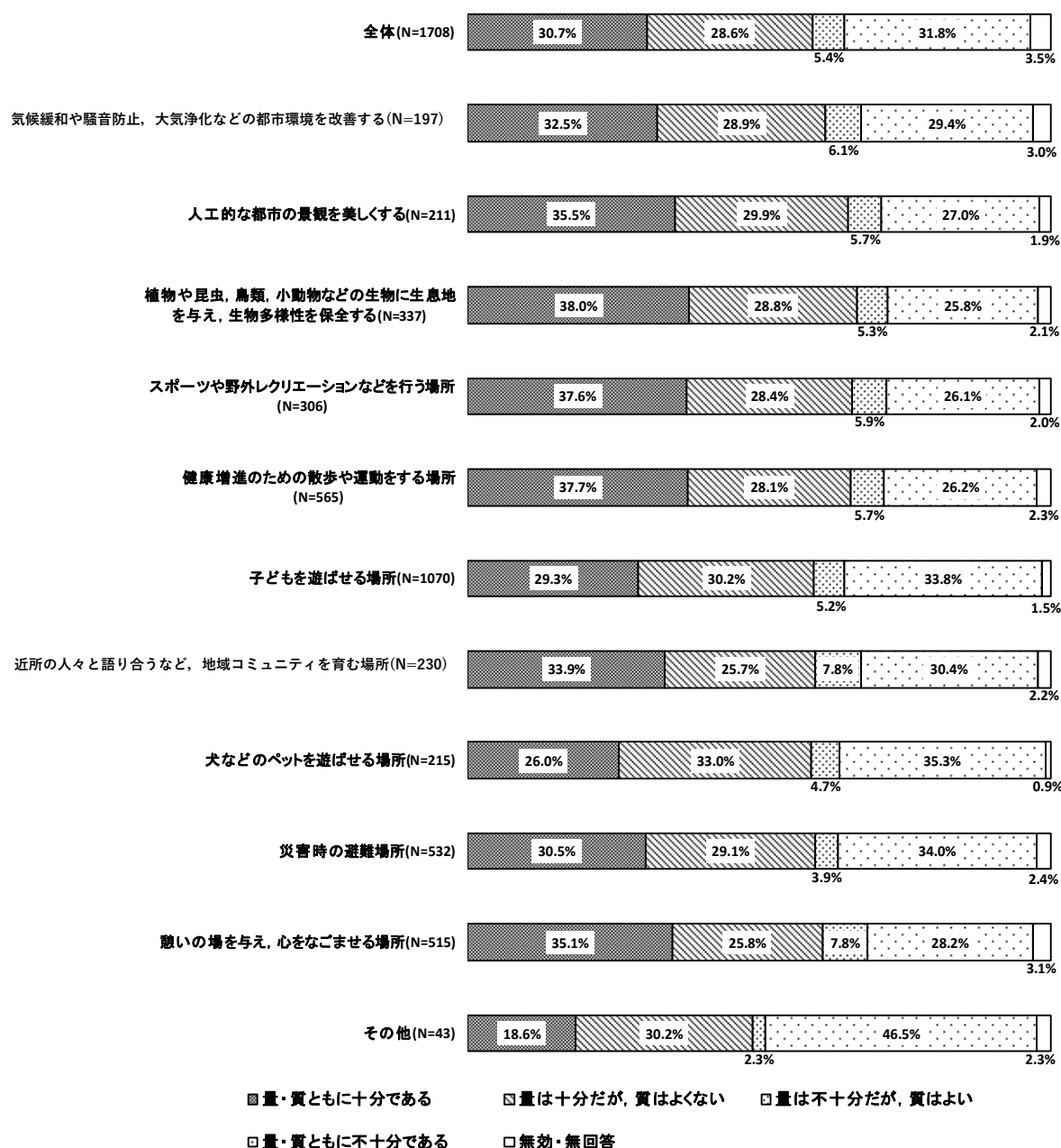
住まいの近くの公園の利用頻度別にみると、「ほぼ毎日」と回答した人では、「量・質ともに十分である」が4割を超え高くなっているのに対し、「ほとんど利用しない」と回答した人では、「量・質ともに不十分である」が3割を超え、高くなっている。



## ● 住まいの近くの公園の役割(問24)別 ●

住まいの近くの公園の役割別にみると、「量・質ともに十分である」は、【植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する】(38.0%)、【健康増進のための散歩や運動をする場所】(37.7%)、【スポーツや野外レクリエーションなどを行う場所】(37.6%)、【人工的な都市の景観を美しくする】(35.5%)、【憩いの場を与え、心をなごませる場所】(35.1%)、【近所の人々と語り合うなど、地域コミュニティを育む場所】(33.9%)、【気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する】(32.5%)、【災害時の避難場所】(30.5%) で3割を超えている。

また、「量・質ともに不十分である」は、【犬などのペットを遊ばせる場所】(35.3%)、【災害時の避難場所】(34.0%)、【子どもを遊ばせる場所】(33.8%)、【近所の人々と語り合うなど、地域コミュニティを育む場所】(30.4%) で3割を超えている。

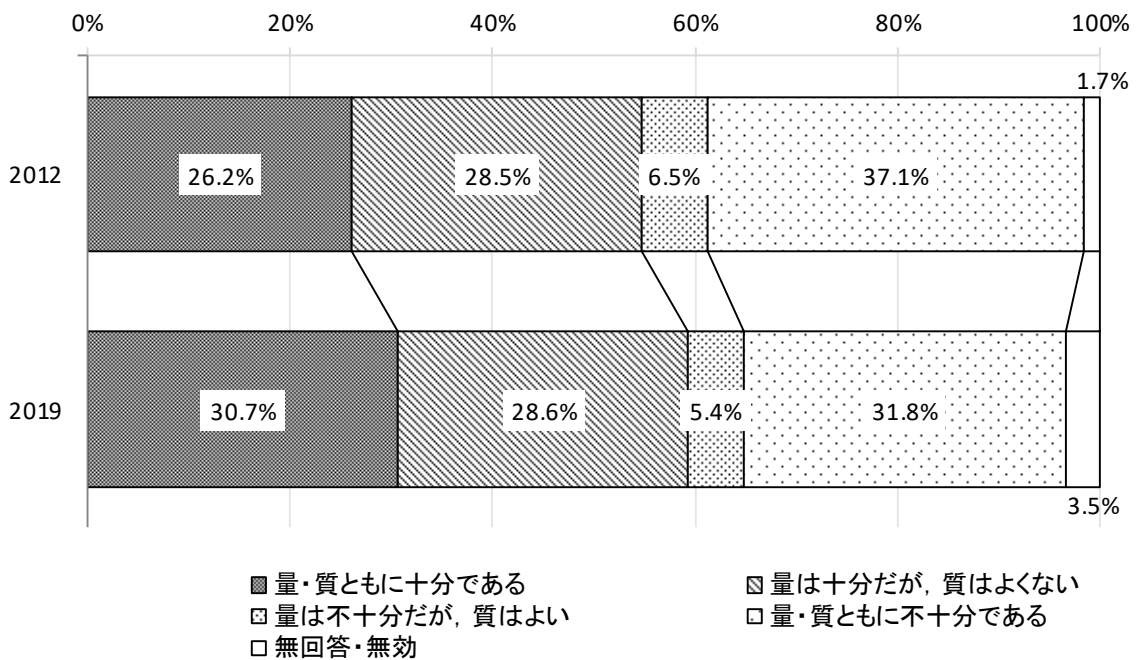


## ● 2012年アンケートとの比較 ●

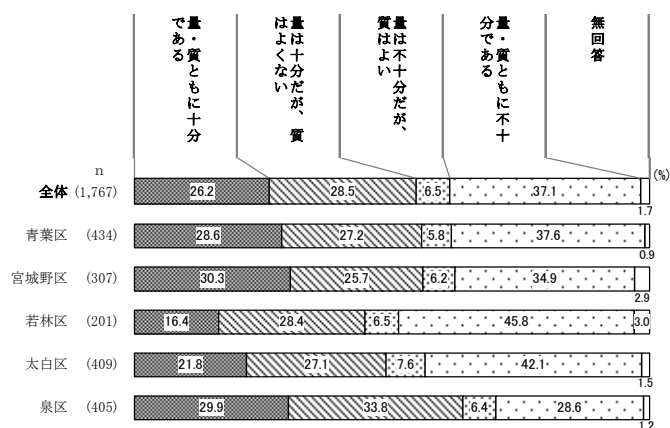
2012年と比較すると、「量・質ともに十分である」の割合が増加し、「量・質ともに不十分である」の割合が減少しており、住まいの近くの公園の満足度が高まっている。

また、居住地区別にみると、青葉区、若林区、太白区は「量・質ともに十分である」の割合が増加し、宮城野区は減少している。

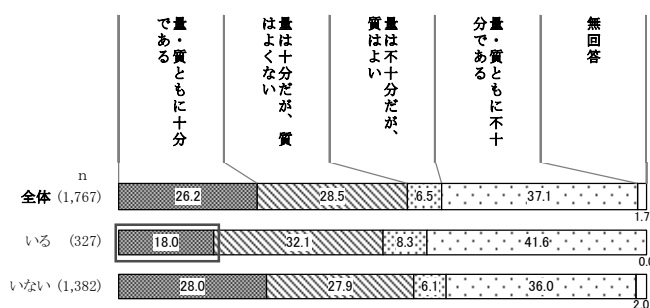
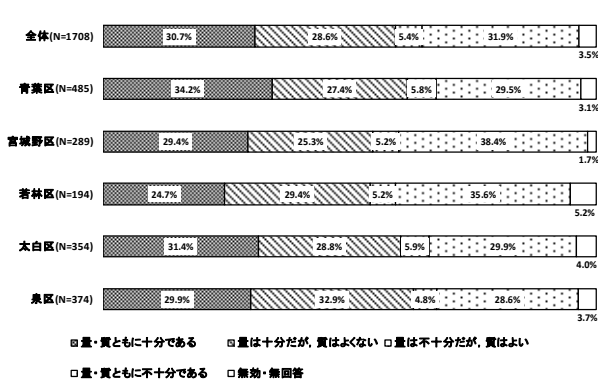
小学生以下の子どもの有無別にみると、特に公園の利用頻度が高い小学生以下の子どもがいる人の「量・質ともに十分である」の割合が増加しており、満足度が高くなっている。



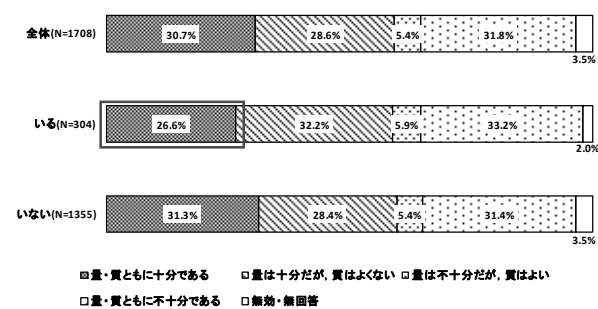
「2012年調査」



「2019年調査」



※小学生以下の子どもの有無



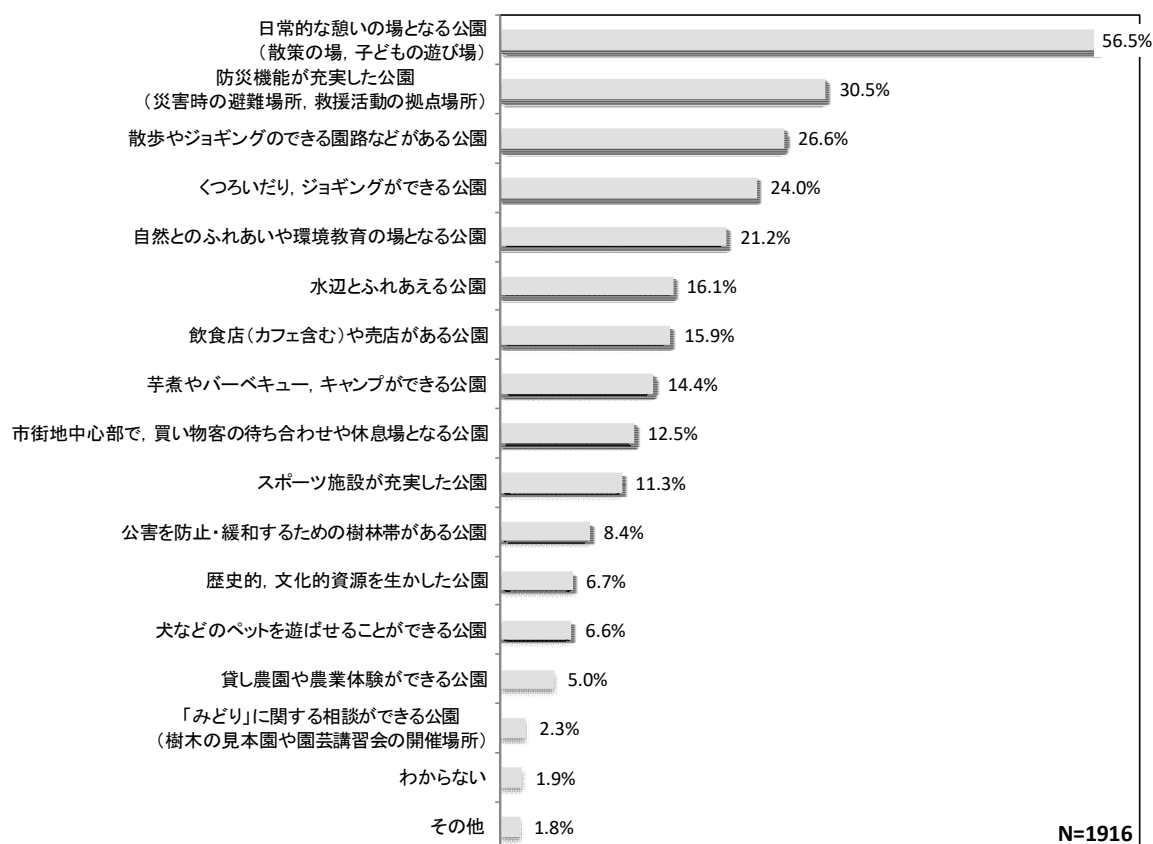
※小学生以下の子どもの有無

#### ④仙台市内で増やして欲しい公園

仙台市内で増やして欲しい公園については、「日常的な憩いの場となる公園（散策の場、子どもの遊び場）」（56.5%）が最も多く、次いで「防災機能が充実した公園（災害時の避難場所、救援活動の拠点場所）」（30.5%）、「散歩やジョギングのできる園路などがある公園」（26.6%）、「くつろいだり、ジョギングができる公園」（24.0%）、「自然とのふれあいや環境教育の場となる公園」（21.2%）となっている。

問 25 仙台市内で、今後増やして欲しい公園はどのような公園ですか。

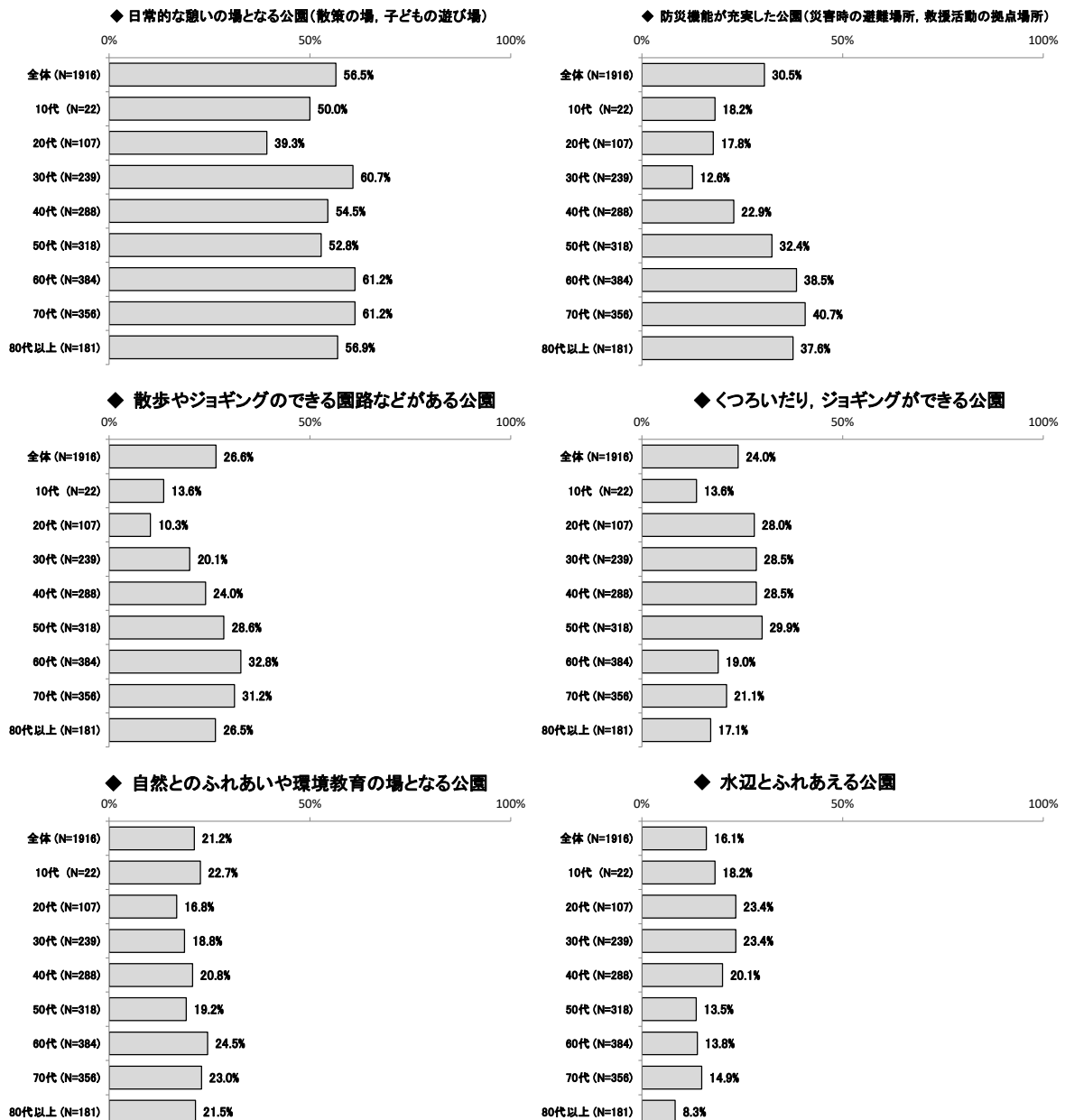
（主にあてはまる番号3つまでに○）



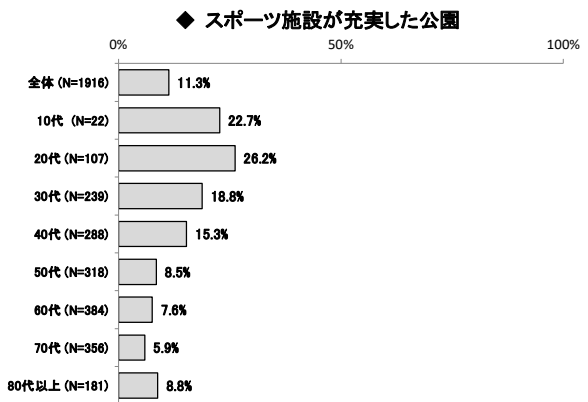
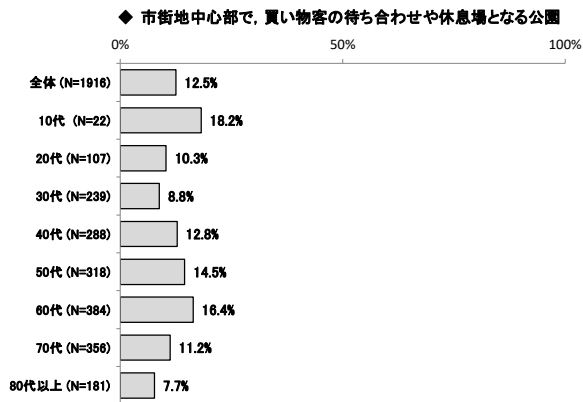
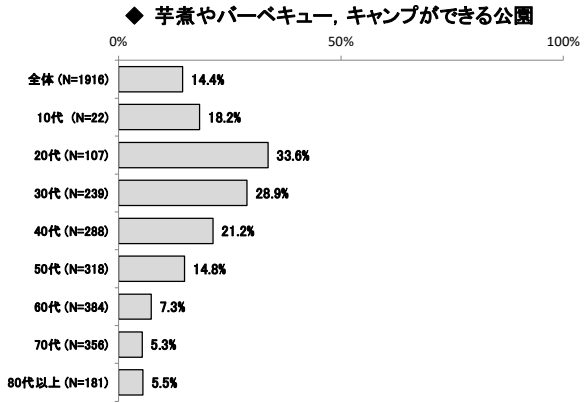
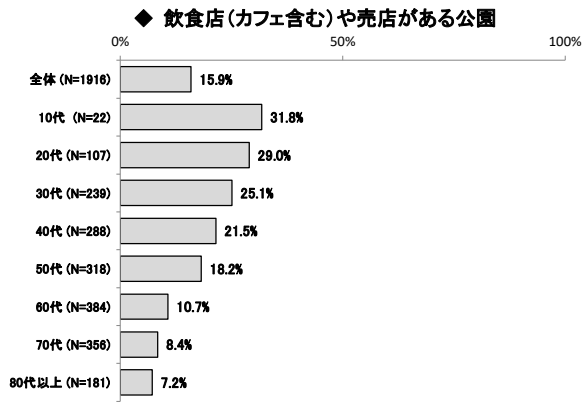
## ● 年代別 ●

年代別にみると、「日常的な憩いの場となる公園（散策の場、子どもの遊び場）」では、【20代】以外で5割を超えている。「防災機能が充実した公園（災害時の避難場所、救援活動の拠点場所）」では【50代】以降の年代で3割を超えている。「くつろいだり、ジョギングができる公園」では【20代】から【50代】で全体より多くなっている。

※上位10項目のみ抜粋





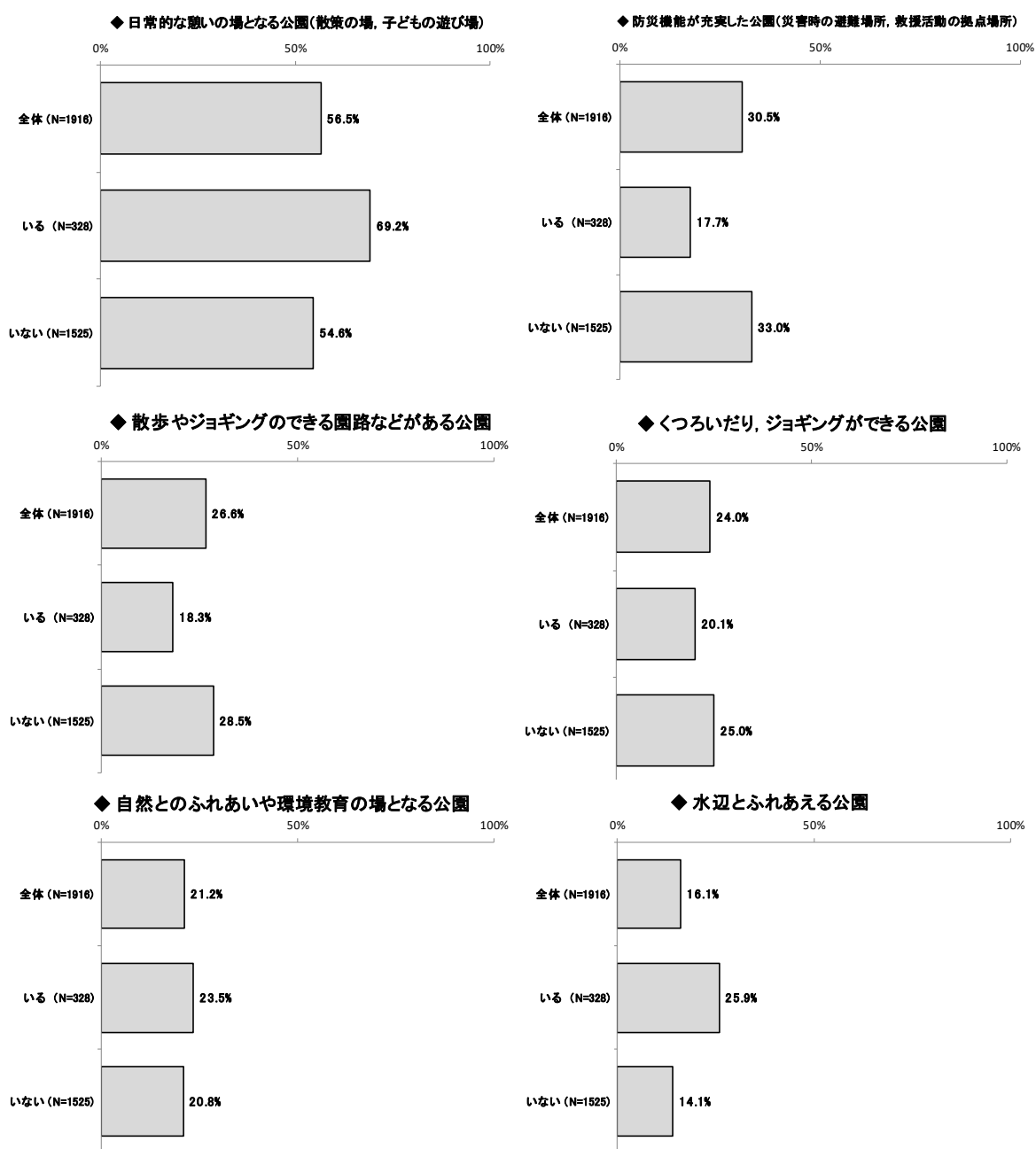


## ● 小学校以下の子どもの有無別 ●

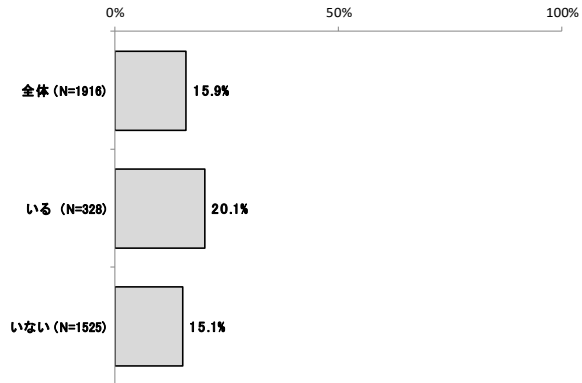
小学生以下の子どもの有無別にみると、【子どもがいる】人では、「日常的な憩いの場となる公園（散策の場、子どもの遊び場）」（69.2%）、「芋煮やバーベキュー、キャンプができる公園」（27.4%）「水辺と触れ合える公園」（25.9%）で、【子どもがいない】人を大きく上回っている。

一方、【子どもがいない】人では、「防災機能が充実した公園（災害時の避難場所、救援活動の拠点場所）」（33.0%）、「散歩やジョギングのできる園路などがある公園」（28.5%）となっており、【子どもがいる】人を大きく上回っている。

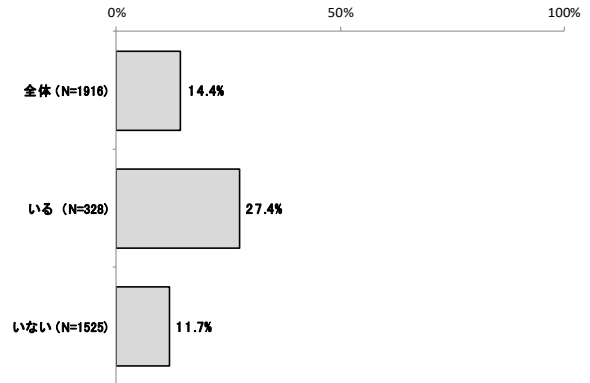
※上位 10 項目のみ抜粋



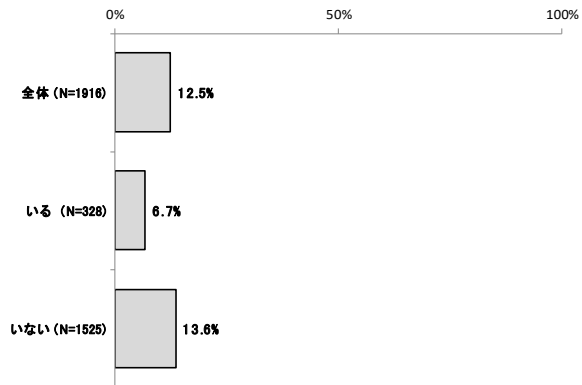
◆ 飲食店(カフェ含む)や売店がある公園



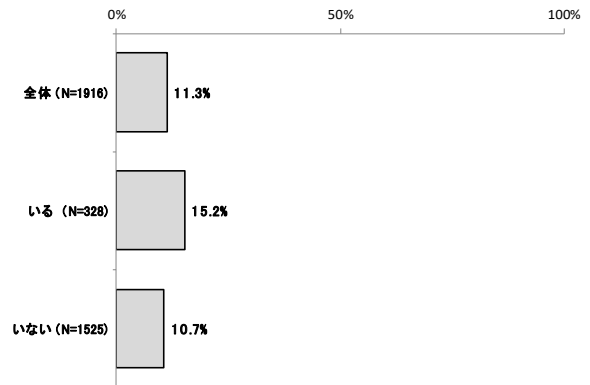
◆ 芋煮やバーベキュー, キャンプができる公園



◆ 市街地中心部で, 買い物客の待ち合わせや休憩場となる公園

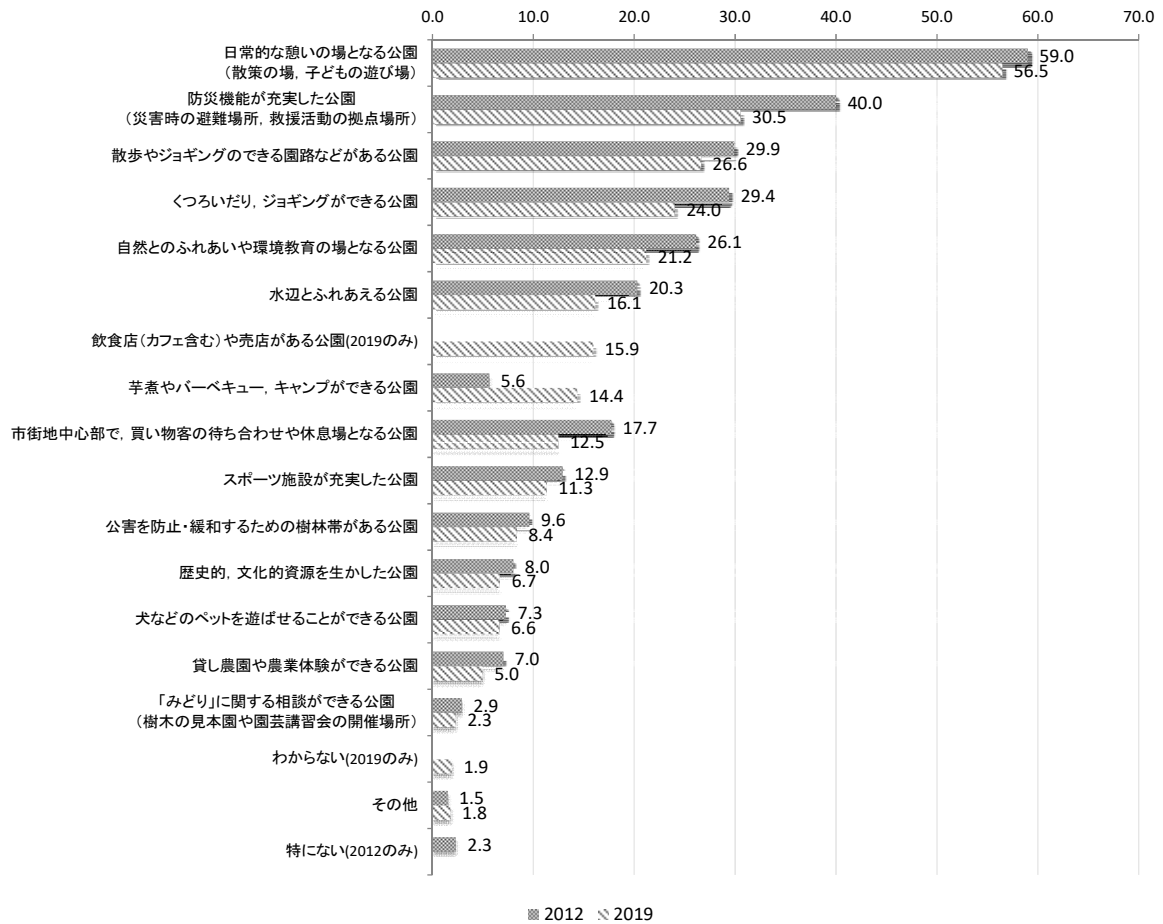


◆ スポーツ施設が充実した公園



## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年と比較すると、「日常的な憩いの場となる公園（散策の場、子どもの遊び場）」などを含む前回と同様の選択肢の割合が減少し、新しく追加した選択肢「飲食店（カフェ含む）や売店がある公園」の回答が約2割と多くなっている。



#### (4)「都心部」と「住宅地」の街路樹について

##### ①街路樹の満足度

都心部の街路樹の印象については、「量・質ともに十分である」(33.7%)が最も多く、次いで「量・質ともに不十分である」(31.7%)、「量は十分だが、質はよくない」(15.6%)、「量は不十分だが、質はよい」(15.3%)となっている。

住宅地の街路樹の印象については、「量・質ともに不十分である」(38.7%)が最も多く、次いで「量・質ともに十分である」(26.9%)、「量は十分だが、質はよくない」(22.5%)、「量は不十分だが、質はよい」(8.2%)となっている。

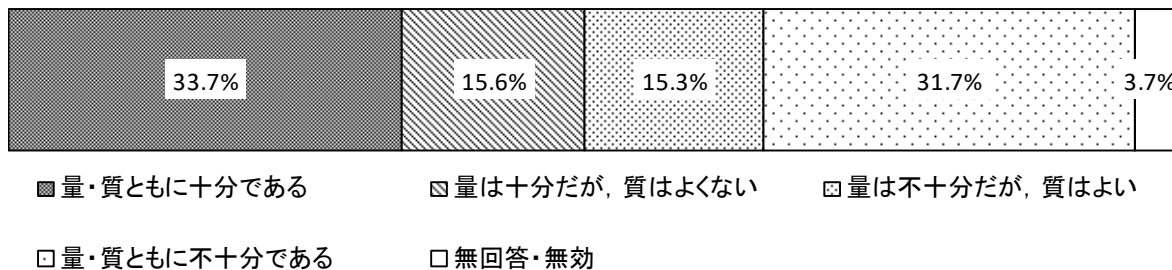
都心部と住宅地を比較すると、都心部の方が「量・質ともに十分である」の割合が高く、また「量・質ともに不十分である」の割合も低いことから、都心部の満足度の方が高くなっている。

問 26 現在の仙台市の都心部、住宅地の街路樹の量や質について、それぞれどのような印象を持っていますか。

※街路樹の「質」とは、気候緩和などの都市環境を改善する機能や、景観を美しくする機能、生物を保全する機能、癒し(いやし)を与える機能などのことです。

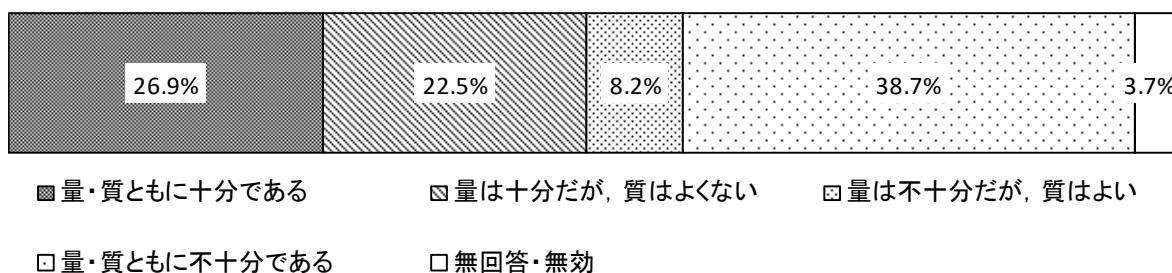
(「都心部」「住宅地」各項目それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

##### 【都心部】



##### 【住宅地】

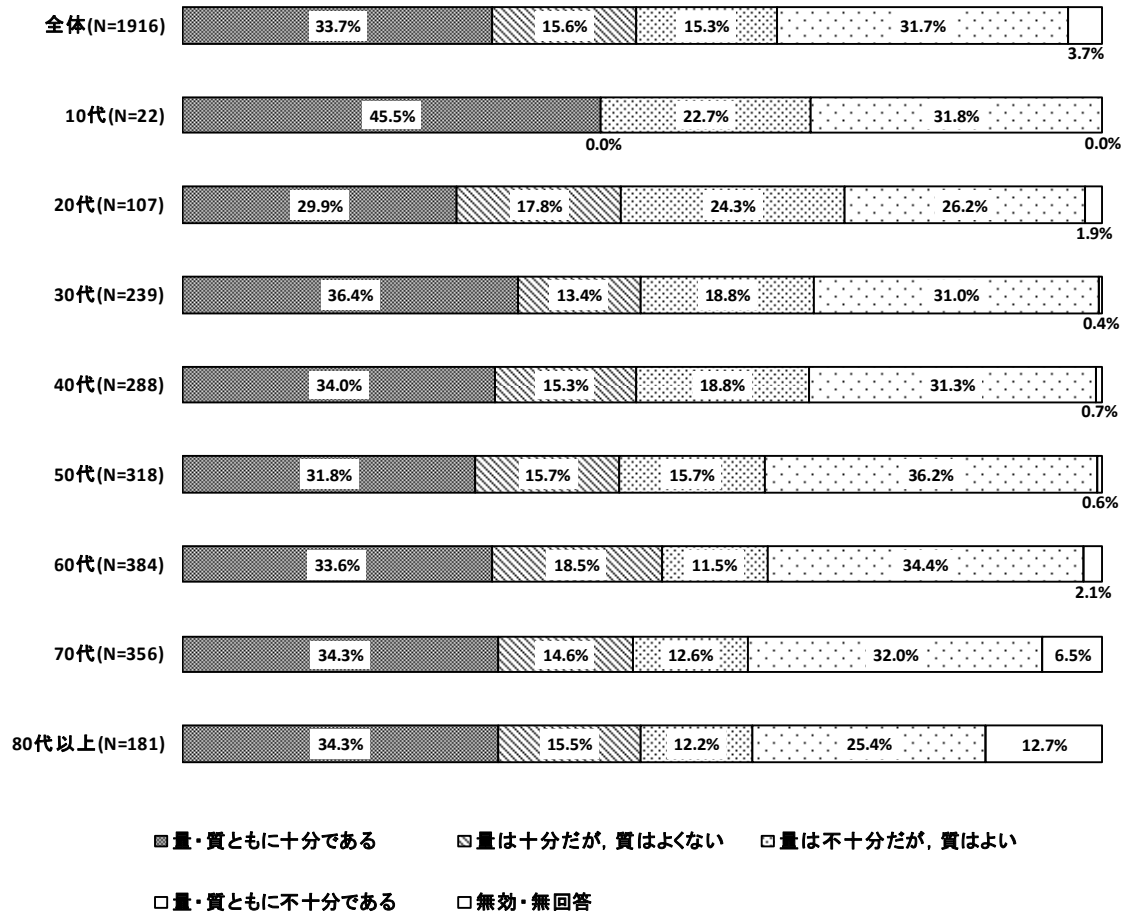
N=1916



N=1916

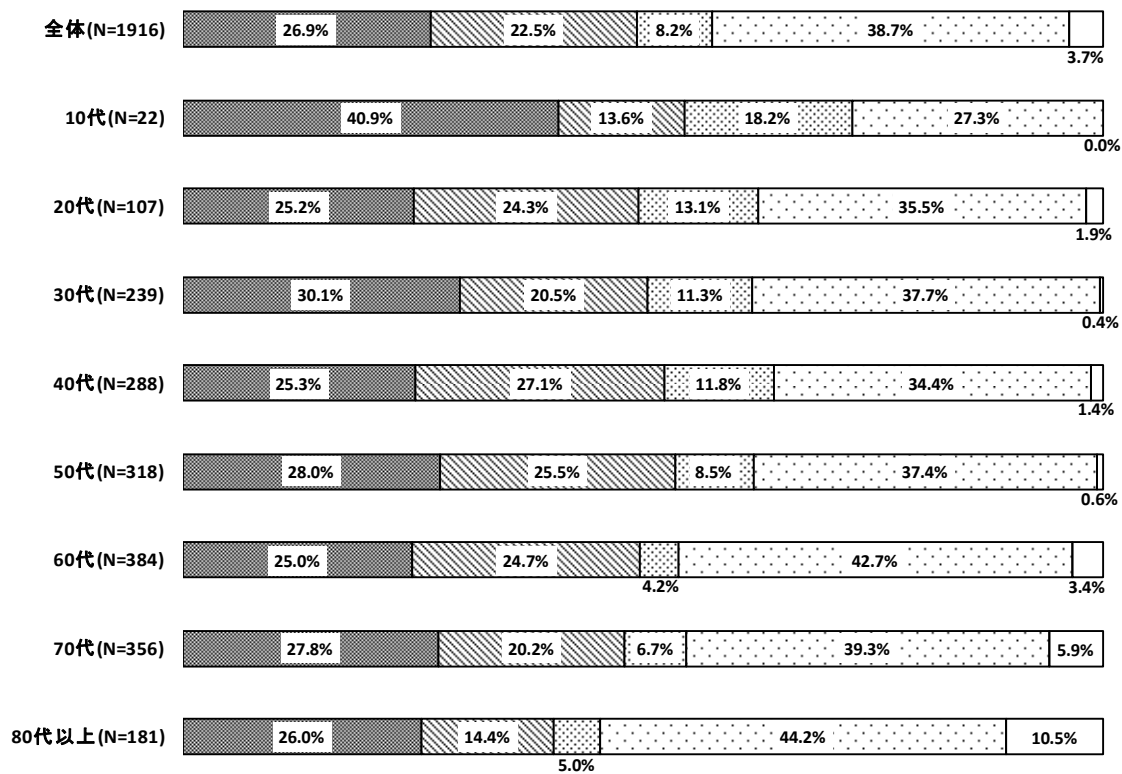
## ● 年代別(都心部) ●

都心部の街路樹の印象を、年代別にみると、「量・質ともに十分である」が【50代】、【60代】を除く各年代で「量・質ともに不十分である」を上回っている。



## ● 年代別(住宅地) ●

住宅地の街路樹の印象を、年代別にみると、「量・質ともに十分である」が【10代】を除く各年代で「量・質ともに不十分である」を下回っており、【50代】以降の年代では、4割前後と全体より多くなっている。



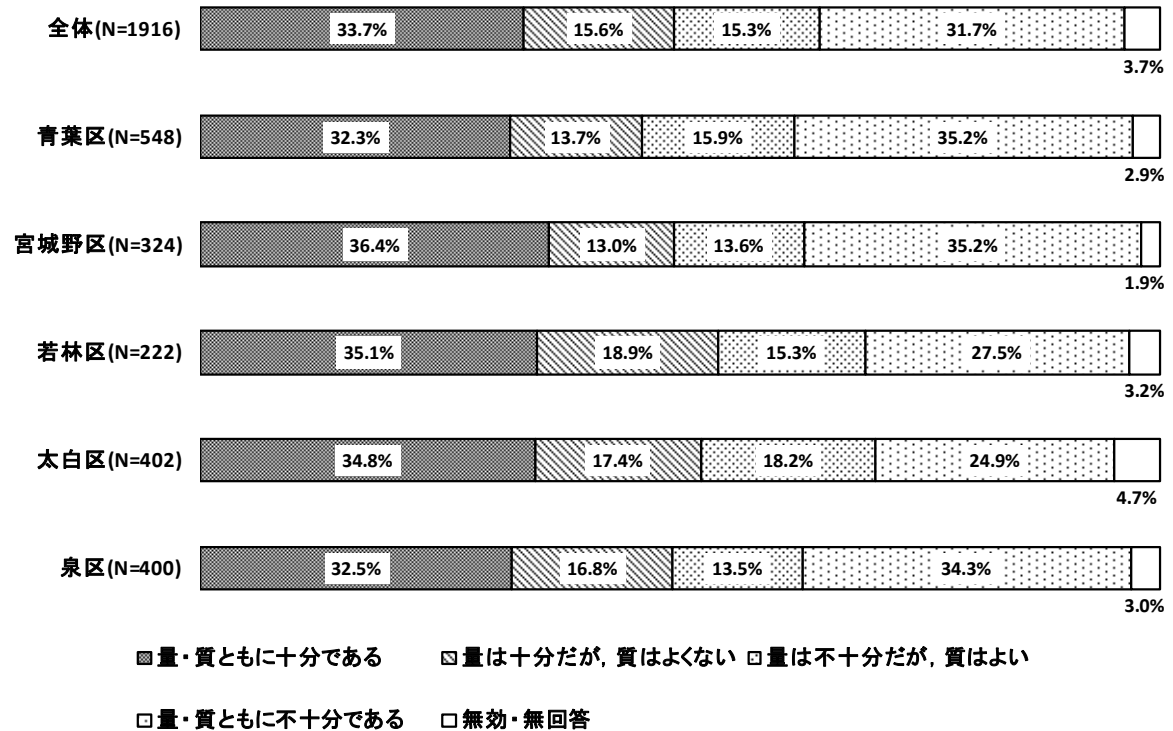
■ 量・質ともに十分である      ▨ 量は十分だが、質はよくない      □ 量は不十分だが、質はよい

□ 量・質ともに不十分である      □ 無効・無回答

## ● 居住地区別(都心部) ●

都心部の街路樹の印象を、居住地区別にみると、「量は十分だが、質はよくない」は、【若林区】(18.9%)で他の区に比べて多くなっている。

また、「量は不十分だが、質はよい」では、【太白区】(18.2%)で他の区に比べて多くなっている。

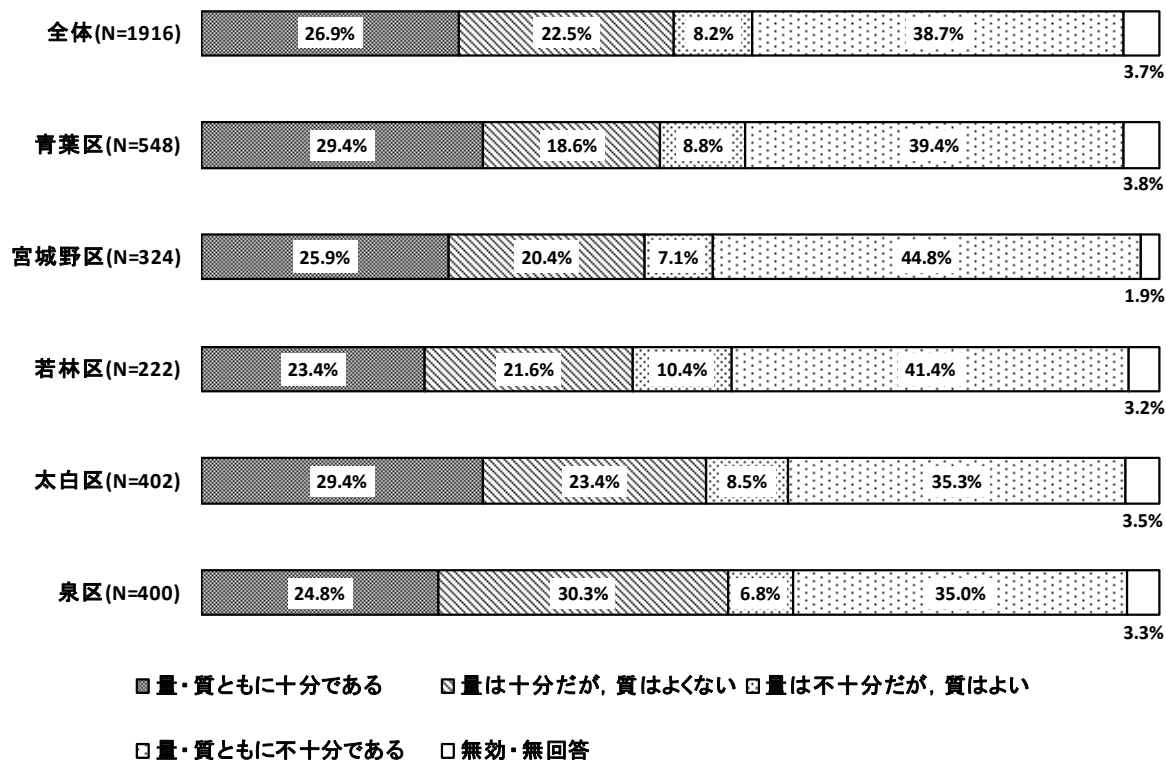




## ● 居住地区別(住宅地) ●

住宅地の街路樹の印象を、居住地区別にみると、「量は十分だが、質はよくない」は、【泉区】(30.3%)で、他の区に比べて多くなっている。

また、「量・質ともに不十分である」は、【宮城野区】(44.8%)及び【若林区】(41.4%)で、他の区に比べて多くなっている。



## ● 満足度の比較 ●

『問9 身近なみどりの満足度』、『問14 「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度』、『問24 住まいの近くの公園の満足度』、『問26 街路樹の印象【都心部】』及び『問26 街路樹の印象【住宅地】』の比較である。

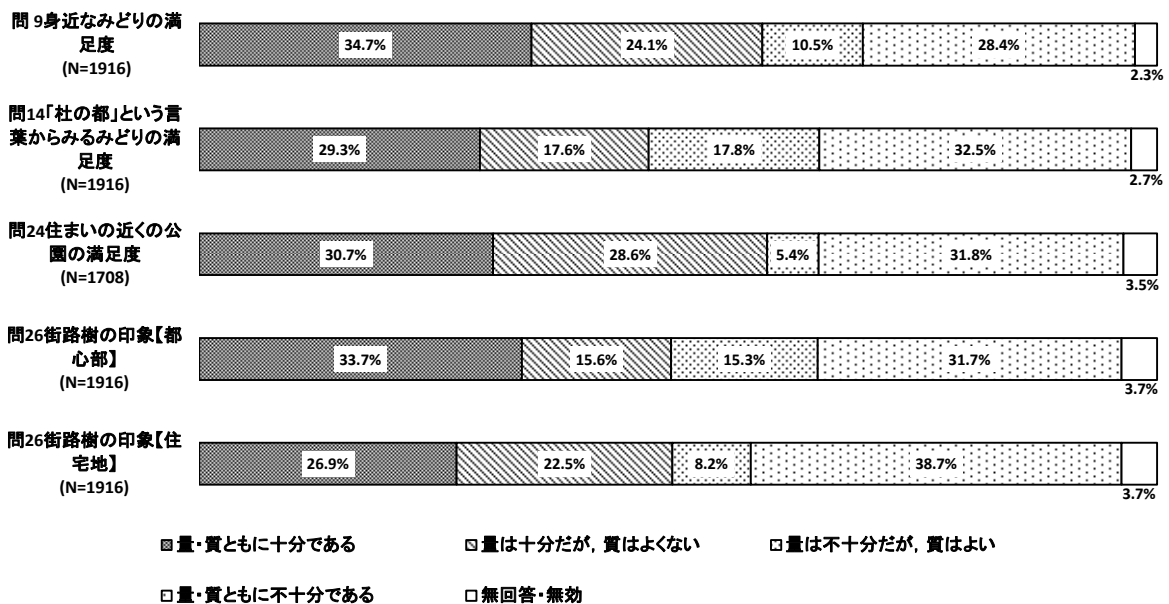
『問9 身近なみどりの満足度』と『問14 「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度』を比較すると、身近なみどりの満足度のほうが高い。また、身近なみどりは量に関する満足度が高い一方、「杜の都」という言葉からみるみどりは質に関する満足度が高い。

全ての設問で比較すると、『問9 身近なみどりの満足度』及び『問26 街路樹の印象【都心部】』を除く設問では「量・質ともに不十分である」が最も多くなっている。特に、『問26 街路樹の印象【住宅地】』では38.7%と他の設問に比べて多くなっている。

「量・質ともに十分である」は、『問9 身近なみどりの満足度』(34.7%)、『問26 街路樹の印象【都心部】』(33.7%)、『問24 住まいの近くの公園の満足度』(30.7%)で3割を超え、多くなっている。

「量は十分だが、質はよくない」は、『問24 住まいの近くの公園の満足度』で28.6%と、他の設問に比べて多くなっている。

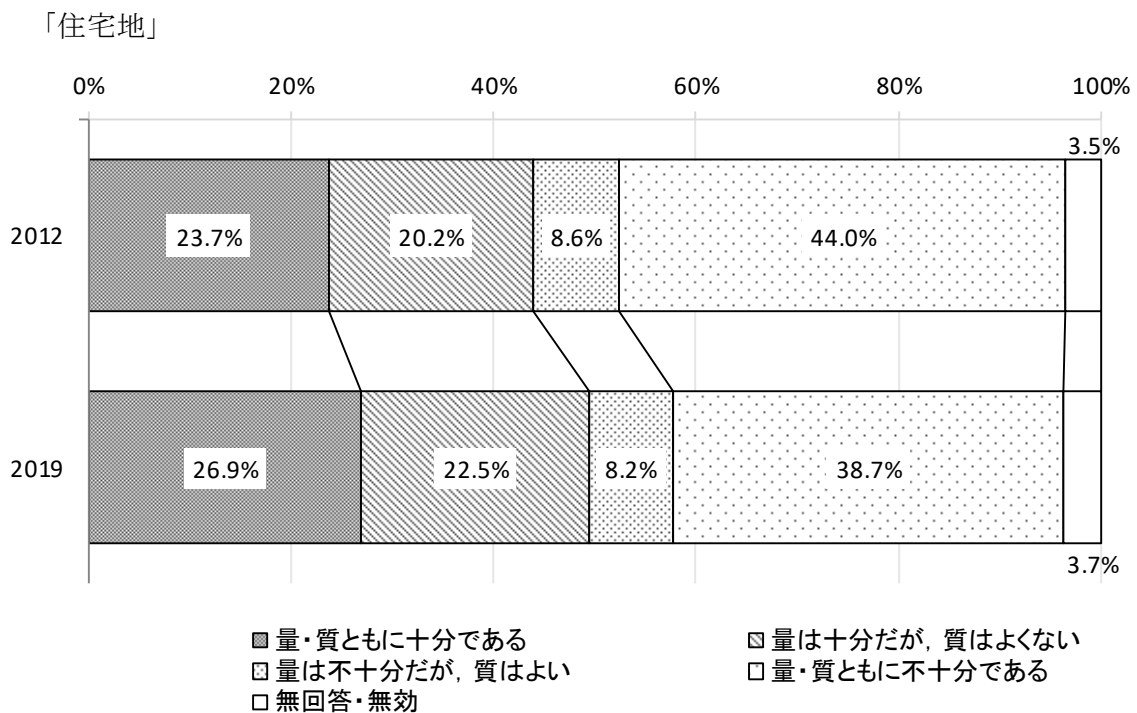
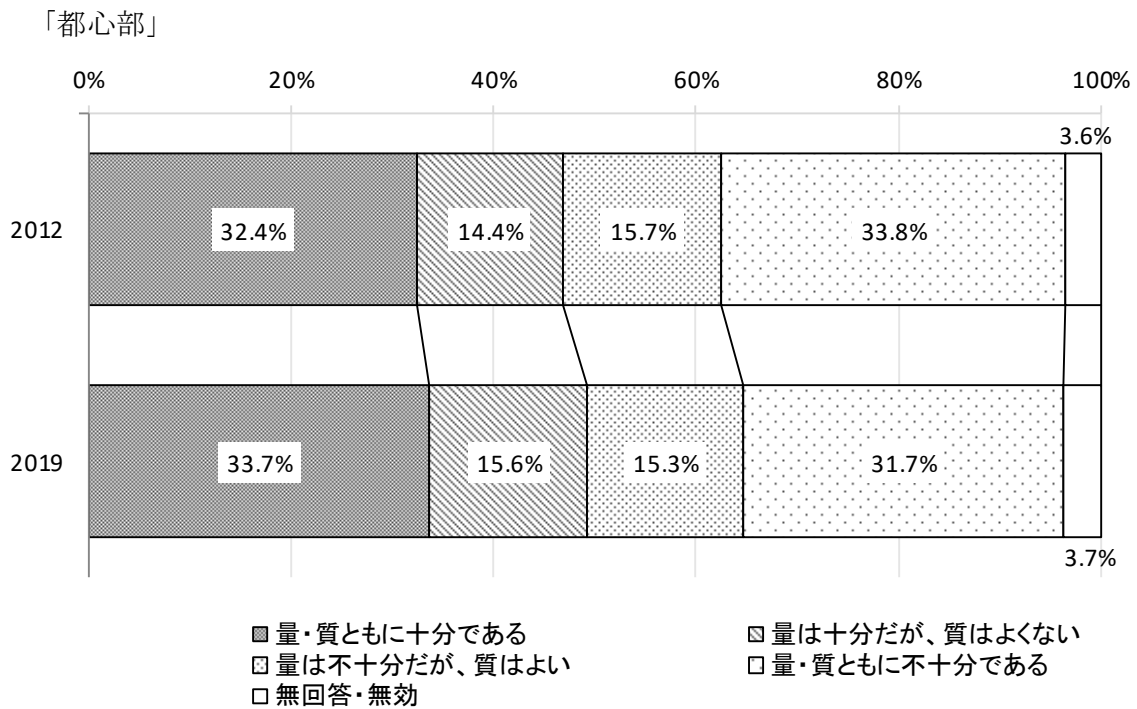
「量は不十分だが、質はよい」は、『問14 「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度』(17.8%)及び『問26 街路樹の印象【都心部】』(15.3%)で他の設問に比べて多くなっている。



## ● 2012年アンケートとの比較 ●

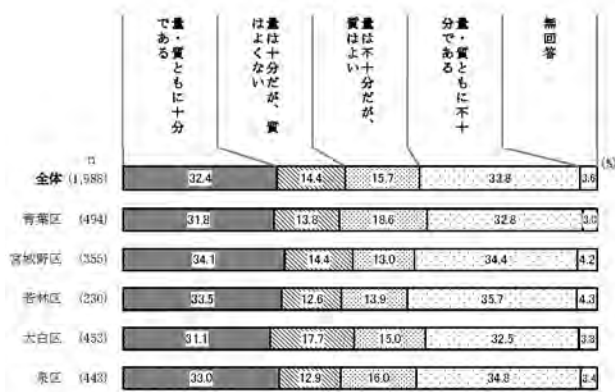
2012年と比較すると、「都心部」の「量・質ともに十分である」、「量は十分だが、質はよくない」の割合は大きな変化がないが、「住宅地」では「量・質ともに不十分である」の割合が大きく減少している。

また、居住地区別にみると、「住宅地」の太白区の「量・質ともに十分である」が大きく増加している。

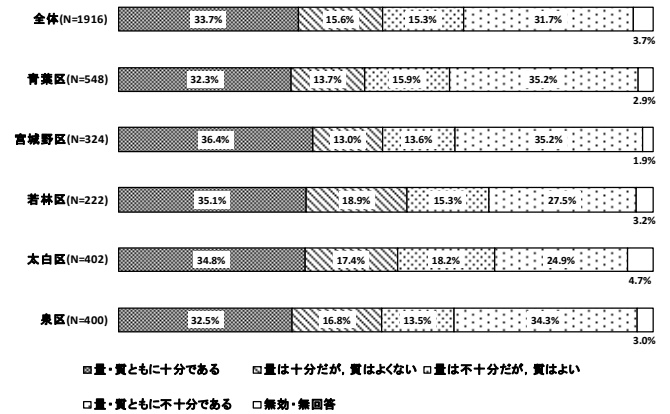


「都心部」

「2012年調査」

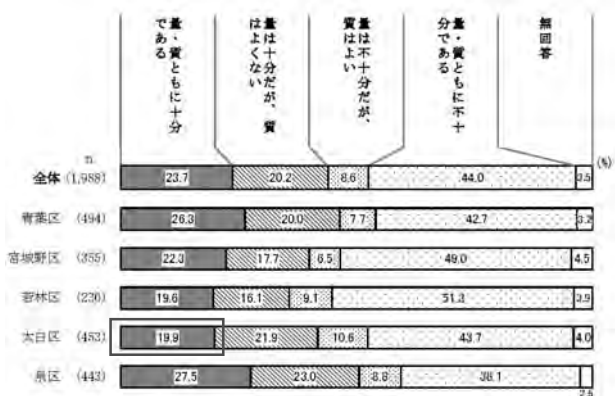


「2019年調査」

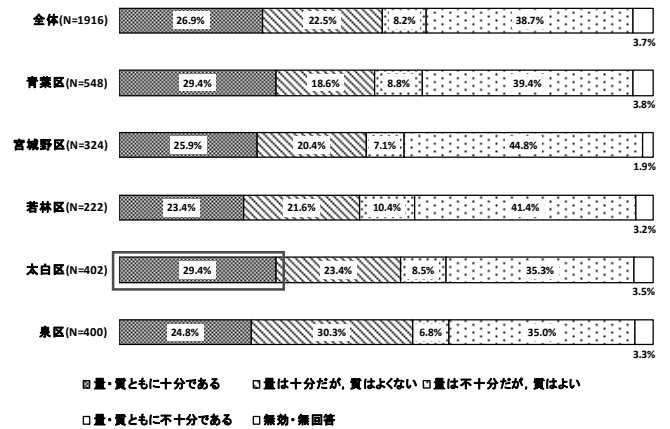


「住宅地」

「2012年調査」



「2019年調査」



## ②街路樹に期待する機能

都心部の街路樹に期待する機能については、「気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する機能」(55.0%)が最も多く、次いで「人工的な都市の景観を美しくする機能」(47.3%)、「紅葉や開花、芽吹きなどによって季節感を与える機能」(45.0%)、「日差しや雨などから歩行者を守る機能」(33.9%)、「運転手や歩行者の心をなごませる機能」(20.8%)となっている。

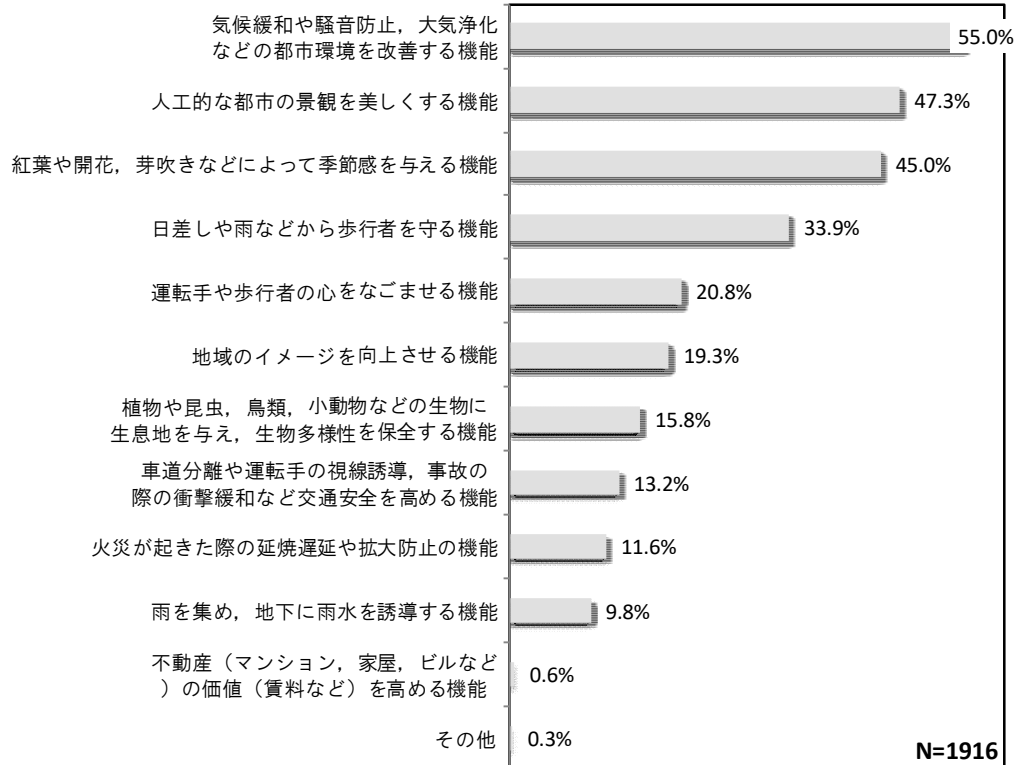
住宅地の街路樹に期待する機能については、「紅葉や開花、芽吹きなどによって季節感を与える機能」(52.3%)が最も多く、次いで「気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する機能」(40.2%)、「植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する機能」(34.3%)、「地域のイメージを向上させる機能」(28.2%)、「人工的な都市の景観を美しくする機能」(25.2%)となっている。

都心部と住宅地を比較すると、都心部は「気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する機能」や「人工的な都市の景観を美しくする機能」など都市環境の改善・向上を期待する一方、住宅地は「紅葉や開花、芽吹きなどによって季節感を与える機能」や「植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する機能」など自然を体感する要素として期待されている。

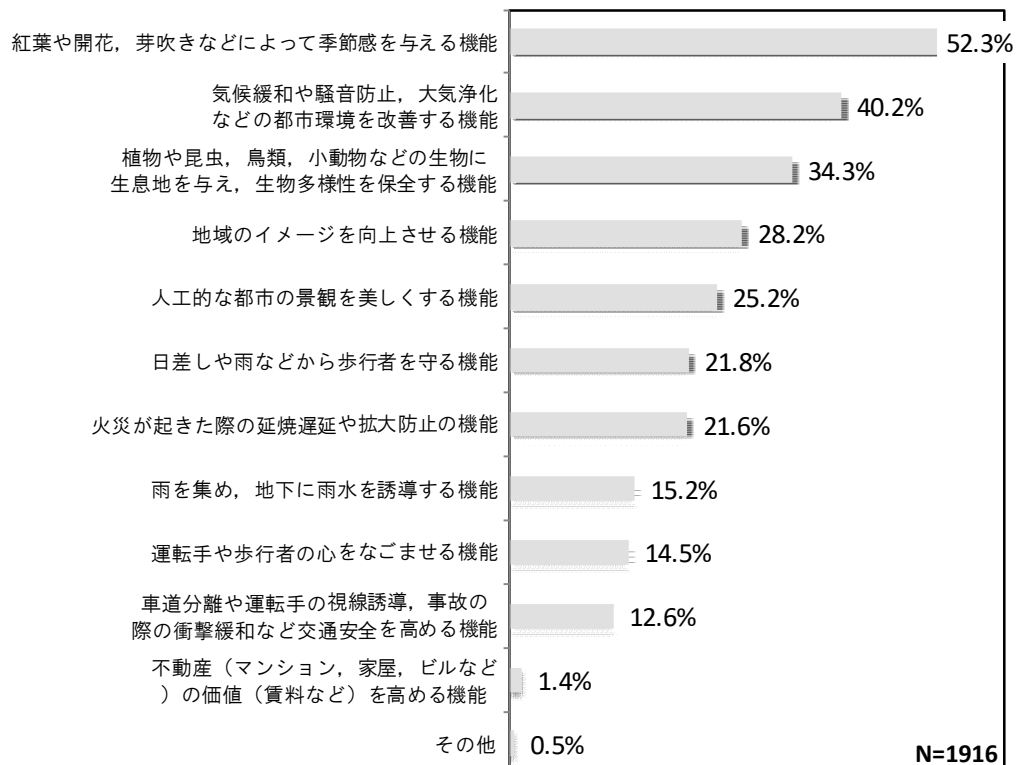
問 27 街路樹には、皆さんの生活の質を高めるための様々な機能があります。あなたが都心部、住宅地で街路樹に期待する機能として、特に重要なものは何ですか。

(「都心部」「住宅地」各項目それぞれについて、主にあてはまる番号3つまでに○)

**【都心部】**



**【住宅地】**

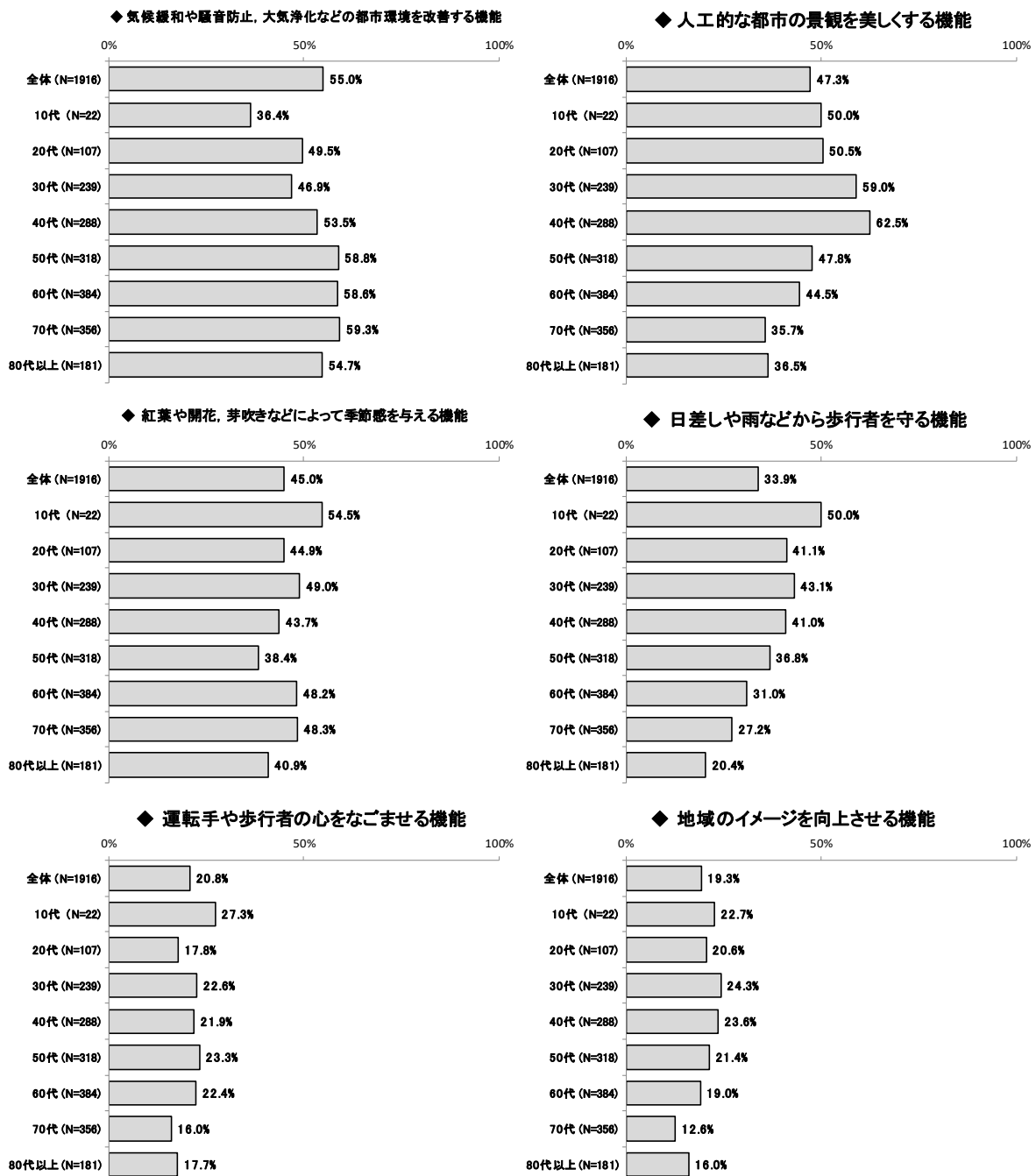


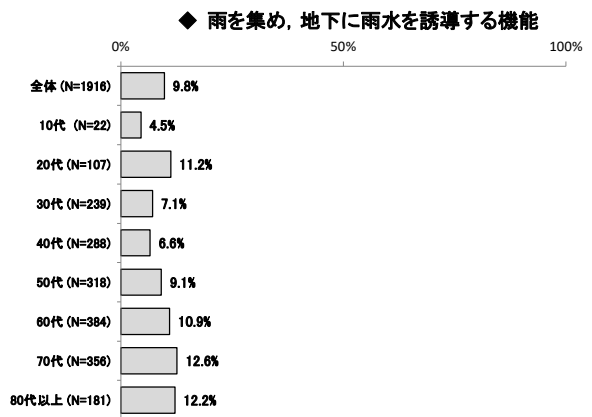
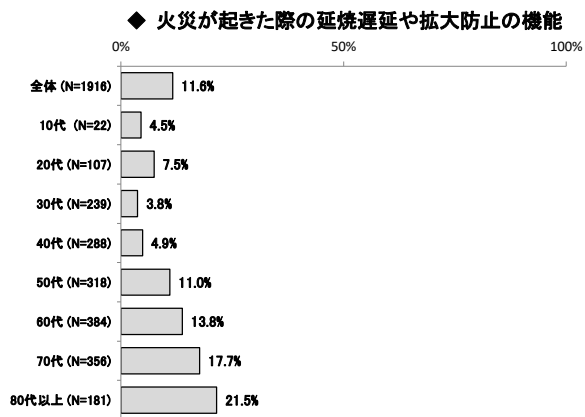
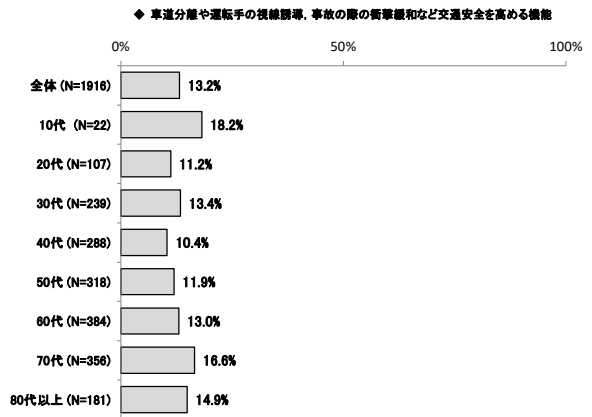
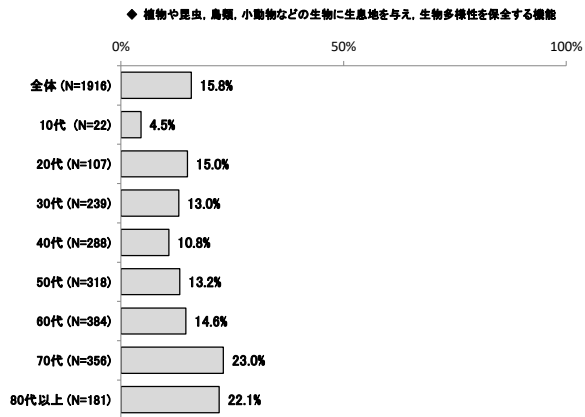
## ● 年代別(都心部) ●

都心部の街路樹に期待する機能について、年代別にみると、「気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する機能」は、【10代】を除く各年代で多くなっている。

また、「日差しや雨などから歩行者を守る機能」は、【30代】以降は減少傾向になっている。

※上位10項目のみ抜粋





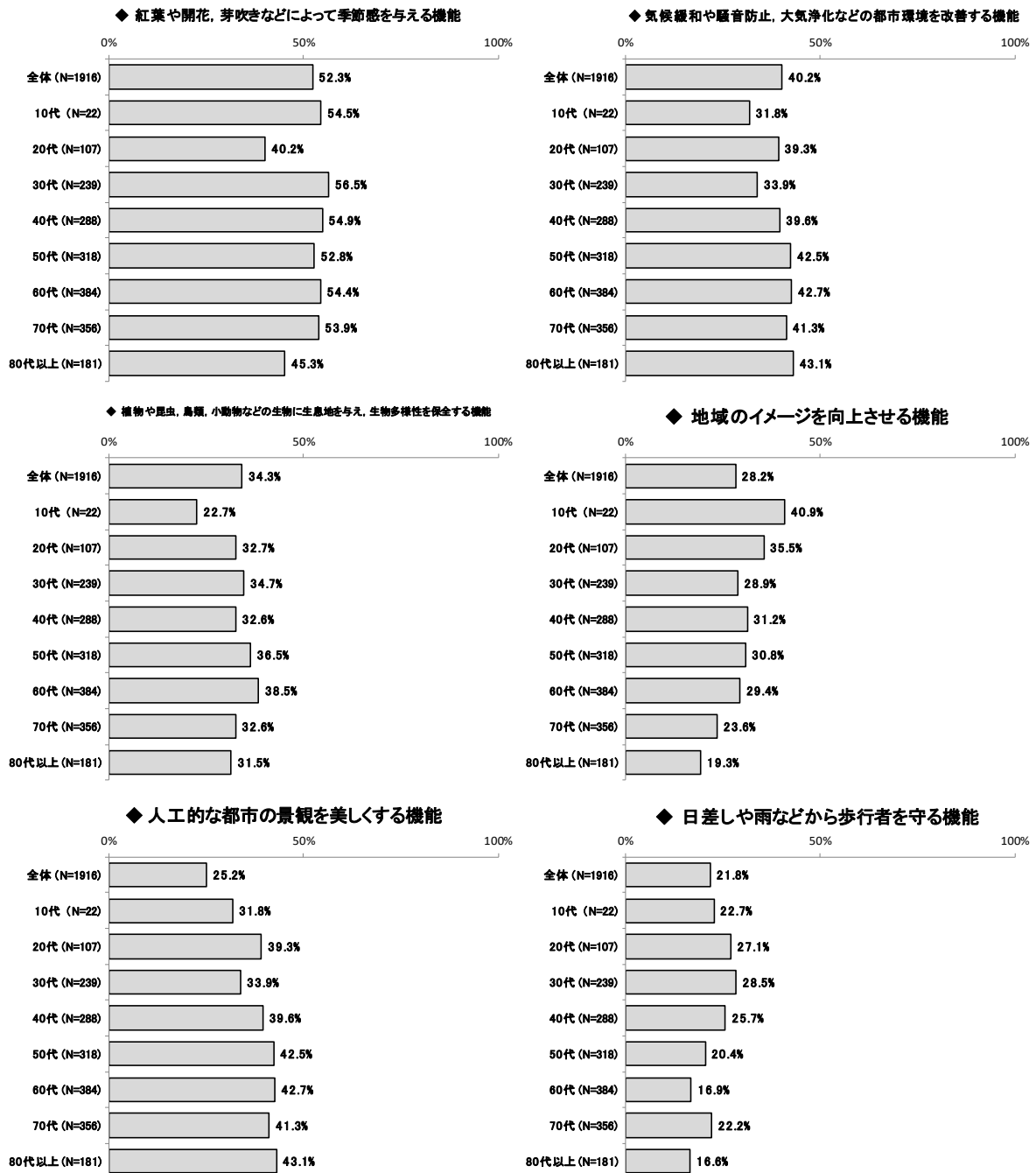


## ● 年代別(住宅地) ●

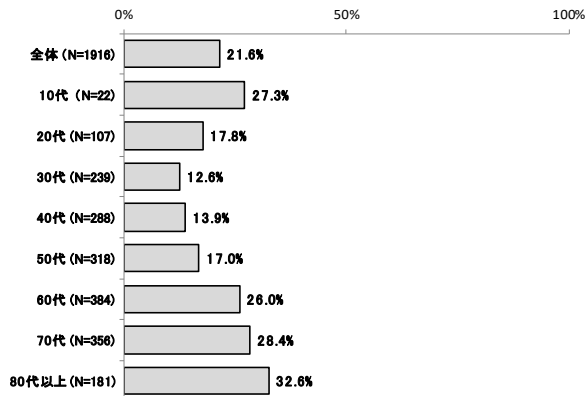
住宅地の街路樹に期待する機能について、年齢別にみると、「紅葉や開花、芽吹きなどによって季節感を与える機能」は、【20代】及び【80代以上】を除く年代で5割を超え多くなっている。

また、「地域のイメージを向上させる機能」は、【10代】が最も多くなっている。

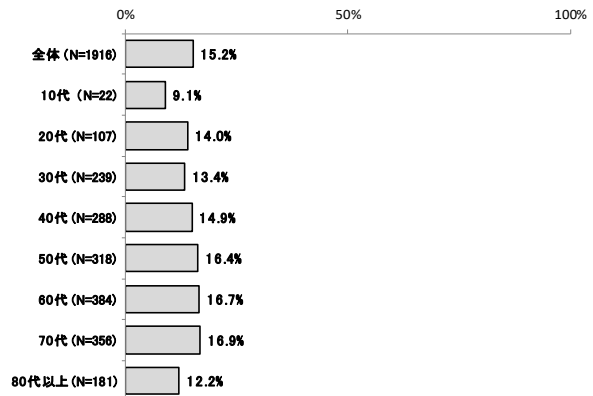
※上位10項目のみ抜粋



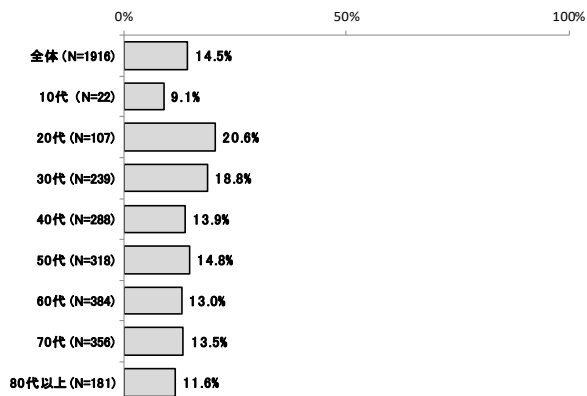
◆ 火災が起きた際の延焼遅延や拡大防止の機能



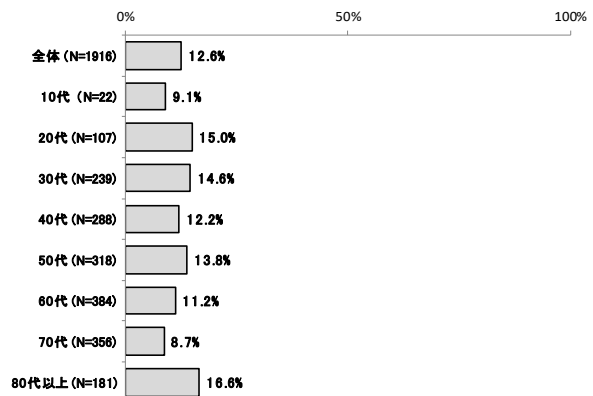
◆ 雨を集め、地下に雨水を誘導する機能



◆ 運転手や歩行者の心をなごませる機能



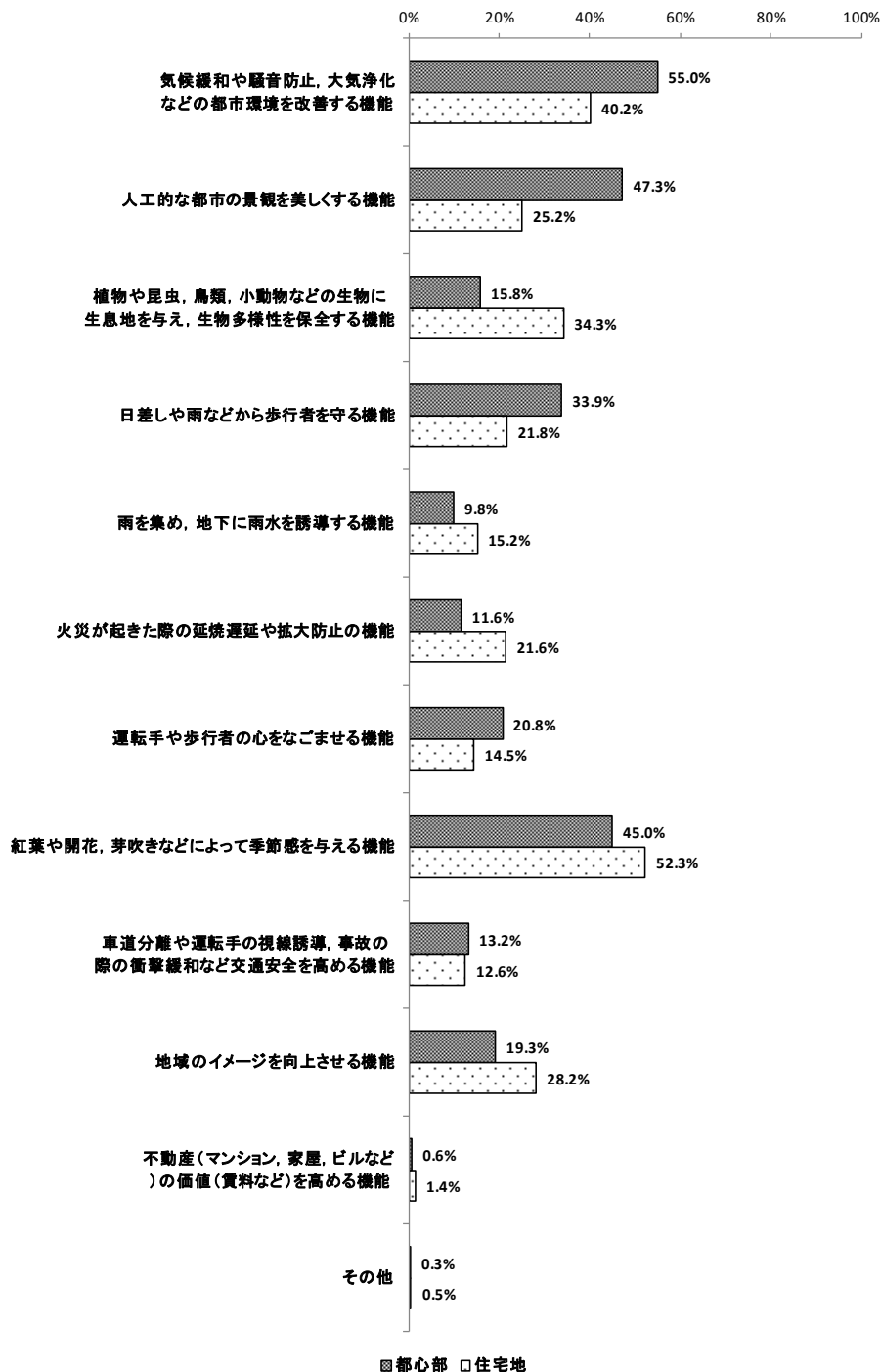
◆ 車道分離や運転手の視線誘導、事故の際の衝撃緩和など交通安全を高める機能



● 街路樹に期待する機能(都心部と住宅地の比較) ●

『問 27 街路樹に期待する機能【都心部】』と、『問 27 街路樹に期待する機能【住宅地】』を比較すると、「気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する機能」(都心部：55.0%、住宅地：40.2%)、「紅葉や開花、芽吹きなどによって季節感を与える機能」(都心部：45.0%、住宅地：52.3%)は、両設問に共通して多くなっている。

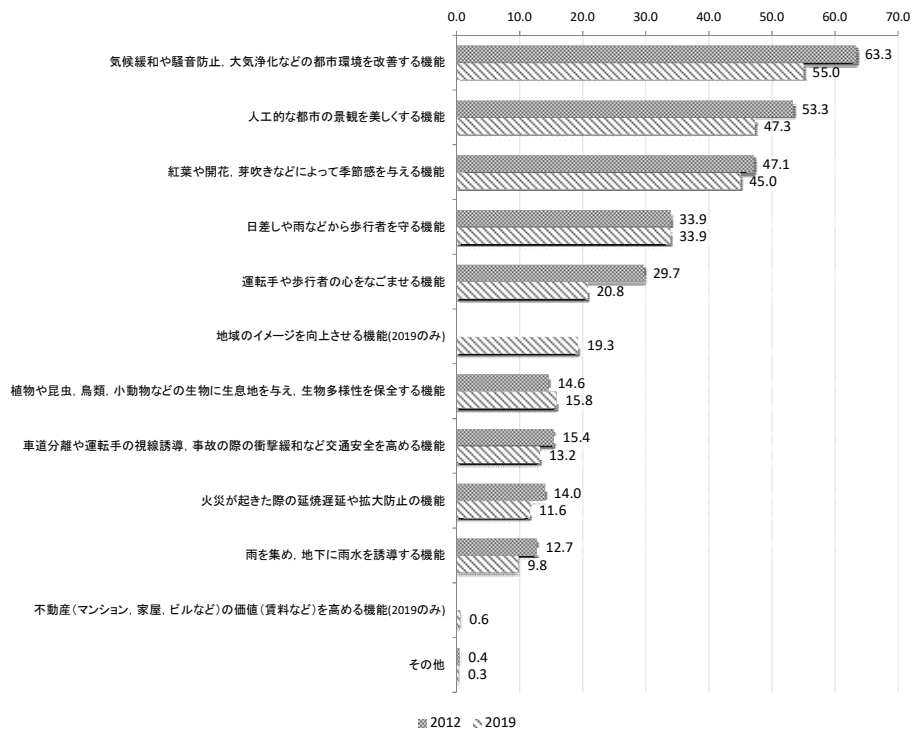
また、「人工的な都市の景観を美しくする機能」は都心部(47.3%)が住宅地(25.2%)、「植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する機能」は都心部(15.8%)が住宅地(34.3%)と都心部と住宅地で大きな開きがある。



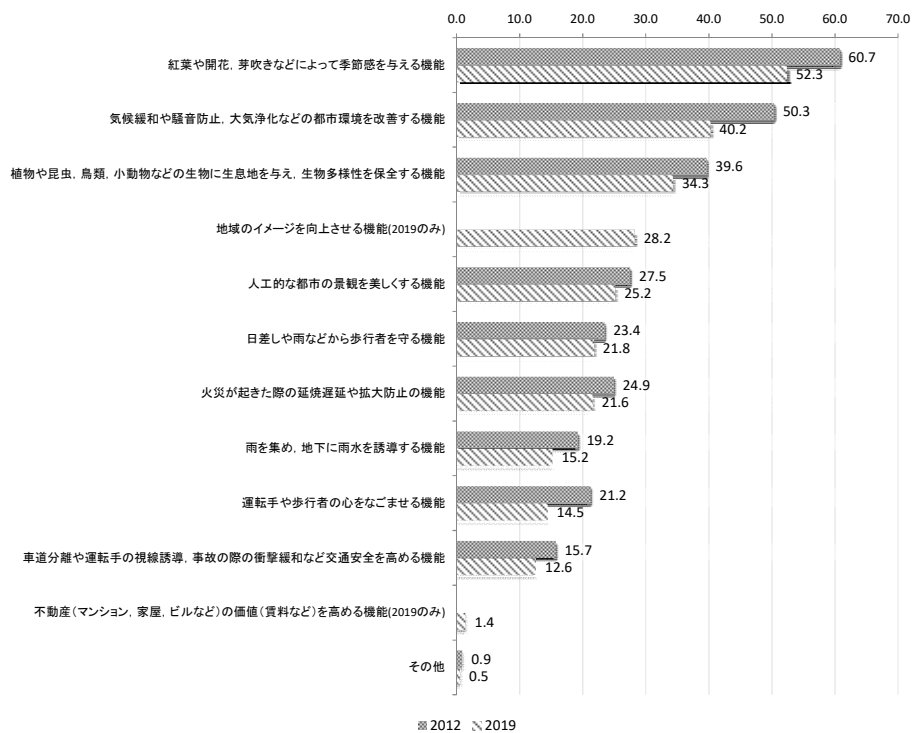
## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年と比較すると、都心部、住宅地ともに「紅葉や開花、芽吹きなどによって季節感を与える機能」などの割合が減少し、新しく追加した選択肢「地域のイメージを向上させる機能」の回答が約2～3割となっている。

### 「都心部」



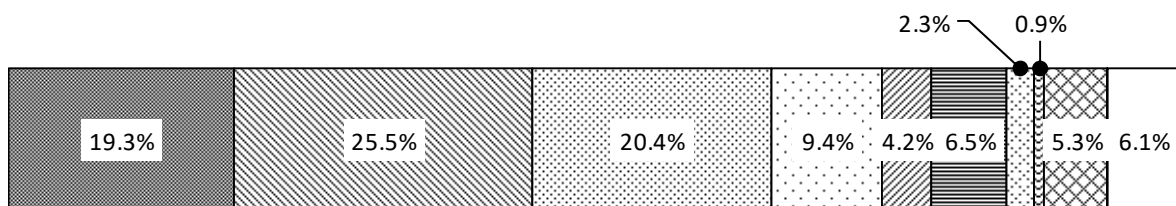
### 「住宅地」



### ③高木の街路樹の管理

街路樹の管理については、「数年に1回程度枝を強く切り詰めるような剪定を行い、一時的に樹形が乱れても現在植栽されている樹種を活かす」(25.5%)が最も多く、次いで「植樹(樹木を植える場所)の大きさや電線の位置などの生育環境に合わせ、枝葉があまり拡がらない高木や中木、低木に積極的に植え替える」(20.4%)、「毎年多額の費用がかかっても、剪定などの管理を実施して、樹形を整える」(19.3%)、「道路通行上の妨げになるなど、樹木が大きくなり過ぎた場合は、同一樹種の若木に植え替える」(9.4%)、「街路樹(高木)を植栽する路線を限定する」(6.5%)となっている。

問 28 高木(樹高3m以上)の街路樹の管理について、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。  
(あてはまる番号1つに○)



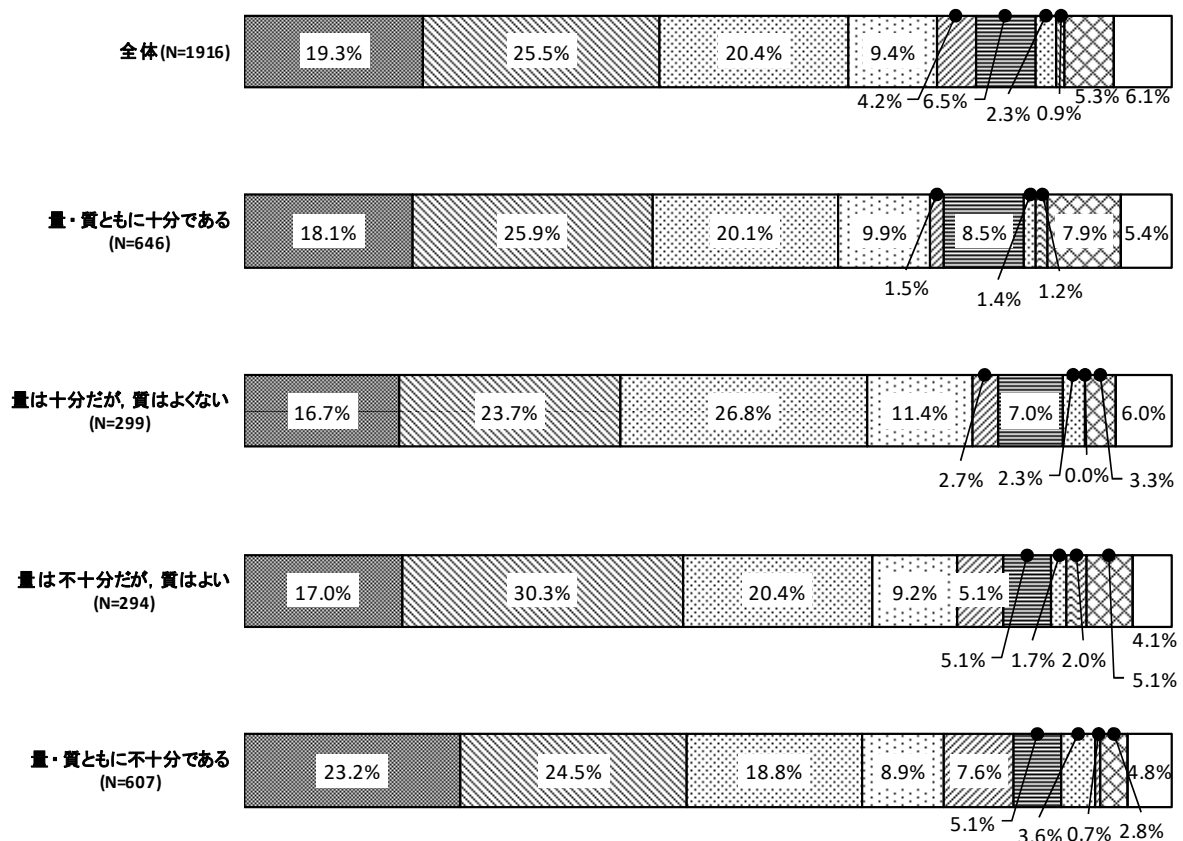
- 毎年多額の費用がかかっても、剪定などの管理を実施して、樹形を整える
- 数年に1回程度枝を強く切り詰めるような剪定を行い、一時的に樹形が乱れても現在植栽されている樹種を活かす
- 植樹(樹木を植える場所)の大きさや電線の位置などの生育環境に合わせ、枝葉があまり拡がらない高木や中木、低木に積極的に植え替える
- 道路通行上の妨げになるなど、樹木が大きくなり過ぎた場合は、同一樹種の若木に植え替える
- 歩道幅を拡げて植樹を大きくするなど生育環境を改善し、大きく育てる
- 街路樹(高木)を植栽する路線を限定する
- 膨大な手間と費用をかけて、街路樹を植栽したり、維持管理したりする必要はない
- その他
- わからない
- 無回答・無効

N=1916

● 街路樹の印象【都心部】(問28)別 ●

都心部の街路樹の印象別にみると、【量は不十分だが、質はよい】では「数年に1回程度枝を強く切り詰めるような剪定を行い、一時的に樹形が乱れても現在植栽されている樹種を活かす」(30.3%)が最も多くなっている。

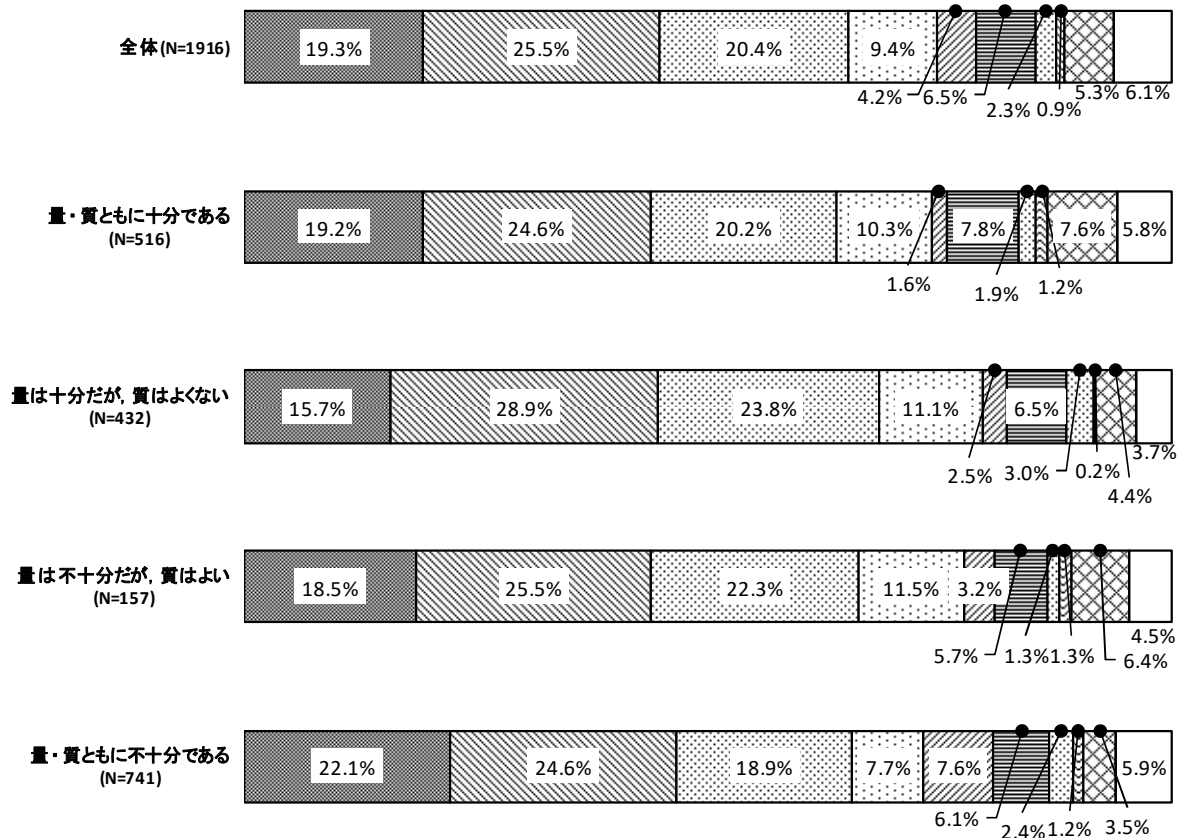
【量は十分だが、質はよくない】では「植樹(樹木を植える場所)の大きさや電線の位置などの生育環境に合わせ、枝葉があまり広がらない高木や中木、低木に積極的に植え替える」(26.8%)が最も多くなっている。



- 毎年多額の費用がかかっても、剪定などの管理を実施して、樹形を整える
- 数年に1回程度枝を強く切り詰めるような剪定を行い、一時的に樹形が乱れても現在植栽されている樹種を活かす
- 植樹(樹木を植える場所)の大きさや電線の位置などの生育環境に合わせ、枝葉があまり広がらない高木や中木、低木に積極的に植え替える
- 道路通行上の妨げになるなど、樹木が大きくなり過ぎた場合は、同一樹種の若木に植え替える
- 歩道幅を広げて植樹を大きくするなど生育環境を改善し、大きく育てる
- 街路樹(高木)を植栽する路線を限定する
- 膨大な手間と費用をかけて、街路樹を植栽したり、維持管理したりする必要はない
- その他
- わからない
- 無効・無回答

## ● 街路樹の印象【住宅地】(問28)別 ●

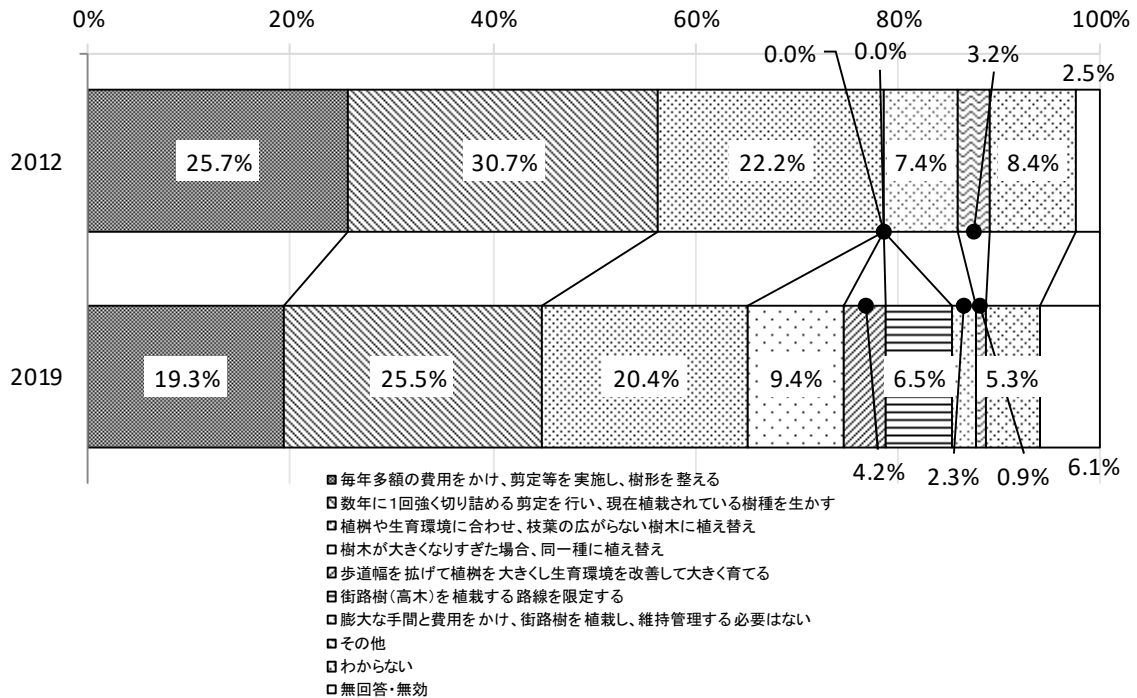
住宅地の街路樹の印象別にみると、【量は十分だが、質はよくない】では「数年に1回程度枝を強く切り詰めるような剪定を行い、一時的に樹形が乱れても現在植栽されている樹種を活かす」(28.9%)が最も多くなっている。



- 毎年多額の費用がかかっても、剪定などの管理を実施して、樹形を整える
- 数年に1回程度枝を強く切り詰めるような剪定を行い、一時的に樹形が乱れても現在植栽されている樹種を活かす
- 植樹(樹木を植える場所)の大きさや電線の位置などの生育環境に合わせ、枝葉があまり広がらない高木や中木、低木に積極的に植え替える
- 道路通行上の妨げになるなど、樹木が大きくなり過ぎた場合は、同一樹種の若木に植え替える
- 歩道幅を広げて植樹を大きくするなど生育環境を改善し、大きく育てる
- 街路樹(高木)を植栽する路線を限定する
- 膨大な手間と費用をかけて、街路樹を植栽したり、維持管理したりする必要はない
- その他
- わからない
- 無効・無回答

## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年と比較すると、「毎年多額の費用がかかっても、剪定などの管理を実施して、樹形を整える」や「植樹（樹木を植える場所）の大きさや電線の位置などの生育環境に合わせ、枝葉があまり広がらない高木や中木、低木に積極的に植え替える」などの割合が減少し、「歩道幅を拓げて植樹を大きくするなど生育環境を改善し、大きく育てる」、「街路樹（高木）を植栽する路線を限定する」など新たな選択肢の割合が多くなっている。





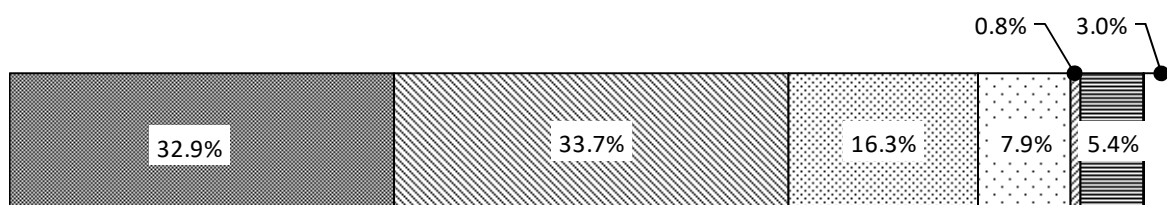
## (5)定禅寺通・青葉通のケヤキ(街路樹)について

### ①街路樹の方向性

街路樹の方向性については、「若々しく現在の並木の状態を保てるように計画的に植え替えを行っていく」(33.7%)が最も多く、次いで「現在の更新方法のままで状態の悪いケヤキから植え替えを行っていく」(32.9%)、「計画的な植え替えに加えて、ケヤキを現在よりも大きく、シンボルとなるようにするために、歩道幅を拓げて植樹(樹木を植える場所)を大きくするなど生育環境を改善していく」(16.3%)、「計画的な植え替えに加えて、今より小さく管理を行っていく」(7.9%)、「わからない」(5.4%)となっている。

問 29 あなたはこれらの通りの街路樹についてどのようにするべきだと思いますか。

(あてはまる番号1つに○)

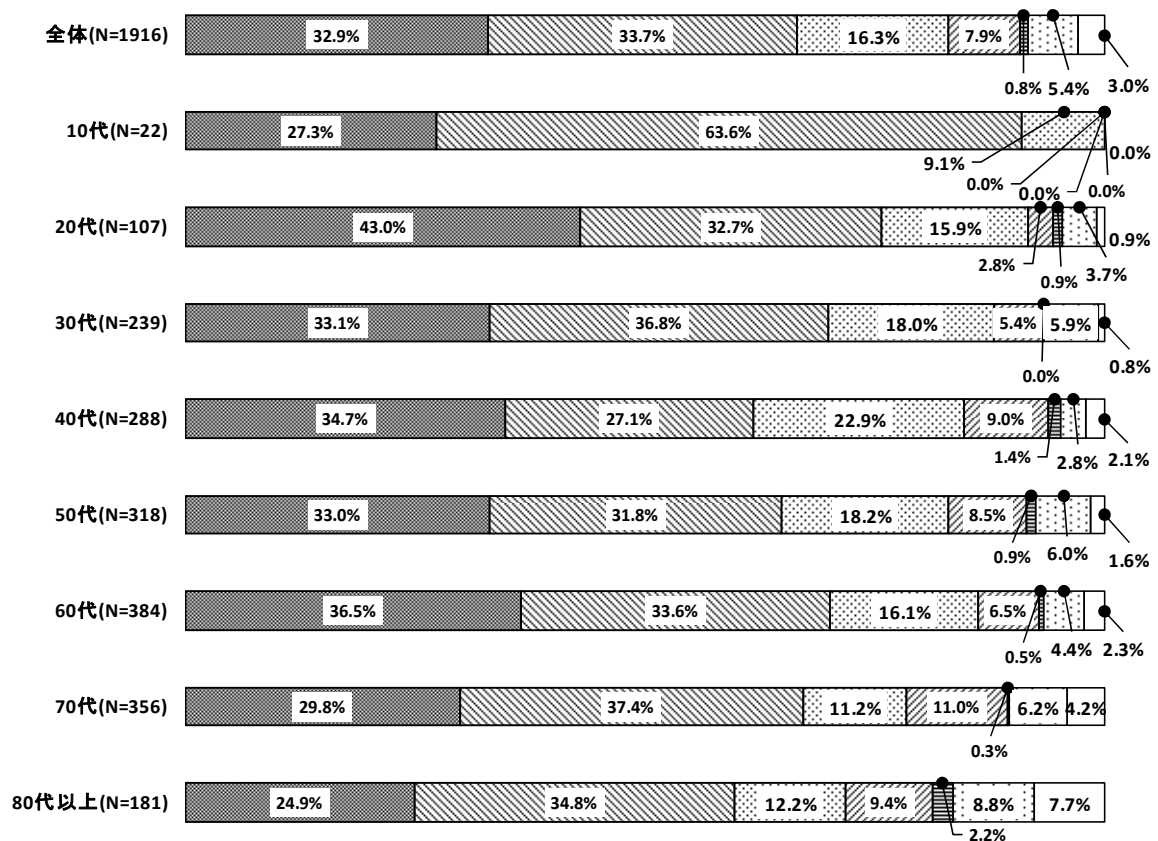


- 現在の更新方法のままで状態の悪いケヤキから植え替えを行っていく
- 若々しく現在の並木の状態を保てるように計画的に植え替えを行っていく
- 計画的な植え替えに加えて、ケヤキを現在よりも大きく、シンボルとなるようにするために、歩道幅を拓げて植樹(樹木を植える場所)を大きくするなど生育環境を改善していく
- 計画的な植え替えに加えて、今より小さく管理を行っていく
- その他
- わからない
- 無回答・無効

N=1916

## ● 年代別 ●

年代別にみると、「現在の更新方法のままで状態の悪いケヤキから植え替えを行っていく」は、【20代】及び【60代】で約4割と多くなっている。また、「計画的な植え替えに加えて、今より小さく管理を行っていく」は、【60代】を除く【40代】以降で1割に近い回答となっている。

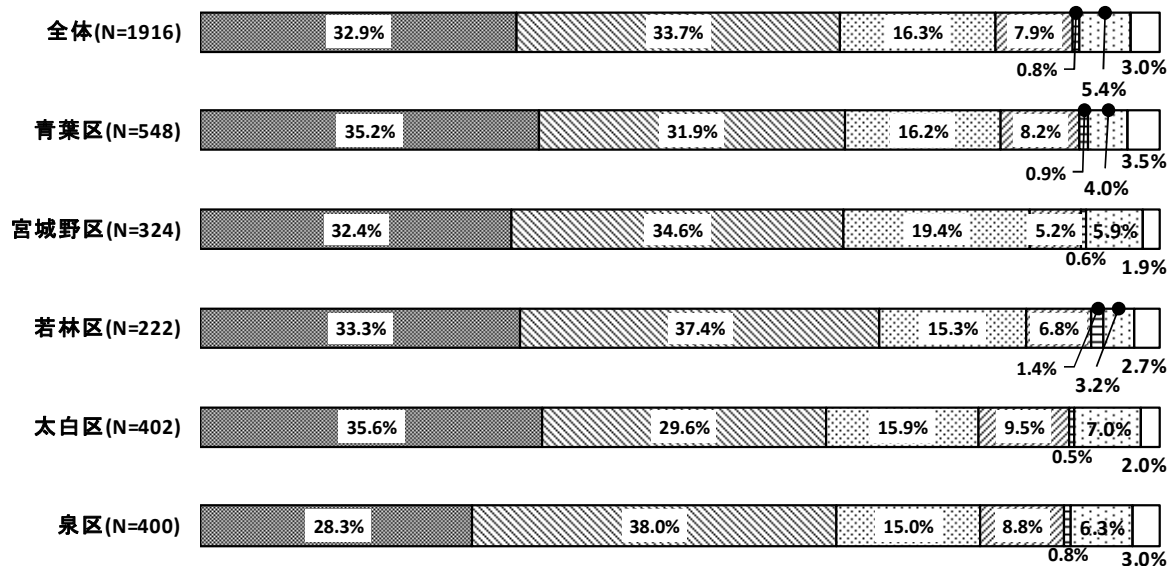


- 現在の更新方法のままで状態の悪いケヤキから植え替えを行っていく
- 若々しく現在の並木の状態を保てるように計画的に植え替えを行っていく
- 計画的な植え替えに加えて、ケヤキを現在よりも大きく、シンボルとなるようにするために、歩道幅を拡げて植樹(樹木を植える場所)を大きくするなど生育環境を改善していく
- 計画的な植え替えに加えて、今より小さく管理を行っていく
- その他
- わからない
- 無効・無回答

## ● 居住地区別 ●

年代別にみると、「現在の更新方法のままで状態の悪いケヤキから植え替えを行っていく」は、【泉区】を除く全区において3割以上と多くなっている。

また、「計画的な植え替えに加えて、今より小さく管理を行っていく」は、【青葉区】、【太白区】、【泉区】で1割に近い回答となっている。



- 現在の更新方法のままで状態の悪いケヤキから植え替えを行っていく
- 若々しく現在の並木の状態を保てるように計画的に植え替えを行っていく
- 計画的な植え替えに加えて、ケヤキを現在よりも大きく、シンボルとなるようにするために、歩道幅を拡げて植樹(樹木を植える場所)を大きくするなど生育環境を改善していく
- 計画的な植え替えに加えて、今より小さく管理を行っていく
- その他
- わからない
- 無効・無回答

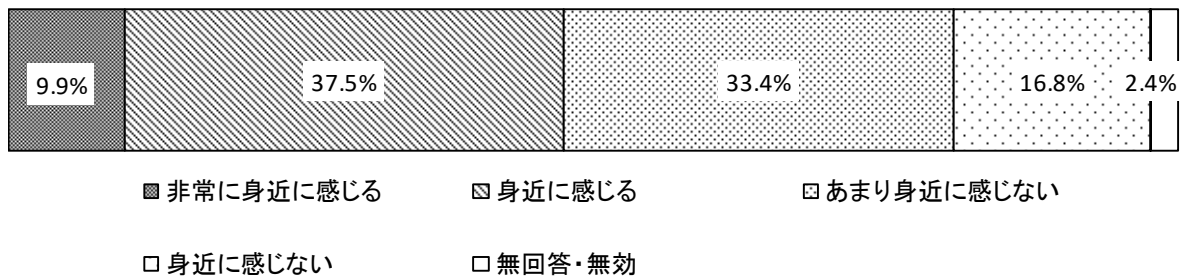
## (6)河川について

### ①河川の身近さ

仙台市の河川への親しみについては、「身近に感じる」(37.5%)が最も多く、次いで「あまり身近に感じない」(33.4%)、「身近に感じない」(16.8%)、「非常に身近に感じる」(9.9%)となっている。

問 30 現在の仙台市内の河川について、身近に感じますか。

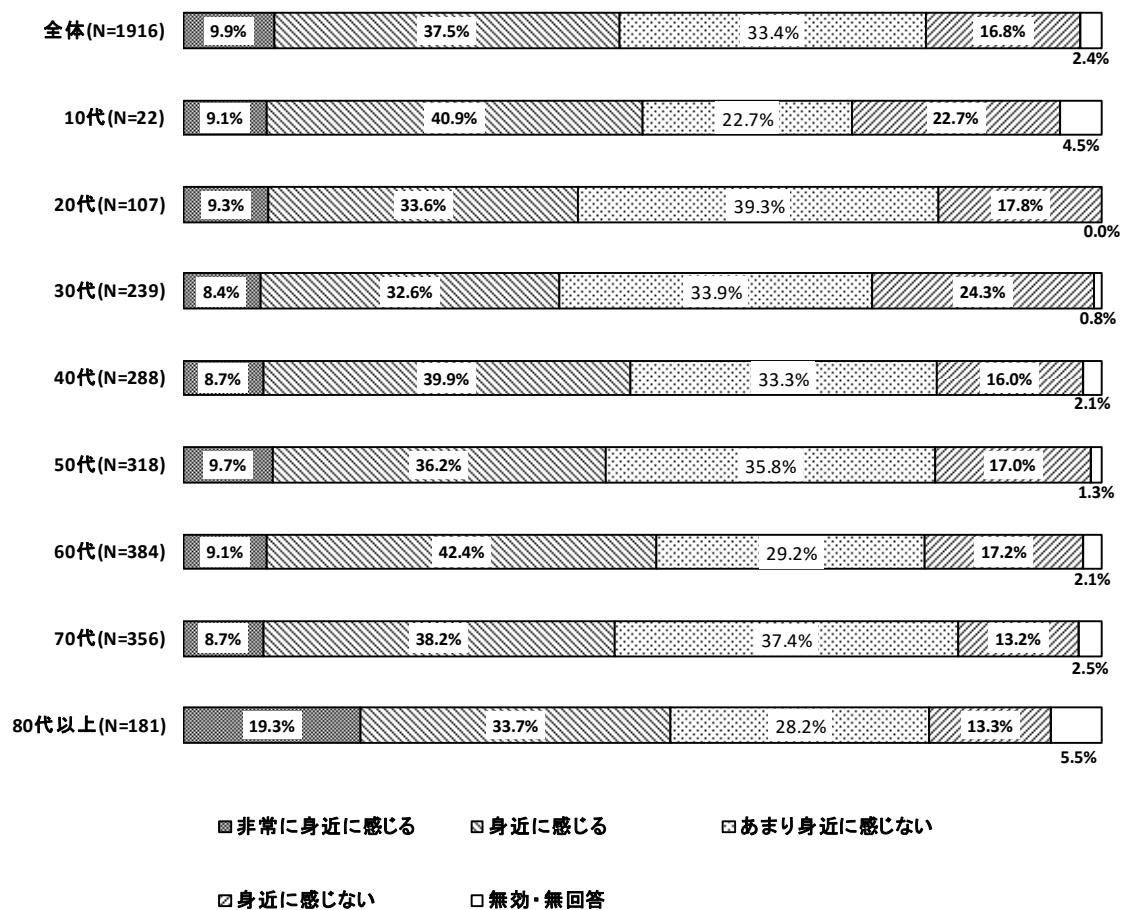
(あてはまる番号1つに○)



N=1916

## ● 年代別 ●

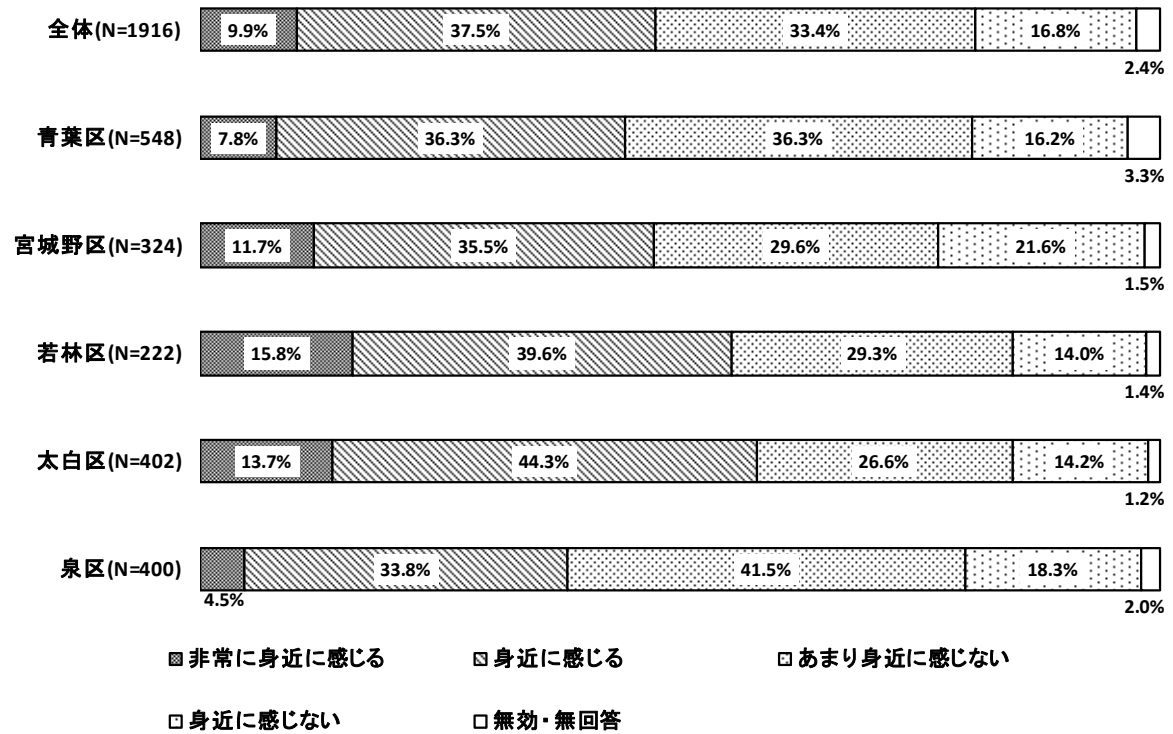
年代別にみると、「非常に身近に感じる」及び「身近に感じる」の合計が、【10代】及び【60代】、【80代以上】で5割を超えている。一方、「あまり身近に感じない」及び「身近に感じない」の合計が【20代】及び【30代】、【50代】、【70代】で5割を超えている。



## ● 居住地区別 ●

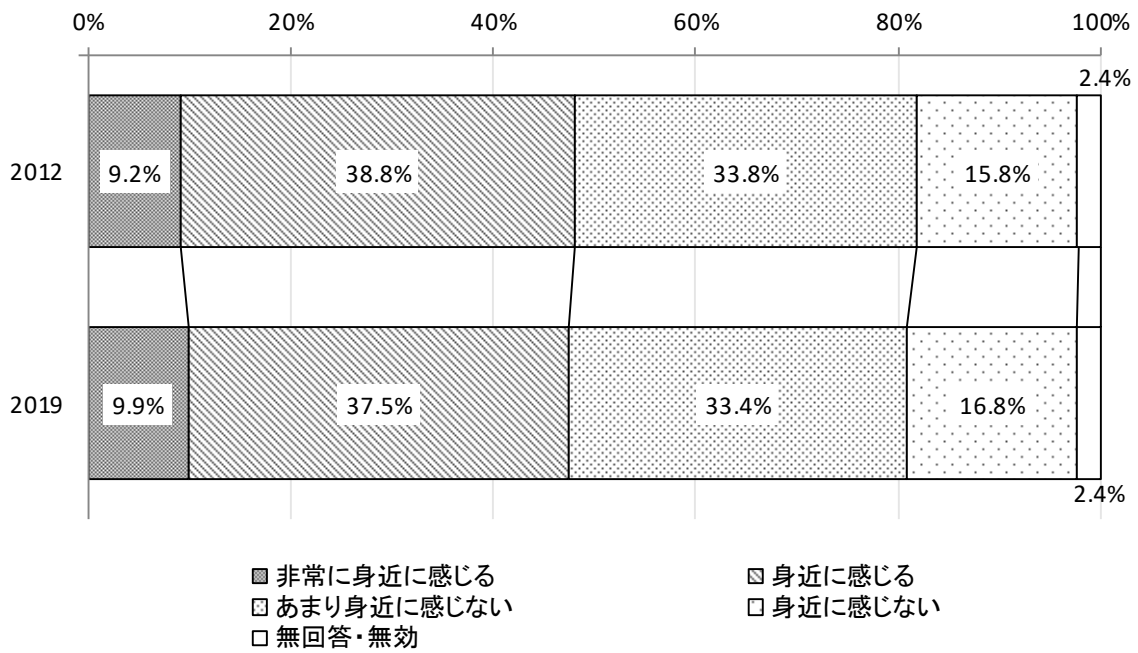
居住地区別にみると、「非常に身近に感じる」及び「身近に感じる」の合計が【太白区】(58.0%)及び【若林区】(55.4%)で5割を超えている。

一方、「あまり身近に感じない」及び「身近に感じない」の合計が【泉区】(59.8%)、【青葉区】(52.5%)、【宮城野区】(51.2%)で5割を超えている。



## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年と比較すると、各選択肢の回答割合に大きな変化はみられない。

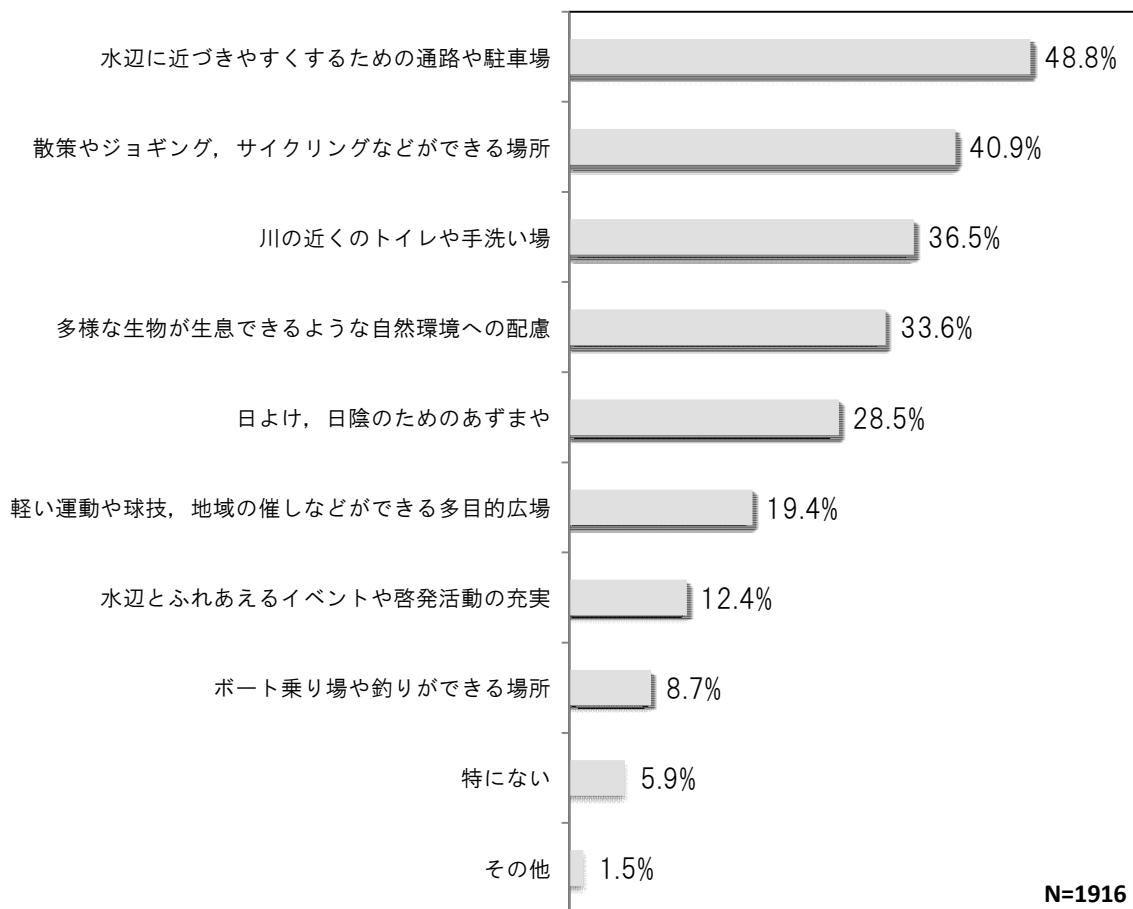


## ②水辺空間の利用に特に必要なもの

水辺空間の利用に必要なものについては、「水辺に近づきやすくするための通路や駐車場」(48.8%)が最も多く、次に「散策やジョギング、サイクリングなどができる場所」(40.9%)、「川の近くのトイレや手洗い場」(36.5%)、「多様な生物が生息できるような自然環境への配慮」(33.6%)、「日よけ、日陰のためのあずまや」(28.5%)となっている。

問 31 あなたが、水辺の空間を利用するために特に必要なものは何ですか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)

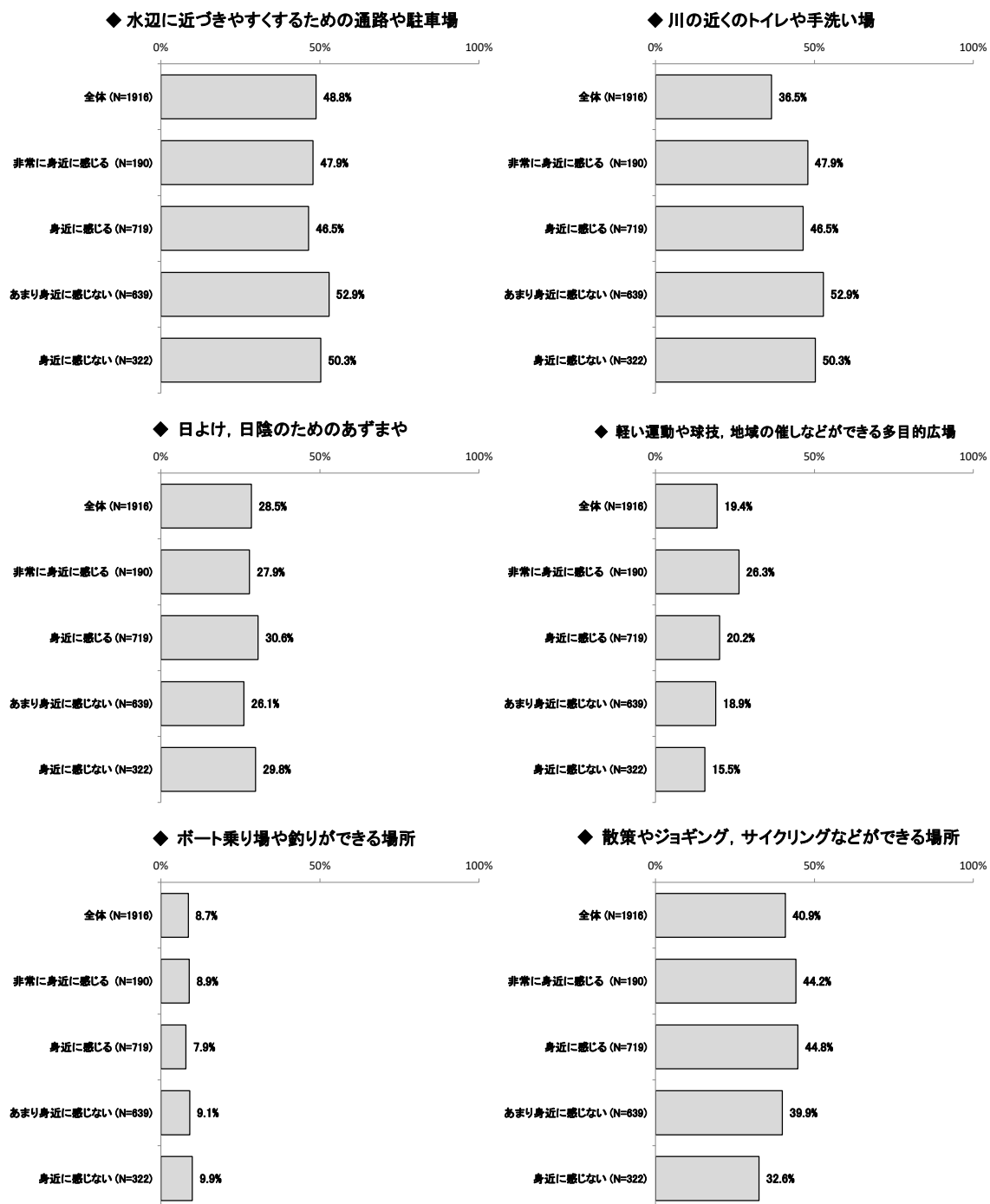




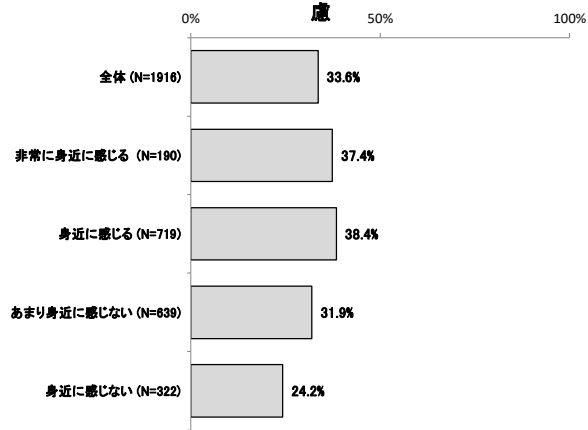
## ● 仙台市の河川の親しみ(問31)別 ●

仙台市の河川への親しみ別にみると、「日よけ、日陰のためのあずまや」や「散策やジョギング、サイクリングなどができる場所」、「軽い運動や球技、地域の催しなどができる多目的広場」などでは、《親近感がある》（「非常に身近に感じる」、「身近に感じる」の合計）人が、《親近感がない》（「あまり身近に感じない」、「身近に感じない」の合計）人よりも、割合が多くなっている。

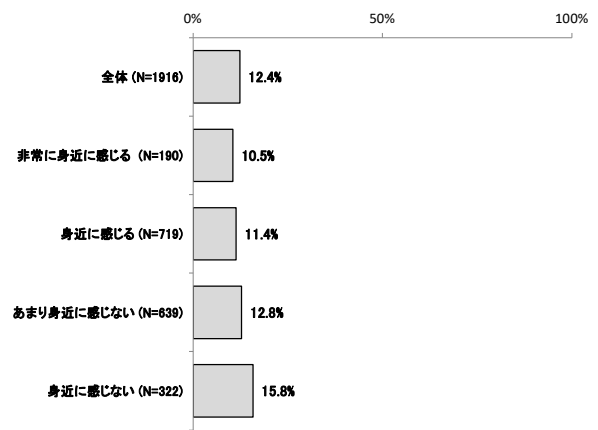
一方、「水辺に近づきやすくするための通路や駐車場の整備」や「川の近くのトイレや手洗い場」などでは、《親近感がない》（「あまり身近に感じない」、「身近に感じない」の合計）人が《親近感がある》（「非常に身近に感じる」、「身近に感じる」の合計）人よりも、割合が多くなっている。



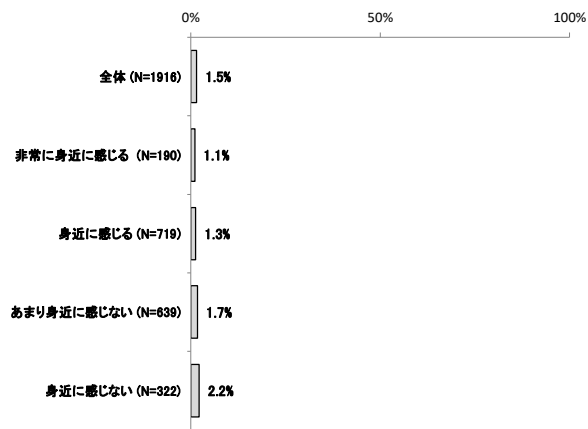
◆ 多様な生物が生息できるような自然環境への配



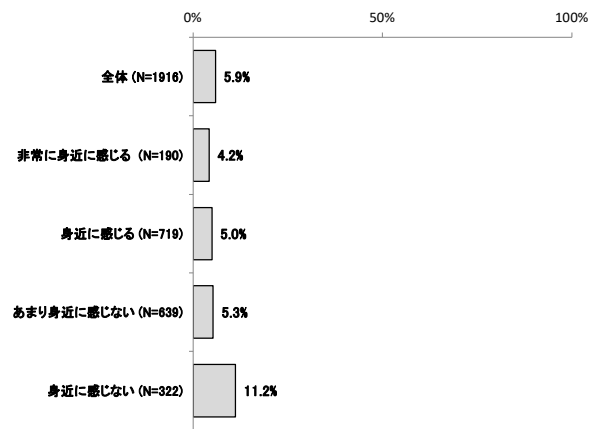
◆ 水辺とふれあえるイベントや啓発活動の充実



◆ その他

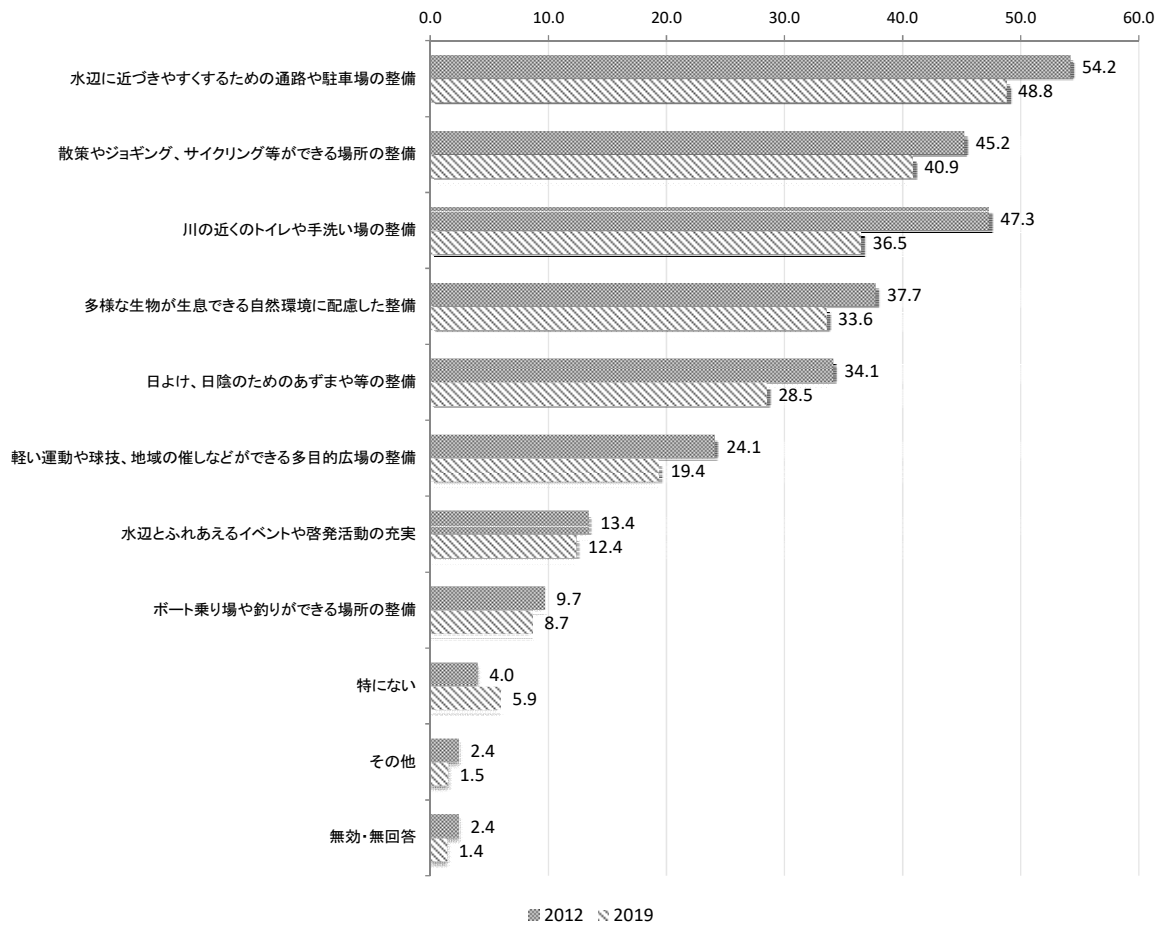


◆ 特にない



## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年と比較すると、「水辺に近づきやすくするための通路や駐車場の整備」などほとんどの項目の割合が減少しており、特に「川の近くのトイレや手洗い場の整備」の割合が大きく減少している。



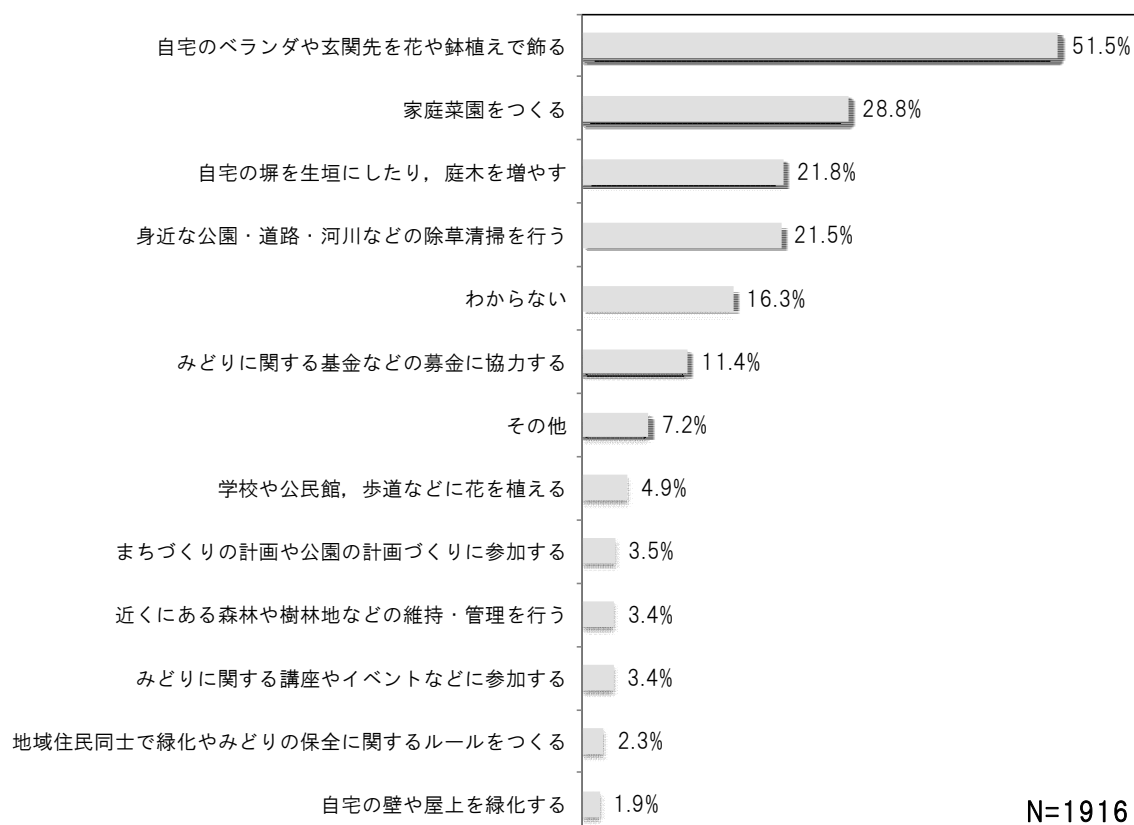
## 4. みどり豊かなまちづくりへの参加について

### (1) みどり豊かなまちづくりのために実践している活動

みどり豊かなまちづくりのために実践している活動については、「自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えて飾る」(51.5%)が最も多く、次いで「家庭菜園をつくる」(28.8%)、「自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす」(21.8%)、「身近な公園・道路・河川などの除草清掃を行う」(21.5%)、「わからない」(16.3%)となっている。

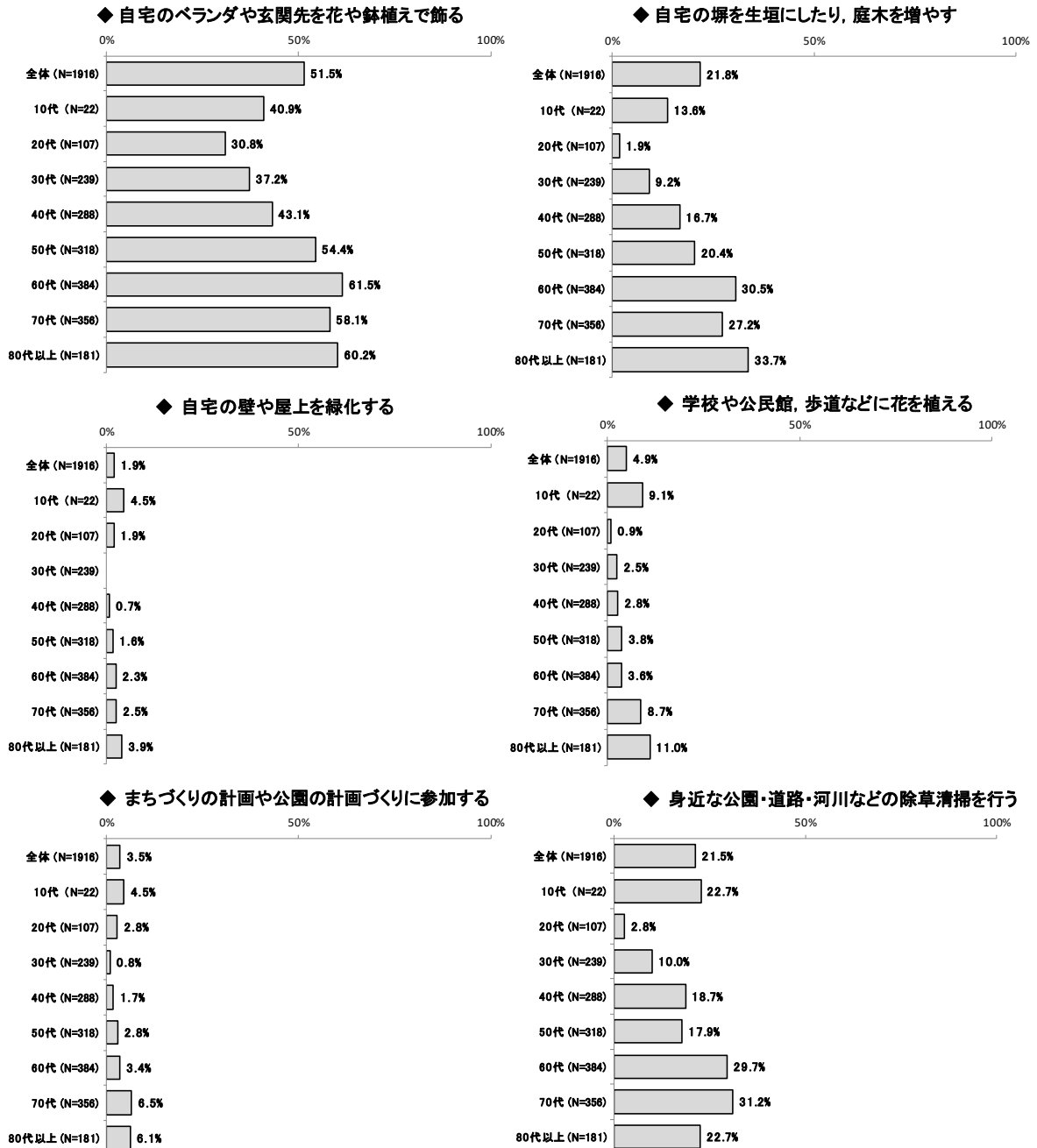
問 32 あなたがみどり豊かなまちづくりのために、実践している活動は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

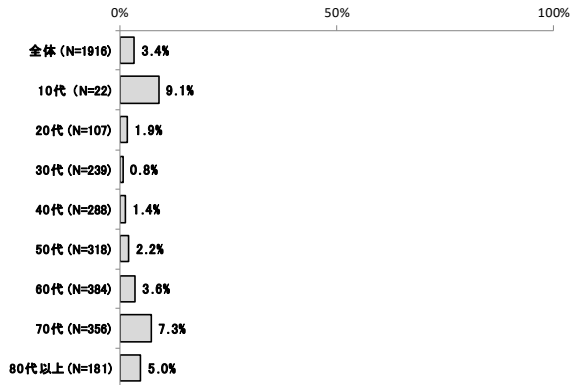


## ● 年代別 ●

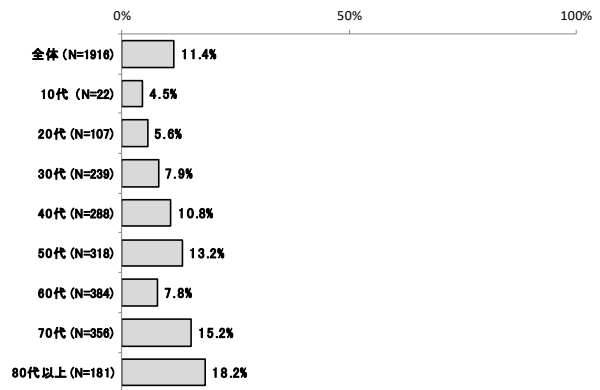
年代別にみると、「自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えで飾る」では【50代】以上で半数を超えている。



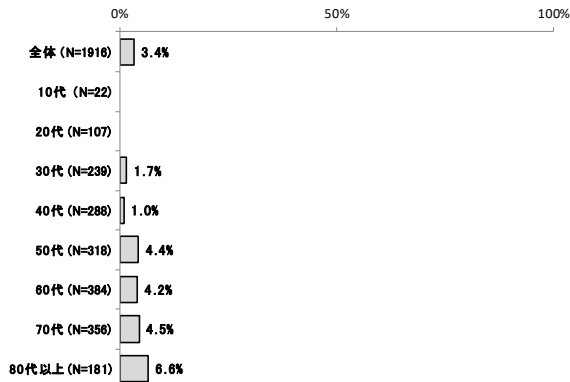
◆ 近くにある森林や樹林地などの維持・管理を行う



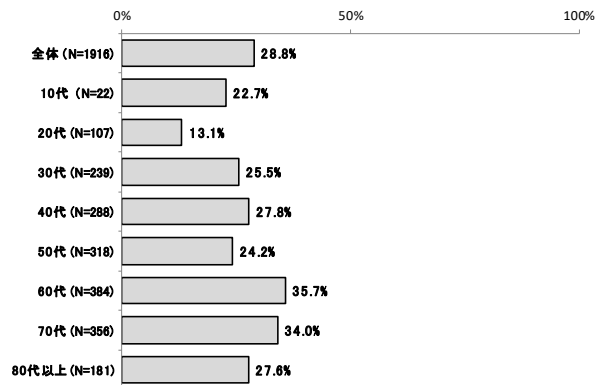
◆ みどりに関する基金などの募金に協力する



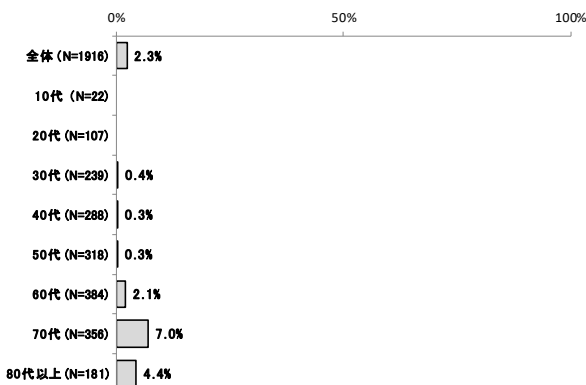
◆ みどりに関する講座やイベントなどに参加する



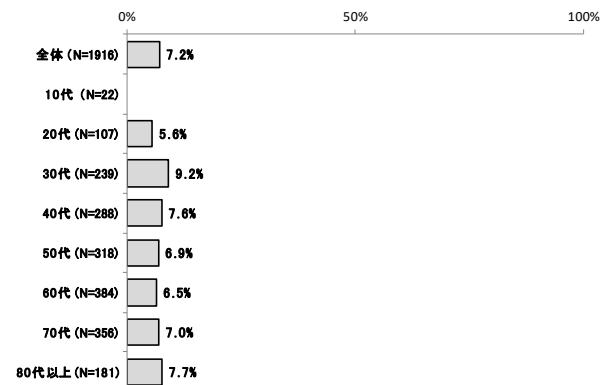
◆ 家庭菜園をつくる



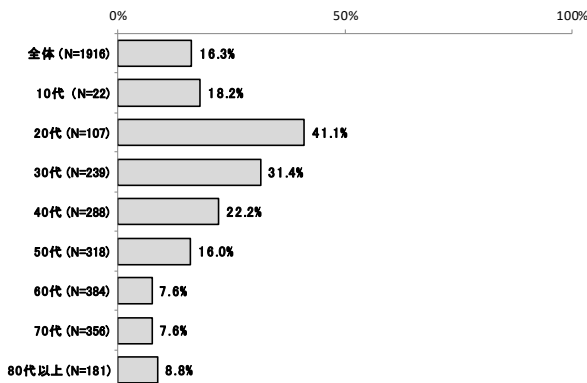
◆ 地域住民同士で緑化やみどりの保全に関するルールをつくる



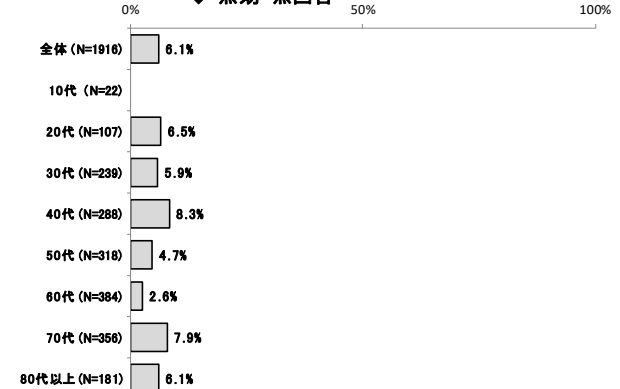
◆ その他



◆ わからない

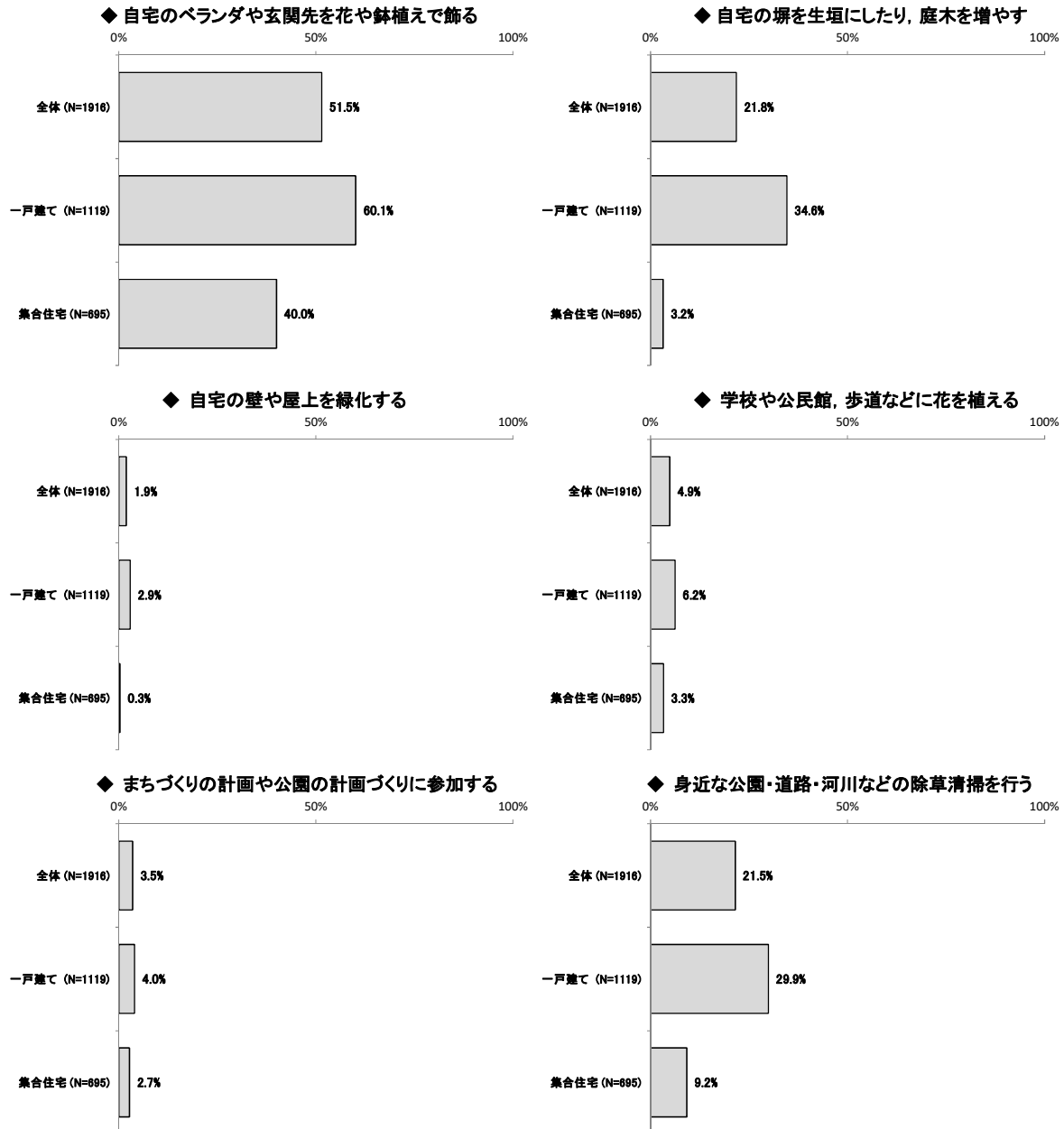


◆ 無効・無回答

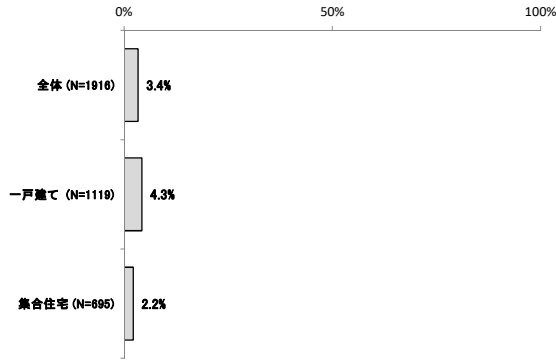


## ● 現在の住まい別 ●

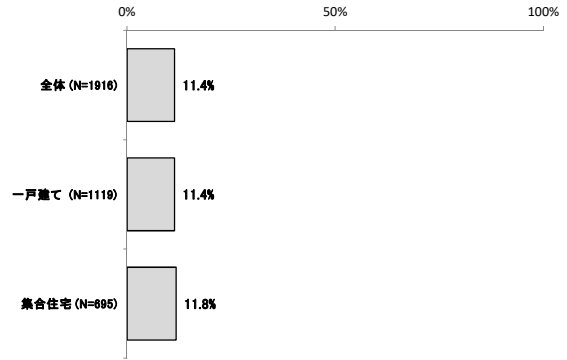
現在の住まい別にみると、「自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えで飾る」（一戸建て：60.1%、集合住宅：40.0%）や「自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす」（一戸建て：34.6%、集合住宅：3.2%）、「家庭菜園をつくる」（一戸建て：38.7%、集合住宅：14.8%）など【一戸建て】の方が【集合住宅】よりも、何らかの活動に取り組んでいる人の割合が多くなっている。



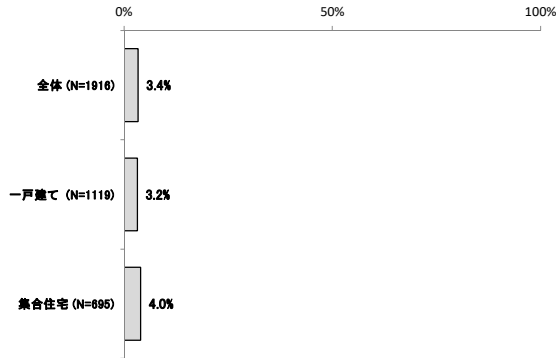
◆ 近くにある森林や樹林地などの維持・管理を行う



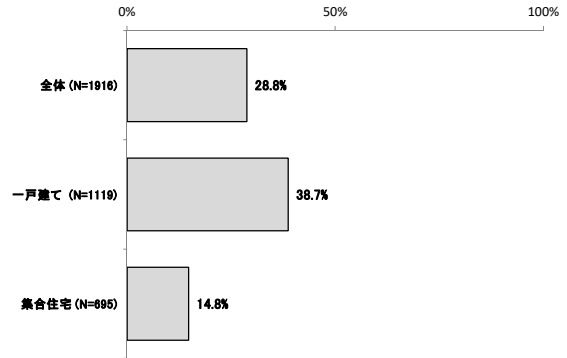
◆ みどりに関する基金などの募金に協力する



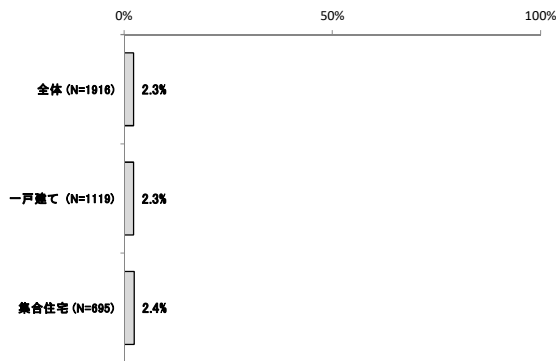
◆ みどりに関する講座やイベントなどに参加する



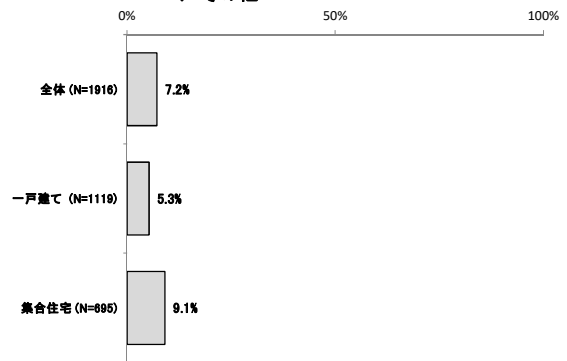
◆ 家庭菜園をつくる



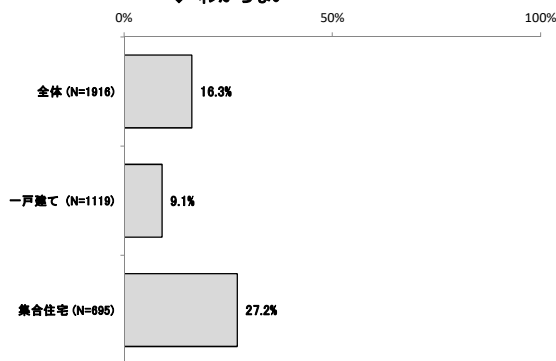
◆ 地域住民同士で緑化やみどりの保全に関するルールをつくる



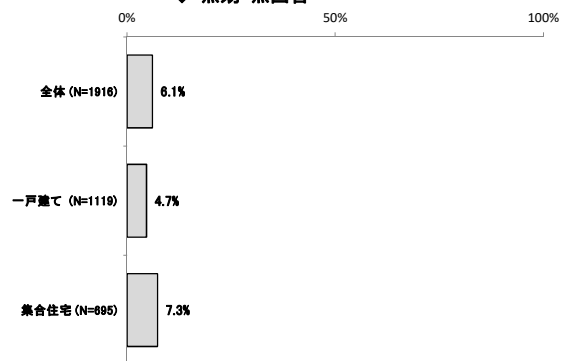
◆ その他



◆ わからない



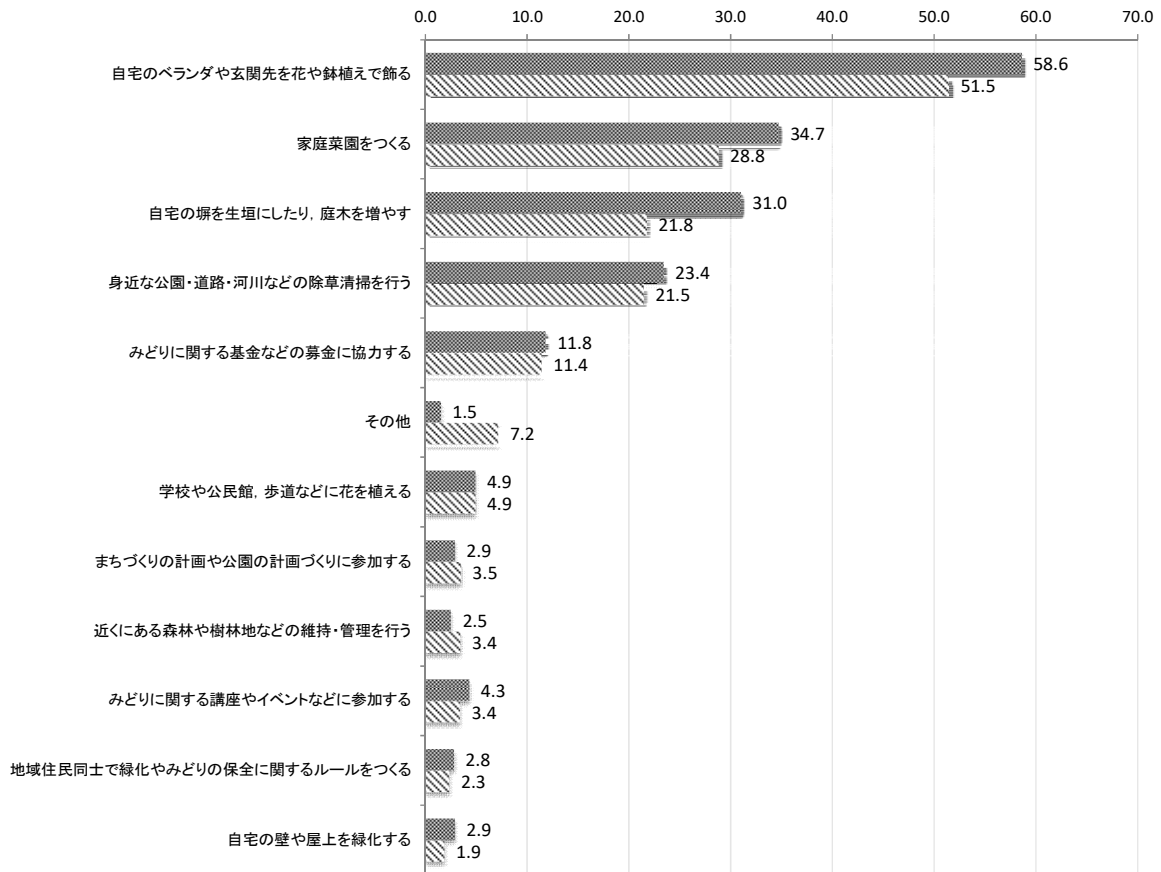
◆ 無効・無回答





## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年と比較すると、「自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えで飾る」や「家庭菜園をつくる」などの割合が減少し、「まちづくりの計画や公園の計画づくりに参加する」や「近くにある森林や樹林地などの維持・管理を行う」などの割合が増加している。



■ 2012    ▨ 2019

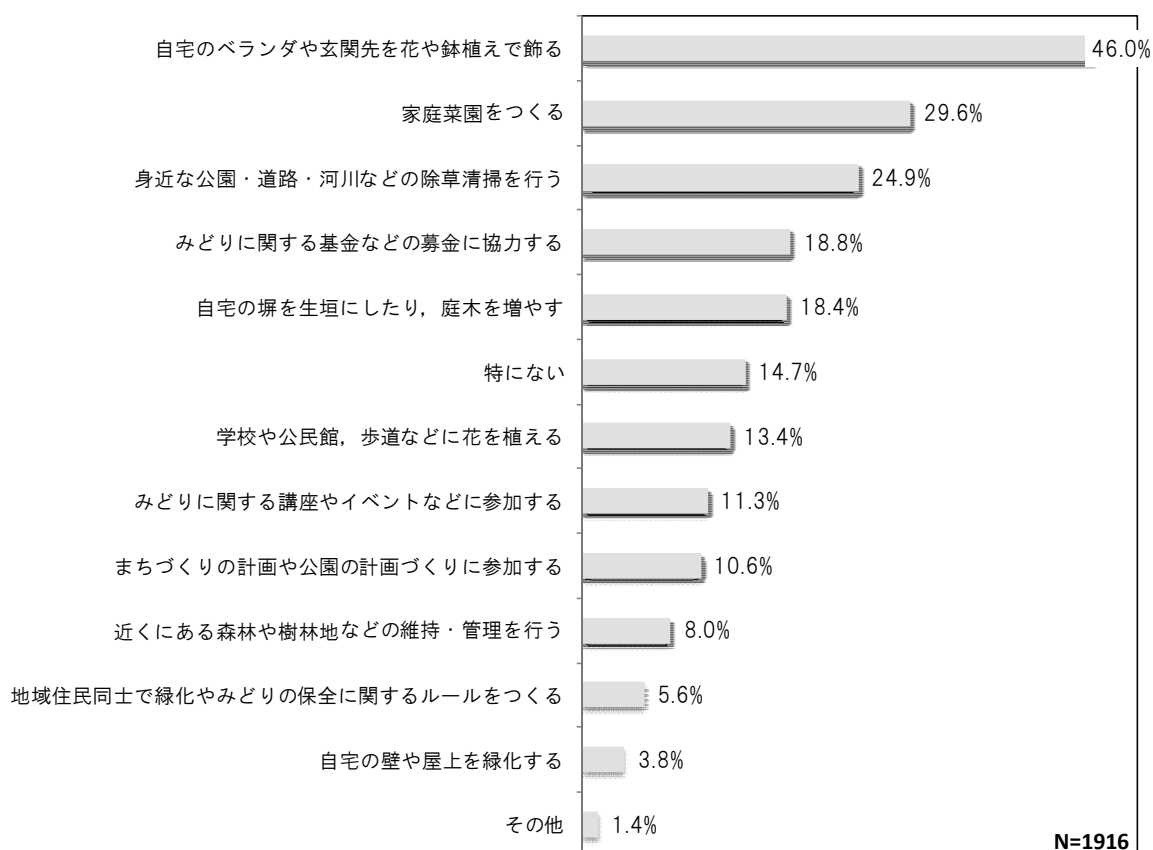
## (2)みどり豊かなまちづくりのために実践したい活動

みどり豊かなまちづくりのために実践したい活動については、「自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えで飾る」(46.0%)が最も多く、次いで「家庭菜園をつくる」(29.6%)、「身近な公園・道路・河川などの除草清掃を行う」(24.9%)、「みどりに関する基金などの募金に協力する」(18.8%)、「自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす」(18.4%)となっている。

問 33 あなたがみどり豊かなまちづくりのために、実践したい活動は何ですか。

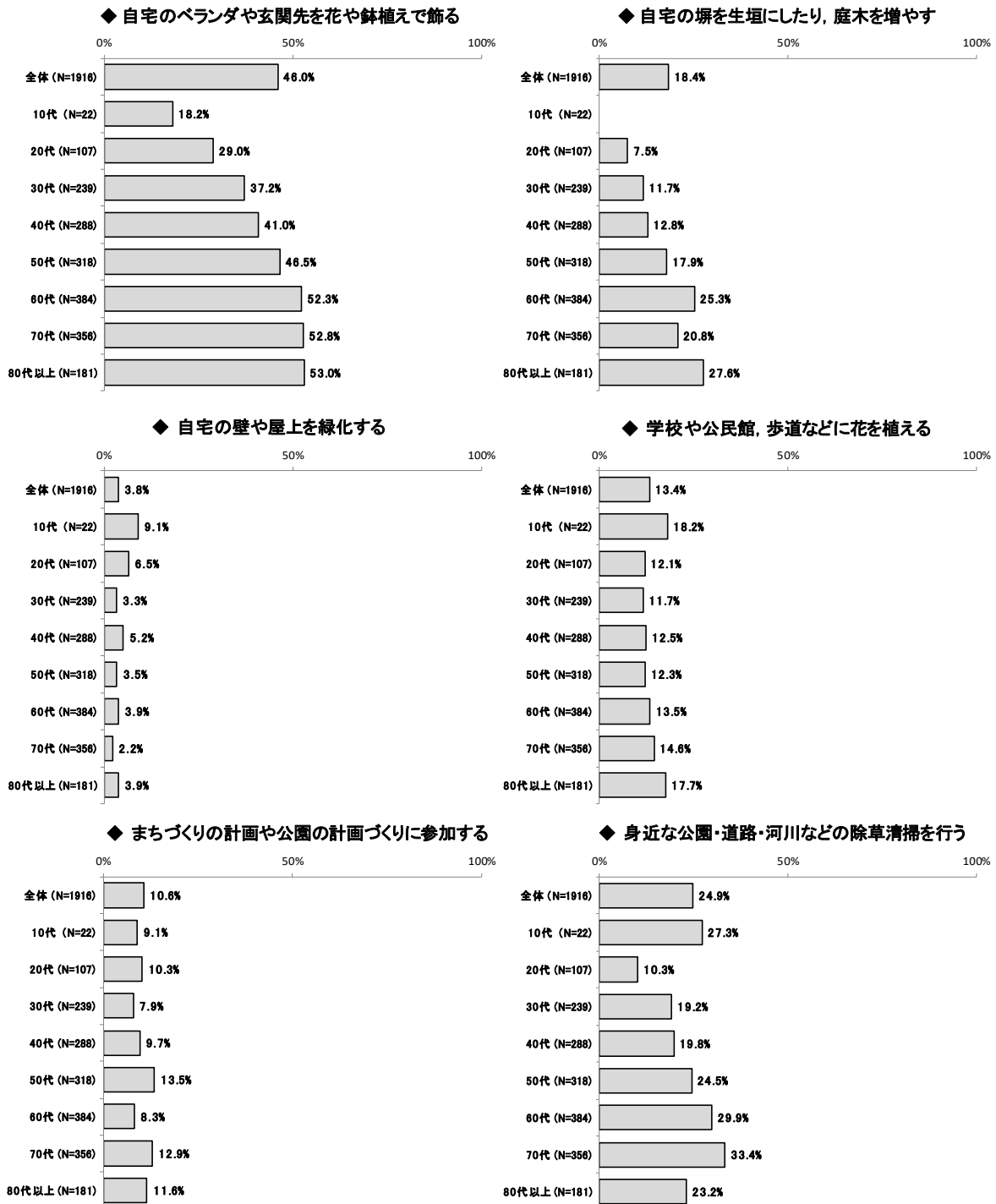
(現在、実践している活動で、今後も継続したい活動も含めてお答えください。)

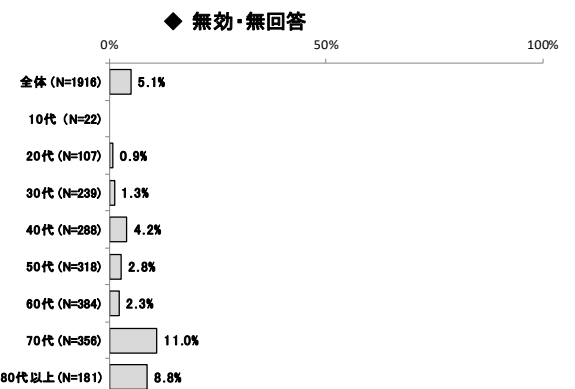
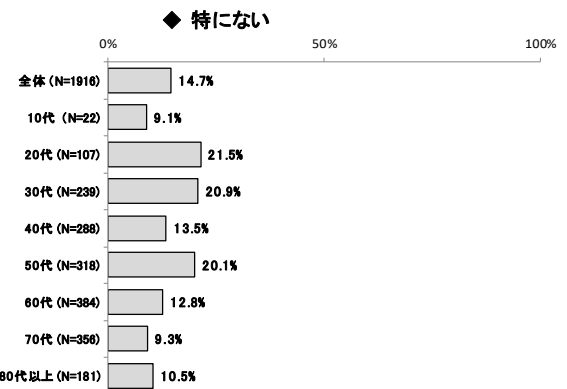
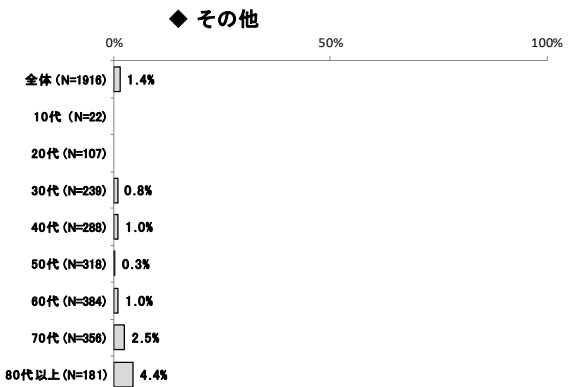
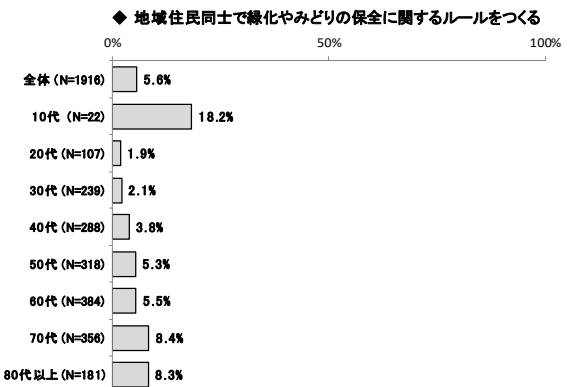
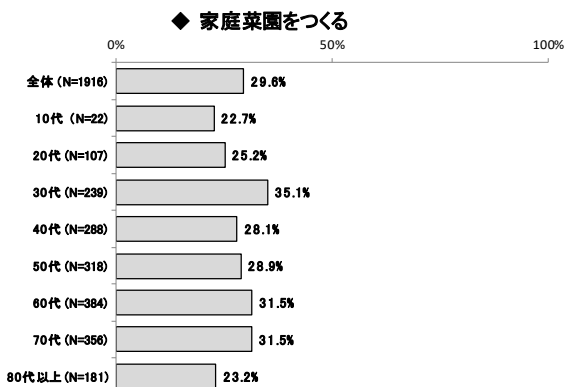
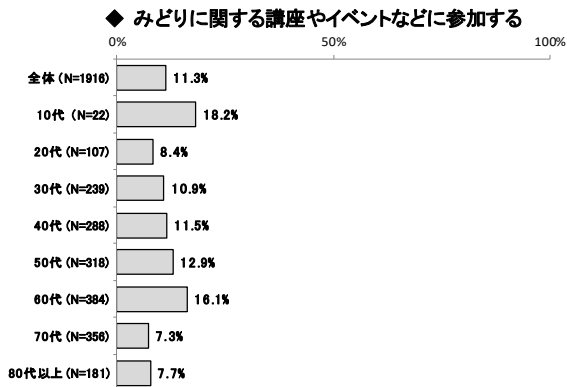
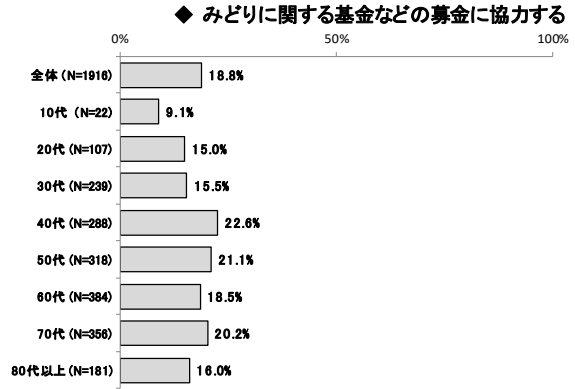
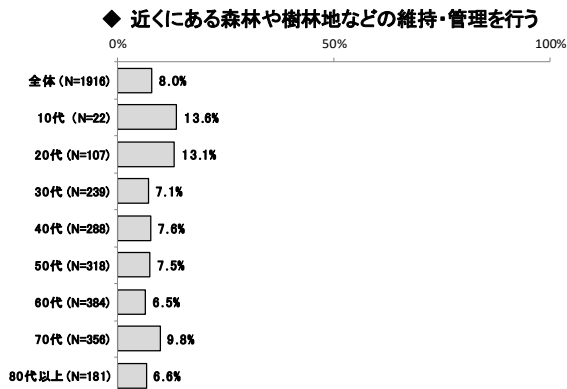
(あてはまる番号すべてに○)



## ● 年代別 ●

年代別にみると、「家庭菜園をつくる」は、【30代】で35.1%と、他の年代に比べて多い。また、「自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えで飾る」は、【60代】以降の年代では5割以上である。

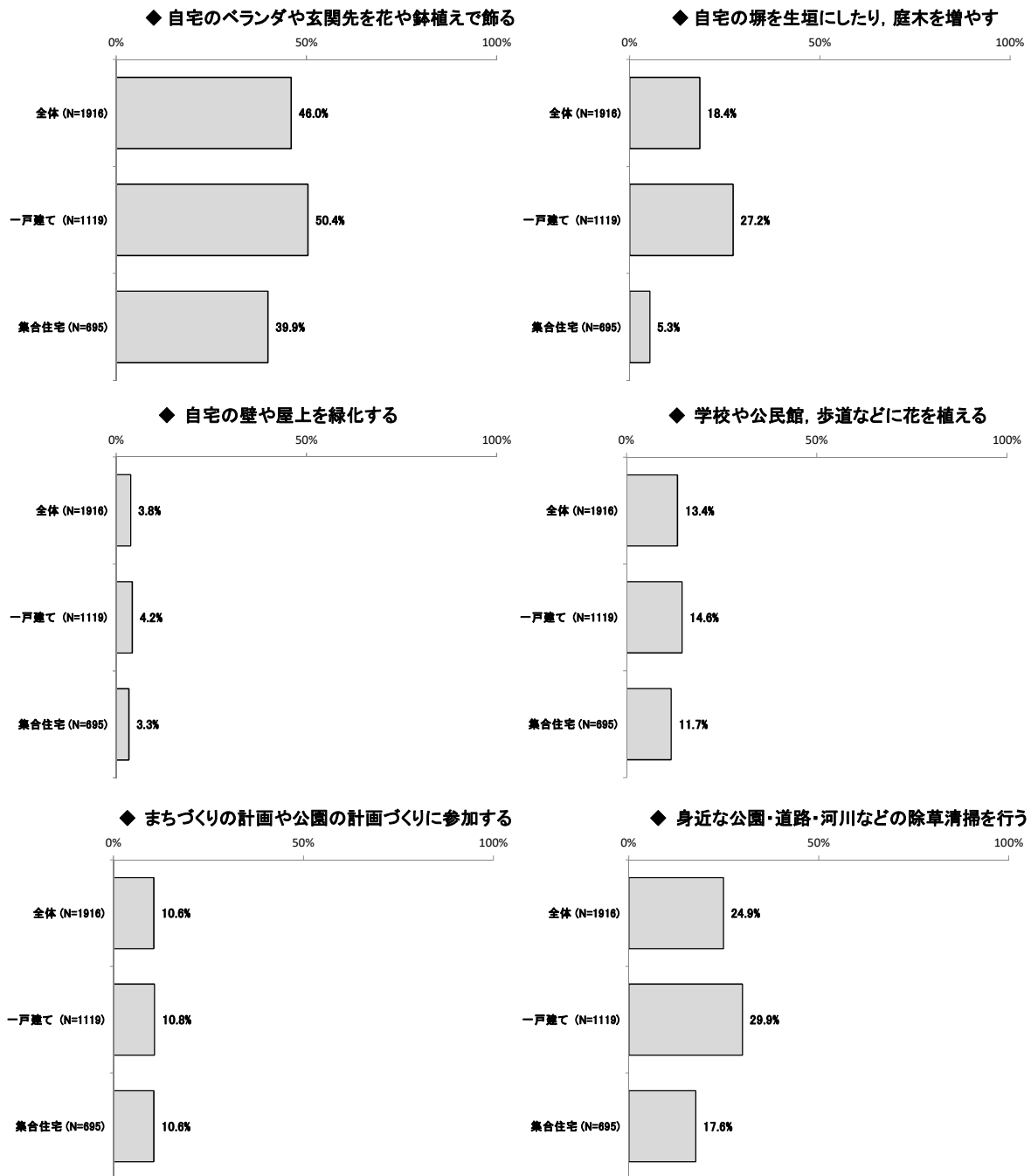




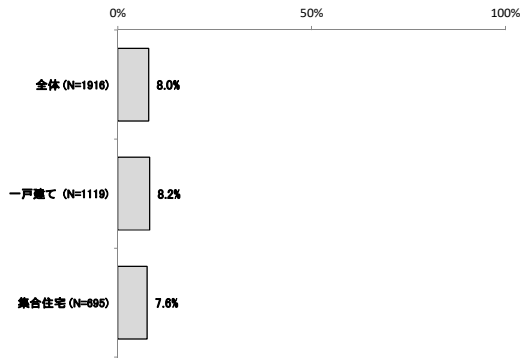
## ● 現在の住まい別 ●

現在の住まい別にみると、「自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えで飾る」や「自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす」、「身近な公園・道路・河川などの除草清掃を行う」、「家庭菜園をつくる」では、【一戸建て】が【集合住宅】を大きく上回っている。

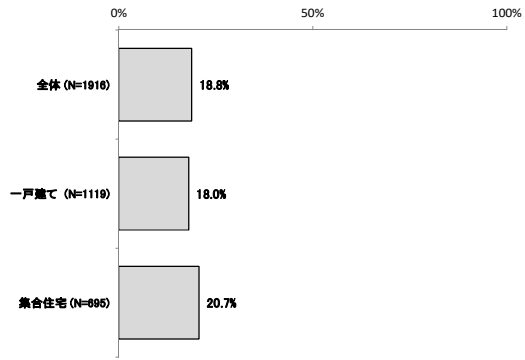
【集合住宅】が【一戸建て】を大きく上回っているものはみられず、【一戸建て】の方が活動への参加意欲が高いことがうかがえる。



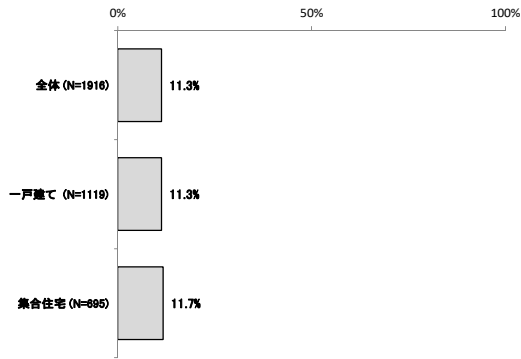
◆ 近くにある森林や樹林地などの維持・管理を行う



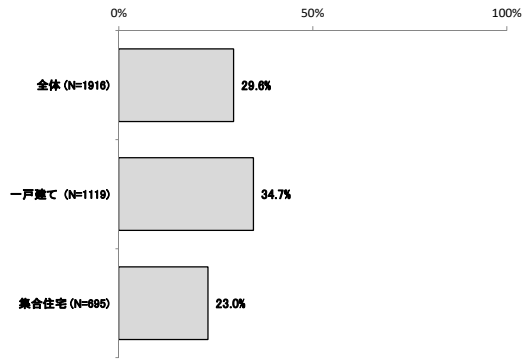
◆ みどりに関する基金などの募金に協力する



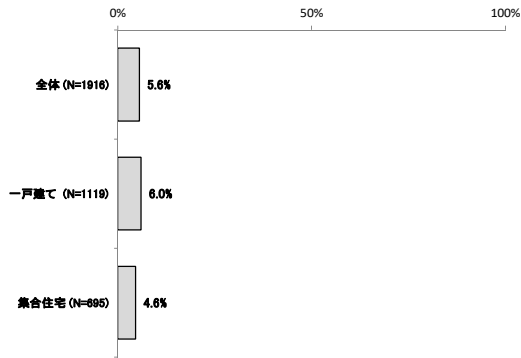
◆ みどりに関する講座やイベントなどに参加する



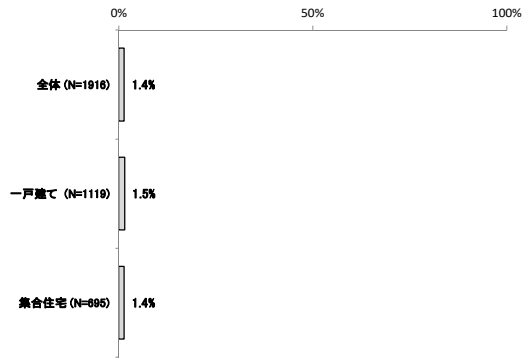
◆ 家庭菜園をつくる



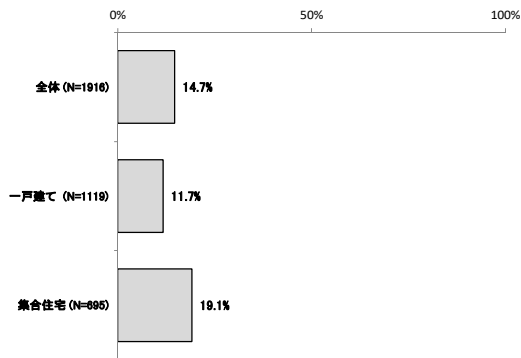
◆ 地域住民同士で緑化やみどりの保全に関するルールをつくる



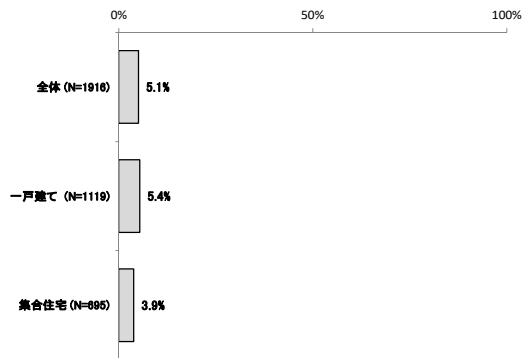
◆ その他



◆ 特にない

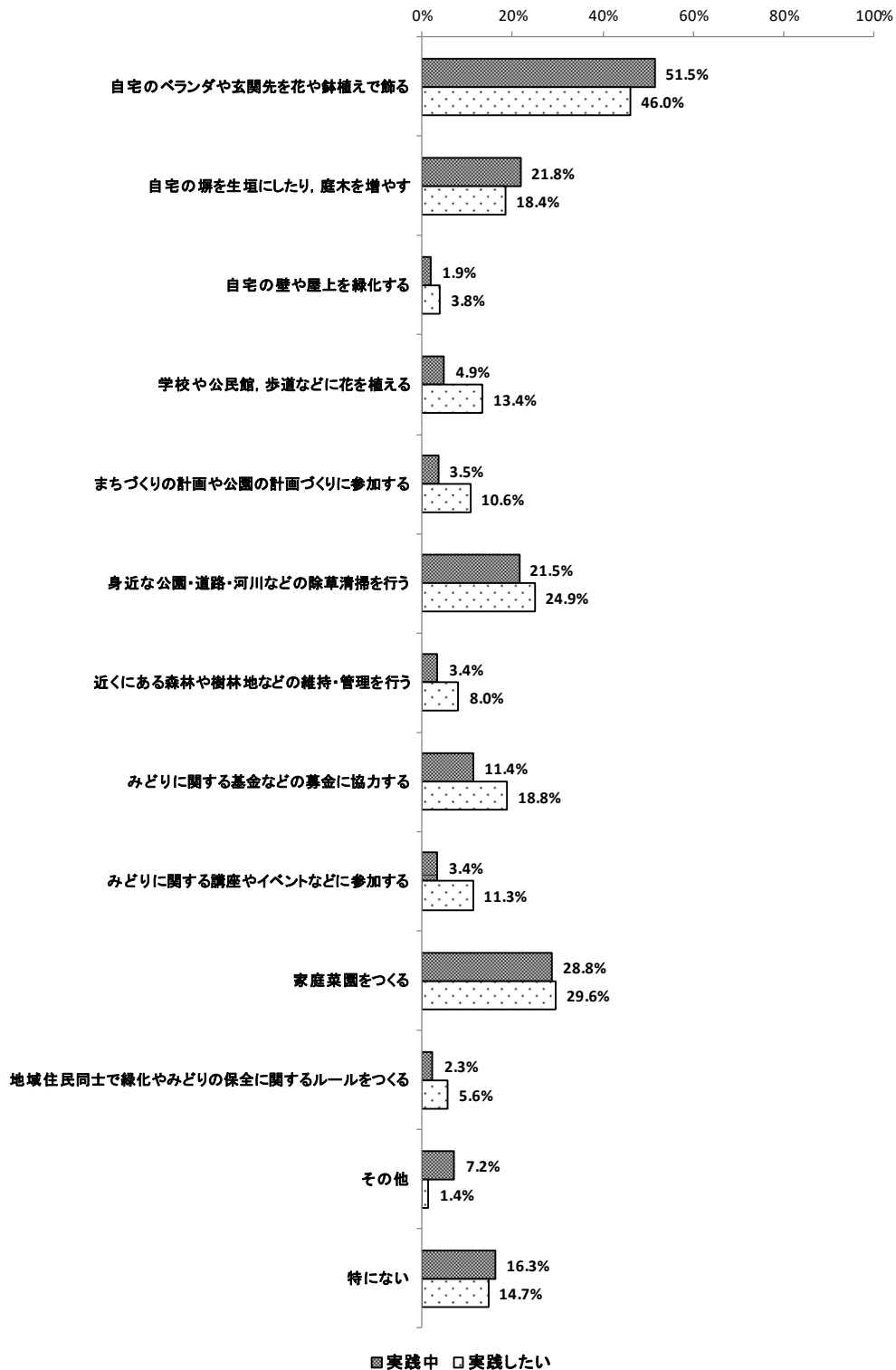


◆ 無効・無回答



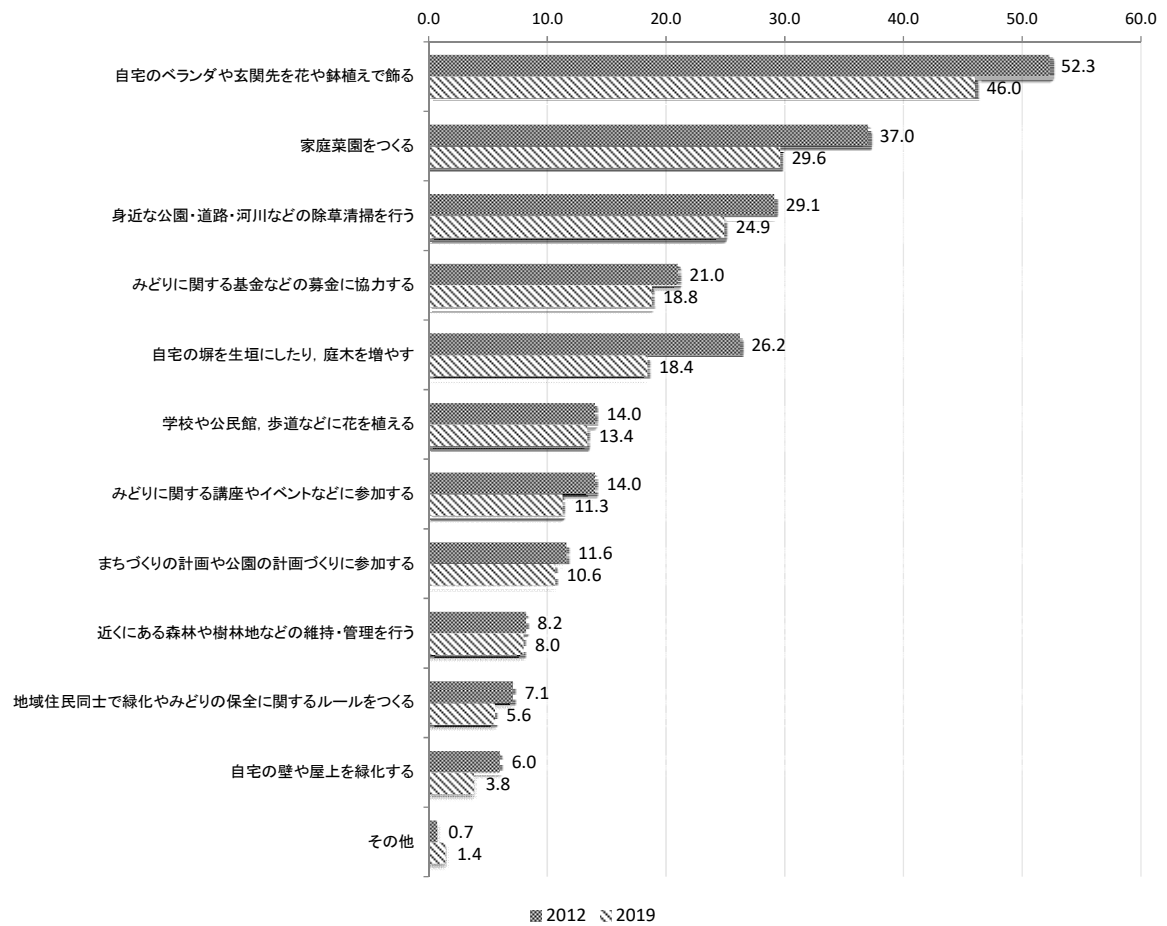
## ● 実践している活動としたい活動の比較 ●

『問 32 みどり豊かなまちづくりのために実践している活動』と、『問 33 みどり豊かなまちづくりのために実践したい活動』を比較すると、「自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えで飾る」、「自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす」以外の項目で、問 33 の実践したい活動が問 32 の実践している活動の割合を上回っている。



## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年と比較すると、「自宅のバルコニーや玄関先を花や鉢植えで飾る」や「家庭菜園をつくる」、「自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす」の割合が大きく減少している。



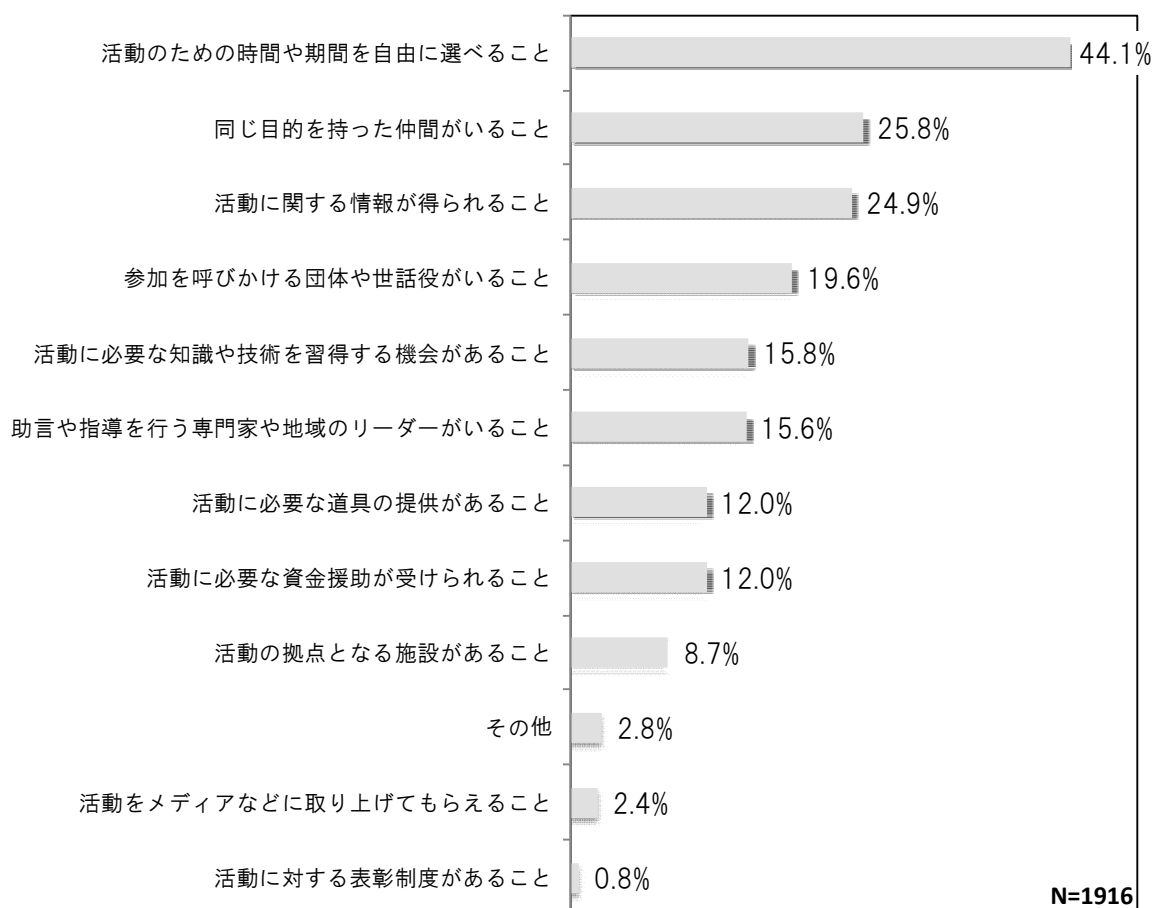


### (3)みどり豊かなまちづくりの活動に参加するための条件

みどり豊かなまちづくりの活動に参加するための条件については、「活動のための時間や期間を自由に選べること」(44.1%)が最も多く、次いで「同じ目的を持った仲間がいること」(25.8%)、「活動に関する情報が得られること」(24.9%)、「参加を呼びかける団体や世話役がいること」(19.6%)、「活動に必要な知識や技術を習得する機会があること」(15.8%)となっている。

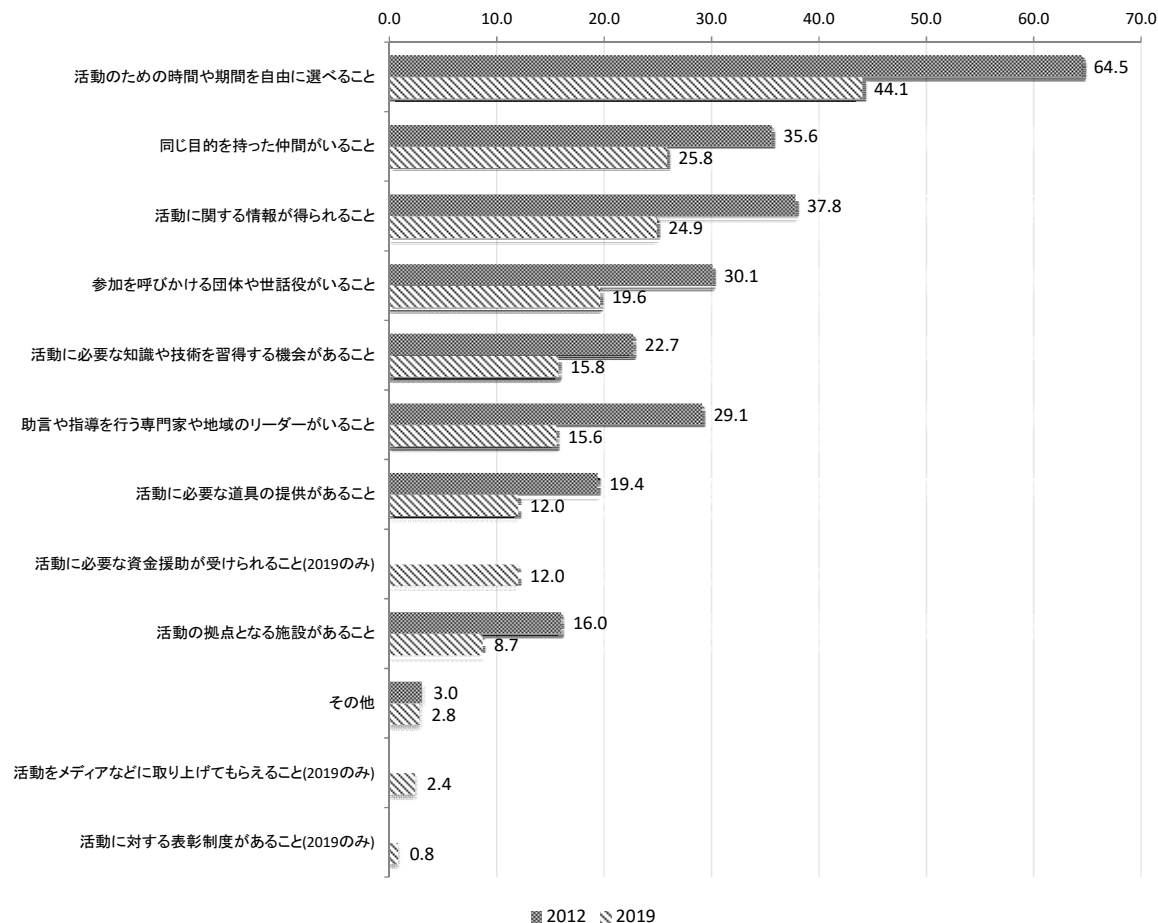
問 34 あなたが、みどり豊かなまちづくりの活動に参加するための条件は何ですか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)



## ● 2012年アンケートとの比較 ●

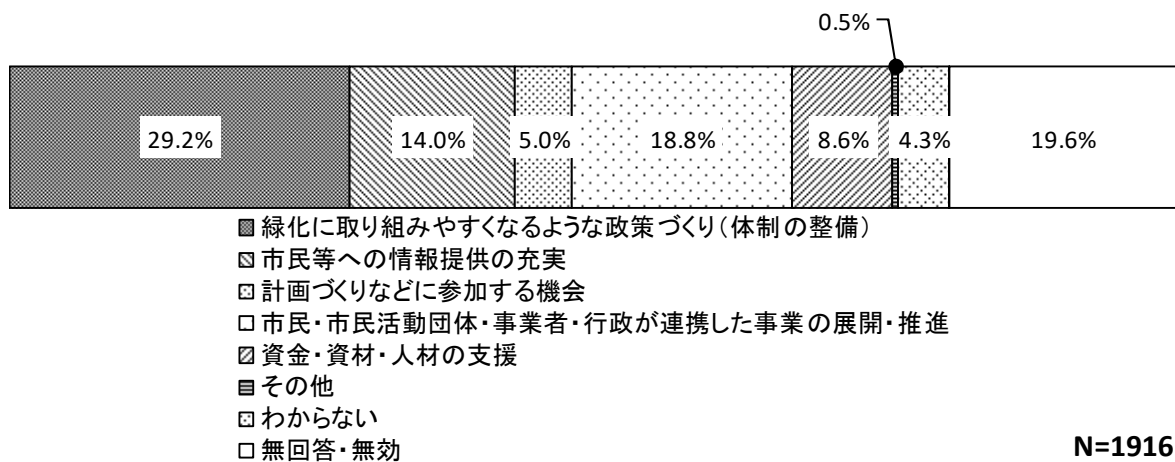
2012年と比較すると、「活動のための時間や期間を自由に選べること」や「同じ目的を持った仲間がいること」、「活動に関する情報が得られること」が上位であることに変わりはないが、その割合は大きく減少しており、その他の回答も全て減少している。



#### (4)みどり豊かなまちづくりのために最も必要なこと

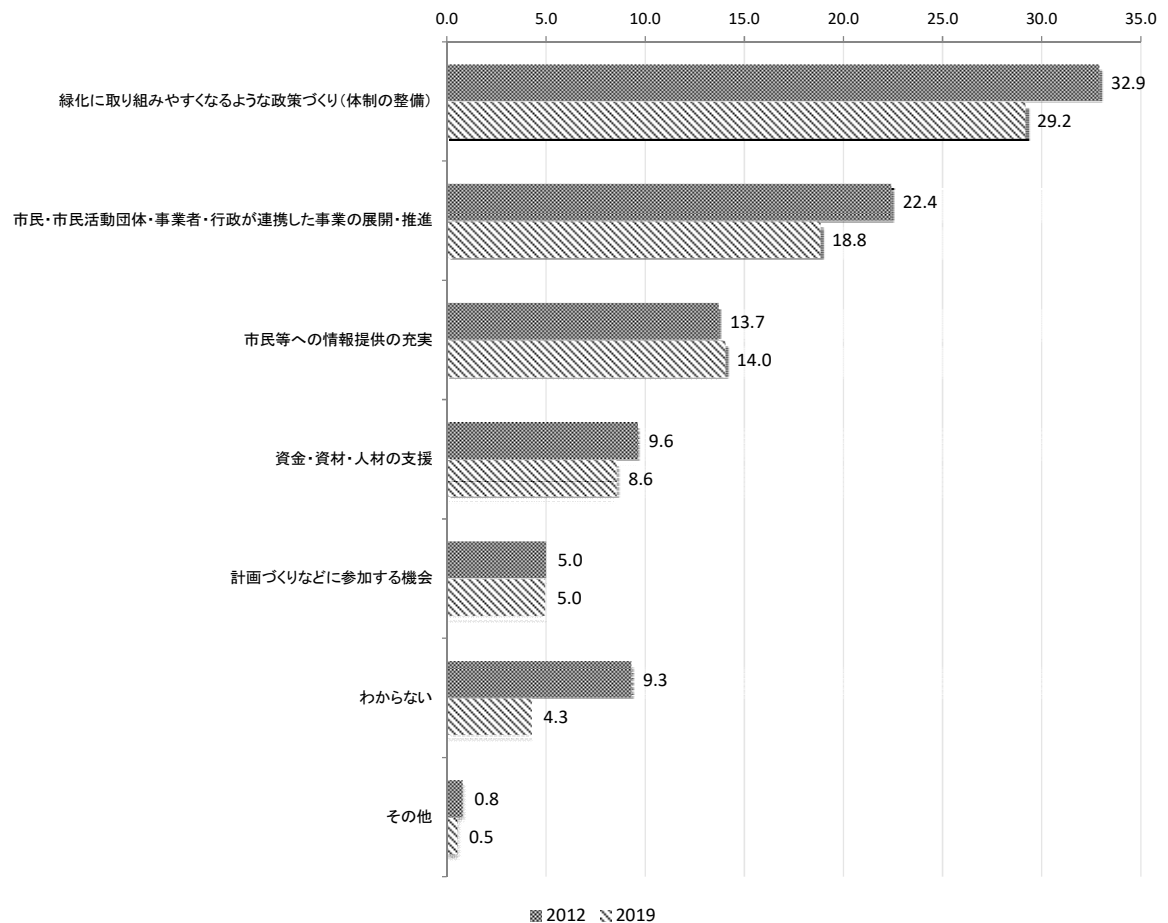
みどり豊かなまちづくりのために最も必要なことについては、「緑化に取り組みやすくなるような政策づくり（体制の整備）」（29.2%）が最も多く、次いで「市民・市民活動団体・事業者・行政が連携した事業の展開・推進」（18.8%）、「市民等への情報提供の充実」（14.0%）、「資金・資材・人材の支援」（8.6%）、「計画づくりなどに参加する機会」（5.0%）となっている。

問 35 みどり豊かなまちづくりのためには、市民・市民活動団体・事業者・行政、それぞれの役割をはっきりとさせ、お互いが協力していくことが重要です。そのために最も必要なことは何だとお考えになりますか。（あてはまる番号1つに○）



## ● 2012年アンケートとの比較 ●

2012年と比較すると、「緑化に取り組みやすくなるような政策づくり（体制の整備）」や「市民・市民活動団体・事業者・行政が連携した事業の展開・推進」が変わらず上位となっているが、その割合は減少している。



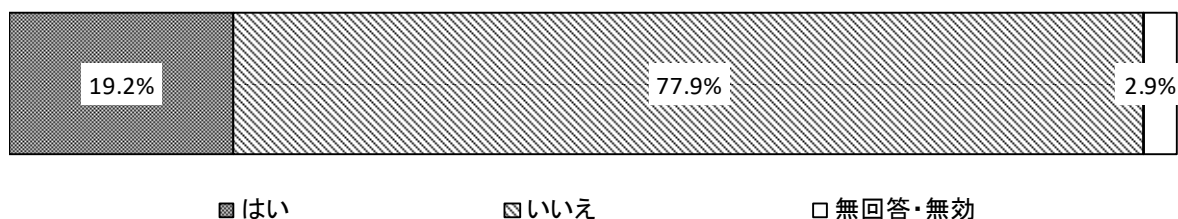
## 5. 「グリーンインフラ」について

### ①グリーンインフラという言葉の認知度

グリーンインフラという言葉を知っているかについては、「いいえ」(77.9%)が過半数を占め、認知度が低い。

問 36 あなたはグリーンインフラという言葉を知っていますか。

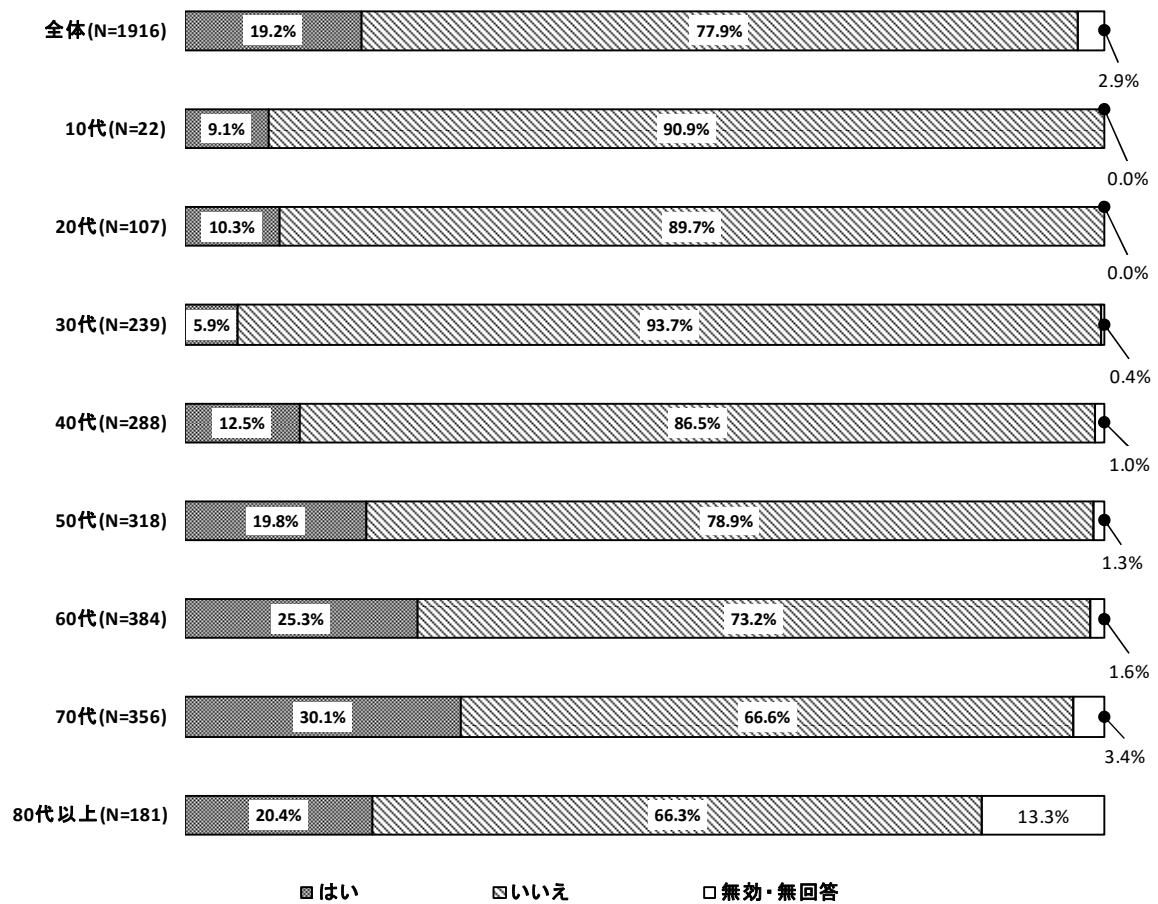
(あてはまる番号1つに○)



N=1916

## ● 年代別 ●

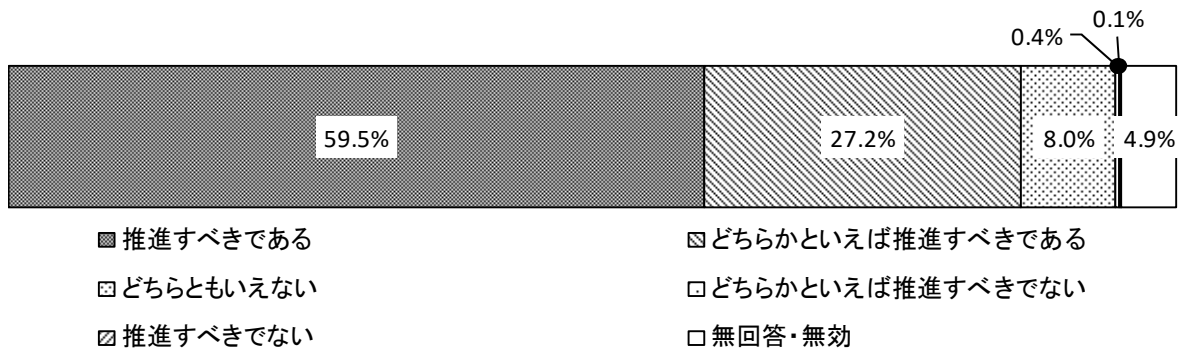
年代別にみると、「知っている」は、【50代】以上で割合が高く、特に【70代】は約3割と  
なっている。



## ②グリーンインフラの考えを取り入れたまちづくり

グリーンインフラの考え方を取り入れたまちづくりについて、「推進すべきである」(59.5%)が最も多く、次いで「どちらかといえば推進すべきである」(27.2%)、「どちらともいえない」(8.0%)となっている。

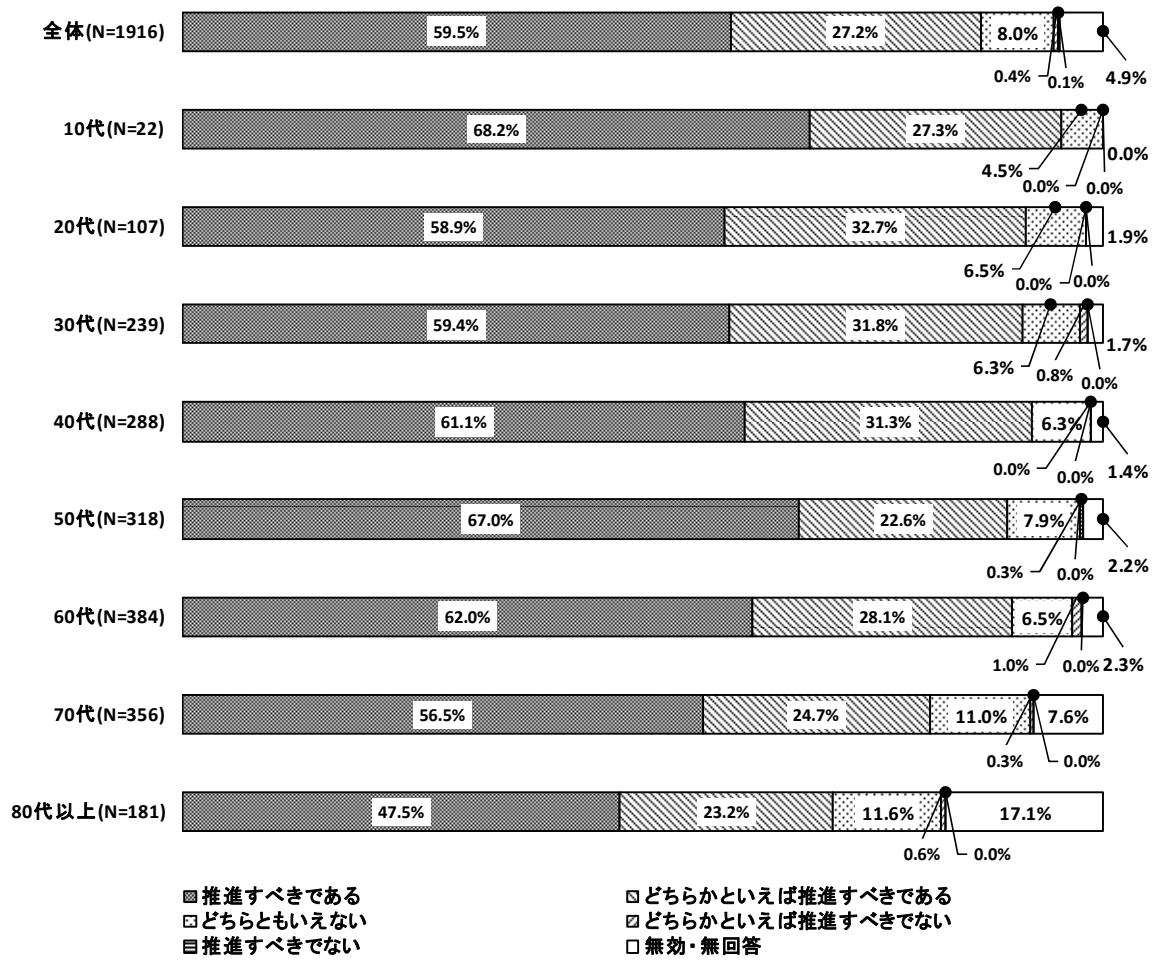
問 37 あなたはグリーンインフラの考え方を取り入れたまちづくりについて、どう思いますか。  
(あてはまる番号1つに○)



N=1916

## ● 年代別 ●

年代別にみると、「推進すべきである」、「どちらかといえば推進すべきである」の合計が、各年代で7割以上となっている。





## 6. 「みどり」に関する意見・要望

「みどり」に関するご意見・ご要望などを記入していただいたところ、491 名の方から回答があった。記入内容を分類（複数回答扱い）すると、下表のとおりとなっている。

その他「みどり」に関するご意見・ご要望などがあれば、自由に記述してください。

(N=491)

|    | 内容                           | 件数  |
|----|------------------------------|-----|
| 1  | 街路樹について（みどりの質）               | 94  |
| 2  | 仙台らしさ、「杜の都」という言葉について         | 81  |
| 3  | 公園について（みどりの量）                | 51  |
| 4  | 取組み方針、体制づくりなどのソフト面に関することについて | 47  |
| 5  | 整備・管理などハード面に関することについて        | 41  |
| 6  | 財政、事業コストについて                 | 33  |
| 7  | 公園について（みどりの質）                | 32  |
| 8  | アンケートについて                    | 29  |
| 9  | 大規模開発等によるみどりの喪失について          | 28  |
| 10 | みどりの保全と都市開発との調和について          | 26  |
| 11 | みどりの保全について                   | 23  |
| 12 | 住宅地のみどりについて                  | 22  |
| 13 | まちづくりへの参加について                | 19  |
| 14 | 市民意識の醸成について                  | 18  |
| 15 | みどりに関するPRについて                | 18  |
| 16 | 街路樹について（みどりの量）               | 17  |
| 17 | 公園その他                        | 17  |
| 18 | 市民協働による緑化の推進について             | 15  |
| 19 | みどりの必要性について                  | 13  |
| 20 | みどりを意識した教育について               | 11  |
| 21 | 街路樹その他                       | 11  |
| 22 | グリーンインフラの推進について              | 10  |
| 23 | その他                          | 155 |
|    | 合計                           | 811 |

# 資料

## 1. 調査票

### 令和元年度「みどりの市民意識調査」へのご協力をお願い

市民の皆さまへ

日頃より仙台市政の運営にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、仙台市では令和2年度末に、みどりのまちづくりの総合的な計画である次期「仙台市みどりの基本計画」を策定し、よりみどり豊かで潤いのある「杜の都・仙台」を目指し、様々な事業を展開していきたいと考えております。

このアンケートは、地域の実情に応じたみどりのまちづくりを進めていくために、施策や具体的な事業の検討にあたりまして、市民の皆さまのみどりに関するご意見などを反映させるために行うものです。

つきましては、大変お手数をおかけいたしますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

なお、この調査票は区ごとの人数などを考慮した上で、住民基本台帳から18歳以上の男女5,000名を無作為に抽出して送付させていただきました。また、本アンケートは無記名でお答えいただくものであり、回答は統計的に集計いたします。皆さまの個人情報が公表されることはありませんので、重ねてご協力をよろしくお願いいたします。

令和元年9月  
仙 台 市

### ◇◇ ご記入にあたってのお願い ◇◇

1. アンケートの回答は、必ず**ご本人**がご記入してください。
2. 回答は、あてはまる項目を選び、番号を「○」で囲んでください。  
質問によって、「1つ」や「3つまで」、「あてはまるものすべて」を選んでいただくものがありますので、ご注意ください。また、「その他」を選んだ場合や、自由にご記入いただく質問については、具体的な内容をご記入ください。
3. 回答が終わりましたら、**同封の返信用封筒（切手不要）に、本調査票を封入し、令和元年9月27日（金）**までにご投函ください。
4. 回答の際、不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

#### お問合せ先

仙台市 建設局 百年の杜推進部 百年の杜推進課 企画調整係 水嶋・菅原  
電話:022-214-8388(直通) FAX:022-216-0637 E-mail:ken010240@city.sendai.jp

はじめに、あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの年齢を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 | 7. 70～79歳 | 8. 80歳以上  |

問2 あなたの職業等を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. 自営業(家族従業の方を含む) | 2. 会社員, 団体職員等       |
| 3. 公務員            | 4. パート, アルバイト, 非常勤等 |
| 5. 学生             | 6. 家事専業             |
| 7. 無職             | 8. その他( )           |

問3 あなたのお住まいの地区を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- |        |         |        |
|--------|---------|--------|
| 1. 青葉区 | 2. 宮城野区 | 3. 若林区 |
| 4. 太白区 | 5. 泉区   |        |

問4 あなたの現在のお住まいについて教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 持ち家(一戸建て)  | 2. 持ち家(集合住宅)  |
| 3. 賃貸住宅(一戸建て) | 4. 賃貸住宅(集合住宅) |
| 5. 社宅, 官舎, 寮  | 6. その他( )     |

問5 仙台市にお住まいになってからの年数について教えてください。一度市外に転出して、また転入した方や、市内で引越した方は、通算の年数をお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 1年未満       | 2. 1年以上5年未満   |
| 3. 5年以上10年未満  | 4. 10年以上20年未満 |
| 5. 20年以上30年未満 | 6. 30年以上      |

問6 あなたの家族構成について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1. 一人暮らし             | 2. 夫婦のみ            |
| 3. 二世帯世帯(あなたの世代と子供)  | 4. 二世帯世帯(あなたの世代と親) |
| 5. 三世帯世帯(あなたを含めて三世帯) | 6. その他( )          |

問7 あなたと同居している方で、小学生以下の子どもはいますか。

(あてはまる番号1つに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

## あなたの身近なみどりについておたずねします

### 「みどり」について

本調査で対象とする「みどり」には、**樹林地**、**草地**、**農地**、単独で生育する**樹木**や**草花**の他、**河川・海浜などの水辺**、**公園緑地**、**広場・グラウンド**などの**オープンスペース**を含めており、表現として広がりを持つひらがなで「みどり」と表記しております。これは、仙台市が平成24年に策定した「仙台しみどりの基本計画」と共通した表現となっております。

問8 あなたにとっての身近なみどりとは何ですか。

「身近なみどり」とは、あなたのお住まいの近くにあるみどりだけではなく、あなた自身が身近だと感じているみどりも含めます。 (あてはまる番号すべてに○)

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. 戸建てなどの住宅のみどり   | 2. マンションなどの集合住宅のみどり |
| 3. 商店街やオフィス街のみどり  | 4. 学校などの公共施設のみどり    |
| 5. 郊外の大型商業施設のみどり  | 6. 大きな工場のある工業地のみどり  |
| 7. 街路樹などの道路のみどり   | 8. 公園や緑地のみどり        |
| 9. 神社や寺院のみどり      | 10. 史跡や名勝などのみどり     |
| 11. 天然記念物などの老木や巨木 | 12. 家の近くにある自然林      |
| 13. 河川や海浜などの水辺    | 14. 周辺の山地や丘陵地のみどり   |
| 15. 田や畑           | 16. 屋敷林 (居久根)       |
| 17. その他 ( )       |                     |

※「16. 屋敷林 (居久根)」: 屋敷の周囲に防風や防火のために植えた林。

問9 現在の身近なみどりの量や質についてどのような印象を持っていますか。

※「質」とは、みどりが持っている機能のことで、具体的には、生活環境を良くする、生物を保全する、景観を美しくする、癒し(いやし)になるなどの機能のことで、 (あてはまる番号1つに○)

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 量・質ともに十分である  | 2. 量は十分だが、質はよくない |
| 3. 量は不十分だが、質はよい | 4. 量・質ともに不十分である  |

問10 あなたがもっと欲しいと思う、身近なみどりは何ですか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. 戸建てなどの住宅のみどり   | 2. マンションなどの集合住宅のみどり |
| 3. 商店街やオフィス街のみどり  | 4. 学校などの公共施設のみどり    |
| 5. 郊外の大型商業施設のみどり  | 6. 大きな工場のある工業地のみどり  |
| 7. 街路樹などの道路のみどり   | 8. 公園や緑地のみどり        |
| 9. 神社や寺院のみどり      | 10. 史跡や名勝などのみどり     |
| 11. 天然記念物などの老木や巨木 | 12. 家の近くにある自然林      |
| 13. 河川や海浜などの水辺    | 14. 周辺の山地や丘陵地のみどり   |
| 15. 田や畑           | 16. 屋敷林(居久根)        |
| 17. その他( )        | 18. 特にない            |

問11 身近なみどりは皆さんの生活の質を高めるための様々な機能を持っています。

身近なみどりの機能の中で、特にあなたが期待するものは何ですか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)

- |  |
|--|
| 1. 都市の気温上昇(ヒートアイランド現象など)をやわらげる機能         |
| 2. 大気を浄化したり、騒音をやわらげたりする機能                |
| 3. 建築物や道路など、施設周辺の景色を整える機能                |
| 4. まちに風格や落ち着きを与える機能                      |
| 5. 植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する機能 |
| 6. スポーツや野外レクリエーションなどの活動の場を提供する機能         |
| 7. 休憩などの場を提供する機能                         |
| 8. 散歩などの場を提供する機能                         |
| 9. 洪水やがけ崩れなどの災害を防止する機能                   |
| 10. 火災が起きた際の延焼遅延や拡大防止をする機能               |
| 11. 災害時の避難場所を提供する機能                      |
| 12. 生活にうるおいを与え、心をなごませる機能                 |
| 13. 不動産(マンション、家屋、ビルなど)の価値(賃料など)を高める機能    |
| 14. その他( )                               |

「杜の都」という言葉について、あなたの意見をおたずねします

問 12 あなたが思う「杜の都」を代表するみどりとは何ですか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 青葉山         | 2. 泉ヶ岳         |
| 3. 太白山         | 4. 蕃山          |
| 5. 奥羽山脈        | 6. 海岸公園(海岸林含む) |
| 7. 青葉山公園(仙台城跡) | 8. 勾当台公園       |
| 9. 台原森林公園      | 10. 西公園        |
| 11. 榴岡公園       | 12. 七北田公園      |
| 13. 青葉通        | 14. 定禅寺通       |
| 15. 名取川        | 16. 広瀬川        |
| 17. 七北田川       | 18. その他( )     |

問 13 「杜の都」という言葉からどのようなみどりが沢山ある街を思い描きますか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. 戸建てなどの住宅のみどり   | 2. マンションなどの集合住宅のみどり |
| 3. 商店街やオフィス街のみどり  | 4. 学校などの公共施設のみどり    |
| 5. 郊外の大型商業施設のみどり  | 6. 大きな工場のある工業地のみどり  |
| 7. 街路樹などの道路のみどり   | 8. 公園や緑地のみどり        |
| 9. 神社や寺院のみどり      | 10. 史跡や名勝などのみどり     |
| 11. 天然記念物などの老木や巨木 | 12. 家の近くにある自然林      |
| 13. 河川や海浜などの水辺    | 14. 周辺の山地や丘陵地のみどり   |
| 15. 田や畑           | 16. 屋敷林(居久根)        |
| 17. その他( )        |                     |

問 14 「杜の都」という言葉から現在の仙台をみたときに、あなたはみどりの量や質についてどのような印象を持っていますか。

※「質」とは、みどりが持っている機能のことで、具体的には、生活環境を良くする、生物を保全する、景観を良くする、癒し(いやし)になるなどの機能のことです。

(あてはまる番号1つに○)

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 量・質ともに十分である  | 2. 量は十分だが、質はよくない |
| 3. 量は不十分だが、質はよい | 4. 量・質ともに不十分である  |

これから先の仙台市のみどりのまちづくりについておたずねします

◆樹林地などの自然のみどりの保全について

問 15 市街地にある樹林地などの自然のみどりの保全と、都市開発との調和について、どのようにしていくべきだと思いますか。 (あてはまる番号1つに○)

1. 必要な開発はやむを得ないが、できるだけみどりを残し、新たなみどりをつくる努力をする
2. これ以上の開発は不必要であり、現状維持にとどまらず環境を回復させる
3. 特に保全する必要はなく、自然の成り行きに任せるのがよい
4. その他 ( )
5. わからない

問 16 市街地にある樹林地などの自然のみどりの多くは、個人や企業の土地となっています。これらを保全する方法として、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。 (あてはまる番号1つに○)

1. 個人の土地であっても法律などで土地利用を規制し、開発行為を制限する
2. 他の行政サービスが減ったり、市民の負担が増えたりしても、行政(税金)で土地を買い取って保全する
3. 市民・企業・行政が一体となって保全のための基金などをつくり、募金をつのる
4. 所有者の意向を踏まえながら、町内会や市民活動団体などが保全活動に参加する
5. 個人の土地なので、保全するのも開発するのも個人の意志に任せる
6. その他 ( )
7. わからない

問 17 市街地や田園地帯に点在する屋敷林(居久根)や社寺林の保全について、どのようにしていくべきだと思いますか。 (あてはまる番号1つに○)

1. できるだけみどりを残し、次世代へ継承させていく
2. 現状維持にとどまらず環境を回復させ、よりよい景観をつくる
3. 特に保全する必要はなく、自然の成り行きに任せる
4. その他 ( )
5. わからない

問 18 仙台市では、所有者の意向を踏まえながら、屋敷林(居久根)や社寺林について、歴史・文化的に貴重なみどりとして、保全を図るとともに広くPRし、活用していきたいと考えております。

屋敷林(居久根)や社寺林の活用について、どのようにしていくべきだと思いますか。 (あてはまる番号1つに○)

1. あずまややベンチを設置し、見学できるようにする。
2. 青葉山公園などの歴史的資源を有する公園と連携した観光ツアーを企画・開催する
3. 屋敷林(居久根)や社寺林を拠点とした情報発信施設などを整備する
4. その他 ( )
5. わからない



◆市街地の緑化について

問 19 市街地の緑化を進めるにあたり、どこの緑化に重点を置くべきだと思いますか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)

|                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 戸建てなどの住宅      | 2. マンションなどの集合住宅 |
| 3. 商店街やオフィス街     | 4. 学校などの公共施設    |
| 5. 郊外の大型商業施設     | 6. 工場           |
| 7. 道路(街路樹など)     | 8. 公園や緑地        |
| 9. 駅周辺などの人が集まる場所 | 10. 河川敷や堤防      |
| 11. 駐車場          | 12. その他( )      |
| 13. 特になし         |                 |

問 20 公園や街路樹等の整備の他に、都市の緑化を進めるにあたり、行政の取り組みで特に必要なものは何ですか。

(あてはまる番号1つに○)

|                           |                       |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. 緑化義務や開発規制についての法律・条例の強化 | 2. 補助金支給や苗木配布などの助成制度  |
| 3. イベントや表彰などの普及啓発         | 4. ホームページや情報誌などでの情報提供 |
| 5. 市民活動団体への支援             | 6. その他( )             |
| 7. 特になし                   |                       |

問 21 あなたが緑化活動を行う場合に、行政の支援の中で、特に必要なものは何ですか。

(あてはまる番号1つに○)

|                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 緑化や園芸の講習会の開催         | 2. 緑化技術や緑化制度などの情報の提供    |
| 3. 緑の専門家に質問や相談ができる窓口の設置 | 4. 優れたみどりなどに対する表彰       |
| 5. 新緑祭などの緑化イベントの開催      | 6. みどりに関する情報誌やホームページの充実 |
| 7. その他( )               | 8. 特になし                 |

◆公園について

問 22 あなたはお住まいの近くにある公園をどれくらい利用しますか。

※「お住まいの近くにある公園」とは、目安として、歩いて10分以内の場所にある公園のことです。

(あてはまる番号1つに○)

|             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1. ほぼ毎日     | 2. 週2～3回程度      |
| 3. 週1回程度    | 4. 月1～2回程度      |
| 5. その他( )   | 6. ほとんど利用しない    |
| 7. 近くに公園がない | → 問 25 へ進んでください |



問 23 あなたの住まいの近くにある公園は、どのような役割を持っていると思いますか。  
(主にあてはまる番号3つまでに○)

1. 気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する
2. 人工的な都市の景観を美しくする
3. 植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する
4. スポーツや野外レクリエーションなどを行う場所
5. 健康増進のための散歩や運動をする場所
6. 子どもを遊ばせる場所
7. 近所の人々と語り合うなど、地域コミュニティを育む場所
8. 犬などのペットを遊ばせる場所
9. 災害時の避難場所
10. 憩いの場を与え、心をなごませる場所
11. その他 ( )

問 24 現在のあなたのお住まいの近くにある公園の量や質について、どのような印象を持っていますか。

※公園の「量」とは広さや数のことで、「質」とは施設の整備や管理の状況のことです。  
(あてはまる番号1つに○)

1. 量・質ともに十分である
2. 量は十分だが、質はよくない
3. 量は不十分だが、質はよい
4. 量・質ともに不十分である

問 25 仙台市内で、今後増やして欲しい公園はどのような公園ですか。  
(主にあてはまる番号3つまでに○)

1. 日常的な憩いの場となる公園 (散策の場、子どもの遊び場)
2. くつろいだり、ジョギングができる公園
3. スポーツ施設が充実した公園
4. 防災機能が充実した公園 (災害時の避難場所、救援活動の拠点場所)
5. 自然とのふれあいや環境教育の場となる公園
6. 「みどり」に関する相談ができる公園 (樹木の見本園や園芸講習会の開催場所)
7. 歴史的、文化的資源を生かした公園
8. 水辺とふれあえる公園
9. 市街地中心部で、買い物客の待ち合わせや休息場となる公園
10. 芋煮やバーベキュー、キャンプができる公園
11. 貸し農園や農業体験ができる公園
12. 犬などのペットを遊ばせることができる公園
13. 公害を防止・緩和するための樹林帯がある公園
14. 散歩やジョギングのできる園路などがある公園
15. 飲食店 (カフェ含む) や売店がある公園
16. その他 ( )
17. わからない

◆「都心部」と「住宅地」の街路樹について

「都心部」とは下図に示す仙台駅を中心とした地区のことで、定禅寺通や青葉通、東二番丁通などが含まれます。また「住宅地」とは都心部以外の一般的な住居地のことです。



問 26 現在の仙台市の都心部、住宅地の街路樹の量や質について、それぞれどのような印象を持っていますか。

※街路樹の「質」とは、気候緩和などの都市環境を改善する機能や、景観を美しくする機能、生物を保全する機能、癒し（いやし）を与える機能などのことです。

（「都心部」「住宅地」各項目それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

【都心部】

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 量・質ともに十分である  | 2. 量は十分だが、質はよくない |
| 3. 量は不十分だが、質はよい | 4. 量・質ともに不十分である  |

【住宅地】

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 量・質ともに十分である  | 2. 量は十分だが、質はよくない |
| 3. 量は不十分だが、質はよい | 4. 量・質ともに不十分である  |

問 27 街路樹には、皆さんの生活の質を高めるための様々な機能があります。あなたが都心部、住宅地で街路樹に期待する機能として、特に重要なものは何ですか。

(「都心部」「住宅地」各項目それぞれについて、主にあてはまる番号3つまでに○)

**【都心部】**

1. 気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する機能
2. 人工的な都市の景観を美しくする機能
3. 植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する機能
4. 日差しや雨などから歩行者を守る機能
5. 雨を集め、地下に雨水を誘導する機能
6. 火災が起きた際の延焼遅延や拡大防止の機能
7. 運転手や歩行者の心をなごませる機能
8. 紅葉や開花、芽吹きなどによって季節感を与える機能
9. 車道分離や運転手の視線誘導、事故の際の衝撃緩和など交通安全を高める機能
10. 地域のイメージを向上させる機能
11. 不動産（マンション、家屋、ビルなど）の価値（賃料など）を高める機能
12. その他（ )

**【住宅地】**

1. 気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する機能
2. 人工的な都市の景観を美しくする機能
3. 植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する機能
4. 日差しや雨などから歩行者を守る機能
5. 雨を集め、地下に雨水を誘導する機能
6. 火災が起きた際の延焼遅延や拡大防止の機能
7. 運転手や歩行者の心をなごませる機能
8. 紅葉や開花、芽吹きなどによって季節感を与える機能
9. 車道分離や運転手の視線誘導、事故の際の衝撃緩和など交通安全を高める機能
10. 地域のイメージを向上させる機能
11. 不動産（マンション、家屋、ビルなど）の価値（賃料など）を高める機能
12. その他（ )



問31 あなたが、水辺の空間を利用するために特に必要なものは何ですか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)

1. 水辺に近づきやすくするための通路や駐車場
2. 川の近くのトイレや手洗い場
3. 日よけ、日陰のためのあずまや
4. 軽い運動や球技、地域の催しなどができる多目的広場
5. ボート乗り場や釣りができる場所
6. 散策やジョギング、サイクリングなどができる場所
7. 多様な生物が生息できるような自然環境への配慮
8. 水辺とふれあえるイベントや啓発活動の充実
9. その他 ( )
10. 特にない

みどり豊かなまちづくりへの参加についておたずねします

問32 あなたがみどり豊かなまちづくりのために、実践している活動は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えで飾る
2. 自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす
3. 自宅の壁や屋上を緑化する
4. 学校や公民館、歩道などに花を植える
5. まちづくりの計画や公園の計画づくりに参加する
6. 身近な公園・道路・河川などの除草清掃を行う
7. 近くにある森林や樹林地などの維持・管理を行う
8. みどりに関する基金などの募金に協力する
9. みどりに関する講座やイベントなどに参加する
10. 家庭菜園をつくる
11. 地域住民同士で緑化やみどりの保全に関するルールをつくる
12. その他 ( )
13. わからない

問 33 あなたが**みどり**豊かなまちづくりのために、**実践したい活動**は何ですか。  
(現在、実践している活動で、今後も継続したい活動も含めてお答えください)。  
(あてはまる番号すべてに○)

1. 自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えて飾る
2. 自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす
3. 自宅の壁や屋上を緑化する
4. 学校や公民館、歩道などに花を植える
5. まちづくりの計画や公園の計画づくりに参加する
6. 身近な公園・道路・河川などの除草清掃を行う
7. 近くにある森林や樹林地などの維持・管理を行う
8. みどりに関する基金などの募金に協力する
9. みどりに関する講座やイベントなどに参加する
10. 家庭菜園をつくる
11. 地域住民同士で緑化やみどりの保全に関するルールをつくる
12. その他 ( )
13. 特にない → 問 36 へ進んでください

問 34 あなたが、**みどり**豊かなまちづくりの活動に参加するための条件は何ですか。  
(主にあてはまる番号3つまでに○)

1. 活動のための時間や期間を自由に選べること
2. 同じ目的を持った仲間がいること
3. 活動に関する情報が得られること
4. 参加を呼びかける団体や世話役がいること
5. 活動に必要な知識や技術を習得する機会があること
6. 活動に必要な道具の提供があること
7. 活動に必要な資金援助が受けられること
8. 助言や指導を行う専門家や地域のリーダーがいること
9. 活動の拠点となる施設があること
10. 活動をメディアなどに取り上げてもらえること
11. 活動に対する表彰制度があること
12. その他 ( )





その他「みどり」に関するご意見・ご要望などがあれば、自由にご記入してください。

調査は以上で終了です。

ご協力誠にありがとうございました。

ご記入が終わりました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に封入し、ご投函ください。



**令和元年度  
みどりの市民意識調査  
報告書**

令和2年3月発行

---

仙台市 建設局 百年の杜推進部 百年の杜推進課  
〒980-8671 仙台市青葉区国分町3丁目7番1号  
TEL 022-214-8388